

第2次おいらせ町総合計画
後期基本計画策定に係る基礎調査
町民アンケート調査結果報告書



令和5年3月

おいらせ町

目 次

I 調査の概要

1 調査について

- (1) 調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (2) 調査対象及び調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) 配布数及び回収結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2 本調査報告書の基本的な事項

- (1) 数値の基本的な取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (2) 集計方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (3) 用語の省略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

II 調査結果

1 回答者の属性

- (1) 性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) 居住地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) 居住年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (5) 居住歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (6) 職業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (7) 通勤・通学先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (8) 家族構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (9) 住まいの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

2 おいらせ町の住み心地について

- (1) 住みやすいまちだと思うか・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (2) 長く住み続けられる魅力があると思うか・・・・・・・・ 16
- (3) おいらせ町の長所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (4) おいらせ町の短所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (5) 適切な土地利用がなされているか・・・・・・・・・・ 28
- (6) 今後の都市基盤の整備にあたって重視すべきこと・・ 30

3 地域の環境について

- (1) 地域の環境に対する満足度・・・・・・・・・・・・・・ 35

4 保健・福祉・医療について

- (1) 心身ともに健康と感じているか・・・・・・・・・・・・ 48
- (2) 健康のために運動しているか・・・・・・・・・・・・ 50
- (3) バランスの良い食事を意識しているか・・・・・・・・ 52
- (4) 地域福祉活動に参加しているか・・・・・・・・・・・・ 54

(5) 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと	56
(6) 今後特に力を入れるべき高齢者施策	60
(7) 今後特に力を入れるべき障がい者施策	64
5 環境問題への取組みについて	
(1) 家庭で実際に行っている環境問題対策	68
(2) 今後特に力を入れるべき町の環境政策	72
6 学習活動について	
(1) 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか	76
(2) 新型コロナウイルス感染症による学習活動（文化活動含む）の変化	78
(3) 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策	80
7 スポーツ活動について	
(1) 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか	84
(2) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の変化	86
(3) 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策	87
8 地域との関わりについて	
(1) 地域（町内会）活動への参加状況	92
9 消防・防災・防犯・交通安全について	
(1) 災害時の避難路・避難場所	94
(2) 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策	97
(3) 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策	100
10 購買行動について	
(1) 町内小売店を利用しているか	104
11 協働のまちづくりについて	
(1) 町の計画や取り組みへの関心	106
(2) まちづくり活動や行政活動への参加状況	108
(3) 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか	110
12 男女共同参画社会について	
(1) 男女の地位は平等になっているか	112
(2) DVという言葉を知っているか	114
(3) DV相談に関する窓口を知っているか	116
13 おいらせ町役場について	
(1) 町の広報紙を読んでいるか	118
(2) 町のホームページを見ているか	120
(3) 町政情報の取得方法	122
(4) 知りたい町政情報が得られているか	124
(5) 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ	130

1 4 デジタル化について

- (1) 自宅でインターネットが利用できるか・・・・・・・・・・・・・・・・131
- (2) インターネットを利用して町政情報を取得しているか・・・・・・・・133
- (3) 今後インターネットを利用して町政情報を取得したいか・・・・・・・・134
- (4) デジタル化に対する町への期待や不安・・・・・・・・・・・・・・・・135

1 5 今後のまちづくりについて

- (1) これからのまちづくりで重点的に取り組むべきこと・・・・・・・・145
- (2) 町へのご意見・ご提案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・149

I 調査の概要

1 調査について

(1) 調査目的

第2次おいらせ町総合計画 後期基本計画（令和6年度から5か年）の策定にあたり、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、町民の意識構造の実態を把握し、計画策定の基礎資料を得るためにアンケートを実施しました。

なお、計画策定にあたっては、前期基本計画の検証と見直しを前提としていることから、調査についても、前回調査等を基に実施し、住民意識の経年変化の比較を把握することを目的としています。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象	18歳以上の町民の中から無作為抽出
配布対象者数	2,000人
調査方法	郵送配布・回収
調査時期	令和4年8月
調査地域	おいらせ町全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	961
有効回収率	48.05%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱い

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ③ 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ④ 令和4年に調査をしたものは、報告書内では令和3年度として表記しています。

(2) 集計方法

通常集計のほか、問ごとに性別、年齢(10~70代)、居住地区(百石小学校区、甲洋小学校区、下田小学校区、木内々小学校区、木ノ下小学校区)でのクロス集計を行い、前回(平成29年度)の調査結果との比較等、細分化して現状を把握しています。

(3) 用語の省略

次の言葉を一部省略して記載しています。

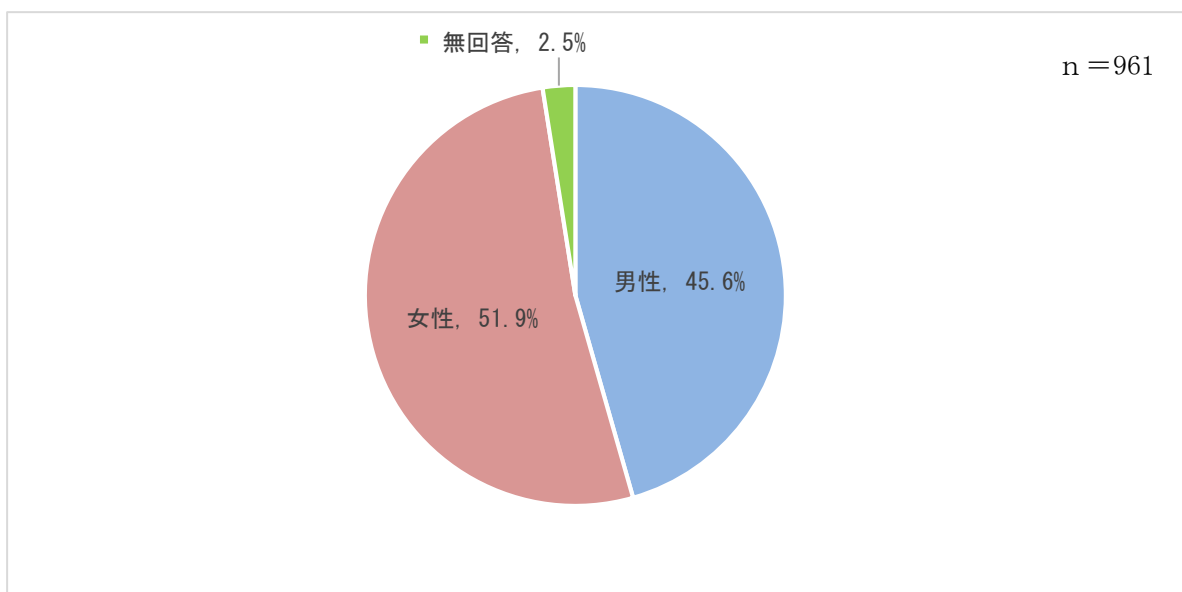
省略前	ページ内記載(省略後)
令和3年度	R3
平成29年度	H29
百石小学校区	百石小区
甲洋小学校区	甲洋小区
下田小学校区	下田小区
木内々小学校区	木内々小区
木ノ下小学校区	木ノ下小区

II 調査結果

1 回答者の属性

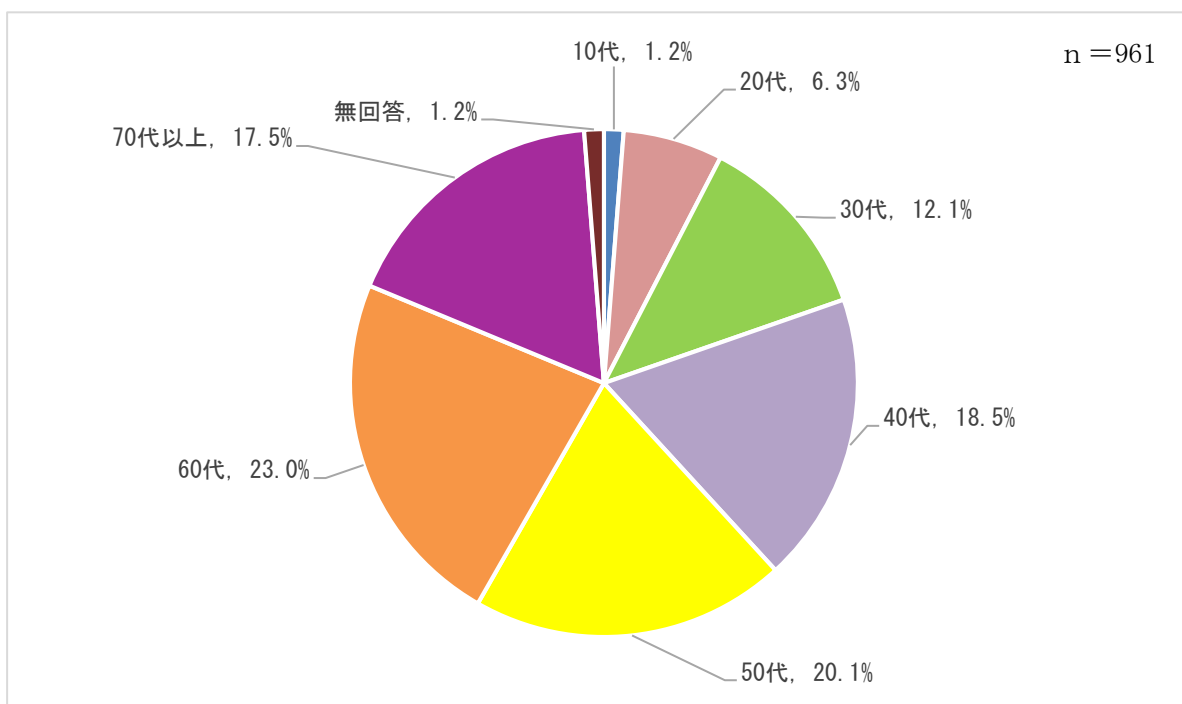
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」438人(45.6%)、「女性」499人(51.9%)、「無回答」24人(2.5%)となっています。



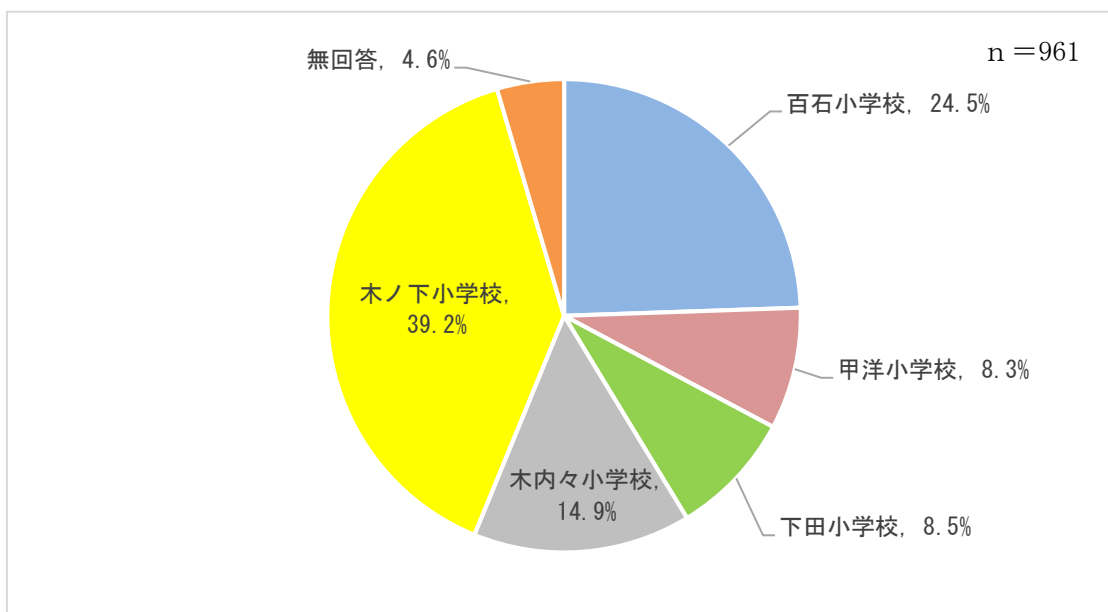
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」168人(17.5%)、「60代」221人(23.0%)、「50代」193人(20.1%)、「40代」178人(18.5%)、「30代」116人(12.1%)、「20代」61人(6.3%)、「10代」12人(1.2%)となっています。



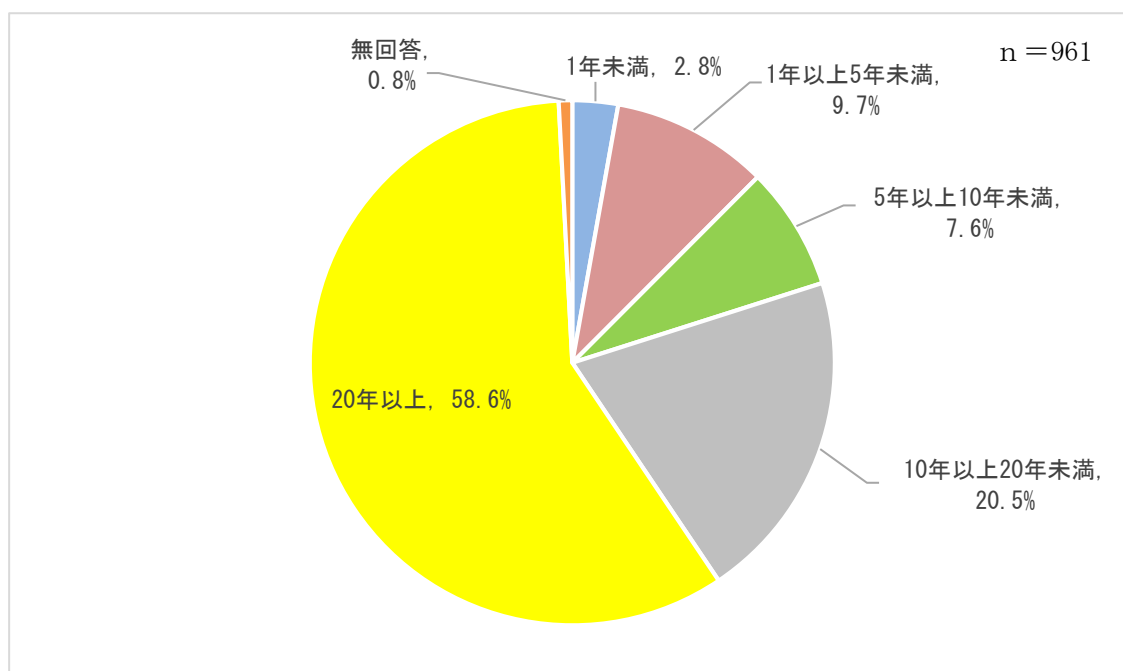
(3) 居住地区

回答者の居住する小学校区は、「百石小学校区」235人(24.5%)、「甲洋小学校区」80人(8.3%)、「下田小学校区」82人(8.5%)、「木内々小学校区」143人(14.9%)、「木ノ下小学校区」377人(39.2%)となっています。



(4) 居住年数

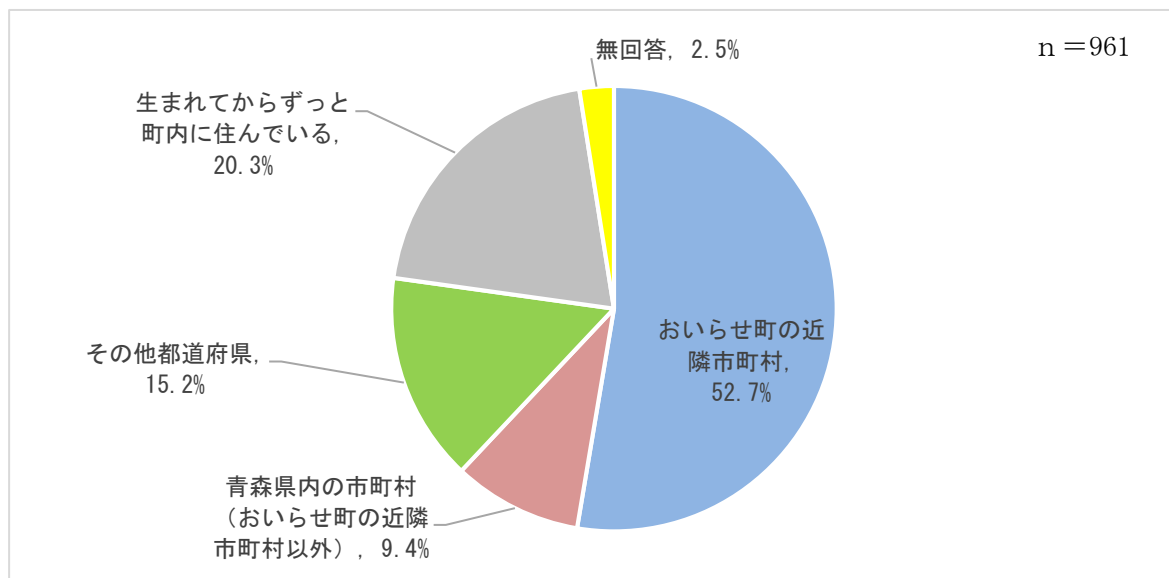
回答者の居住年数は、「20年以上」563人(58.6%)、「10年以上20年未満」197人(20.5%)、「5年以上10年未満」73人(7.6%)、「1年以上5年未満」93人(9.7%)、「1年未満」27人(2.8%)となっています。



(5) 居住歴

① おいらせ町に住む前に住んでいたところ

回答者の居住歴は、「おいらせ町の近隣市町村」506人(52.7%)、「青森県内の市町村(おいらせ町の近隣市町村以外)」90人(9.4%)、「其他都道府県」146人(15.2%)、「生まれてからずっと町内に住んでいる」195人(20.3%)となっています。



② 「おいらせ町の近隣市町村」の内訳

市町村名	人数	%
三沢市	237	46.8
八戸市	191	37.7
十和田市	31	6.1
六戸町	16	3.2
五戸町	6	1.2
無回答・非該当	25	5
全体(n)	506	100.0

※おいらせ町の近隣市町村とは、八戸市・五戸町・三沢市・十和田市・六戸町をいいます。

③ 「青森県内の市町村(おいらせ町の近隣市町村以外)」の内訳

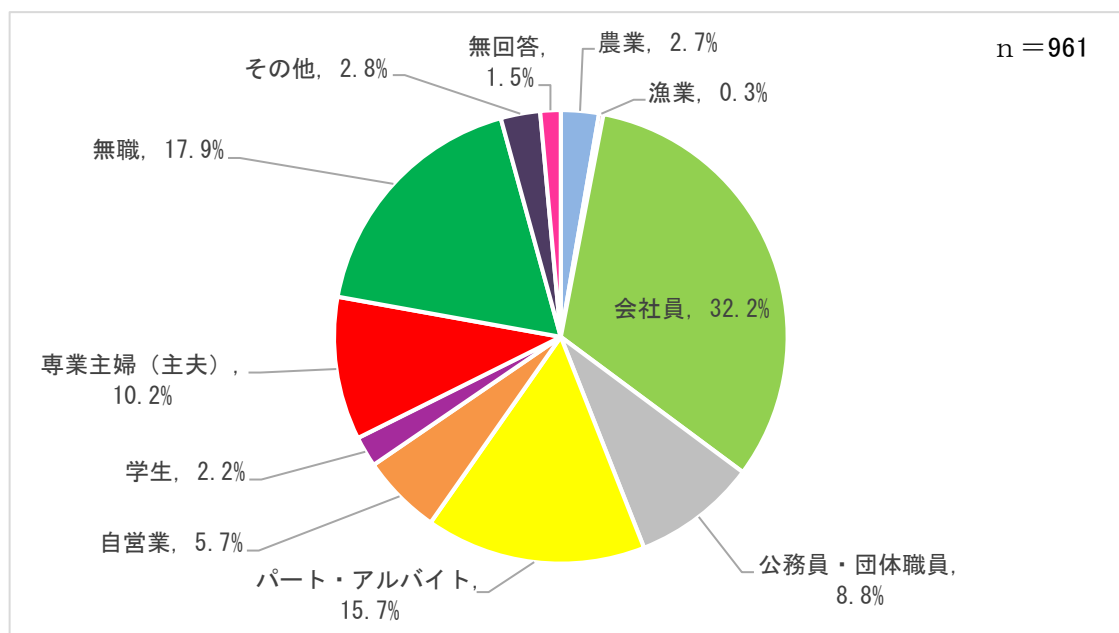
市町村名	人数	%
青森市	20	22.2
六ヶ所村	19	21.1
弘前市	8	8.9
むつ市	6	6.7
東北町	6	6.7
野辺地町	6	6.7
三戸町	4	4.4
七戸町	4	4.4
その他	8	8.9
無回答・非該当	9	10.0
全体(n)	90	100.0

④ その他の都道府県の内訳

都道府県名	人数	%
東京都	22	15.1
岩手県	22	15.1
神奈川県	17	11.6
埼玉県	13	8.9
北海道	11	7.5
宮城県	10	6.8
千葉県	7	4.8
静岡県	6	4.1
秋田県	5	3.4
栃木県	5	3.4
愛知県	4	2.7
その他・非該当	17	11.7
無回答	7	4.8
全体(n)	146	100.0

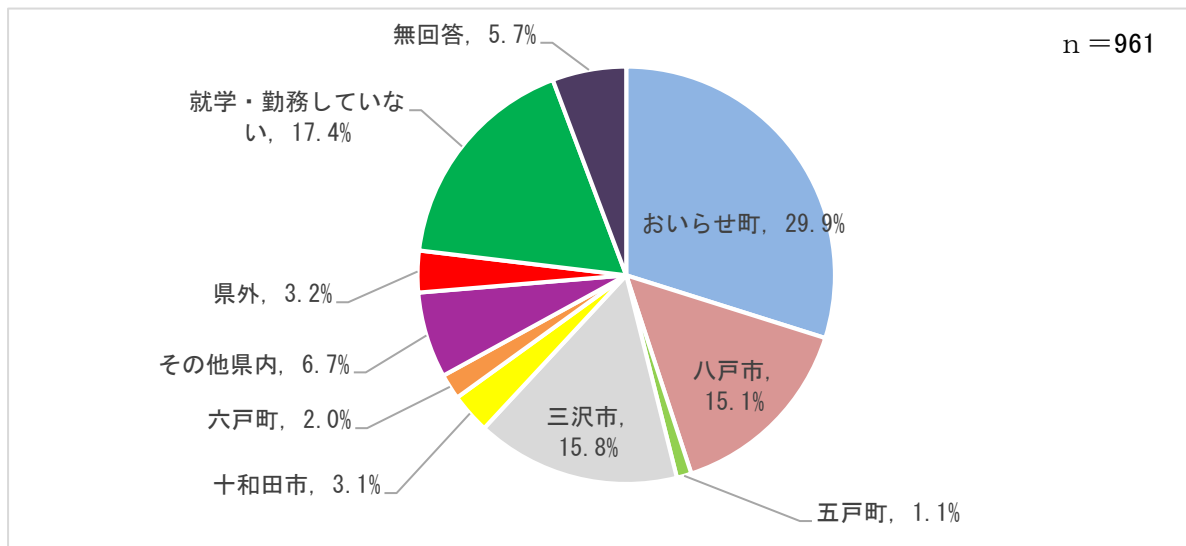
(6) 職業

回答者の職業は、「農業」26人(2.7%)、「漁業」3人(0.3%)、「会社員」309人(32.2%)、「公務員・団体職員」85人(8.8%)、「パート・アルバイト」151人(15.7%)、「自営業」55人(5.7%)、「学生」21人(2.2%)、「専業主婦(主夫)」98人(10.2%)、「無職」172人(17.9%)、「その他」27人(2.8%)となっています。



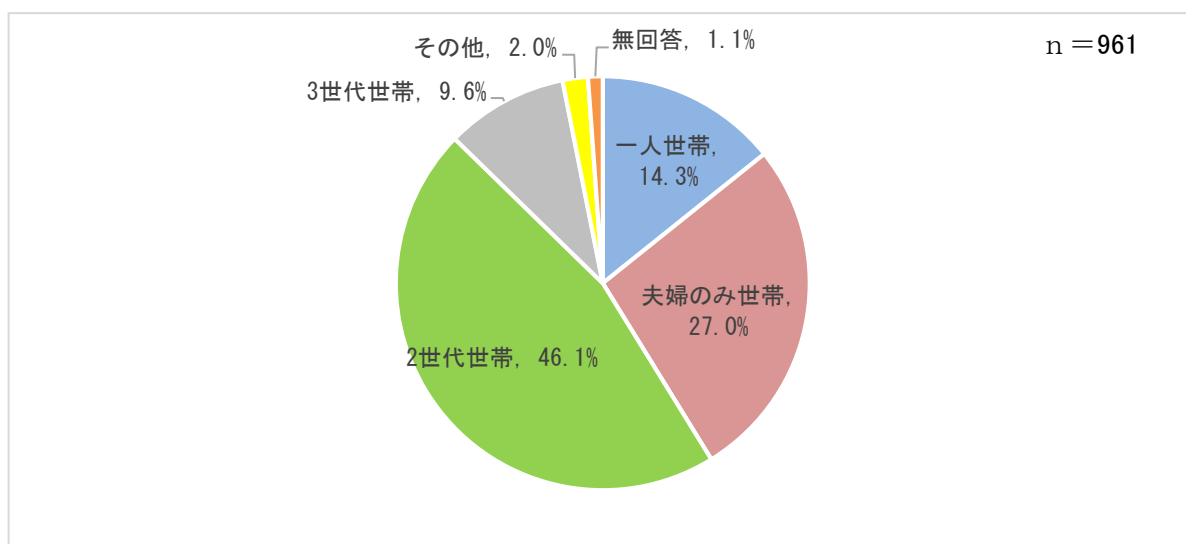
(7) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「おいらせ町」287人(29.9%)、「八戸市」145人(15.1%)、「五戸町」11人(1.1%)、「三沢市」152人(15.8%)、「十和田市」30人(3.1%)、「六戸町」19人(2.0%)、「その他県内」64人(6.7%)、「県外」31人(3.2%)、「就学・勤務していない」167人(17.4%)となっています。



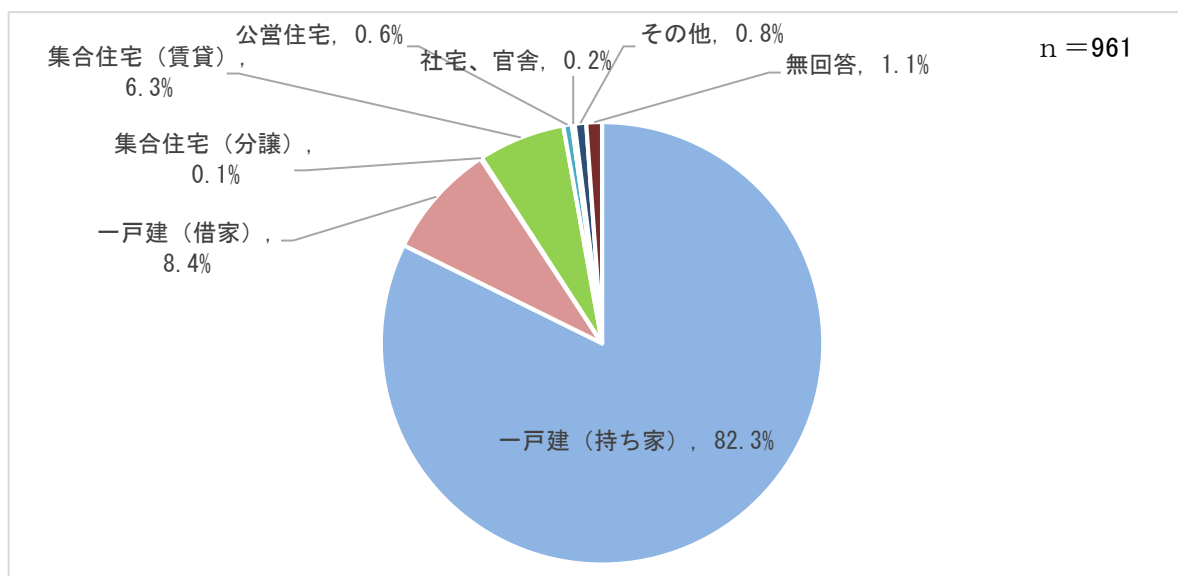
(8) 家族構成

回答者の家族構成は、「一人世帯」137人(14.3%)、「夫婦のみ世帯」259人(27.0%)、「2世代世帯」443人(46.1%)、「3世代世帯」92人(9.6%)、「その他」19人(2.0%)となっています。



(9) 住まいの状況

回答者の住まいの状況は、「一戸建（持ち家）」791人（82.3%）、「一戸建（借家）」81人（8.4%）、「集合住宅（分譲）」1人（0.1%）、「集合住宅（賃貸）」61人（6.3%）、「公営住宅」6人（0.6%）、「社宅、官舎」2人（0.2%）となっています。



2 おいらせ町の住み心地について

(1) 住みやすいまちだと思うか

問 10 おいらせ町が住みやすいまちだと思いますか。

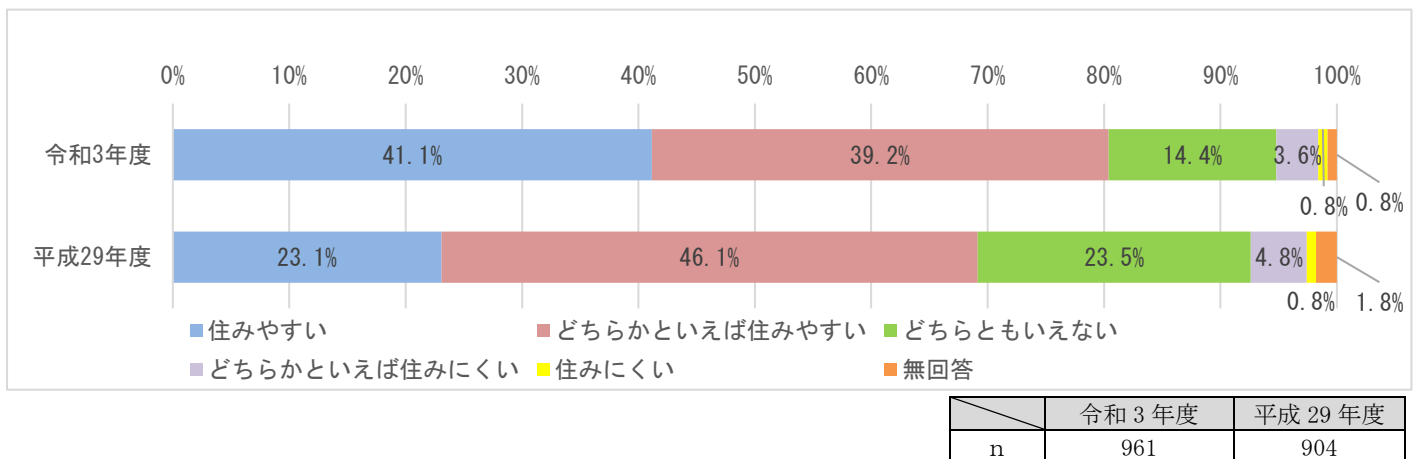
● “住みやすい（住み良い）” が 80.3%、“住みにくい” は 4.4%。

※平成 29 年度は“住みやすい（住み良い）” が 69.2%、“住みにくい” は 5.6%。

「住みやすい」（41.1%）と「どちらかといえば住みやすい」（39.2%）を合わせた“住みやすい（住み良い）”が 80.3%、一方、「どちらかといえば住みにくい」（3.6%）と「住みにくい」（0.8%）を合わせた“住みにくい”は 4.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 14.4%となっています。

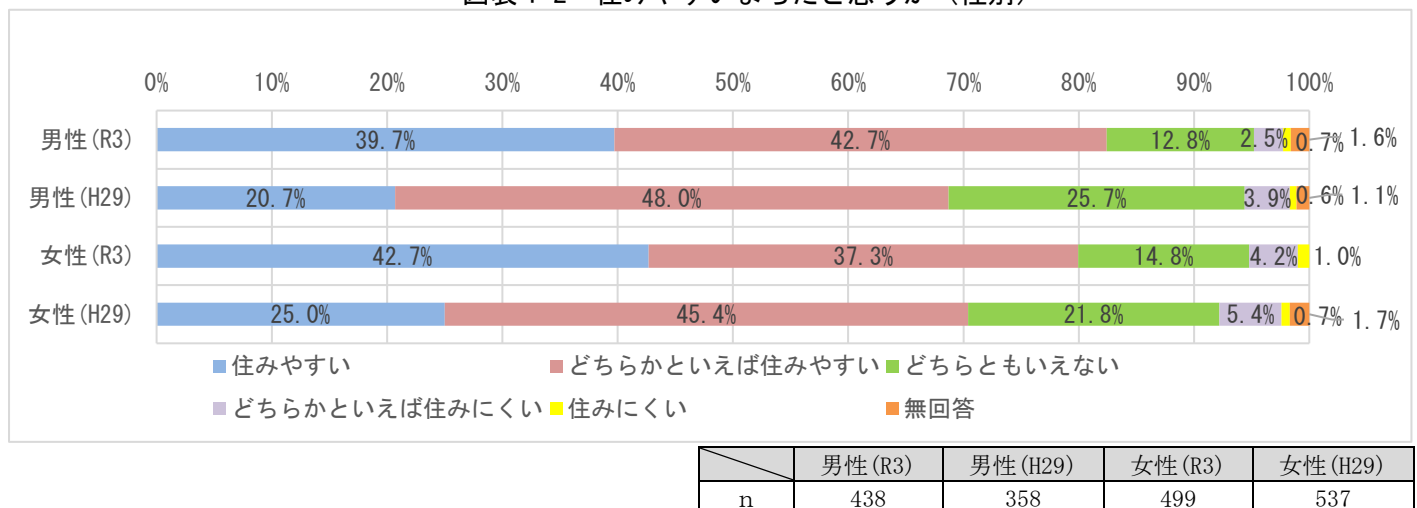
前回調査結果との比較	令和 3 年度 (%)	平成 29 年度 (%)
住みやすい	41.1	23.1
どちらかといえば住みやすい	39.2	46.1
どちらともいえない	14.4	23.5
どちらかといえば住みにくい	3.6	4.8
住みにくい	0.8	0.8

図表 1-1 住みやすいまちだと思うか（全体）



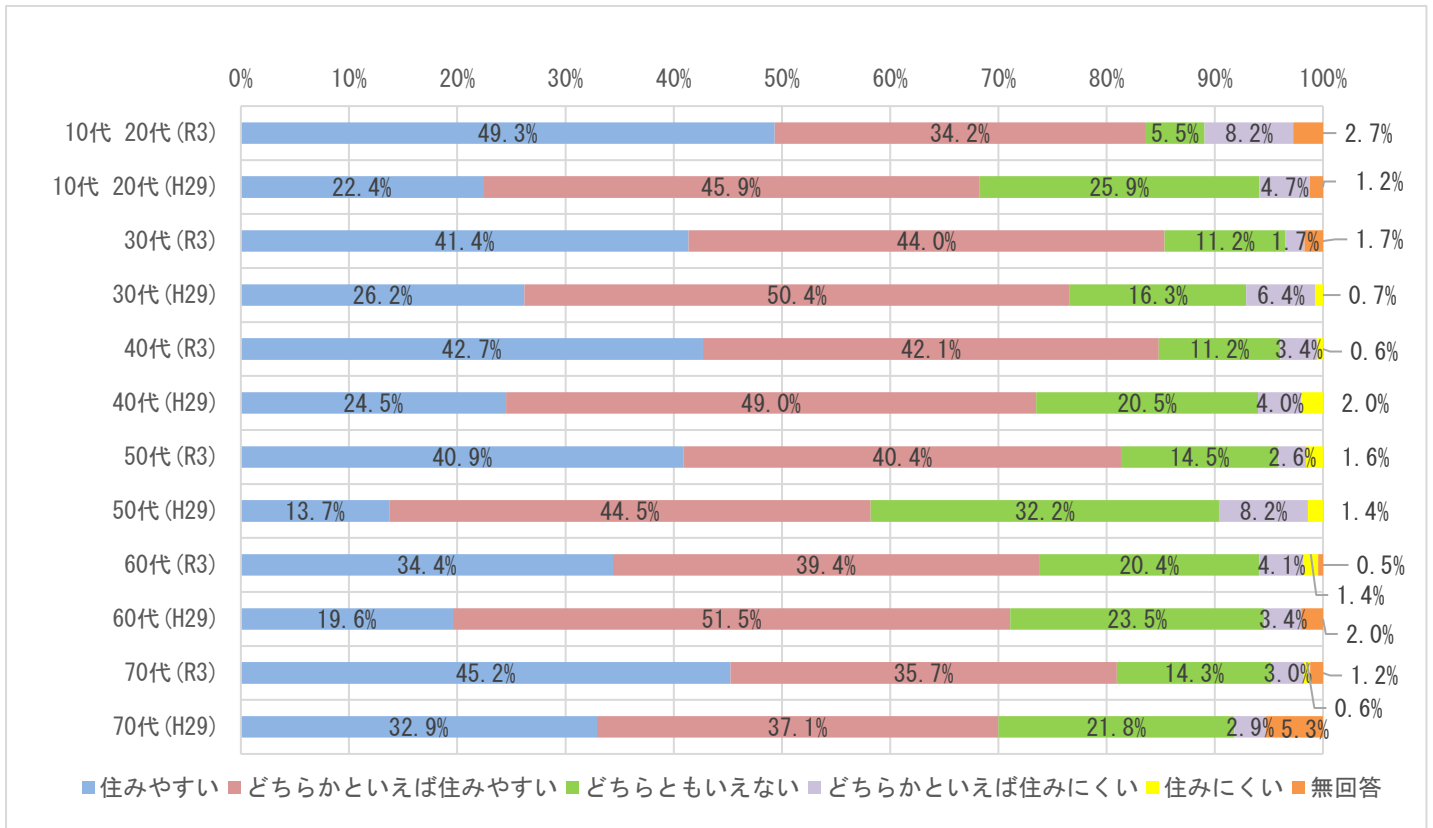
	令和 3 年度	平成 29 年度
n	961	904

図表 1-2 住みやすいまちだと思うか（性別）



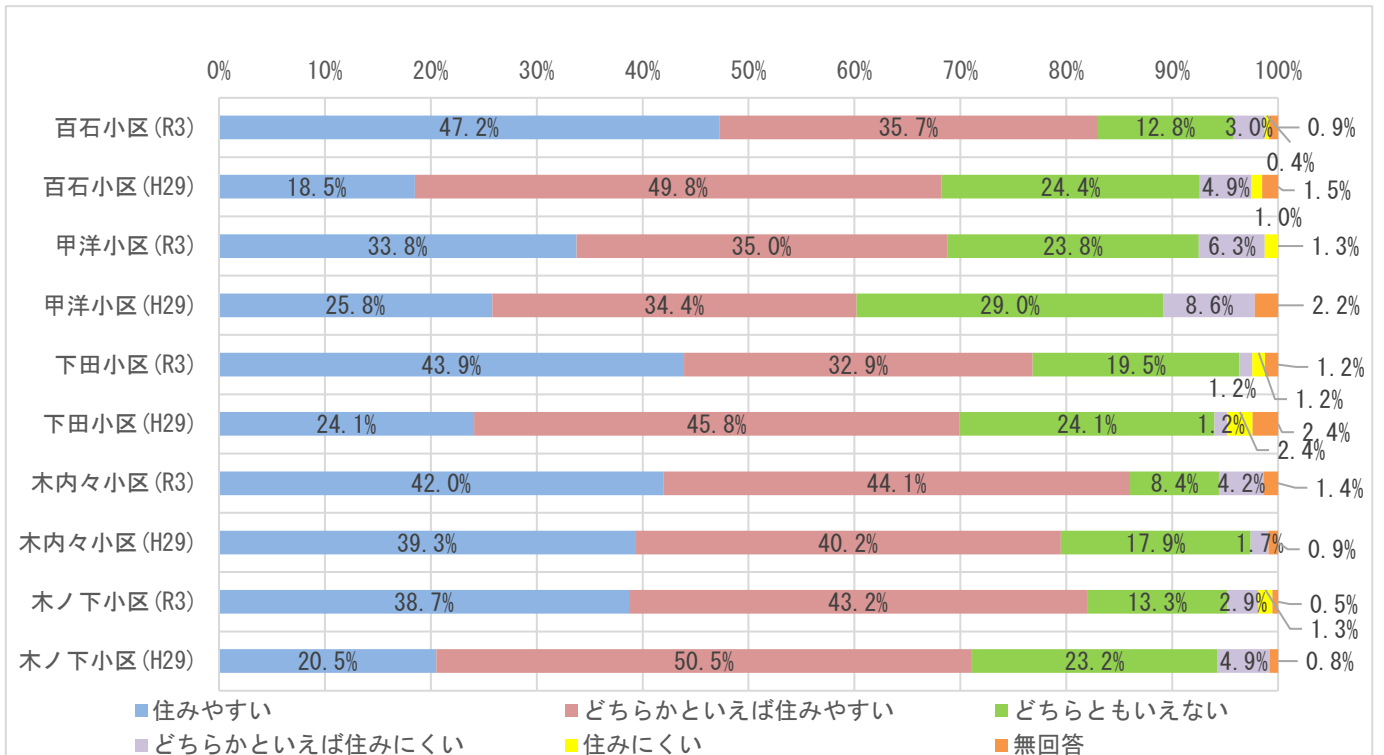
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 1-3 住みやすいまちだと思うか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 1-4 住みやすいまちだと思うか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(2) 長く住み続けられる魅力があると思うか

問 11 おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。

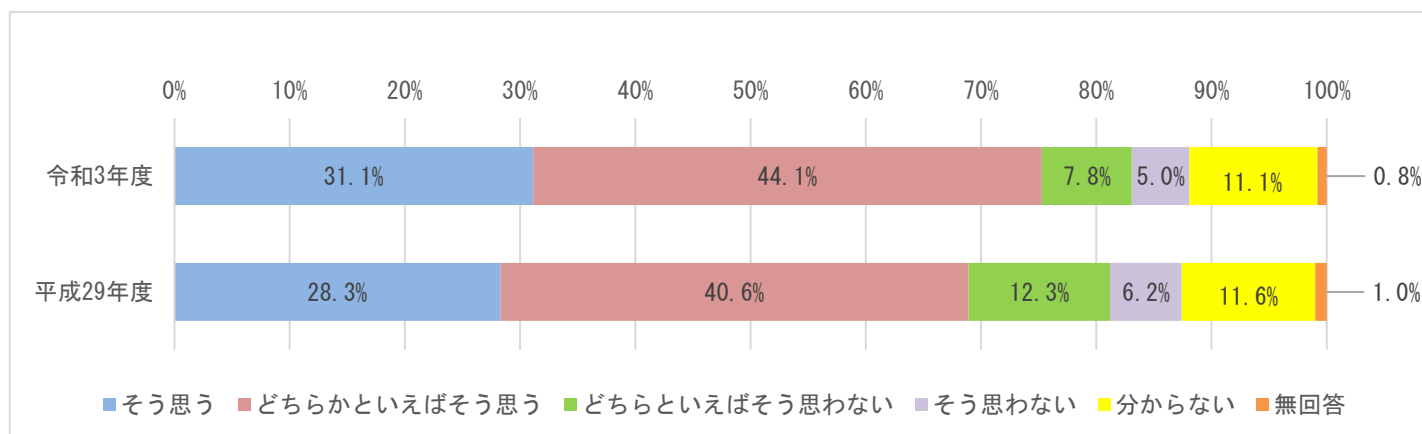
● “そう思う” が 75.2%、“そう思わない” は 12.8%。

※平成 29 年度は “そう思う” が 68.9%、“そう思わない” は 18.5%。

「そう思う」(31.1%)と「どちらかといえばそう思う」(44.1%)を合わせた“そう思う”が75.2%、一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.8%)と「そう思わない」(5.0%)を合わせた“そう思わない”は12.8%となっています。

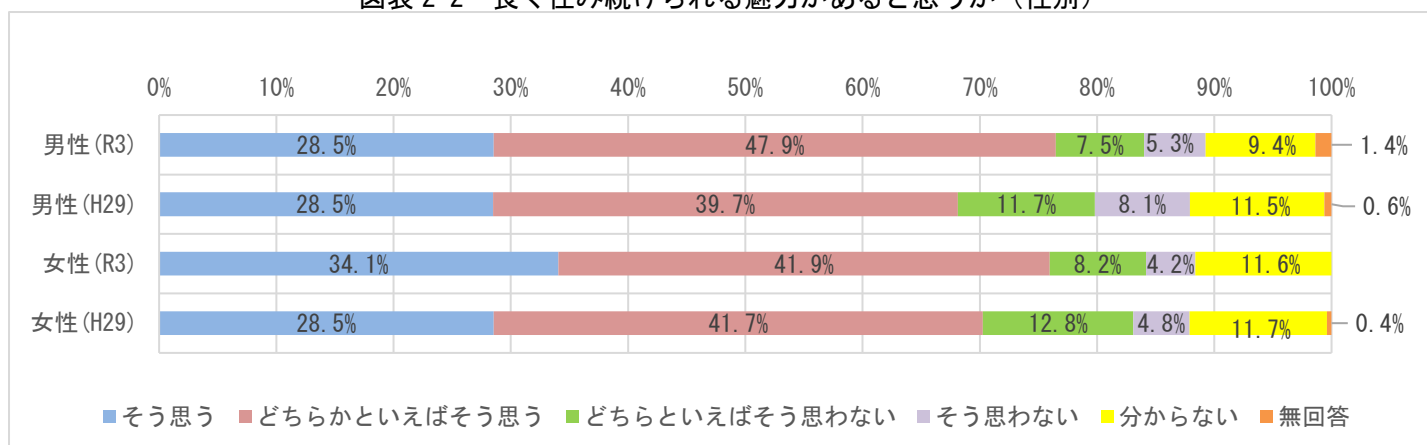
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
そう思う	31.1	28.3
どちらかといえばそう思う	44.1	40.6
どちらかといえばそう思わない	7.8	12.3
そう思わない	5.0	6.2
わからない	11.1	11.6

図表 2-1 長く住み続けられる魅力があると思うか（全体）



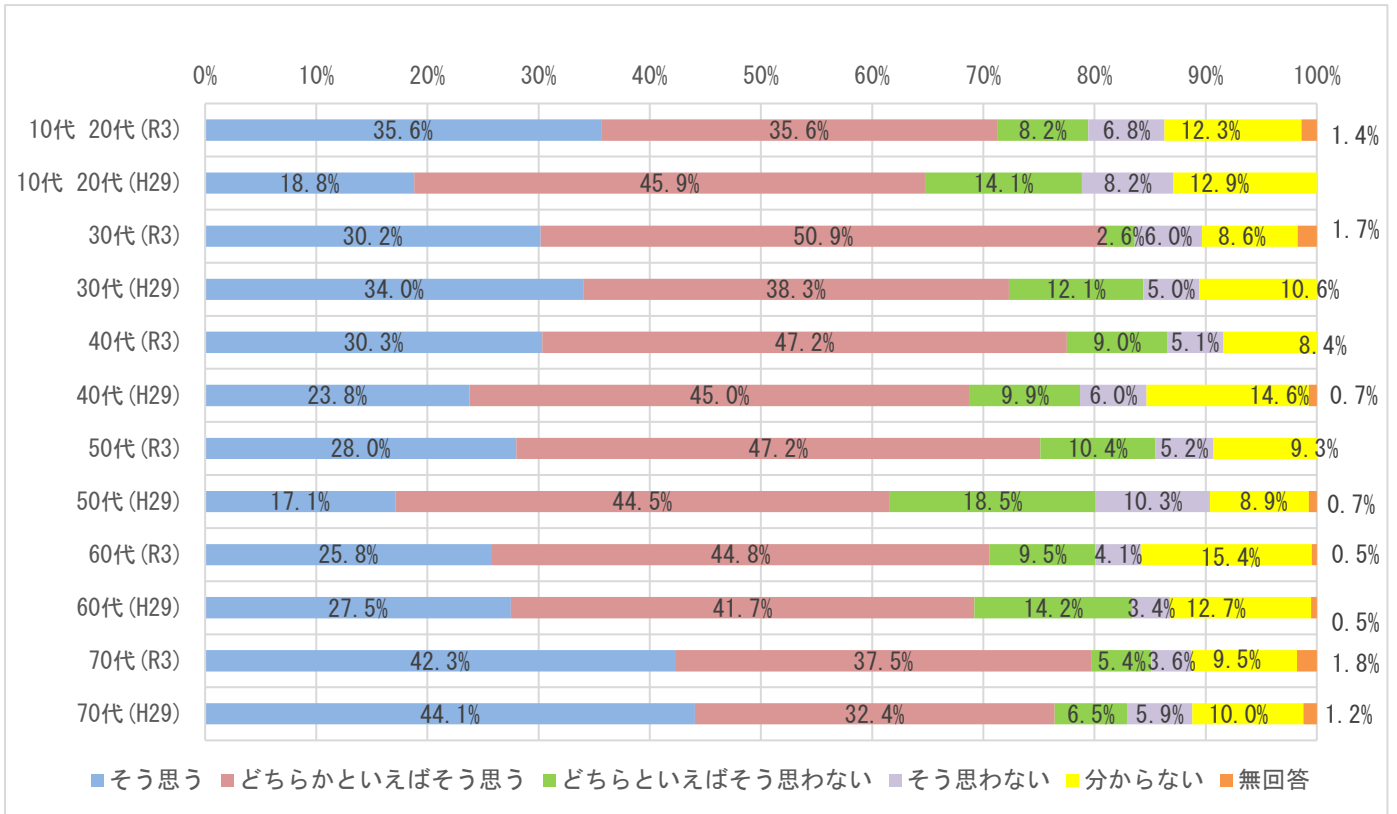
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 2-2 長く住み続けられる魅力があると思うか（性別）



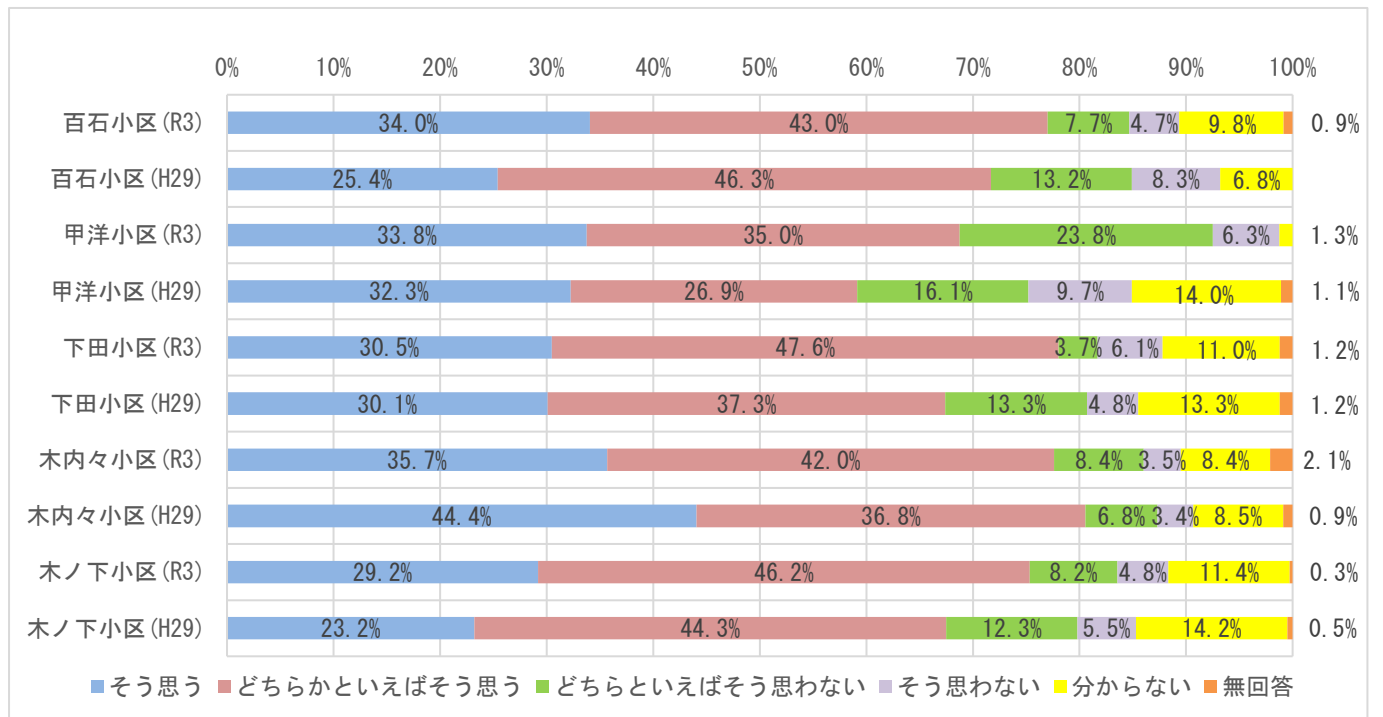
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 2-3 長く住み続けられる魅力があると思うか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 2-4 長く住み続けられる魅力があると思うか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(3) おいらせ町の長所





































問 12 おいらせ町の長所はどのようなものだと思いますか。【3つまで選択可能】

● おいらせ町 長所ランキング ベスト5

- 第1位 「買い物が便利である」
- 第2位 「自然（緑）が豊かである」
- 第3位 「子育て環境が良い」
- 第4位 「農水産物に恵まれ食生活が豊かである」
- 第5位 「治安・防災の面で安心できる」

平成29年度	
第1位	「自然（緑）が豊かである」
第2位	「買い物が便利である」
第3位	「居住環境が比較的良好である」 ※基盤整備（道路・下水道など）が十分である
第4位	「交通の便が良い」
第5位	「子育て環境が良い」

図表 3-1 おいらせ町の長所（全体） ※複数回答 n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
自然（緑）が豊かである	 47.0%	 46.5%
子育て環境が良い	 22.1%	 19.1%
教育環境が良い	 2.7%	 3.4%
老後も安心して生活できる	 7.5%	 8.2%
保健・医療サービスが整っている	 6.3%	 9.4%
治安・防災の面で安心できる	 12.1%	 13.6%
公共交通（バスや鉄道）の便が良い	 4.6%	 21.5%
買い物が便利である	 50.8%	 39.8%
基盤整備（道路、下水道など）が十分である ※前回「居住環境が比較的良好である」	 6.0%	 25.7%
働く場が整っている	 1.6%	 0.9%
歴史や伝統がある	 2.7%	 2.9%
文化施設が整い、催しなども多い	 1.0%	 2.1%
楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、 <input type="checkbox"/> ジャー施設などが整っている	 2.5%	 2.0%
人情味がある（人々の人情が厚い）	 8.3%	 10.3%
農水産物に恵まれ食生活が豊かである	 16.9%	 18.5%
町民の声を生かしたまちづくりが進められている	 3.6%	 2.8%
その他	 3.5%	 1.4%
特になし	 9.2%	 6.5%

図表 3-2 おいらせ町の長所…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他
女性	40代	木ノ下小学校区	空港、新幹線の駅、高速のICが近い。
女性	30代	木内々小学校区	間木、いちょう公園が良い。大型商業施設内の病院が土日やっているところ。図書館が充実している。
女性	30代	百石小学校区	交通の便がいい。
男性	50代	木ノ下小学校区	主要交通へのアクセスが近い(高速・新幹線)。
女性	40代	木ノ下小学校区	役場の人の対応がすばらしい。
女性	40代	木ノ下小学校区	おいらバスの利便性がとてもよい。
男性	40代	下田小学校区	サーフィン
女性	60代	木ノ下小学校区	高速(有料道路)空港へのアクセスが良い。
女性	-	-	隣の三沢市のサービスによって支えられていることも多い。
男性	60代	百石小学校区	旧集落間のアクセス
男性	50代	百石小学校区	道路がボコボコである。
女性	30代	下田小学校区	近隣にも行きやすい。
女性	70代	木内々小学校区	災害が少ない方
女性	30代	甲洋小学校区	大型商業施設がある。
男性	50代	木内々小学校区	県外の移動手段が多い(良い)高速、飛行機、船など
男性	40代	下田小学校区	十和田・三沢・八戸へ行きやすい。
女性	70代	木ノ下小学校区	買い物は便利です。足がないと不便なところがあります。
-	30代	木ノ下小学校区	大きな市よりも声が届きやすく反映していただいている気がする。
男性	50代	-	他の便利な場所のアクセスがいい。
男性	20代	甲洋小学校区	八戸・三沢の中間にあり、電車、船、空港等30分～1時間で行動できる立地の良さ
男性	30代	百石小学校区	新幹線・空港・フェリー・高速などのアクセスが良い。
女性	40代	下田小学校区	八戸市・三沢市・十和田市へ同じくらいの時間で行ける。
女性	60代	木内々小学校区	町を良くしようとする姿勢が感じられる。
女性	40代	下田小学校区	八戸市・十和田・三沢と3市に囲まれている事のみ
女性	70代	木ノ下小学校区	おいらバスのおかげで行動しやすくなりました。
女性	50代	木ノ下小学校区	車で八戸・十和田・三沢に行きやすい。
女性	50代	百石小学校区	どこに行くにも便利
男性	40代	木ノ下小学校区	下田公園、いちょう公園など子供が遊べる。
男性	60代	百石小学校区	ショッピングセンターがある。雪が少ない。
男性	40代	-	映画館がある。海がある。
男性	40代	木ノ下小学校区	立地がいい。
男性	30代	木ノ下小学校区	三沢、八戸、十和田市へのアクセスが良い。大型商業施設がある。
女性	50代	木ノ下小学校区	図書館の図書が充実している。
男性	40代	百石小学校区	気候が良い。
男性	40代	-	何よりも強い。
男性	40代	百石小学校区	八戸、三沢、十和田の中間に位置し、ベッドタウンとして魅力的である。

図表 3-3 おいらせ町の長所 上位 3 位
 (令和 3 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和 3 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		買い物が便利である 50.8%	自然（緑）が豊かである 47.0%	子育て環境が良い 22.1%
性別	男性	買い物が便利である 52.3%	自然（緑）が豊かである 49.9%	子育て環境が良い 19.9%
	女性	自然（緑）が豊かである 50.9%	買い物が便利である 40.4%	子育て環境が良い 24.2%
年齢	10代・20代	買い物が便利である 58.9%	自然（緑）が豊かである 46.6%	子育て環境が良い 21.9%
	30代	買い物が便利である 56.0%	自然（緑）が豊かである 40.5%	子育て環境が良い 40.5%
	40代	買い物が便利である 57.9%	自然（緑）が豊かである 43.3%	子育て環境が良い 36.0%
	50代	買い物が便利である 50.8%	自然（緑）が豊かである 45.1%	子育て環境が良い 22.3%
	60代	自然（緑）が豊かである 54.3%	買い物が便利である 44.8%	農水産物に恵まれ食生活 が豊かである 19.5%
	70歳以上	自然（緑）が豊かである 50.0%	買い物が便利である 45.2%	農水産物に恵まれ食生活 が豊かである 23.8%
居住地区	百石小学校区	買い物が便利である 61.3%	自然（緑）が豊かである 45.5%	子育て環境が良い 23.8%
	甲洋小学校区	自然（緑）が豊かである 48.8%	買い物が便利である 36.3%	子育て環境が良い 22.5%
	下田小学校区	自然（緑）が豊かである 57.3%	買い物が便利である 41.5%	農水産物に恵まれ食生活 が豊かである 20.7%
	木内々小学校区	買い物が便利である 54.5%	自然（緑）が豊かである 46.9%	子育て環境が良い 23.8%
	木ノ下小学校区	買い物が便利である 48.8%	自然（緑）が豊かである 45.9%	子育て環境が良い 22.8%

図表 3-4 おいらせ町の長所 上位 3 位
 (令和 29 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		自然（緑）が豊かである 46.5%	買い物が便利である 39.8%	居住環境が比較的良好である 25.7%
性別	男性	自然（緑）が豊かである 45.8%	買い物が便利である 39.1%	居住環境が比較的良好である 29.6%
	女性	自然（緑）が豊かである 47.3%	買い物が便利である 40.4%	居住環境が比較的良好である 23.5%
年齢	10代・20代	自然（緑）が豊かである 55.3%	買い物が便利である 32.9%	農水産物に恵まれ食生活 が豊かである 21.2%
	30代	買い物が便利である 47.5%	子育て環境が良い 43.3%	自然（緑）が豊かである 39.0%
	40代	買い物が便利である 42.4%	自然（緑）が豊かである 39.7%	子育て環境が良い 31.1%
	50代	自然（緑）が豊かである 50.7%	買い物が便利である 36.3%	居住環境が比較的良好である 27.4%
	60代	自然（緑）が豊かである 48.5%	買い物が便利である 45.6%	居住環境が比較的良好である 33.8%
	70歳以上	自然（緑）が豊かである 48.8%	買い物が便利である 31.2%	交通の便が良い 26.5%
居住地区	百石小学校区	買い物が便利である 54.1%	自然（緑）が豊かである 41.0%	居住環境が比較的良好である 23.4%
	甲洋小学校区	自然（緑）が豊かである 47.3%	農水産物に恵まれ食生活 が豊かである 30.1%	買い物が便利である 25.8%
	下田小学校区	自然（緑）が豊かである 57.8%	居住環境が比較的良好である 30.1%	買い物が便利である 25.3%
	木内々小学校区	自然（緑）が豊かである 48.7%	買い物が便利である 47.0%	交通の便が良い 28.2%
	木ノ下小学校区	自然（緑）が豊かである 46.2%	買い物が便利である 36.3%	居住環境が比較的良好である 32.0%

(4) おいらせ町の短所

問 13 おいらせ町の短所（不足していると思うもの）は、どのようなものであると思いますか。【3つまで選択可能】

● おいらせ町 短所ランキング トップ5

- 第1位 「公共交通（バスや鉄道）の便が悪い」
- 第2位 「老後の生活が不安である」
- 第3位 「基盤整備（道路、下水道など）が不十分である」
- 第4位 「楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、
レジャー施設などが整っていない」
- 第5位 「保健・医療サービスが整っていない」

平成29年度	
第1位	「公共交通（バスや鉄道）の便が悪い」
第2位	「楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない」
第3位	「働く場が少ない」
第4位	「老後の生活が不安である」
第5位	「基盤整備（道路、下水道など）が不十分である」

図表 4-1 おいらせ町の短所（全体） ※複数回答 n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
自然（緑）が失われつつある	2.9%	6.9%
子育て環境が悪い	2.8%	3.7%
教育環境が悪い	5.4%	5.2%
老後の生活が不安である	23.3%	28.7%
保健・医療サービスが整っていない	19.0%	12.6%
治安・防災の面が不安である	7.7%	5.1%
公共交通（バスや鉄道）の便が悪い	34.0%	40.4%
買い物が不便である	6.5%	10.2%
基盤整備（道路、下水道など）が不十分である	21.6%	21.2%
働く場が整っていない	18.9%	29.5%
歴史や伝統が失われつつある	2.3%	1.0%
文化施設が整っておらず、催しなども少ない ※前回「質の高い多様な文化活動・情報が少ない」	10.3%	10.2%
楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない	19.6%	31.7%
人情味が薄れつつある	6.0%	9.2%
農産物に恵まれていない ※前回「安心できる食料が入手できない」	1.0%	6.9%
町民の声を生かしたまちづくりが進められていない ※前回「町民がまちづくりに参加できる機会が少ない」	8.1%	3.4%
その他	5.2%	5.2%
特になし	10.5%	7.3%

図表 4-2 おいらせ町の短所…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他
男性	40代	木内々小学校区	若い人が楽しめる催しが無い。つまらない町。
男性	60代	木ノ下小学校区	宅地周辺小道路の雪害(歩行・車両走行に支障)
女性	50代	下田小学校区	まだよくわかりません。
女性	40代	木ノ下小学校区	上下水道料金が安い。
女性	50代	木ノ下小学校区	他の町村にゆだねている物が多い。ゴミだし、ペットのお墓など
男性	50代	木ノ下小学校区	除雪が悪い
女性	30代	木内々小学校区	料金が安い。大型商業施設しかない気がする。役場が2つに分かれていてめんどろ。
女性	40代	木ノ下小学校区	冬の間、子供達が遊べる場所がない。
女性	30代	百石小学校区	道路が整備されていない。(ガタガタしている)
女性	50代	百石小学校区	産院がない。
-	40代	木内々小学校区	おしゃれさ
男性	60代	木ノ下小学校区	金融機関まで遠い。
女性	50代	甲洋小学校区	整形外科や耳鼻科などの病院がない
女性	20代	木ノ下小学校区	高等学校に通学しづらい(距離・手段)
女性	30代	木内々小学校区	小さな公園が少ない。
男性	40代	木ノ下小学校区	肥料・薪ストーブ 臭い すごく
女性	50代	百石小学校区	水道料金・各税金が高い
男性	20代	木ノ下小学校区	北部への郵便局
女性	30代	木内々小学校区	空き家、空き地が放置され雑草がそのままになっている
女性	60代	甲洋小学校区	不足していると感じてはいないが地域中が臭いときがあり、洗濯物を外に出す事も、窓を開けることもできないときがある！！
男性	50代	木ノ下小学校区	夏場、臭くて窓を開けることが出来ず、エアコン使用で電気代がかさむ。
女性	40代	木ノ下小学校区	外食産業を増やしてほしい。郵便局が遠い(ATM)
男性	50代	百石小学校区	百石中学校の学力が低い。教員にのち中実力のなさそうな人が十和田や三沢と比べて多い気がする。
男性	40代	木ノ下小学校区	水道料金が安い
女性	50代	百石小学校区	下水管のサビが気になる。整形外科・眼科など必要。
男性	40代	百石小学校区	福祉が不整備である
男性	20代	木ノ下小学校区	役場が少し遠い
女性	30代	-	ペットと暮らすには少し不便
女性	60代	木ノ下小学校区	車に乗れなくなると不便。でも、おいらバスがあるから希望がもてる。
男性	70代	百石小学校区	空き地(農地)が多い
男性	40代	木ノ下小学校区	児童手当や所得制限がある
女性	50代	百石小学校区	病院が少ない。耳鼻科、眼科、整形
女性	30代	木ノ下小学校区	畑などからの土埃がひどく窓が開けられない
女性	40代	木ノ下小学校区	コロナの影響。町内会の活動が少なく近所付き合いがほとんどない
男性	50代	木ノ下小学校区	自然を生かしてきていない
男性	50代	木ノ下小学校区	学校周辺の道路、住宅地域の道路が危険すぎる。
女性	60代	木内々小学校区	産科、皮膚科がない
女性	60代	百石小学校区	医療の質を高めて欲しい。

性別	年齢	居住地区	その他
女性	70代	木ノ下小学校区	北部は不足だと感じる。ワクチン接種場所も少ない。講演会もない。
男性	40代	下田小学校区	・小さな学校を統合しバス通学出来るように集団の中で教育を(学校推待による無駄を無くす) ・学童時間を働いてる親に合わせる。朝7:00頃に送っていかないと仕事に間に合いません)
男性	40代	木ノ下小学校区	公園やランニングをできる場所がない。歩道は雑草だらけ、歩道も少ない。
女性	50代	百石小学校区	町職員のレベル
男性	40代	下田小学校区	安全な食料の自給率を100%に近づける。その感覚が無い(町内の自給率)それと、子供に心の教育と自分で考え行動出来る教育をした方が良い。子供のうちにしっかりやらないと社会は良くなる。その感覚を持ってほしい。
男性	30代	-	子どもが多いように思えるが、公園が少なく、遊具も足りない。通学路の整備、信号機や歩道優先にする等、子供1人でも安全に歩ける環境にしてほしい。
女性	60代	百石小学校区	おいらせ病院の新築
男性	30代	木ノ下小学校区	人が増えている木ノ下地区に施設が少なく、とても不便
女性	40代	木ノ下小学校区	水道代が高い。ごみの分別が細かい
女性	50代	木内々小学校区	車がないと生活できない。空き家が放置されている
-	60代	木ノ下小学校区	郵便局が遠い
男性	60代	木ノ下小学校区	運動施設
男性	30代	木ノ下小学校区	住んで1年弱のため分からない
女性	40代	木ノ下小学校区	ゴミ捨て場が遠い
男性	40代	木ノ下小学校区	臭い
男性	40代	百石小学校区	人が集められるイベントがない。

図表 4-3 おいらせ町の短所 上位 3 位
(令和 3 年度/性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和 3 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 34.0%	老後の生活が不安である 23.3%	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 21.6%
性別	男性	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 32.2%	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 24.4%	働く場が少ない 22.4%
	女性	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 35.9%	老後の生活が不安である 26.3%	保健・医療サービスが整っていない 20.4%
年齢	10代・20代	楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない 28.8%	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 27.4%	働く場が整っていない 20.5%
	30代	楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない 39.7%	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 25.9%	保健・医療サービスが整っていない 23.3%
	40代	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 36.0%	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 24.2%	楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない 23.6%
	50代	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 36.3%	老後の生活が不安である 29.0%	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 22.3%
	60代	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 36.7%	老後の生活が不安である 31.2%	・保健・医療サービスが整っていない ・基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 20.4%
	70歳以上	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 34.5%	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 23.2%	老後の生活が不安である 22.6%
居住地区	百石小学校区	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 34.5%	老後の生活が不安である 24.7%	楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない 22.6%
	甲洋小学校区	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 42.5%	老後の生活が不安である 32.5%	働く場が少ない 13.8%
	下田小学校区	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 34.1%	老後の生活が不安である 30.5%	保健・医療サービスが整っていない 25.6%
	木内々小学校区	老後の生活が不安である 30.1%	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 29.4%	保健・医療サービスが整っていない 23.8%
	木ノ下小学校区	基盤整備（道路、下水道など）が不十分である 36.3%	公共交通（バスや鉄道）の便が悪い 33.4%	楽しめる娯楽、イベント（行事やまつり）、レジャー施設などが整っていない 21.8%

図表 4-4 おいらせ町の短所 上位 3 位
 (平成 29 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		バスや鉄道などの交通の 便が悪い 40.4%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 31.7%	働く場が少ない 29.5%
性別	男性	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 36.9%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 34.4%	働く場が少ない 31.8%
	女性	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 43.0%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 30.2%	老後の生活が不安である 28.9%
年齢	10代・20代	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 54.1%	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 50.6%	働く場が少ない 30.6%
	30代	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 51.1%	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 33.3%	働く場が少ない 32.6%
	40代	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 41.7%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 34.4%	働く場が少ない 31.1%
	50代	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 52.7%	老後の生活が不安である 34.9%	働く場が少ない 30.8%
	60代	老後の生活が不安である 42.6%	働く場が少ない 33.3%	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 32.8%
	70歳以上	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 38.8%	老後の生活が不安である 30.0%	働く場が少ない 18.8%
居住地区	百石小学校区	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 46.3%	老後の生活が不安である 35.1%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 32.2%
	甲洋小学校区	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 54.8%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 31.2%	働く場が少ない 29.0%
	下田小学校区	老後の生活が不安である 38.6%	働く場が少ない 28.9%	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 27.7%
	木内々小学校区	働く場が少ない 35.9%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 31.6%	老後の生活が不安である 29.9%
	木ノ下小学校区	バスや鉄道などの交通の 便が悪い 40.7%	道路、下水道など基盤整備 が不十分である 35.8%	魅力ある娯楽、レジャー施 設が少ない 34.2%

(5) 適切な土地利用がなされているか

問 14 あなたの住まいの地域は、適切な土地利用（良好なまちなみ）がなされていると思いますか。

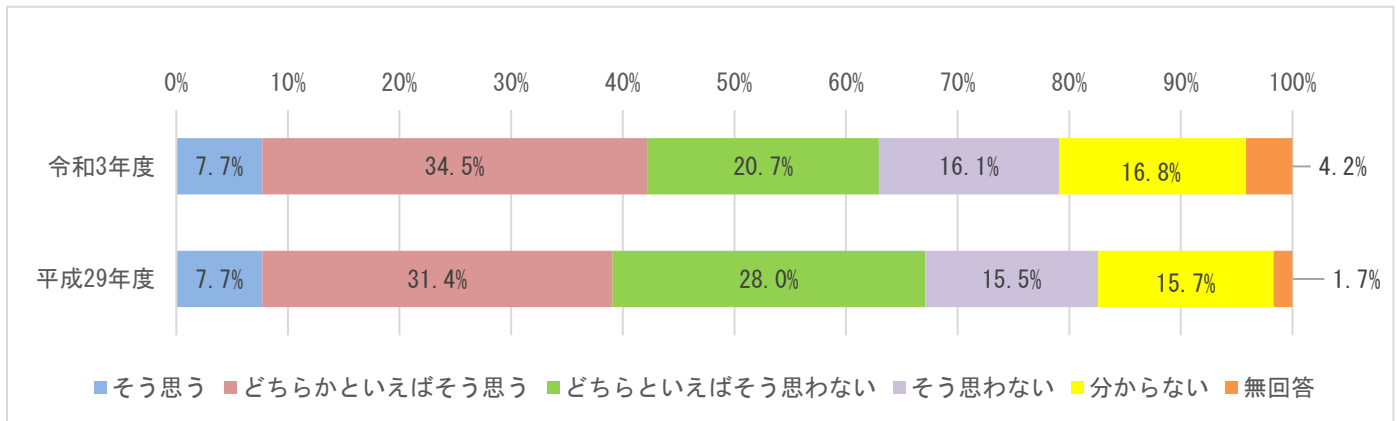
● “そう思う” が 42.2%、“そう思わない” は 36.8%。

※平成 29 年度は “そう思う” が 39.1%、“そう思わない” は 43.5%。

「そう思う」(7.7%)「どちらかといえばそう思う」(34.5%)を合わせた“そう思う”が42.2%、一方、“どちらかといえばそう思わない”(20.7%)と「そう思わない」(16.1%)を合わせた“そう思わない”は36.8%となっています。

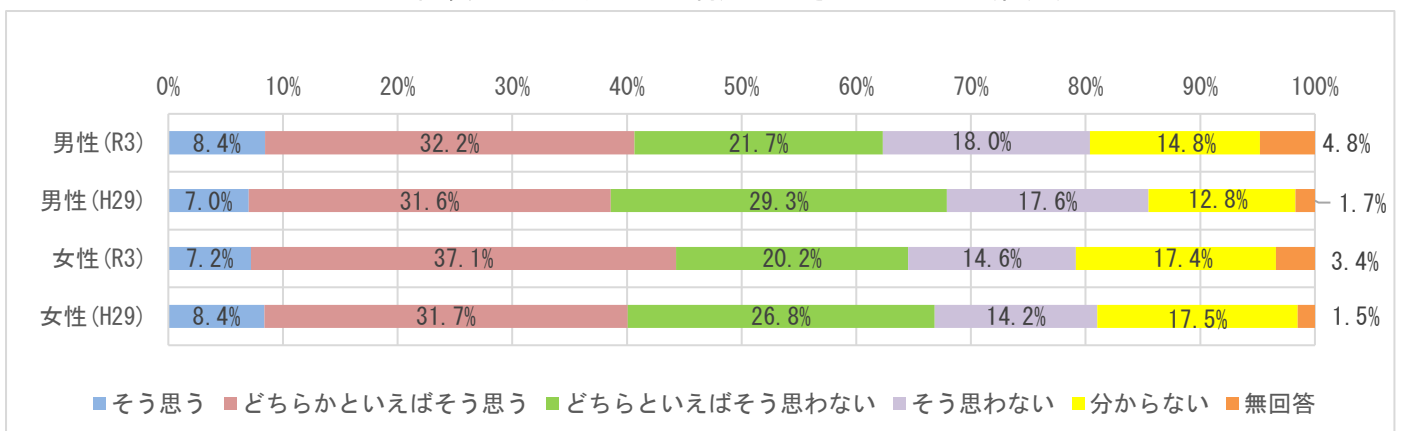
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
そう思う	7.7	7.7
どちらかといえばそう思う	34.5	31.4
どちらかといえばそう思わない	20.7	28.0
そう思わない	16.1	15.5
わからない	16.8	15.7

図表 5-1 適切な土地利用がなされているか（全体）



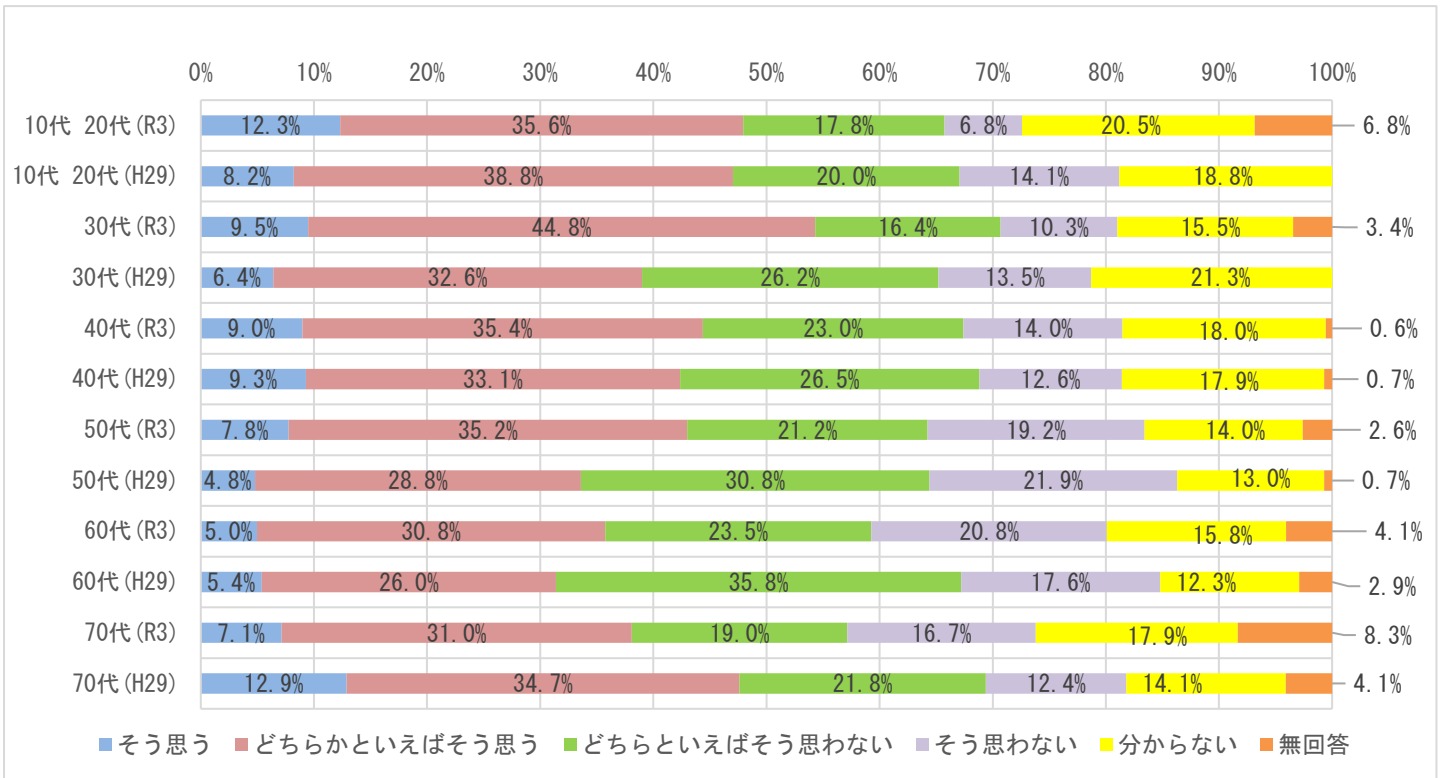
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 5-2 適切な土地利用がなされているか（性別）



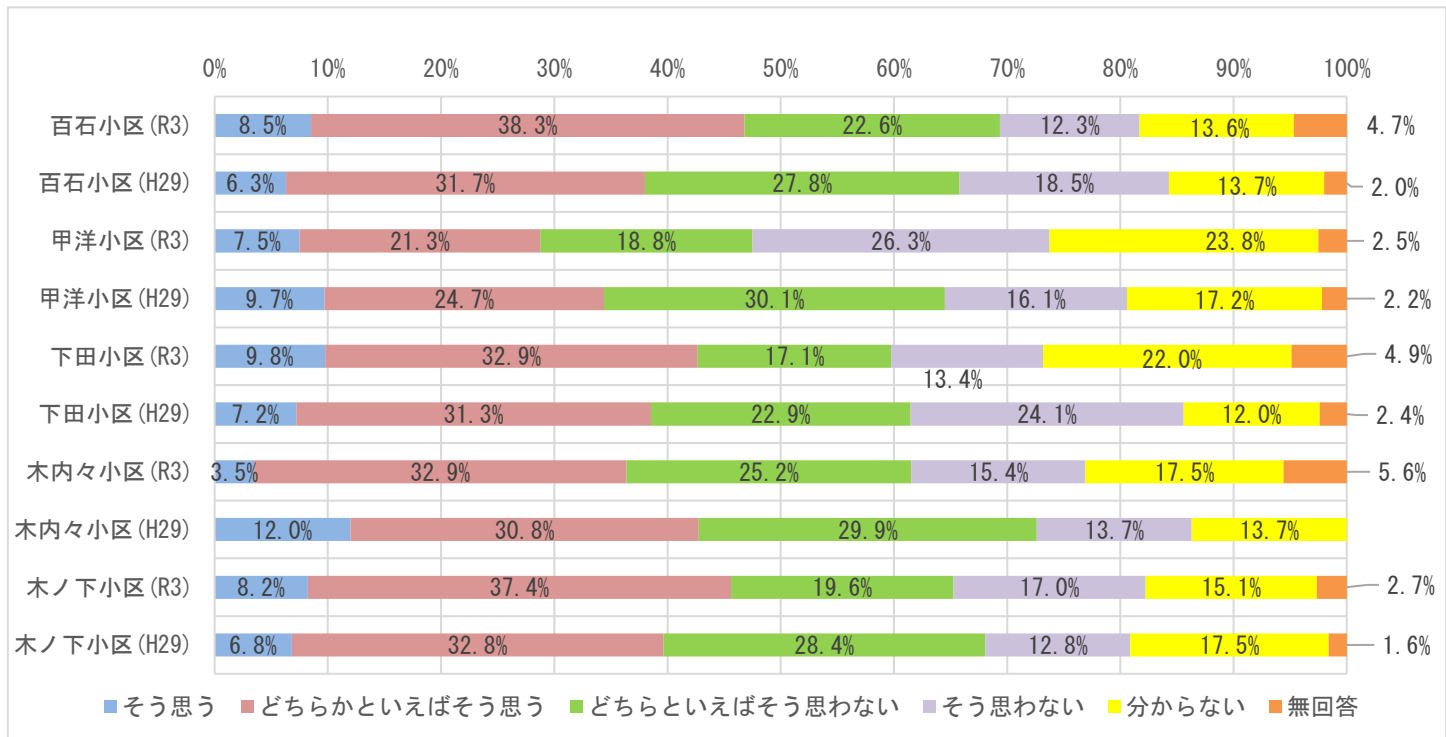
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 5-3 適切な土地利用がなされているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 5-4 適切な土地利用がなされているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(6) 今後の都市基盤の整備にあたって重視すべきこと

問 15 あなたは、今後都市基盤を整備していく上で、どのような点を重視したまちづくりを進めるべきと思いますか。【2つまで選択可能】

- 「災害に強いまちを目指した市街地の整備」が1位。
※平成29年度は「鉄道やバスなどの公共交通網の充実」が1位。

特に「災害に強いまちを目指した市街地の整備」(34.2%)、「鉄道やバスなどの公共交通網の充実」(28.1%)、「道路・公園など都市施設の整備」(27.5%)、「都市機能の集積を目指したまちづくり」(26.1%)が高いです。

図表 6-1 都市基盤の整備にあたって重視すべき点 (全体)

n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
災害に強いまちを目指した市街地の整備	34.2%	27.8%
鉄道やバスなどの公共交通網の充実	28.1%	32.1%
ゆとりある居住環境整備や魅力ある景観形成	19.5%	23.2%
道路・公園など都市施設の整備	27.5%	25.9%
公共施設などのバリアフリー化や福祉施設の充実	13.8%	19.8%
都市機能の集積を目指したまちづくり	26.1%	28.9%
その他	4.0%	3.4%
特にない	5.2%	6.0%

図表 6-2 今後の都市基盤の整備で重視すべきこと…【その他の記載内容】

性別	年代	小学校区	その他
男性	60代	木ノ下小学校区	様々な異常気象下でも安定的な生活ができる気盤の充実や整備
女性	50代	百石小学校区	温水プール健康作りのための子供たちの為の屋外バスケットリンクを作してほしい。
男性	50代	木ノ下小学校区	道路の穴埋め
男性	30代	木ノ下小学校区	レジャー施設建設
男性	40代	木ノ下小学校区	下水の整備
女性	40代	木ノ下小学校区	医療機関の充実
男性	60代	百石小学校区	空き家対策
女性	30代	木内々小学校区	イベント増
男性	50代	下田小学校区	医療の充実
女性	60代	木ノ下小学校区	町民みんなが楽しめるイベントや商業が活気が出るようなとりくみ
女性	20代	木ノ下小学校区	若者(20代)が残りたくなるまち(職・住・娯楽など)
女性	40代	下田小学校区	病院
女性	60代	木内々小学校区	小・中学校の教育の質があまり良くない。先生方の意識が低い。
女性	40代	木ノ下小学校区	無駄な物は省いて、スマートシティ化の実現を早期に着目してほしいです。
男性	50代	木ノ下小学校区	下水道の整備
女性	60代	百石小学校区	公園など小さくても増やしてほしい。
男性	40代	百石小学校区	病院・医療
女性	60代	木ノ下小学校区	総合病院必要
男性	50代	百石小学校区	民間を行政が邪魔しない
男性	50代	木ノ下小学校区	人間が安全に歩ける歩道の整備
女性	60代	木内々小学校区	安全・福祉・文化の順ですかね
女性	20代	木ノ下小学校区	子どもが遊べる室内施設があると良い。三沢市の「そらいえ」の様な
男性	30代	木内々小学校区	町立病院強化
女性	70代	甲洋小学校区	デマンドバスだけではなく小型バスでも通してほしい
男性	70代	百石小学校区	教育環境の整備と企業誘致
女性	60代	木ノ下小学校区	郵便局
女性	70代	木ノ下小学校区	おいらバスに期待大。歩道の拡幅(2~3倍に)十和田市官庁街のように。
男性	40代	下田小学校区	食糧の自給ができる町づくり
男性	40代	百石小学校区	近隣市町とは違う特色を
男性	50代	甲洋小学校区	除雪を丁寧にしてほしい
女性	60代	百石小学校区	病院
女性	50代	木ノ下小学校区	近隣市町との連携
女性	50代	木ノ下小学校区	側溝の整備。多国に雨が降ると道路に大きな水たまりがあちこちできるのが不満。
女性	40代	木ノ下小学校区	病院とゴミ処理場
女性	50代	木ノ下小学校区	屋内運動施設、プール
男性	40代	木ノ下小学校区	オールフリー

図表 6-3 都市基盤の整備にあたって重視すべきこと 上位3位
 (令和3年度/性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		災害に強いまちを目指した市街地の整備 34.2%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 28.1%	道路・公園など都市施設の整備 27.5%
性別	男性	道路・公園など都市施設の整備 32.0%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 31.5%	都市機能の集積を目指したまちづくり 30.4%
	女性	災害に強いまちを目指した市街地の整備 36.7%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 29.9%	道路・公園など都市施設の整備 23.8%
年齢	10代・20代	災害に強いまちを目指した市街地の整備 31.5%	道路・公園など都市施設の整備 31.5%	都市機能の集積を目指したまちづくり 30.1%
	30代	道路・公園など都市施設の整備 41.4%	都市機能の集積を目指したまちづくり 37.1%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 27.6%
	40代	都市機能の集積を目指したまちづくり 33.7%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 32.0%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 27.5%
	50代	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 34.2%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 30.1%	道路・公園など都市施設の整備 30.1%
	60代	災害に強いまちを目指した市街地の整備 36.7%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 26.7%	道路・公園など都市施設の整備 24.0%
	70歳以上	災害に強いまちを目指した市街地の整備 45.2%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 28.0%	公共施設などのバリアフリー化や福祉施設の充実 20.8%
居住地区	百石小学校区	災害に強いまちを目指した市街地の整備 42.6%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 30.6%	都市機能の集積を目指したまちづくり 27.7%
	甲洋小学校区	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 26.3%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 23.8%	ゆとりある居住環境整備や魅力ある景観形成 22.5%
	下田小学校区	災害に強いまちを目指した市街地の整備 36.6%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 34.1%	道路・公園など都市施設の整備 25.6%
	木内々小学校区	災害に強いまちを目指した市街地の整備 49.0%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 27.3%	道路・公園など都市施設の整備 24.5%
	木ノ下小学校区	道路・公園など都市施設の整備 38.5%	都市機能の集積を目指したまちづくり 29.2%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 26.5%

図表 6-4 都市基盤の整備にあたって重視すべきこと 上位 3 位
(平成 29 年度/性別・年齢・居住地区)

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		鉄道やバスなどの公共交通網の充実 32.1%	都市機能の集積を目指したまちづくり 28.9%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 27.8%
性別	男性	都市機能の集積を目指したまちづくり 32.7%	道路・公園など都市施設の整備 32.4%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 27.1%
	女性	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 35.6%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 29.2%	都市機能の集積を目指したまちづくり 26.3%
年齢	10代・20代	都市機能の集積を目指したまちづくり 42.4%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 30.6%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 25.9%
	30代	道路・公園など都市施設の整備 39.0%	都市機能の集積を目指したまちづくり 34.8%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 27.0%
	40代	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 37.1%	道路・公園など都市施設の整備 33.1%	都市機能の集積を目指したまちづくり 32.5%
	50代	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 38.4%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 32.9%	都市機能の集積を目指したまちづくり 30.1%
	60代	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 28.9%	災害に強いまちを目指した市街地の整備 28.4%	ゆとりある居住環境整備や魅力ある景観形成 25.5%
	70歳以上	災害に強いまちを目指した市街地の整備 35.9%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 31.2%	公共施設などのバリアフリー化や福祉施設の充実 22.4%
居住地区	百石小学校区	災害に強いまちを目指した市街地の整備 40.0%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 39.0%	都市機能の集積を目指したまちづくり 31.7%
	甲洋小学校区	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 34.4%	都市機能の集積を目指したまちづくり 31.2%	災害に強いまちを目指した市街地の整備／道路・公園など都市施設の整備 24.7%
	下田小学校区	都市機能の集積を目指したまちづくり 30.1%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実／ゆとりある居住環境整備や魅力ある景観形成／公共施設などのバリアフリー化や福祉施設の充実 25.3%	
	木内々小学校区	災害に強いまちを目指した市街地の整備 33.3%	ゆとりある居住環境整備や魅力ある景観形成 29.9%	都市機能の集積を目指したまちづくり 24.8%
	木ノ下小学校区	道路・公園など都市施設の整備 37.2%	鉄道やバスなどの公共交通網の充実 30.1%	都市機能の集積を目指したまちづくり 28.1%

3 地域の環境について

(1) 地域の環境に対する満足度

問 16 お住まいの地域の環境をどのように感じていますか。【それぞれの項目で1つ選択】

満足と不満への回答が最も多い項目

	「満足」への回答が多い項目		「不満」への回答が多い項目	
	令和3年度	平成29年度	令和3年度	平成29年度
1位	緑の豊かさ・うるおい	静けさ	バス交通の利便性	バス交通の利便性
2位	空気のきれいさ	空気のきれいさ	鉄道交通の利便性	鉄道交通の利便性
3位	静けさ	緑の豊かさ・うるおい	雨水排水	町立病院や診療所の立地・診療科目

① 全体

町の環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、都市基盤分野、生活環境分野、保健医療・福祉分野、教育・文化等分野、産業分野、行財政分野の6分野41項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。

その結果、「満足」と答えた人の割合が最も多かったのは、「緑の豊かさ・うるおい」(22.4%)で、次いで「空気のきれいさ」(21.6%)、「静けさ」(20.5%)、「住宅の密度」(20.3%)となっています。「やや満足」は「緑の豊かさ・うるおい」(25.3%)が最も多くなっています。

一方、「不満」が最も多いのは「バス交通の利便性」(19.1%)で、次いで「鉄道交通の利便性」(15.9%)、「雨水排水」(14.2%)、「町立病院や診療所の立地・診療科目」(13.6%)となっています。「やや不満」は「町立病院や診療所の立地・診療科目」(32.9%)が最も多く、次いで、「バス交通の利便性」(29.4%)となっています。

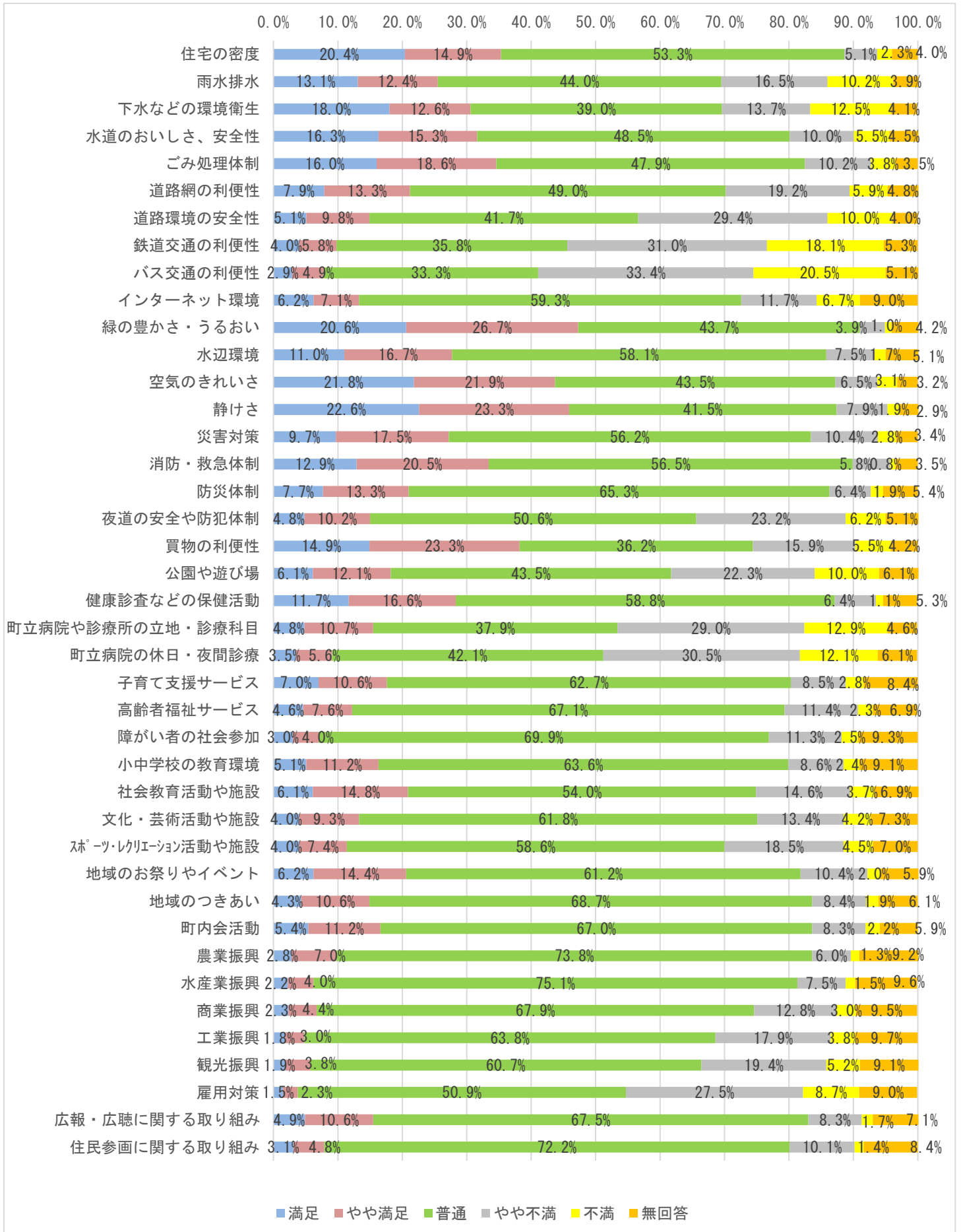
図表 7-1 地域の環境に対する満足・不満の割合（令和3年度/全体）

n = 961



図表 7-2 地域の環境に対する満足・不満の割合（平成 29 年度/全体）

n = 904

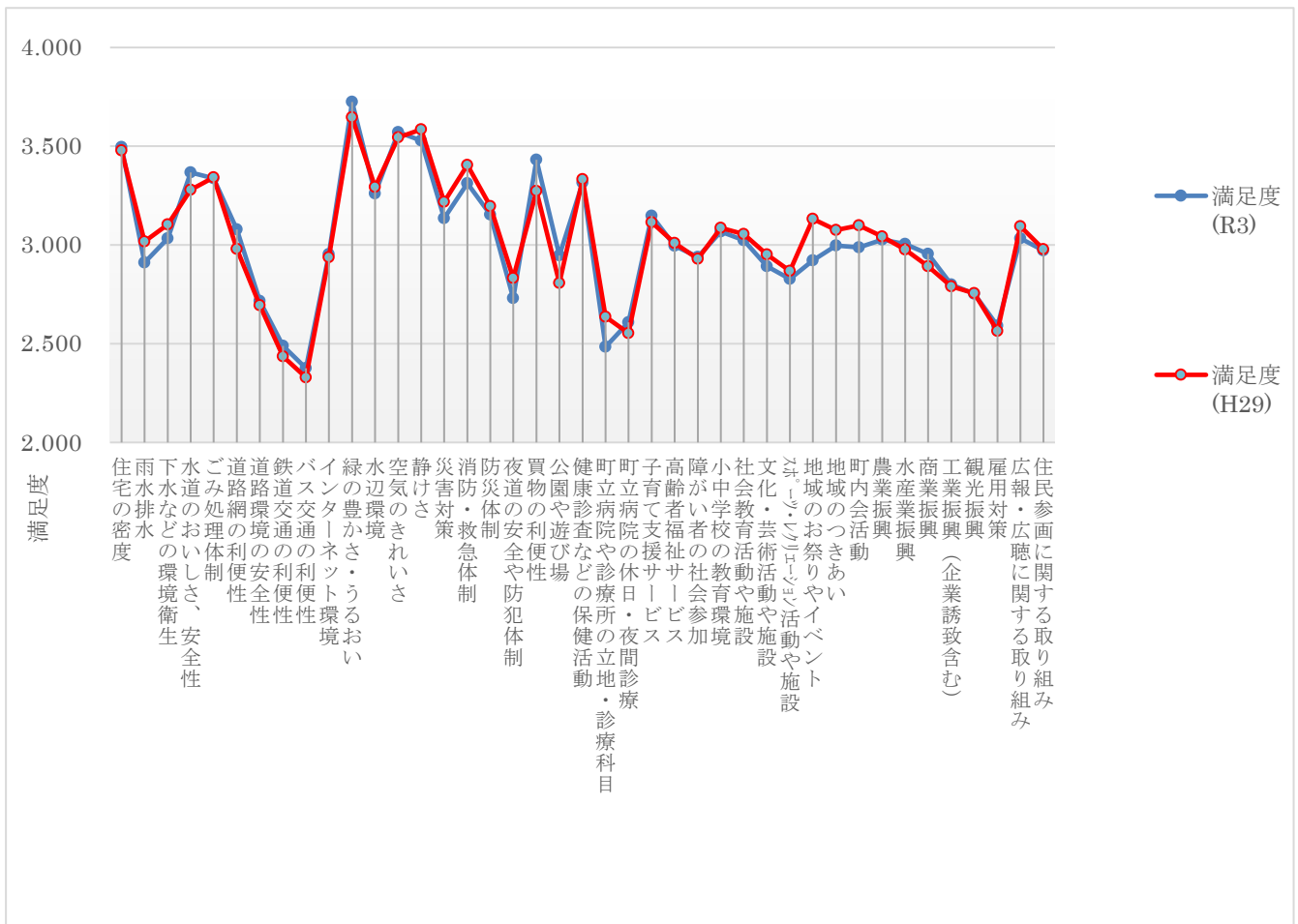


② 満足度

最も「満足度」が高いのは、「緑の豊かさ・うるおい」(3.724点)、「空気のきれいさ」(3.571点)「静けさ」(3.529点)の順となっています。一方、最も《満足度》が低いのは、「バス交通の利便性」(2.376点)で、以下、「町立病院や診療所の立地・診療科目」(2.483点)、「鉄道交通の利便性」(2.489点)などの順となっています。

また、平成29年度と比較して、満足度が上昇したのは41項目中18項目、減少したのは23項目でした。

図表 7-3 地域の環境に対する満足度の比較（令和3年度/平成29年度）



〈満足度〉

※「満足」「不満」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、全回答の平均値を【満足度】として数値化したもの。

$$\text{満足度} = \{ (\text{満足}) \times 5 + (\text{まあまあ満足}) \times 4 + (\text{普通}) \times 3 + (\text{やや不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1 \} \div \{ (\text{回答者数} - \text{無回答}) \}$$

図表 7-4 地域の環境に対する満足度（令和3年度/全体）

項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計	満足度	
都市基盤	住宅の密度	195	133	509	47	15	62	961	3.496
	雨水排水	132	107	346	180	136	60	961	2.910
	下水などの環境衛生	156	107	376	131	129	62	961	3.033
	水道のおいしさ、安全性	164	155	469	64	45	64	961	3.367
	ごみ処理体制	170	161	444	93	49	44	961	3.338
	道路網の利便性	89	155	450	148	57	62	961	3.079
	道路環境の安全性	47	108	384	263	97	62	961	2.716
	鉄道交通の利便性	27	58	378	247	153	98	961	2.489
	バス交通の利便性	28	47	336	283	184	83	961	2.376
	インターネット環境	70	74	489	114	69	145	961	2.953
生活環境	緑の豊かさ・うるおい	215	243	415	19	3	66	961	3.724
	水辺環境	108	162	472	80	37	102	961	3.261
	空気のきれいさ	208	203	403	64	21	62	961	3.571
	静けさ	197	222	381	85	25	51	961	3.529
	災害対策	87	144	505	110	44	71	961	3.135
	消防・救急体制	104	157	557	54	17	72	961	3.312
	防災体制	62	110	613	59	21	96	961	3.154
	夜道の安全や防犯体制	36	86	442	251	73	73	961	2.731
	買物の利便性	165	242	362	107	36	49	961	3.431
公園や遊び場	69	144	408	203	63	74	961	2.947	
保健・医療・福祉	健康診査などの保健活動	105	158	561	54	16	67	961	3.315
	町立病院や診療所の立地・診療科目	31	63	336	316	131	84	961	2.483
	町立病院の休日・夜間診療	23	39	457	222	95	125	961	2.609
	子育て支援サービス	51	110	533	67	15	185	961	3.148
	高齢者福祉サービス	29	75	569	89	24	175	961	2.995
障がい者の社会参加	22	32	562	96	12	237	961	2.939	
教育・文化等	小中学校の教育環境	49	85	526	74	29	198	961	3.067
	社会教育活動や施設	56	92	521	125	30	137	961	3.023
	文化・芸術活動や施設	30	58	536	147	29	161	961	2.891
	スポーツ・レクリエーション活動や施設	34	55	502	150	55	165	961	2.828
	地域のお祭りやイベント	40	59	567	137	34	124	961	2.921
	地域のつきあい	37	56	653	88	22	105	961	2.998
	町内会活動	40	68	628	101	29	95	961	2.987
産業	農業振興	31	48	563	59	16	244	961	3.026
	水産業振興	25	41	558	58	15	264	961	3.004
	商業振興	23	53	517	97	17	254	961	2.955
	工業振興	20	24	491	122	41	263	961	2.799
	観光振興	17	30	477	137	52	248	961	2.752
	雇用対策	16	21	421	183	83	237	961	2.591
行財政	広報・広聴に関する取り組み	39	75	559	79	24	185	961	3.034
	住民参画に関する取り組み	26	39	570	71	20	235	961	2.972

図表 7-5 地域の環境に対する満足度の順位（令和3年度 平成29年度/全体）

順位(R3)	順位(R29)	設問番号	項目	満足度(R3)	満足度(H29)	比較
1	1	11	緑の豊かさ・うるおい	3.724	3.647	増加
2	3	13	空気のきれいさ	3.571	3.545	増加
3	2	14	静けさ	3.529	3.585	減少
4	4	1	住宅の密度	3.496	3.478	増加
5	10	19	買物の利便性	3.431	3.273	増加
6	9	4	水道のおいしさ、安全性	3.367	3.280	増加
7	6	5	ごみ処理体制	3.338	3.342	減少
8	7	21	健康診査などの保健活動	3.315	3.332	減少
9	5	16	消防・救急体制	3.312	3.405	減少
10	8	12	水辺環境	3.261	3.293	減少
11	12	17	防災体制	3.154	3.196	減少
12	14	24	子育て支援サービス	3.148	3.115	増加
13	11	15	災害対策	3.135	3.218	減少
14	24	6	道路網の利便性	3.079	2.979	増加
15	18	27	小中学校の教育環境	3.067	3.086	減少
16	17	40	広報・広聴に関する取り組み	3.034	3.094	減少
17	15	3	下水などの環境衛生	3.033	3.104	減少
18	21	34	農業振興	3.026	3.043	減少
19	20	28	社会教育活動や施設	3.023	3.055	減少
20	26	35	水産業振興	3.004	2.976	増加
21	19	32	地域のつきあい	2.998	3.075	減少
22	23	25	高齢者福祉サービス	2.995	3.010	減少
23	16	33	町内会活動	2.987	3.099	減少
24	25	41	住民参画に関する取り組み	2.972	2.978	減少
25	30	36	商業振興	2.955	2.892	増加
26	28	10	インターネット環境	2.953	2.937	増加
27	33	20	公園や遊び場	2.947	2.808	増加
28	29	26	障がい者の社会参加	2.939	2.929	増加
29	13	31	地域のお祭りやイベント	2.921	3.132	減少
30	22	2	雨水排水	2.910	3.017	減少
31	27	29	文化・芸術活動や施設	2.891	2.951	減少
32	31	30	スポーツ・レクリエーション活動や施設	2.828	2.869	減少
33	34	37	工業振興(企業誘致含む)	2.799	2.790	増加
34	35	38	観光振興	2.752	2.755	減少
35	32	18	夜道の安全や防犯体制	2.731	2.832	減少
36	36	7	道路環境の安全性	2.716	2.695	増加
37	39	23	町立病院の休日・夜間診療	2.609	2.554	増加
38	38	39	雇用対策	2.591	2.565	増加
39	40	8	鉄道交通の利便性	2.489	2.435	増加
40	37	22	町立病院や診療所の立地・診療科目	2.483	2.637	減少
41	41	9	バス交通の利便性	2.376	2.329	増加

③ 年齢ごとの満足度

最も平均「満足度」が高いのは、10代・20代(3.197点)でした。

※前回(平成29年度)で最も「満足度」が高かったのは、70代(3.156点)でした。

	令和3年度 満足度 (平均)	平成29年度 満足度 (平均)
10代・20代	3.197	3.139
30代	3.049	3.073
40代	3.000	2.969
50代	3.022	2.875
60代	2.952	3.042
70代	3.107	3.156

④ 居住地区ごとの満足度

最も平均「満足度」が高いのは、百石小学校区(3.086点)でした。

※前回(平成29年度)で最も「満足度」が高かったのは、木内々小学校区(3.192点)でした。

	令和3年度 満足度 (平均)	平成29年度 満足度 (平均)
百石小学校区	3.086	3.055
甲洋小学校区	2.970	3.008
下田小学校区	3.076	3.043
木内々小学校区	3.055	3.192
木ノ下小学校区	2.970	2.984

図表 7-6 地域の環境に対する満足度（令和3年度/年齢）

n = 949

	項目	10・20代	30代	40代	50代	60代	70代
都市 基盤	住宅の密度	3.485	3.596	3.416	3.496	3.434	3.593
	雨水排水	3.297	3.097	2.896	2.910	2.811	2.748
	下水などの環境衛生	3.441	3.186	2.839	3.033	2.990	3.063
	水道のおいしさ、安全性	3.606	3.369	3.273	3.367	3.280	3.527
	ごみ処理体制	3.561	3.168	3.306	3.338	3.335	3.573
	道路網の利便性	3.403	3.140	3.110	3.079	2.980	3.089
	道路環境の安全性	2.971	2.772	2.637	2.716	2.635	2.863
	鉄道交通の利便性	2.667	2.500	2.383	2.489	2.462	2.709
	バス交通の利便性	2.545	2.509	2.324	2.376	2.296	2.493
	インターネット環境	2.955	2.982	3.012	2.953	2.867	3.150
	生活 環境	緑の豊かさ・うるおい	3.833	3.804	3.793	3.724	3.621
水辺環境		3.492	3.409	3.369	3.261	3.063	3.137
空気のきれいさ		3.800	3.416	3.602	3.571	3.483	3.735
静けさ		3.561	3.611	3.586	3.529	3.416	3.559
災害対策		3.431	3.162	3.170	3.135	3.010	3.204
消防・救急体制		3.538	3.261	3.290	3.312	3.234	3.470
防災体制		3.348	3.139	3.180	3.154	3.021	3.261
夜道の安全や防犯体制		2.818	2.652	2.676	2.731	2.677	2.925
買物の利便性		3.618	3.598	3.523	3.431	3.312	3.435
公園や遊び場		3.119	2.857	2.855	2.947	2.882	3.106
保健・ 医療・ 福祉		健康診査などの保健活動	3.507	3.389	3.259	3.315	3.217
	町立病院や診療所の立地・診療科目	2.773	2.431	2.520	2.483	2.357	2.592
	町立病院の休日・夜間診療	2.875	2.407	2.552	2.609	2.564	2.818
	子育て支援サービス	3.141	3.208	3.159	3.148	3.107	3.140
	高齢者福祉サービス	3.098	3.091	2.947	2.995	2.972	3.016
	障がい者の社会参加	3.117	3.021	2.886	2.939	2.875	2.980
教育・ 文化等	小中学校の教育環境	3.183	3.100	3.025	3.067	3.048	3.168
	社会教育活動や施設	3.141	3.097	2.970	3.023	2.962	3.127
	文化・芸術活動や施設	3.016	2.871	2.926	2.891	2.863	3.008
	スポーツ・レクリエーション活動や施設	2.921	2.784	2.784	2.828	2.824	3.008
	地域のお祭りやイベント	3.108	2.723	2.892	2.921	2.889	3.104
	地域のつきあい	3.092	2.931	2.941	2.998	2.958	3.064
	町内会活動	3.125	3.000	2.880	2.987	2.918	3.123
産業	農業振興	3.293	3.137	3.039	3.026	2.944	2.990
	水産業振興	3.172	3.086	3.027	3.004	2.962	2.977
	商業振興	3.051	3.011	2.914	2.955	2.923	3.022
	工業振興	3.017	2.957	2.745	2.799	2.758	2.779
	観光振興	2.898	2.827	2.689	2.752	2.788	2.772
	雇用対策	2.797	2.700	2.570	2.591	2.506	2.703
行 財政	広報・広聴に関する取り組み	3.097	3.021	3.031	3.034	2.920	3.202
	住民参画に関する取り組み	3.180	2.989	3.013	2.972	2.884	3.032
	平均	3.197	3.049	3.000	3.022	2.952	3.107

図表 7-7 地域の環境に対する満足度（平成 29 年度/年齢） n = 897

	項目	10・20代	30代	40代	50代	60代	70代
都市 基盤	住宅の密度	3.659	3.571	3.493	3.361	3.505	3.369
	雨水排水	3.282	3.236	2.913	2.738	2.909	3.178
	下水などの環境衛生	3.318	3.079	2.839	2.814	3.262	3.365
	水道のおいしさ、安全性	3.553	3.302	3.140	3.014	3.359	3.445
	ごみ処理体制	3.400	3.179	3.273	3.183	3.411	3.623
	道路網の利便性	3.036	3.043	2.953	2.775	3.020	3.084
	道路環境の安全性	2.871	2.593	2.507	2.503	2.832	2.897
	鉄道交通の利便性	2.412	2.413	2.195	2.231	2.613	2.706
	バス交通の利便性	2.412	2.348	2.184	2.069	2.421	2.565
	インターネット環境	2.905	3.000	2.832	2.854	2.978	3.069
生活 環境	緑の豊かさ・うるおい	3.762	3.871	3.673	3.531	3.510	3.630
	水辺環境	3.471	3.446	3.376	3.097	3.182	3.329
	空気のきれいさ	3.753	3.600	3.507	3.352	3.492	3.682
	静けさ	3.765	3.593	3.480	3.451	3.641	3.649
	災害対策	3.447	3.207	3.213	3.049	3.193	3.333
	消防・救急体制	3.424	3.271	3.433	3.215	3.459	3.613
	防災体制	3.395	3.243	3.211	3.021	3.130	3.288
	夜道の安全や防犯体制	3.038	2.748	2.830	2.613	2.893	2.959
	買物の利便性	3.195	3.586	3.331	3.056	3.286	3.193
	公園や遊び場	2.732	2.768	2.585	2.745	2.906	3.077
保健・ 医療・ 福祉	健康診査などの保健活動	3.309	3.396	3.190	3.176	3.391	3.517
	町立病院や診療所の立地・診療科目	2.877	2.486	2.503	2.385	2.648	3.034
	町立病院の休日・夜間診療	2.691	2.400	2.401	2.357	2.617	2.899
	子育て支援サービス	3.136	3.364	3.027	3.014	3.086	3.092
	高齢者福祉サービス	3.148	3.108	2.904	2.820	2.990	3.163
	障がい者の社会参加	3.100	2.971	2.910	2.824	2.859	3.023
教育・ 文化等	小中学校の教育環境	3.241	3.159	3.062	2.906	3.093	3.142
	社会教育活動や施設	3.111	3.101	2.931	2.845	3.101	3.262
	文化・芸術活動や施設	3.000	3.007	2.891	2.794	2.989	3.058
	スポーツ・レクリエーション活動や施設	2.854	2.921	2.803	2.700	2.915	3.029
	地域のお祭りやイベント	3.085	3.232	3.075	2.979	3.125	3.303
	地域のつきあい	3.134	3.051	3.054	3.028	3.021	3.224
	町内会活動	3.085	3.050	3.068	3.035	3.069	3.299
産業	農業振興	3.210	3.116	3.028	2.993	2.995	3.000
	水産業振興	3.074	3.029	2.993	2.906	2.961	2.932
	商業振興	3.000	2.971	2.890	2.804	2.878	2.857
	工業振興	2.951	2.891	2.828	2.696	2.729	2.727
	観光振興	2.939	2.783	2.759	2.623	2.727	2.794
	雇用対策	2.765	2.609	2.500	2.417	2.508	2.732
行 財政	広報・広聴に関する取り組み	3.146	3.188	3.021	2.972	3.096	3.186
	住民参画に関する取り組み	3.012	3.080	2.931	2.914	2.929	3.052
	平均	3.139	3.073	2.969	2.875	3.042	3.156

図表 7-8 地域の環境に対する満足度（令和3年度/居住地区） n=917

	項目	百石小区	甲洋小区	下田小区	木内々小区	木ノ下小区
都市基盤	住宅の密度	3.484	3.629	3.587	3.511	3.447
	雨水排水	2.982	3.329	3.000	2.731	2.837
	下水などの環境衛生	3.471	3.565	3.237	3.301	2.552
	水道のおいしさ、安全性	3.596	3.425	3.487	3.489	3.159
	ごみ処理体制	3.553	3.473	3.429	3.453	3.121
	道路網の利便性	3.268	3.137	2.933	3.207	2.932
	道路環境の安全性	2.937	2.861	2.747	2.887	2.489
	鉄道交通の利便性	2.374	2.286	2.467	2.882	2.444
	バス交通の利便性	2.378	2.000	2.440	2.667	2.319
	インターネット環境	2.964	2.852	2.971	2.874	2.994
生活環境	緑の豊かさ・うるおい	3.721	3.580	3.816	3.761	3.703
	水辺環境	3.201	2.930	3.405	3.361	3.287
	空気のきれいさ	3.437	3.472	3.882	3.692	3.561
	静けさ	3.547	3.301	3.714	3.585	3.485
	災害対策	2.973	2.959	3.325	3.030	3.276
	消防・救急体制	3.318	3.205	3.299	3.386	3.306
	防災体制	3.134	3.085	3.078	3.178	3.199
	夜道の安全や防犯体制	2.851	2.583	2.692	2.731	2.720
	買物の利便性	3.689	2.973	3.203	3.537	3.395
	公園や遊び場	3.268	2.754	2.671	2.985	2.822
保健・医療・福祉	健康診査などの保健活動	3.405	3.113	3.247	3.430	3.266
	町立病院や診療所の立地・診療科目	2.641	2.507	2.662	2.333	2.404
	町立病院の休日・夜間診療	2.656	2.710	2.592	2.551	2.586
	子育て支援サービス	3.211	3.078	3.268	3.142	3.109
	高齢者福祉サービス	3.011	2.818	3.057	3.047	2.987
	障がい者の社会参加	2.906	2.767	2.985	2.955	2.986
教育・文化等	小中学校の教育環境	3.120	2.873	3.179	3.017	3.066
	社会教育活動や施設	3.232	3.104	3.029	3.040	2.876
	文化・芸術活動や施設	2.974	2.984	3.000	2.864	2.816
	スポーツ・レクリエーション活動や施設	2.916	2.919	2.971	2.847	2.730
	地域のお祭りやイベント	3.045	2.896	3.041	2.915	2.834
	地域のつきあい	3.126	2.896	3.013	2.879	2.985
	町内会活動	3.089	2.896	2.908	2.917	2.991
産業	農業振興	2.983	2.918	3.061	3.045	3.065
	水産業振興	2.988	2.931	3.079	2.981	3.022
	商業振興	3.006	2.825	3.077	2.982	2.894
	工業振興	2.754	2.759	2.938	2.771	2.800
	観光振興	2.721	2.772	2.923	2.723	2.719
	雇用対策	2.548	2.583	2.682	2.609	2.570
行財政	広報・広聴に関する取り組み	3.077	3.068	2.971	3.073	3.000
	住民参画に関する取り組み	2.977	2.966	3.043	2.870	2.996
	平均	3.086	2.970	3.076	3.055	2.970

図表 7-9 地域の環境に対する満足度（平成 29 年度/居住地区） n = 864

	項目	百石小区	甲洋小区	下田小区	木内々小区	木ノ下小区
都市基盤	住宅の密度	3.419	3.483	3.608	3.586	3.494
	雨水排水	3.144	3.205	2.962	3.122	2.905
	下水などの環境衛生	3.508	3.205	3.456	3.535	2.656
	水道のおいしさ、安全性	3.448	3.402	3.372	3.614	3.067
	ごみ処理体制	3.523	3.261	3.443	3.431	3.227
	道路網の利便性	3.099	2.816	2.872	3.190	2.938
	道路環境の安全性	2.794	2.716	2.772	2.887	2.578
	鉄道交通の利便性	2.192	2.238	2.597	3.034	2.381
	バス交通の利便性	2.155	2.093	2.506	2.826	2.297
	インターネット環境	2.938	2.795	2.932	2.991	2.962
	生活環境	緑の豊かさ・うるおい	3.604	3.616	3.557	3.802
水辺環境		3.229	3.375	3.416	3.430	3.261
空気のきれいさ		3.421	3.420	3.747	3.702	3.543
静けさ		3.609	3.506	3.785	3.534	3.580
災害対策		2.995	3.216	3.192	3.216	3.383
消防・救急体制		3.449	3.227	3.372	3.522	3.411
防災体制		3.102	3.282	3.077	3.369	3.202
夜道の安全や防犯体制		2.856	2.851	2.848	2.882	2.805
買物の利便性		3.589	2.747	2.962	3.598	3.219
公園や遊び場		3.126	2.651	2.662	3.037	2.625
保健・医療・福祉		健康診査などの保健活動	3.413	3.322	3.413	3.469
	町立病院や診療所の立地・診療科目	2.629	2.678	2.615	2.791	2.589
	町立病院の休日・夜間診療	2.490	2.565	2.641	2.745	2.506
	子育て支援サービス	3.160	3.133	3.179	3.150	3.067
	高齢者福祉サービス	3.058	2.940	3.000	3.174	2.952
	障がい者の社会参加	2.924	2.929	2.920	2.972	2.927
	教育・文化等	小中学校の教育環境	2.995	3.159	3.147	3.112
社会教育活動や施設		3.286	3.202	2.923	3.218	2.868
文化・芸術活動や施設		2.984	3.048	2.885	3.091	2.894
スポーツ・レクリエーション活動や施設		2.901	2.952	2.833	3.083	2.785
地域のお祭りやイベント		3.251	3.093	3.218	3.367	2.986
地域のつきあい		3.088	3.047	3.026	3.291	3.031
町内会活動		3.071	3.047	3.077	3.220	3.097
産業	農業振興	2.973	2.988	3.038	3.057	3.082
	水産業振興	2.902	2.951	2.933	2.991	3.023
	商業振興	2.820	2.867	2.921	2.972	2.897
	工業振興	2.798	2.732	2.667	2.917	2.797
	観光振興	2.719	2.841	2.671	2.869	2.747
	雇用対策	2.484	2.675	2.545	2.750	2.542
	行財政	広報・広聴に関する取り組み	3.120	3.074	3.065	3.270
住民参画に関する取り組み		2.979	2.988	2.897	3.065	2.986
	平均	3.055	3.008	3.043	3.192	2.984

図表 7-10 居住地区の満足度 上位 3 位
 (令和 3 年度/全体・居住地区) ※複数回答

(単位：評価点)

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		緑の豊かさ・うるおい 3.724	静けさ 3.571	空気のきれいさ 3.529
居住地区	百石小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.721	買物の利便性 3.689	水道のおいしさ、安全性 3.596
	甲洋小学校区	住宅の密度 3.629	緑の豊かさ・うるおい 3.580	下水などの環境衛生 3.565
	下田小学校区	空気のきれいさ 3.882	緑の豊かさ・うるおい 3.816	静けさ 3.714
	木内々小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.761	空気のきれいさ 3.692	静けさ 3.585
	木ノ下小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.703	空気のきれいさ 3.561	静けさ 3.485

図表 7-11 居住地区の満足度 上位 3 位
 (平成 29 年度/全体・居住地区) ※複数回答

(単位：評価点)

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		緑の豊かさ・うるおい 3.647	静けさ 3.585	空気のきれいさ 3.545
居住地区	百石小学校区	静けさ 3.609	緑の豊かさ・うるおい 3.604	買物の利便性 3.589
	甲洋小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.616	静けさ 3.506	住宅の密度 3.483
	下田小学校区	静けさ 3.785	空気のきれいさ 3.747	住宅の密度 3.608
	木内々小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.802	空気のきれいさ 3.702	水道のおいしさ、安全性 3.614
	木ノ下小学校区	緑の豊かさ・うるおい 3.659	静けさ 3.580	空気のきれいさ 3.543

図表 7-12 居住地区の満足度 下位 3 位
(令和 3 年度/全体・居住地区) ※複数回答

(単位：評価点)

令和3年度	第41位	第40位	第39位	
全体	バス交通の利便性 2.376	町立病院や診療所の立地・診療科目 2.483	鉄道交通の利便性 2.489	
居住地区	百石小学校区	鉄道交通の利便性 2.374	バス交通の利便性 2.378	雇用対策 2.548
	甲洋小学校区	バス交通の利便性 2.000	鉄道交通の利便性 2.286	町立病院や診療所の立地・診療科目 2.507
	下田小学校区	バス交通の利便性 2.440	鉄道交通の利便性 2.467	町立病院の休日・夜間診療 2.592
	木内々小学校区	町立病院や診療所の立地・診療科目 2.333	町立病院の休日・夜間診療 2.551	雇用対策 2.609
	木ノ下小学校区	バス交通の利便性 2.319	町立病院や診療所の立地・診療科目 2.404	鉄道交通の利便性 2.444

図表 7-13 居住地区の満足度 下位 3 位
(平成 29 年度/全体・居住地区) ※複数回答

(単位：評価点)

平成29年度	第41位	第40位	第39位	
全体	バス交通の利便性 2.329	鉄道交通の利便性 2.435	町立病院の休日・夜間診療 2.554	
居住地区	百石小学校区	バス交通の利便性 2.155	鉄道交通の利便性 2.192	雇用対策 2.484
	甲洋小学校区	バス交通の利便性 2.093	鉄道交通の利便性 2.238	町立病院の休日・夜間診療 2.565
	下田小学校区	バス交通の利便性 2.506	雇用対策 2.545	鉄道交通の利便性 2.597
	木内々小学校区	町立病院の休日・夜間診療 2.745	雇用対策 2.750	町立病院や診療所の立地・診療科目 2.791
	木ノ下小学校区	バス交通の利便性 2.297	鉄道交通の利便性 2.381	町立病院の休日・夜間診療 2.506

4 保健・福祉・医療について

(1) 心身ともに健康と感じているか

問 17 あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

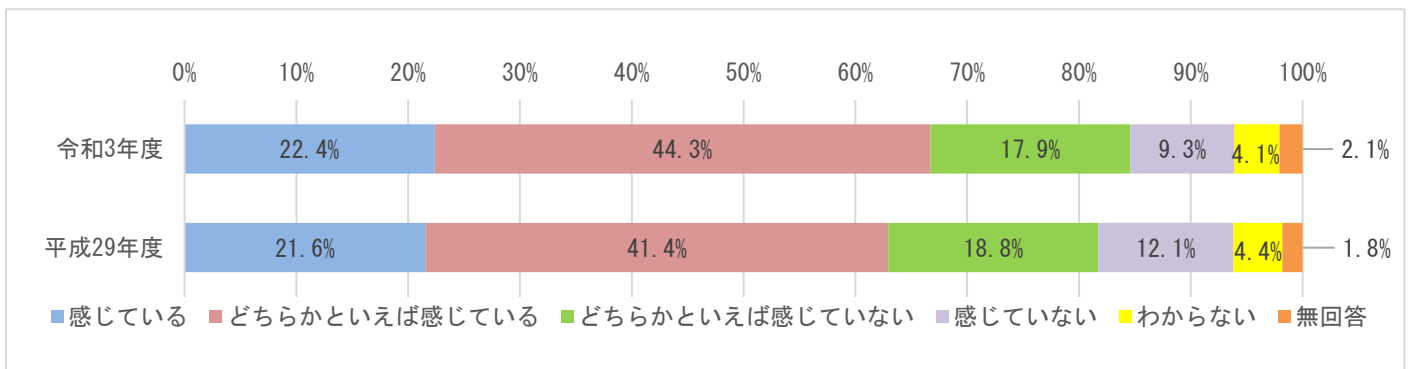
● “感じている”が66.7%、“感じていない”は27.2%。

※平成29年度は“感じている”が63.0%、“感じていない”は30.9%。

「感じている」(22.4%)、「どちらかといえば感じている」(44.3%)を合わせた“感じている”が66.7%、一方、「どちらかといえば感じていない」(17.9%)、「感じていない」(9.3%)を合わせた“感じていない”が27.2%、となっています。

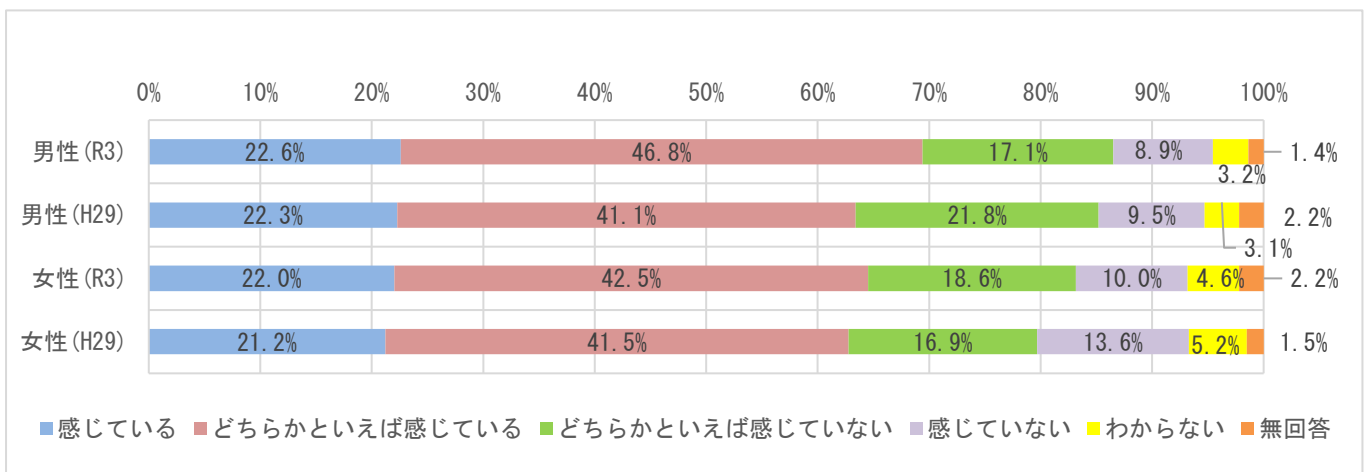
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
感じている	22.4	21.6
どちらかといえば感じている	44.3	41.4
どちらかといえば感じていない	17.9	18.8
感じていない	9.3	12.1
わからない	4.1	4.4
わからない	4.1	4.4

図表 8-1 心身ともに健康と感じているか（全体）



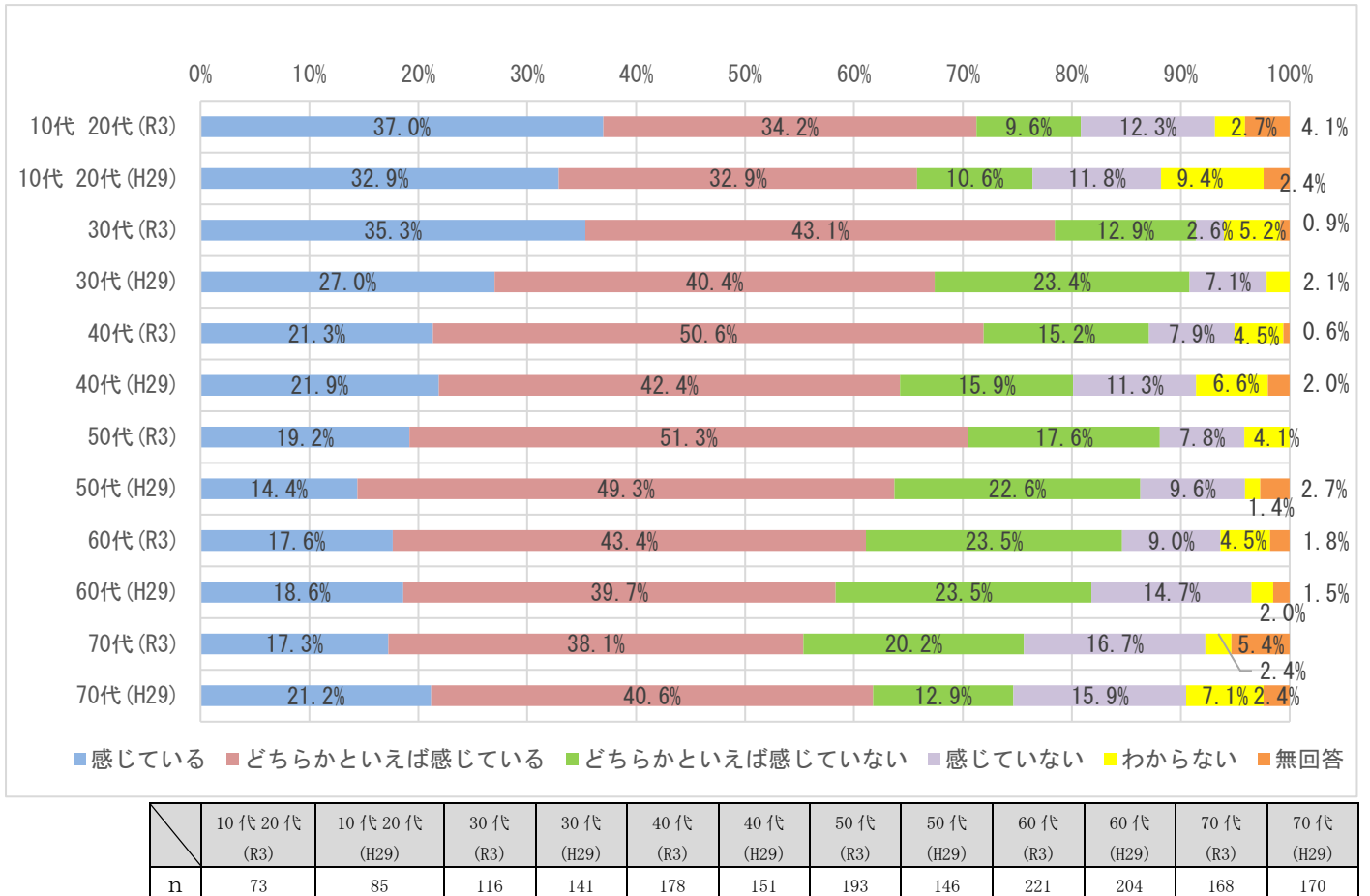
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 8-2 心身ともに健康と感じているか（性別）

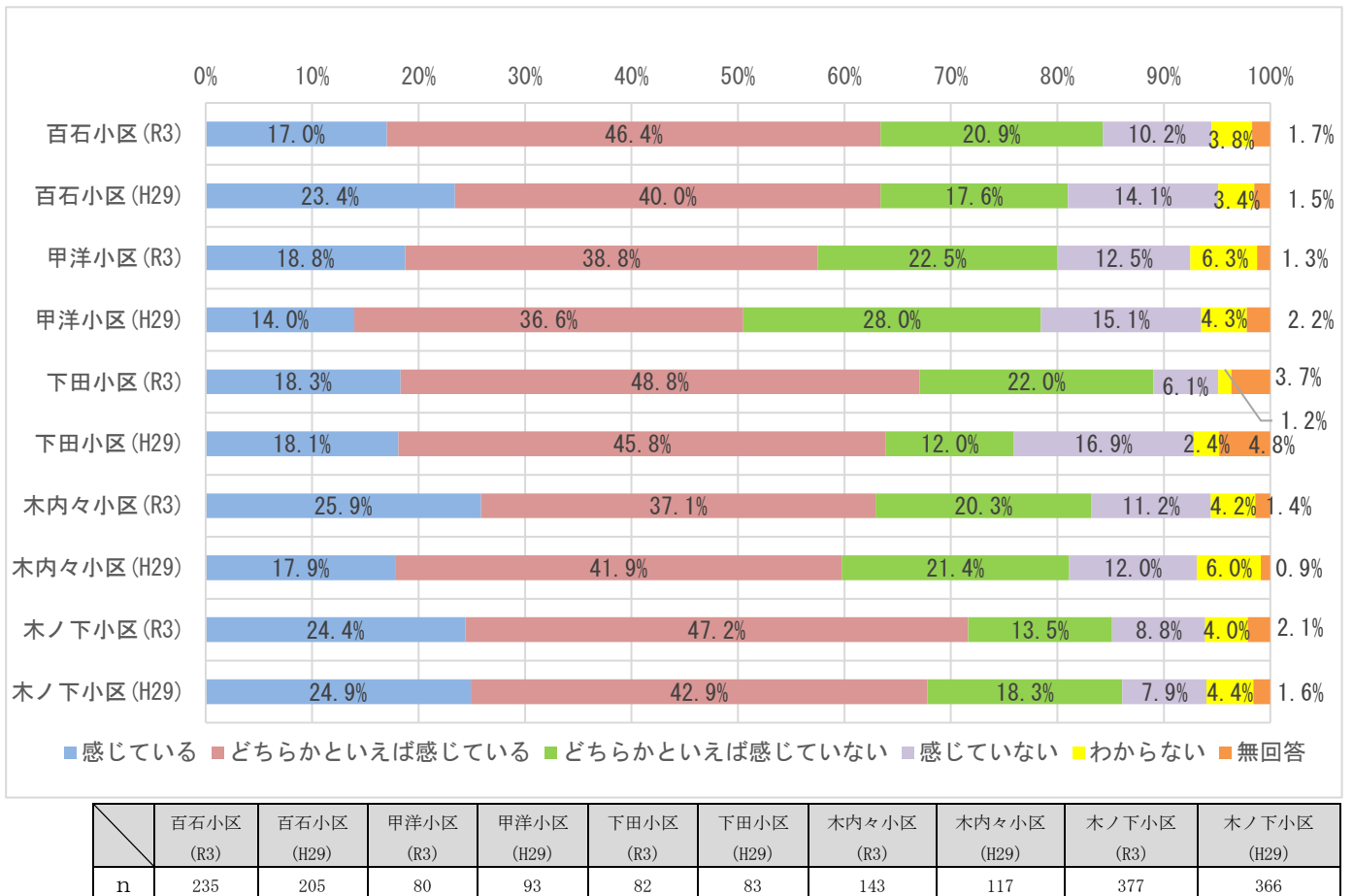


	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 8-3 心身ともに健康と感じているか（年齢）



図表 8-4 心身ともに健康と感じているか（居住地区）



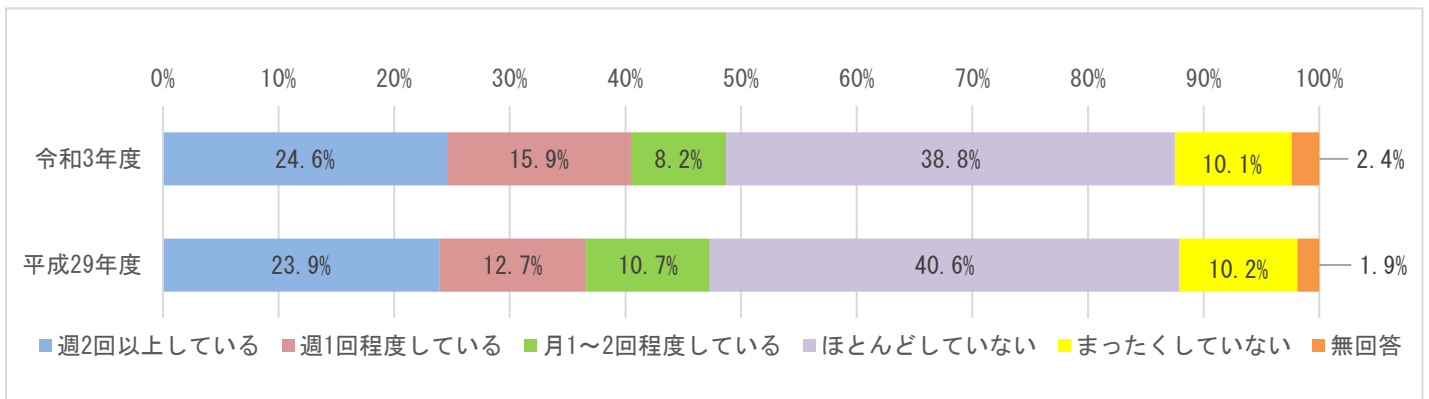
(2) 健康のために運動をしているか

問 18 あなたは、健康維持・増進のために、意識的に運動をしていますか。

- 「まったくしていない」は10.1%。「ほとんどしていない」は38.8%。
※平成29年度は「まったくしていない」は10.2%。「ほとんどしていない」は40.6%。

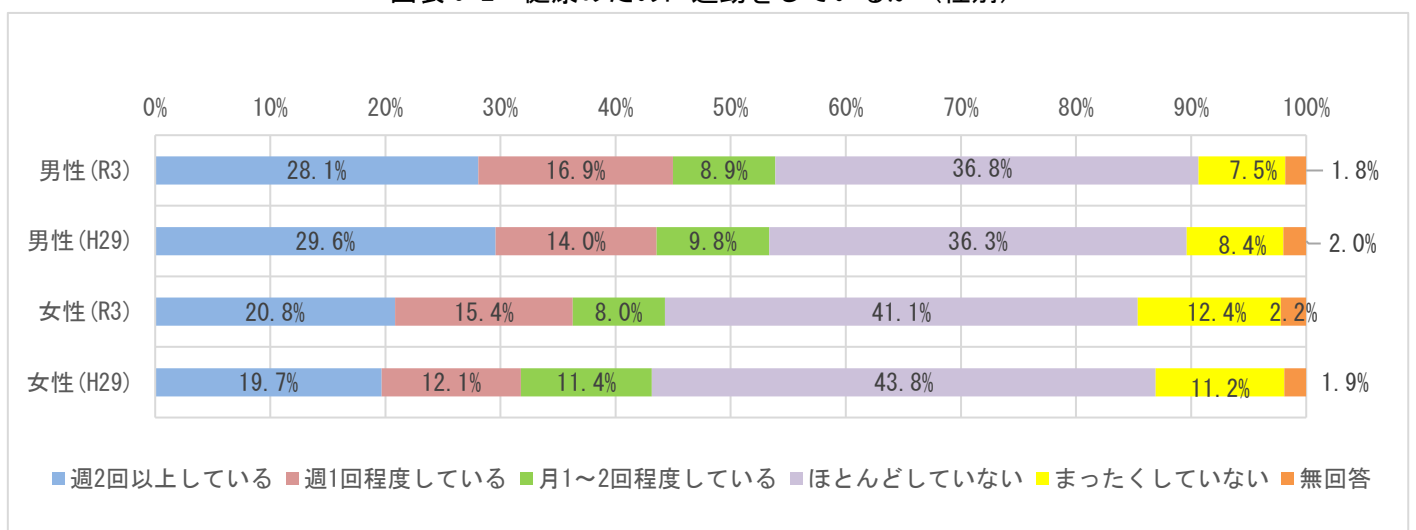
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
週2回以上している	24.6	23.9
週1回程度している	15.9	12.7
月1～2回程度している	8.2	10.7
ほとんどしていない	38.8	40.6
まったくしていない	10.1	10.2

図表 9-1 健康のために運動をしているか（全体）



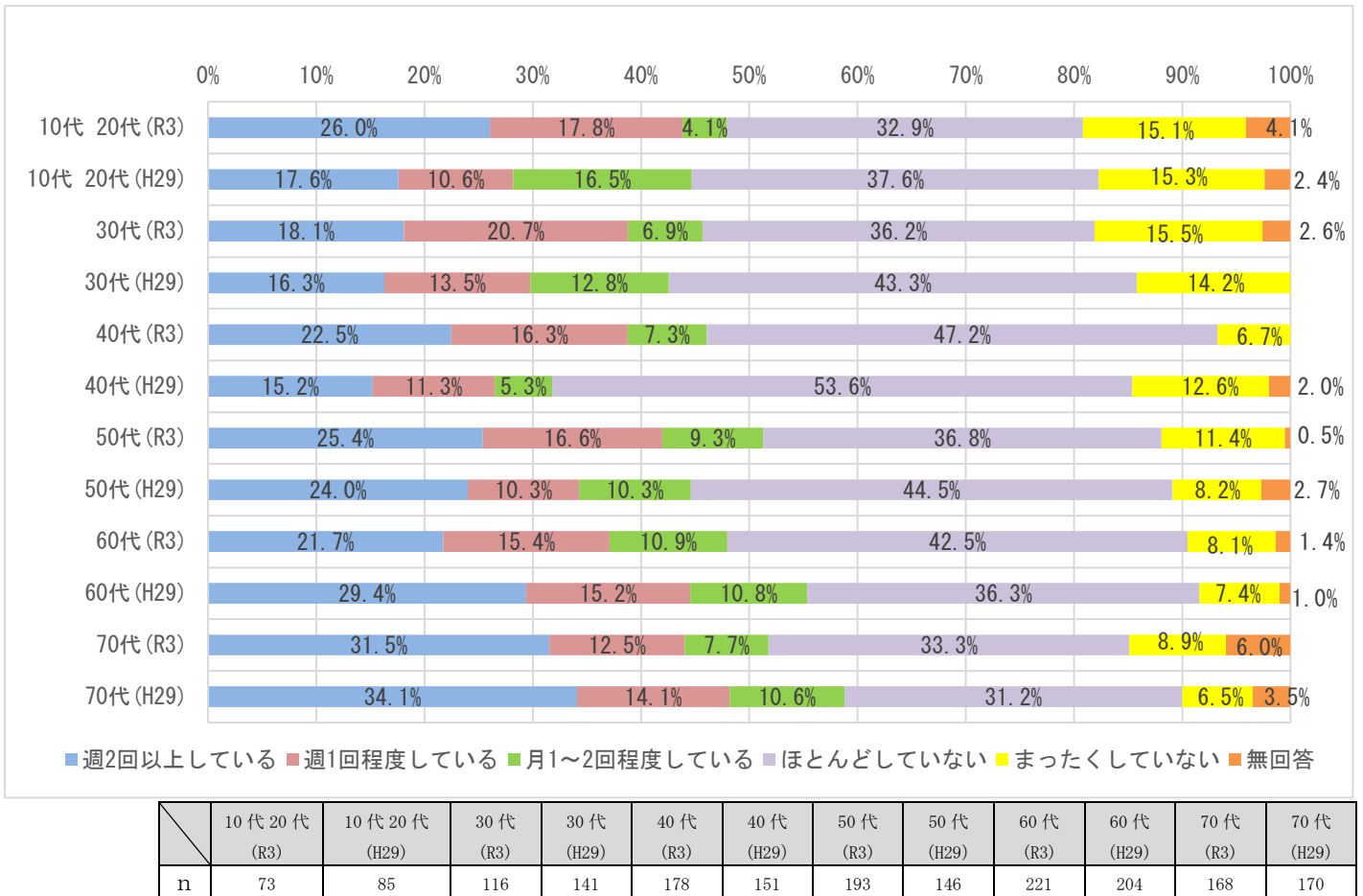
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 9-2 健康のために運動をしているか（性別）

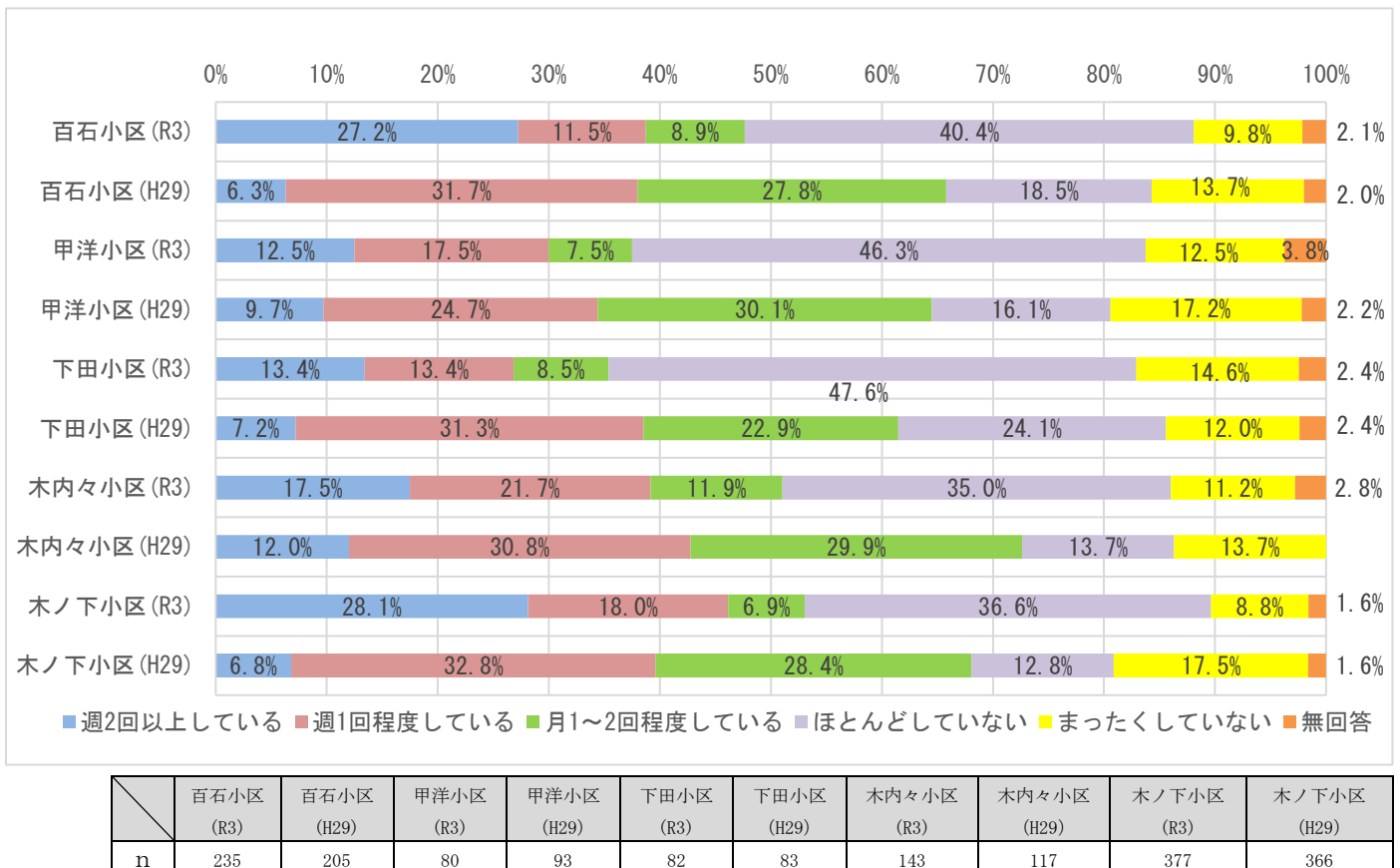


	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 9-3 健康のために運動をしているか（年齢）



図表 9-4 健康のために運動をしているか（居住地区）



(3) バランスの良い食事を意識しているか

問 19 あなたは、日頃からバランスの良い食事を意識していますか。

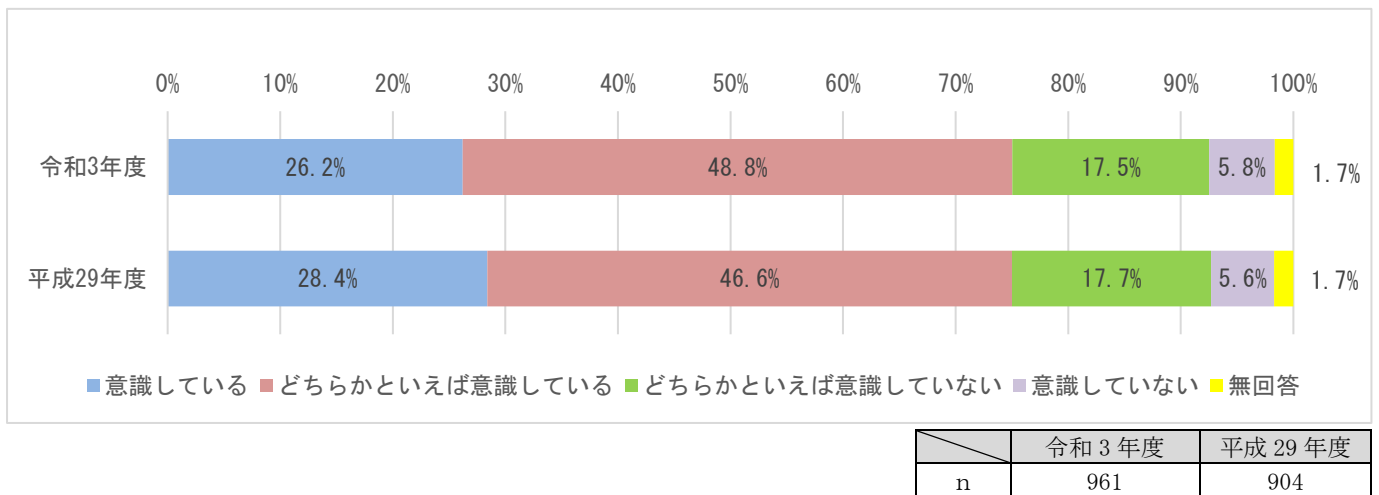
● “意識している” が 75.0%、“意識していない” が 23.3%。

※平成 29 年度は “意識している” が 75.0%、“意識していない” が 23.3%。

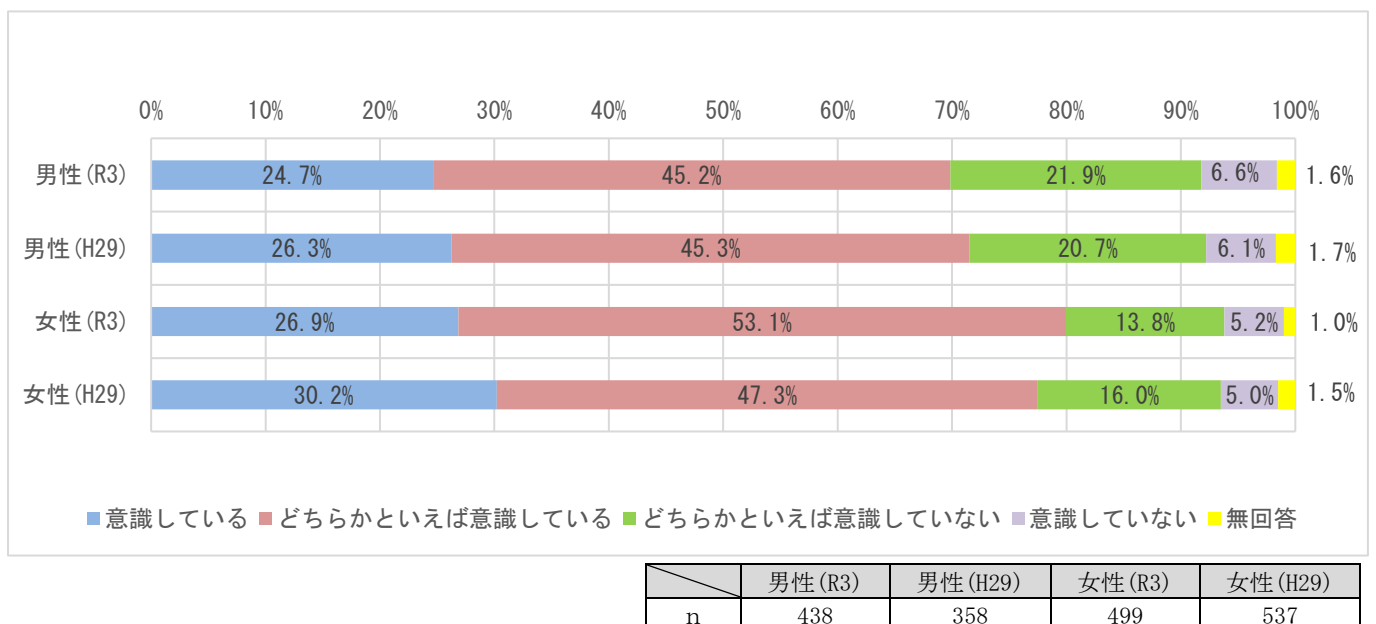
「意識している」(26.2%)と「どちらかといえば意識している」(48.8%)を合わせた“意識している”が75.0%、一方、「どちらかといえば意識していない」(17.5%)と「意識していない」(5.8%)を合わせた“意識していない”が23.3%となっています。

前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
意識している	26.2	28.4
どちらかといえば意識している	48.8	46.6
どちらかといえば意識していない	17.5	17.7
意識していない	5.8	5.6

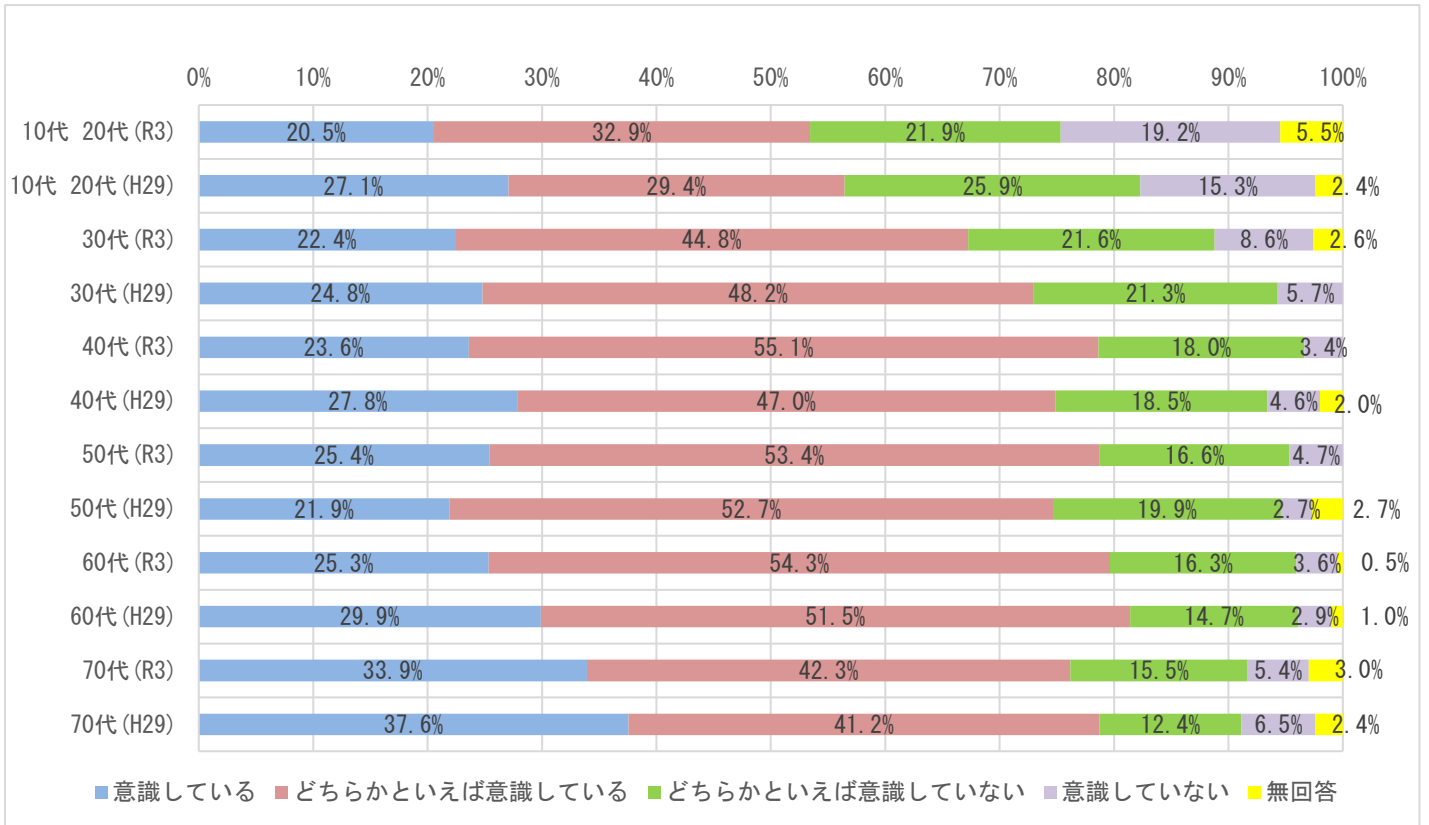
図表 10-1 バランスの良い食事を意識しているか (全体)



図表 10-2 バランスの良い食事を意識しているか (性別)

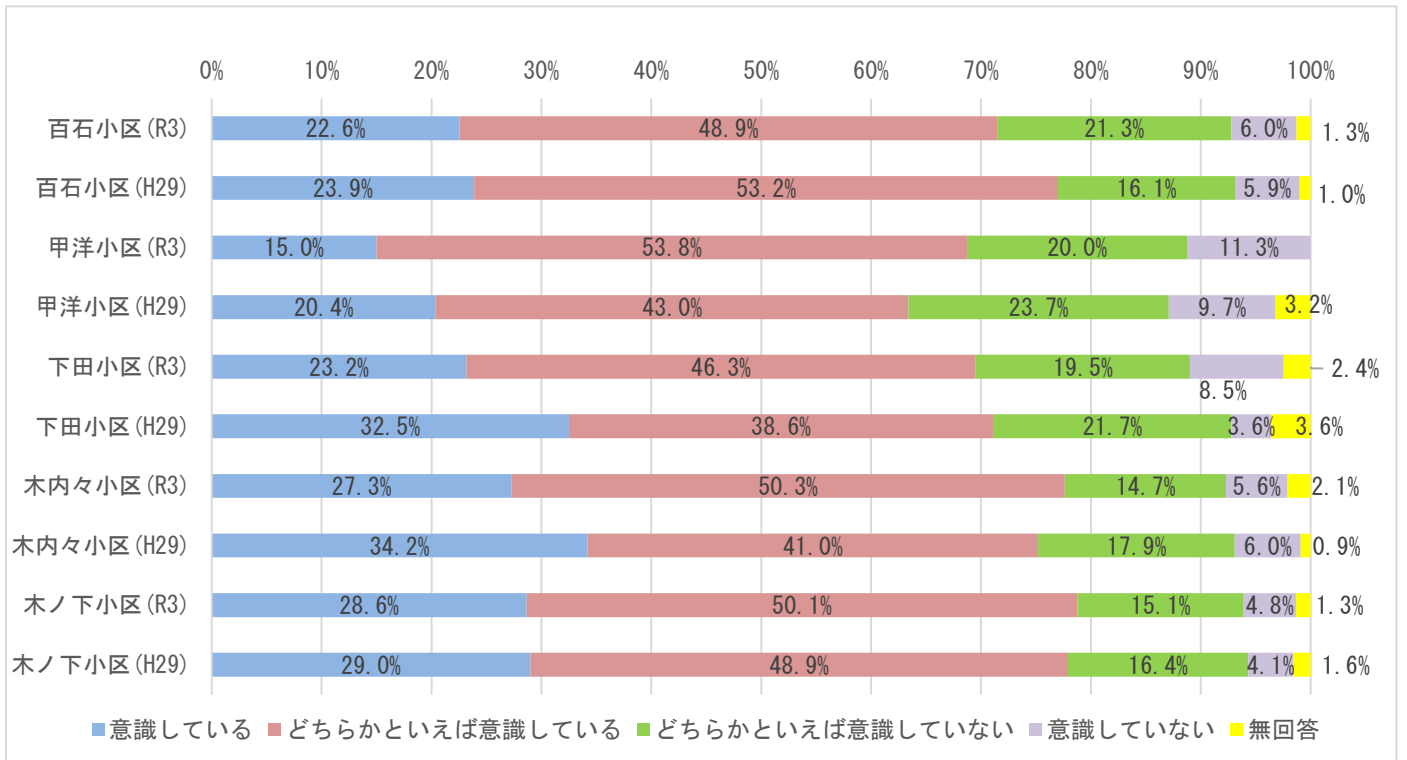


図表 10-3 バランスの良い食事を意識しているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 10-4 バランスの良い食事を意識しているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(4) 地域福祉活動に参加しているか

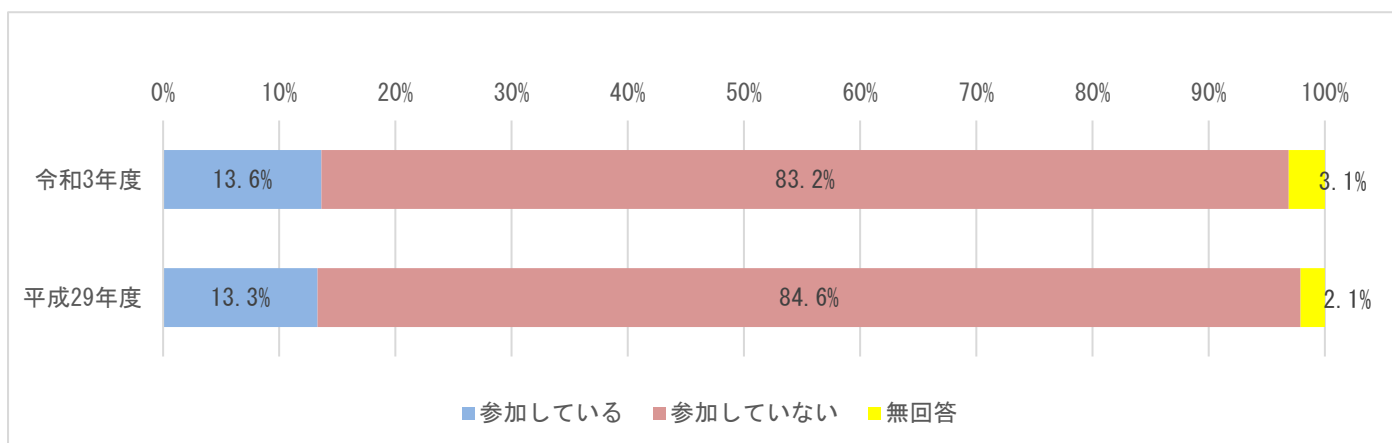
問 20 あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなどの地域福祉活動に参加していますか。

● 「参加していない」が 83.2%、「参加している」が 13.6%。

※平成 29 年度は「参加していない」が 84.6%、「参加している」が 13.3%。

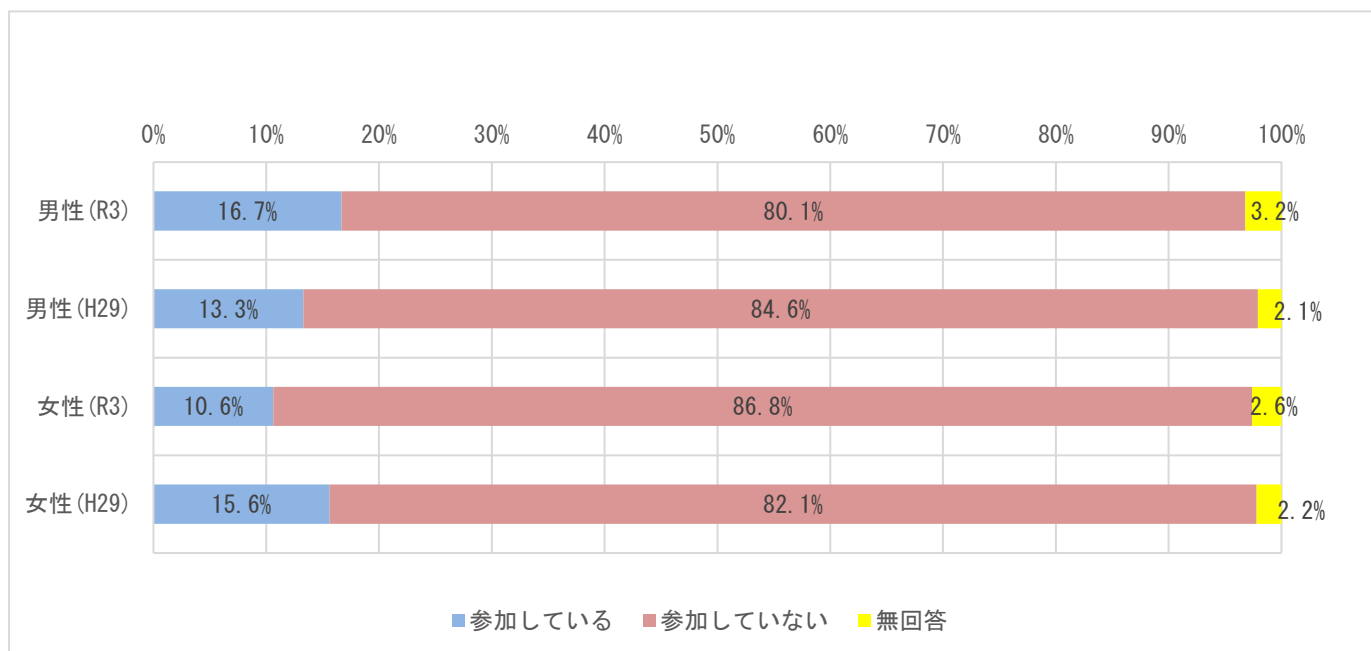
前回調査結果との比較	令和 3 年度 (%)	平成 29 年度 (%)
参加している	13.6	13.3
参加していない	83.2	84.6

図表 11-1 地域福祉活動に参加しているか（全体）



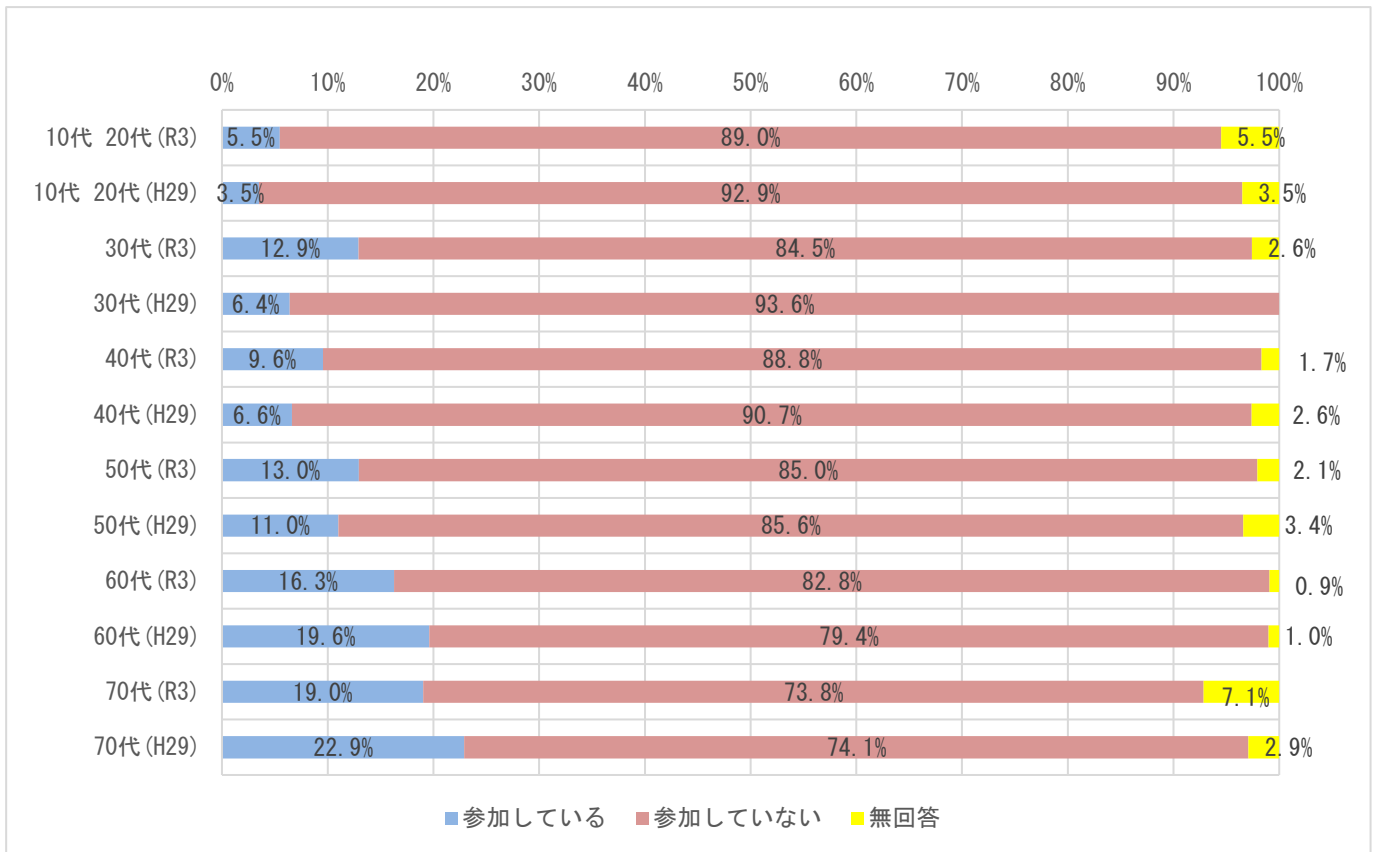
	令和 3 年度	平成 29 年度
n	961	904

図表 11-2 地域福祉活動に参加しているか（性別）



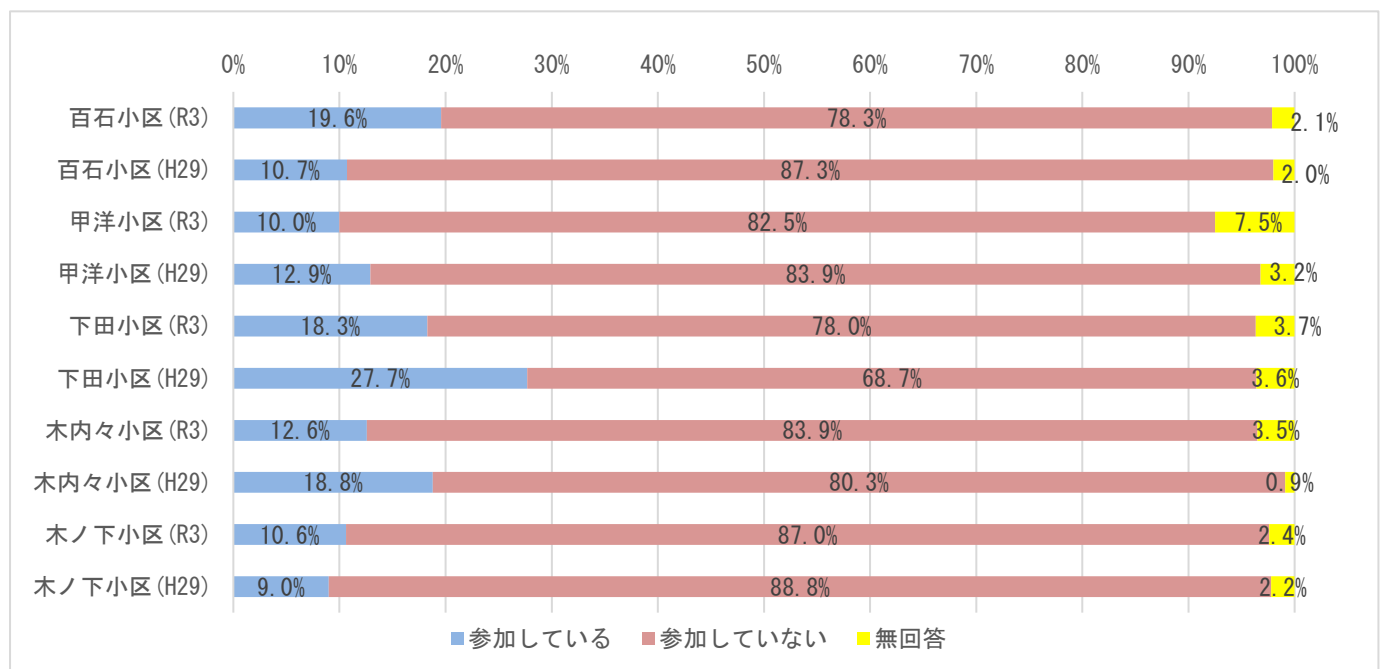
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 11-3 地域福祉活動に参加しているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 11-4 地域福祉活動に参加しているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(5) 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと

問 21 あなたは、町の子育て環境を充実するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

- “子育て家庭に対する経済的支援”が第1位。

※平成29年度も“子育て家庭に対する経済的支援が第1位。

特に「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(30.0%)、「子どもの遊び場など公園の充実」(26.1%)、「子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実」(20.1%)が高いです。

図表 12-1 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと（全体）※複数回答 n=961

項目	令和3年度	平成29年度
保育所及び幼稚園等の充実	12.3%	12.2%
子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実	20.1%	17.9%
児童館・放課後児童クラブ等の充実	15.4%	21.0%
子どもの遊び場など公園の充実	26.1%	29.0%
保育所等の待機児童ゼロの継続	12.0%	12.2%
乳幼児健診・健康相談・健康教育の充実	9.9%	11.1%
児童虐待の予防・解消対策の推進	13.1%	11.8%
子育て家庭に対する経済的支援の推進	30.0%	34.0%
その他	3.1%	2.7%
特にない	9.9%	9.7%

図表 12-2 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
男性	60代	木ノ下小学校区	季節(冬期・夏期・梅雨期や曜日に左右されず、利用時間(開場→閉場)が長い館・遊場・公園などの拡充
男性	50代	木ノ下小学校区	妊婦検診の無料化
男性	50代	百石小学校区	給食費無償化中止。廃止。
女性	60代	木ノ下小学校区	発達障がい等への理解を促進することにより、より良い保育が充実する。又、そのような取り組みをすることで、住民の安心へつながる。
女性	20代	木ノ下小学校区	子供がいないのでわからない
女性	50代	木ノ下小学校区	給食費無料は大きいです。
女性	40代	甲洋小学校区	障がい者についての専門知識のある人材の確保
男性	50代	百石小学校区	中学校の教育機器実験器具の充実
男性	40代	百石小学校区	児童デイサービス普及 障がい者施設普及
男性	50代	百石小学校区	町は口を出さない
女性	70代	木ノ下小学校区	子育て支援の前に出産までの過程が大事だと思います。
男性	50代	木ノ下小学校区	安全に歩くことのできる歩道の整備
男性	30代	木内々小学校区	産婦人科の充実
女性	70代	木ノ下小学校区	家庭の環境を整える(心)、子供に接する大人の心配
男性	40代	下田小学校区	学童の時間範囲拡大(7:00 から 18:00)
女性	40代	百石小学校区	通学路の整備 特に用水路等危険箇所の整備
女性	40代	木内々小学校区	病児保育。子育てサポーター
女性	40代	木ノ下小学校区	お母さんをフリーに。お父さんと子供の参加型イベント。病気のお子さんを看ってくれる環境。
女性	50代	木内々小学校区	あいさつ活動
男性	60代	甲洋小学校区	わからない
女性	50代	木内々小学校区	子どもの心のケアの相談ができる場所
女性	40代	木ノ下小学校区	医療費、給食費、高校学費補助
女性	40代	百石小学校区	子育てに関する事に所得制度を設けない
男性	40代	木ノ下小学校区	大学の無償化

図表 12-3 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと 上位3位

(令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		子育て家庭に対する経済的支援の推進 30.0%	子どもの遊び場など公園の充実 26.1%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 20.1%
性別	男性	子育て家庭に対する経済的支援の推進 34.7%	子どもの遊び場など公園の充実 26.3%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 18.3%
	女性	子育て家庭に対する経済的支援の推進 26.9%	子どもの遊び場など公園の充実 25.7%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 22.0%
年齢	10代・20代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 42.5%	子どもの遊び場など公園の充実 26.0%	保育所等の待機児童ゼロの継続 23.3%
	30代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 子どもの遊び場など公園の充実 44.8%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 19.8%	
	40代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 41.0%	子どもの遊び場など公園の充実 37.6%	児童虐待の予防・解消対策の推進 16.3%
	50代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 25.4%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 23.8%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 19.2%
	60代	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 24.9%	子どもの遊び場など公園の充実 23.5%	子育て家庭に対する経済的支援の推進 20.8%
	70歳以上	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 23.2%	子育て家庭に対する経済的支援の推進 20.8%	子どもの遊び場など公園の充実 17.9%
居住地区	百石小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 32.8%	子どもの遊び場など公園の充実 23.0%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 18.7%
	甲洋小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 28.8%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 25.0%	子どもの遊び場など公園の充実 22.5%
	下田小学校区	子どもの遊び場など公園の充実 34.1%	子育て家庭に対する経済的支援の推進 29.3%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実／児童館・放課後児童クラブ等の充実 18.3%
	木内々小学校区	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 26.6%	子育て家庭に対する経済的支援の推進 25.9%	子どもの遊び場など公園の充実 22.4%
	木ノ下小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 31.6%	子どもの遊び場など公園の充実 29.2%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 18.6%

図表 12-4 町の子育て環境充実のために力を入れるべきこと 上位3位
 (平成 29 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		子育て家庭に対する経済的支援の推進 34.0%	子どもの遊び場など公園の充実 29.3%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 21.0%
性別	男性	子育て家庭に対する経済的支援の推進 36.6%	子どもの遊び場など公園の充実 32.1%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 20.9%
	女性	子育て家庭に対する経済的支援の推進 32.4%	子どもの遊び場など公園の充実 27.6%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 21.4%
年齢	10代・20代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 37.6%	子どもの遊び場など公園の充実 35.3%	保育所及び幼稚園等の充実 31.8%
	30代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 50.4%	子どもの遊び場など公園の充実 44.0%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 24.8%
	40代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 39.7%	子どもの遊び場など公園の充実 34.4%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 17.9%
	50代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 34.2%	子どもの遊び場など公園の充実 24.7%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 21.2%
	60代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 27.0%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 26.0%	子どもの遊び場など公園の充実 25.0%
	70歳以上	児童館・放課後児童クラブ等の充実／子育て家庭に対する経済的支援の推進 21.2%	子どもの遊び場など公園の充実 18.8%	
居住地区	百石小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 29.3%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 28.8%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 21.0%
	甲洋小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 39.8%	子どもの遊び場など公園の充実 29.0%	子育て支援センター等の相談・学習・交流の場の充実 17.2%
	下田小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 42.2%	子どもの遊び場など公園の充実 36.1%	児童館・放課後児童クラブ等の充実／児童虐待の予防・解消対策の推進 14.5%
	木内々小学校区	子育て家庭に対する経済的支援の推進 33.3%	児童館・放課後児童クラブ等の充実 30.8%	子どもの遊び場など公園の充実 26.5%
	木ノ下小学校区	子どもの遊び場など公園の充実 36.1%	子育て家庭に対する経済的支援の推進 35.2%	保育所及び幼稚園等の充実 17.8%

(6) 今後特に力を入れるべき高齢者施策

問 22 あなたは、町の高齢者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

- 「介護保険サービスや施設の充実」「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」が第1位。

※平成29年度は「介護保険サービスや施設の充実」が第1位。

特に「介護保険サービスや施設の充実」(34.4%)、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(34.4%)、「生きがいつくりや働く場の充実」(29.1%)、「安心して利用できる道路や施設整備」(23.7%)が高いです。

図表 13-1 今後特に力を入れるべき高齢者施策（全体）※複数回答 n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
生きがいつくりや働く場の充実	29.1%	30.6%
安心して利用できる道路や施設整備	23.7%	22.1%
高齢者と若い世代の交流機会の充実	6.3%	8.7%
学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	12.6%	17.9%
介護保険サービスや施設の充実	34.4%	36.6%
高齢者保健福祉サービスや施設の充実	34.4%	31.5%
地域で見守る住民の助け合い活動の育成	17.3%	21.5%
その他	1.6%	1.4%
特にない	6.5%	5.9%

図表 13-2 今後特に力を入れるべき高齢者施策…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
男性	70代	木ノ下小学校区	住宅、整備等
男性	30代	下田小学校区	バスやタクシー等の使いやすさの支援
女性	30代	木内々小学校区	宅配や代行サービス、タクシー券配布。雨・雪・一人で買い物して歩いて帰る人を見る。大変そう。
女性	30代	甲洋小学校区	高齢の方でも買い物や通院に困らないよう、バスの普及や福祉支援があると良いと思います。(現状、車での移動ができないと生活に不便なので。)
女性	60代	木ノ下小学校区	1～7をその地区にある高齢者施設へ委託して地域住民と一緒に考えていく施策(委託料を発生させ報告させる)
女性	20代	木ノ下小学校区	わからない
男性	60代	百石小学校区	町の高齢者施設活動に関する周知・広報・発信
男性	50代	百石小学校区	町はなにもしない
男性	30代	木内々小学校区	免許返納後の移動手段の充実
女性	50代	木ノ下小学校区	運転免許証を返納した時の移動手段の充実
女性	30代	木ノ下小学校区	経済的支援
男性	40代	下田小学校区	病気にならない方法。病気を改善する方法を伝える事
女性	40代	木内々小学校区	不明
女性	40代	木ノ下小学校区	病院の充実

図表 13-3 今後特に力を入れるべき高齢者施策 上位 3 位
 (令和 3 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和 3 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		介護保険サービスや施設の充実 高齢者保健福祉サービスや施設の充実 34.4%		生きがいがづくりや働く場の充実 29.1%
性別	男性	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 35.6%	介護保険サービスや施設の充実 32.2%	安心して利用できる道路や施設整備 27.2%
	女性	介護保険サービスや施設の充実 35.5%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 33.5%	生きがいがづくりや働く場の充実 32.7%
年齢	10代・20代	安心して利用できる道路や施設整備 28.8%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 27.4%	介護保険サービスや施設の充実 26.0%
	30代	生きがいがづくりや働く場の充実 37.9%	介護保険サービスや施設の充実 33.6%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 31.9%
	40代	介護保険サービスや施設の充実 39.9%	生きがいがづくりや働く場の充実 36.0%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 33.1%
	50代	介護保険サービスや施設の充実 35.8%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 35.2%	生きがいがづくりや働く場の充実 31.6%
	60代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 37.1%	介護保険サービスや施設の充実 35.3%	生きがいがづくりや働く場の充実 28.1%
	70歳以上	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 36.3%	介護保険サービスや施設の充実 29.8%	地域で見守る住民の助け合い活動の育成 24.4%
居住地区	百石小学校区	介護保険サービスや施設の充実 35.7%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 34.9%	生きがいがづくりや働く場の充実 30.2%
	甲洋小学校区	生きがいがづくりや働く場の充実 31.3%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 介護保険サービスや施設の充実	28.8%
	下田小学校区	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 43.9%	介護保険サービスや施設の充実 41.5%	生きがいがづくりや働く場の充実 29.3%
	木内々小学校区	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 33.6%	介護保険サービスや施設の充実 31.5%	生きがいがづくりや働く場の充実 地域で見守る住民の助け合い活動の育成 26.6%
	木ノ下小学校区	介護保険サービスや施設の充実 35.3%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 34.0%	安心して利用できる道路や施設整備 30.2%

図表 13-4 今後特に力を入れるべき高齢者施策 上位 3 位
 (平成 29 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		介護保険サービスや施設の充実 36.6%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 31.5%	生きがいつくりや働く場の充実 30.6%
性別	男性	介護保険サービスや施設の充実 36.9%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 34.6%	生きがいつくりや働く場の充実 27.7%
	女性	介護保険サービスや施設の充実 36.7%	生きがいつくりや働く場の充実 32.6%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 29.4%
年齢	10代・20代	介護保険サービスや施設の充実 32.9%	生きがいつくりや働く場の充実 29.4%	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 24.7%
	30代	生きがいつくりや働く場の充実 40.4%	介護保険サービスや施設の充実 32.6%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 28.4%
	40代	生きがいつくりや働く場の充実 37.1%	介護保険サービスや施設の充実 36.4%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 27.2%
	50代	介護保険サービスや施設の充実 50.7%	生きがいつくりや働く場の充実 31.5%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 30.8%
	60代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 36.3%	生きがいつくりや働く場の充実 33.3%	介護保険サービスや施設の充実 32.4%
	70歳以上	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 37.1%	介護保険サービスや施設の充実 35.3%	地域で見守る住民の助け合い活動の育成 26.5%
居住地区	百石小学校区	介護保険サービスや施設の充実 37.6%	生きがいつくりや働く場の充実 33.2%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 30.2%
	甲洋小学校区	介護保険サービスや施設の充実 30.1%	安心して利用できる道路や施設整備／高齢者保健福祉サービスや施設の充実／地域で見守る住民の助け合い活動の育成 24.7%	
	下田小学校区	介護保険サービスや施設の充実 36.1%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 34.9%	地域で見守る住民の助け合い活動の育成 28.9%
	木内々小学校区	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 35.0%	介護保険サービスや施設の充実 32.5%	生きがいつくりや働く場の充実 29.1%
	木ノ下小学校区	介護保険サービスや施設の充実 39.6%	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 32.0%	生きがいつくりや働く場の充実 31.7%

(7) 今後特に力を入れるべき障がい者施策

問 23 あなたは、町の障がい者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

● 「就労機会の確保、就労の支援」が第1位

※平成29年度は「地域の人々の理解と協力」が第1位。

特に「就労機会の確保、就労の支援」(25.4%)、「地域の人々の理解と協力」(24.5%)、「年金・手当等、経済的支援の充実」(21.9%)が高いです。

図表 14-1 今後特に力を入れるべき障がい者施策（全体）※複数回答 n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
地域の人々の理解と協力	24.5%	28.8%
健常者とのふれあい・交流の場の拡充	4.5%	8.1%
年金・手当等、経済的支援の充実	21.9%	23.6%
障がい者福祉サービスの充実	16.8%	17.9%
入所・通所施設の整備	19.1%	16.7%
就労機会の確保、就労の支援	25.4%	25.3%
障がい児の療育・教育の充実	15.0%	16.3%
道路や公共交通、公共施設のバリアフリー化	14.2%	19.7%
生涯学習・文化・スポーツ活動の促進	5.5%	6.5%
その他	1.0%	0.6%
特になし	8.5%	8.4%

図表 14-2 今後特に力を入れるべき障がい者施策…【その他の記載内容】

性別	年代	小学校区	その他の記載内容
女性	30代	木内々小学校区	介護者のケア
女性	20代	木ノ下小学校区	そもそも国がだめ
女性	40代	甲洋小学校区	教育関係者の知識と理解
男性	60代	百石小学校区	障がい者施設の町の活動が見えない
男性	50代	百石小学校区	税金を使わない
男性	40代	下田小学校区	薬だけでは解決しない。食事で治さないといけない。
女性	40代	木内々小学校区	不明
女性	50代	下田小学校区	わからない
男性	60代	甲洋小学校区	わからない

図表 14-3 今後特に力を入れるべき障がい者施策 上位3位
(令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区)

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		就労機会の確保、就労の支援 25.4%	地域の人々の理解と協力 24.5%	年金・手当等、経済的支援の充実 21.9%
性別	男性	地域の人々の理解と協力 26.3%	就労機会の確保、就労の支援 24.2%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.1%
	女性	就労機会の確保、就労の支援 26.5%	地域の人々の理解と協力 22.8%	年金・手当等、経済的支援の充実 21.0%
年齢	10代・20代	就労機会の確保、就労の支援 23.3%	道路や公共交通、公共施設のバリアフリー化 21.9%	人々の理解と協力/ 入所・通所施設の整備 19.2%
	30代	就労機会の確保、就労の支援 30.2%	地域の人々の理解と協力 26.7%	年金・手当等、経済的支援の充実 24.1%
	40代	就労機会の確保、就労の支援 28.7%	入所・通所施設の整備 23.6%	障がい児の療育・教育の充実 22.5%
	50代	就労機会の確保、就労の支援 28.0%	地域の人々の理解と協力 25.4%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.3%
	60代	就労機会の確保、就労の支援 26.7%	地域の人々の理解と協力 24.9%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.5%
	70歳以上	地域の人々の理解と協力 26.8%	年金・手当等、経済的支援の充実 20.8%	入所・通所施設の整備 17.9%
居住地区	百石小学校区	地域の人々の理解と協力 30.2%	就労機会の確保、就労の支援 28.5%	年金・手当等、経済的支援の充実 21.7%
	甲洋小学校区	地域の人々の理解と協力 23.8%	年金・手当等、経済的支援の充実 22.5%	就労機会の確保、就労の支援 20.0%
	下田小学校区	就労機会の確保、就労の支援 26.8%	年金・手当等、経済的支援の充実/ 障がい者福祉サービスの充実 23.2%	
	木内々小学校区	地域の人々の理解と協力 28.7%	入所・通所施設の整備 27.3%	就労機会の確保、就労の支援 26.6%
	木ノ下小学校区	就労機会の確保、就労の支援 24.7%	地域の人々の理解と協力 21.8%	年金・手当等、経済的支援の充実 21.5%

図表 14-4 今後特に力を入れるべき障がい者施策 上位3位
 (平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		地域の人々の理解と協力 28.8%	就労機会の確保、就労の支援 25.3%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.6%
性別	男性	地域の人々の理解と協力 27.7%	就労機会の確保、就労の支援 26.5%	年金・手当等、経済的支援の充実 25.4%
	女性	地域の人々の理解と協力 30.0%	就労機会の確保、就労の支援 24.2%	年金・手当等、経済的支援の充実 22.2%
年齢	10代・20代	道路や公共交通、公共施設のバリアフリー化 34.1%	地域の人々の理解と協力 29.4%	年金・手当等、経済的支援の充実 20.0%
	30代	地域の人々の理解と協力 26.2%	障がい児の療育・教育の充実 25.5%	就労機会の確保、就労の支援 24.8%
	40代	就労機会の確保、就労の支援 29.1%	地域の人々の理解と協力 25.2%	道路や公共交通、公共施設のバリアフリー化 22.5%
	50代	就労機会の確保、就労の支援 37.0%	年金・手当等、経済的支援の充実 28.8%	障がい者福祉サービスの充実 21.9%
	60代	地域の人々の理解と協力 35.8%	就労機会の確保、就労の支援 25.5%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.0%
	70歳以上	地域の人々の理解と協力 34.7%	年金・手当等、経済的支援の充実 23.5%	障がい者福祉サービスの充実 21.8%
居住地区	百石小学校区	就労機会の確保、就労の支援 31.2%	地域の人々の理解と協力 29.3%	年金・手当等、経済的支援の充実 20.0%
	甲洋小学校区	地域の人々の理解と協力 31.2%	年金・手当等、経済的支援の充実 24.7%	道路や公共交通、公共施設のバリアフリー化 20.4%
	下田小学校区	地域の人々の理解と協力 39.8%	障がい者福祉サービスの充実 26.5%	就労機会の確保、就労の支援 21.7%
	木内々小学校区	地域の人々の理解と協力 29.9%	就労機会の確保、就労の支援 27.4%	障がい児の療育・教育の充実 20.5%
	木ノ下小学校区	年金・手当等、経済的支援の充実 27.3%	地域の人々の理解と協力 25.1%	就労機会の確保、就労の支援 23.8%

5 環境問題への取り組みについて

(1) 家庭で実際に行っている環境問題対策

問 24 あなたが家庭でできる環境問題対策として、実際に行っている取り組みはありますか。
【いくつでも選択可能】

● 「買物袋を持参している」が第1位。

※平成29年度は「ごみと資源物を分別している」が第1位。

特に「買物袋を持参している」(87.6%)、「ごみと資源物を分別している」(82.8%)、「LED電球や省エネ家電を購入・利用するようにしている」(55.5%)が高いです。

図表 15-1 家庭で実際に行っている環境問題対策（全体）※複数回答

n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
冷房を28度以上、暖房を20度以下に設定	20.6%	23.6%
LED電球や省エネ家電を購入・利用するようにしている	55.5%	51.3%
買物袋を持参している	87.6%	80.9%
ごみと資源物を分別している	82.8%	83.7%
自家用車の使用を控え公共交通機関を利用	2.2%	2.8%
特に何もしていない	2.1%	4.0%
その他	1.8%	2.3%

図表 15-2 家庭で実際に行っている環境問題対策…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
男性	50代	百石小学校区	夏はできる限り風通しを良くし、エアコンの使用をおさえている。
女性	30代	木内々小学校区	節水。食品ロスがないように。子供への教育(絵本・分別)
男性	60代	百石小学校区	都度、2か所のトイレの内、2FのトイレをOFFにしている。
女性	30代	木内々小学校区	家にソーラーパネルを設置し、電気の自給自足に努めている。 (将来的には電気車に乗り換える)
女性	60代	木ノ下小学校区	食品を買い過ぎないようにしている。
女性	50代	木内々小学校区	できるだけ食品ロスを少なくすること
男性	50代	木内々小学校区	早く寝る
女性	40代	木ノ下小学校区	食用油は水に流さない
女性	70代	甲洋小学校区	公共交通機関を利用したくても出来ない
男性	40代	下田小学校区	自然栽培・自然農法を行う事。使わない時はコンセントを抜く。
女性	40代	木内々小学校区	リサイクルショップ利用
女性	60代	百石小学校区	車を控え、自転車や徒歩
女性	50代	木ノ下小学校区	ハイブリット車使用、アイドリングストップ車使用、エコカー
男性	40代	百石小学校区	待機電力のカット、季節ごとの家電の使用方法を見直す。
男性	20代	木内々小学校区	庭の緑化(芝生)
男性	40代	木ノ下小学校区	外で暮らす

図表 15-3 家庭で実際に行っている環境問題対策 上位3位
 (令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		買物袋を持参している 87.6%	ごみと資源物を分別している 82.8%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 55.5%
性別	男性	買物袋を持参している 83.1%	ごみと資源物を分別している 81.3%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 57.5%
	女性	買物袋を持参している 92.0%	ごみと資源物を分別している 85.2%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 53.7%
年齢	10代・20代	買物袋を持参している 82.2%	ごみと資源物を分別している 74.0%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 47.9%
	30代	買物袋を持参している 86.2%	ごみと資源物を分別している 69.8%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 54.3%
	40代	買物袋を持参している 87.6%	ごみと資源物を分別している 79.8%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 58.4%
	50代	買物袋を持参している ごみと資源物を分別している 89.1%		LED電球や省エネ家電を購入・利用 60.6%
	60代	買物袋を持参している 91.0%	ごみと資源物を分別している 85.5%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 57.9%
	70歳以上	ごみと資源物を分別している 90.5%	買物袋を持参している 86.9%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 47.6%
居住地区	百石小学校区	買物袋を持参している 88.9%	ごみと資源物を分別している 84.7%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 54.0%
	甲洋小学校区	買物袋を持参している 87.5%	ごみと資源物を分別している 85.0%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 50.0%
	下田小学校区	買物袋を持参している 87.8%	ごみと資源物を分別している 76.8%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 47.6%
	木内々小学校区	買物袋を持参している 91.6%	ごみと資源物を分別している 86.7%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 50.3%
	木ノ下小学校区	買物袋を持参している 86.7%	ごみと資源物を分別している 82.0%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 61.3%

図表 15-4 家庭で実際に行っている環境問題対策 上位3位
 (平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		ごみと資源物を分別している 83.7%	買物袋を持参している 80.9%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 51.3%
性別	男性	ごみと資源物を分別している 78.5%	買物袋を持参している 74.0%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 50.8%
	女性	ごみと資源物を分別している 87.2%	買物袋を持参している 85.7%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 51.6%
年齢	10代・20代	買物袋を持参している 71.8%	ごみと資源物を分別している 70.6%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 23.5%
	30代	買物袋を持参している 83.7%	ごみと資源物を分別している 75.2%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 61.0%
	40代	買物袋を持参している 86.1%	ごみと資源物を分別している 82.8%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 53.6%
	50代	ごみと資源物を分別している 88.4%	買物袋を持参している 82.9%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 61.0%
	60代	ごみと資源物を分別している 90.2%	買物袋を持参している 84.3%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 55.4%
	70歳以上	ごみと資源物を分別している 85.9%	買物袋を持参している 73.5%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 41.2%
居住地区	百石小学校区	ごみと資源物を分別している 87.8%	買物袋を持参している 78.5%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 45.4%
	甲洋小学校区	買物袋を持参している 77.4%	ごみと資源物を分別している 75.3%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 46.2%
	下田小学校区	ごみと資源物を分別している 83.1%	買物袋を持参している 73.5%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 48.2%
	木内々小学校区	ごみと資源物を分別している 90.6%	買物袋を持参している 80.3%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 53.8%
	木ノ下小学校区	買物袋を持参している 85.8%	ごみと資源物を分別している 82.0%	LED電球や省エネ家電を購入・利用 56.6%

(2) 今後特に力を入れるべき町の環境政策

問 25 あなたは、町の環境政策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

● 「マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり」が第1位。

※平成29年度も「マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり」が第1位。

特に「マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり」(27.4%)、「公害や不法投棄に対する監視・指導の強化」(25.9%)、「防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進」(22.5%)が高いです。

図表 16-1 今後特に力を入れるべき町の環境政策について（全体）※複数回答 n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
環境に関する教育や啓発活動の充実	8.5%	10.6%
ごみの分別やリサイクルの推進	18.0%	19.7%
住民の自主的な環境ボランティア活動の支援	5.3%	6.2%
水質汚濁・騒音・悪臭・振動等の公害や不法投棄に対する監視・指導の強化	25.9%	27.3%
太陽光や風力発電などの自然エネルギーの利用促進	13.2%	13.6%
電気自動車充電スタンド整備など、次世代自動車の普及促進	11.8%	5.4%
防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進	22.5%	26.3%
公共交通の整備や自動車道の整備など、マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり	27.4%	31.4%
農地・緑地・水辺空間などの創出や保全	10.1%	11.2%
住宅用太陽光発電システム設備に対する補助などの助成制度の充実	11.1%	13.2%
その他	1.0%	1.4%
特にない	4.9%	5.6%

図表 16-2 今後特に力を入れるべき町の環境政策…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
男性	60代	木ノ下小学校区	道路の整備(歩道・道幅)
女性	50代	甲洋小学校区	海岸等へのゴミ不法投棄の撲滅
男性	50代	百石小学校区	海からの風によって悪臭がすることがあります。何故？改善できないのでしょうか？
男性	50代	木ノ下小学校区	蓄電池助成
男性	40代	木ノ下小学校区	都市ガスの導入
男性	50代	百石小学校区	税金を大切にする
女性	40代	木内々小学校区	衣類、おもちゃ、バッグ、キーボード、本、文房具など(小・中学校の習字・彫刻刀など)家で不要になったものは捨てずにリユースできるようになればいい。(子供の物は一時的なので処分することになる)
女性	40代	木ノ下小学校区	気候変動の原因についての知識を深める
男性	40代	下田小学校区	町民の健康の為にも自然栽培農地を増やしていくべきです。

図表 16-3 今後特に力を入れるべき町の環境政策について 上位3位
 (令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 27.4%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 25.9%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 22.5%
性別	男性	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 28.8%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 24.9%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 22.1%
	女性	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 29.5%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 23.4%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 23.2%
年齢	10代・20代	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 27.4%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 26.0%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 24.7%
	30代	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 30.2%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 25.0%	次世代自動車の普及促進 17.2%
	40代	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化/ マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 29.2%		防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 24.2%
	50代	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 31.1%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 24.4%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 22.3%
	60代	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 29.0%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 25.8%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 23.5%
	70歳以上	ごみの分別やりサイクルの推進/ マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 28.0%		公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 26.2%
居住地区	百石小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 26.0%		
	甲洋小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 32.5%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 22.5%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 17.5%
	下田小学校区	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 29.3%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化/ マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 24.4%	
	木内々小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 33.6%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 32.2%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 23.8%
	木ノ下小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 27.1%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 24.7%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 19.9%

図表 16-4 今後特に力を入れるべき町の環境政策 上位3位

(平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

(上位3位、単位：%)

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 31.4%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 27.2%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.3%
性別	男性	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 32.4%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 31.6%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.0%
	女性	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 31.3%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.4%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 23.8%
年齢	10代・20代	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進/マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 27.1%		公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 22.4%
	30代	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 36.9%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 26.2%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 24.1%
	40代	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 39.1%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 25.2%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 23.2%
	50代	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 33.6%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 28.1%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 27.4%
	60代	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 36.3%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 30.4%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 25.0%
	70歳以上	ごみの分別やリサイクルの推進 34.7%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 29.4%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 23.5%
居住地区	百石小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 32.2%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.3%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 25.9%
	甲洋小学校区	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化/防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 29.0%		マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 26.9%
	下田小学校区	ごみの分別やリサイクルの推進 26.5%	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 25.3%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 22.9%
	木内々小学校区	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.5%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 24.8%	ごみの分別やリサイクルの推進/マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 23.1%
	木ノ下小学校区	マイカーに頼らずに移動ができるまちづくり 35.8%	公害や不法投棄に対する監視・指導の強化 30.1%	防犯灯や公共施設の照明などのLED化の推進 26.0%

6 学習活動について

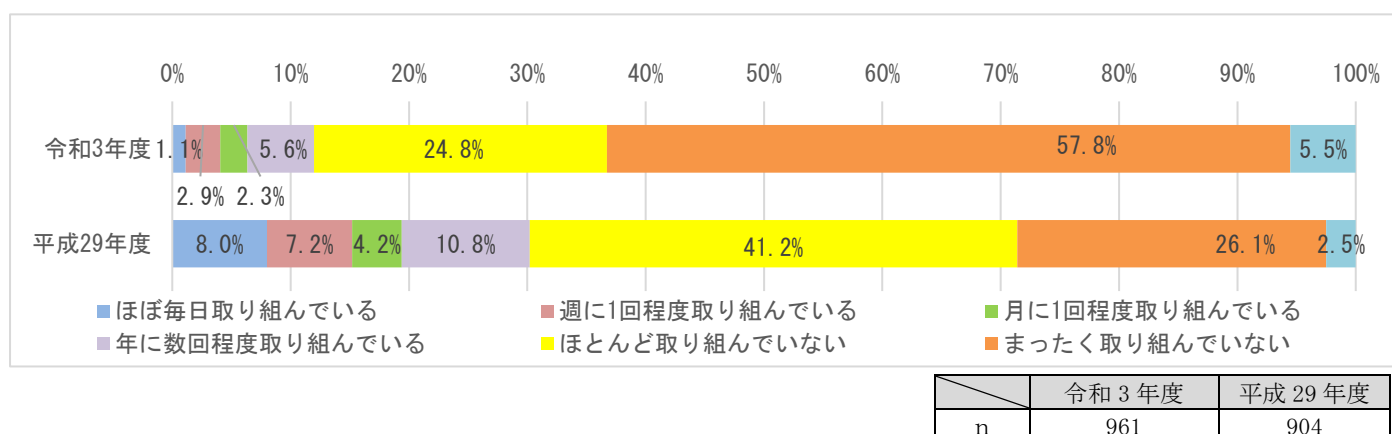
(1) 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか

問 26 あなたは、目的やテーマを持って学習活動（文化活動※含む）に取り組んでいますか。
 ※文化活動とは、文化協会やサークル活動、文化的な趣味など、自主的な学習活動を指します。

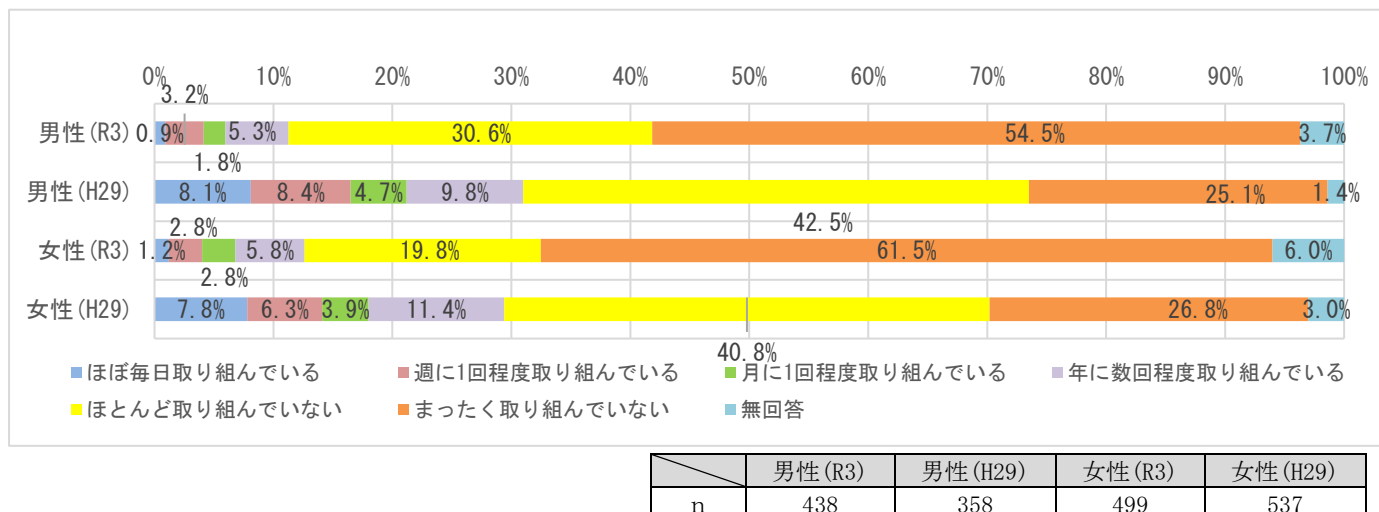
- 「まったく取り組んでいない」が57.8%で最も多い。
 ※平成29年度は「ほとんど取り組んでいない」が41.2%で最も多い。

前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
ほぼ毎日取り組んでいる	1.1	8.0
週に1回程度取り組んでいる	2.9	7.2
月に1回程度取り組んでいる	2.3	4.2
年に数回程度取り組んでいる	5.6	10.8
ほとんど取り組んでいない	24.8	41.2
まったく取り組んでいない	57.8	26.1

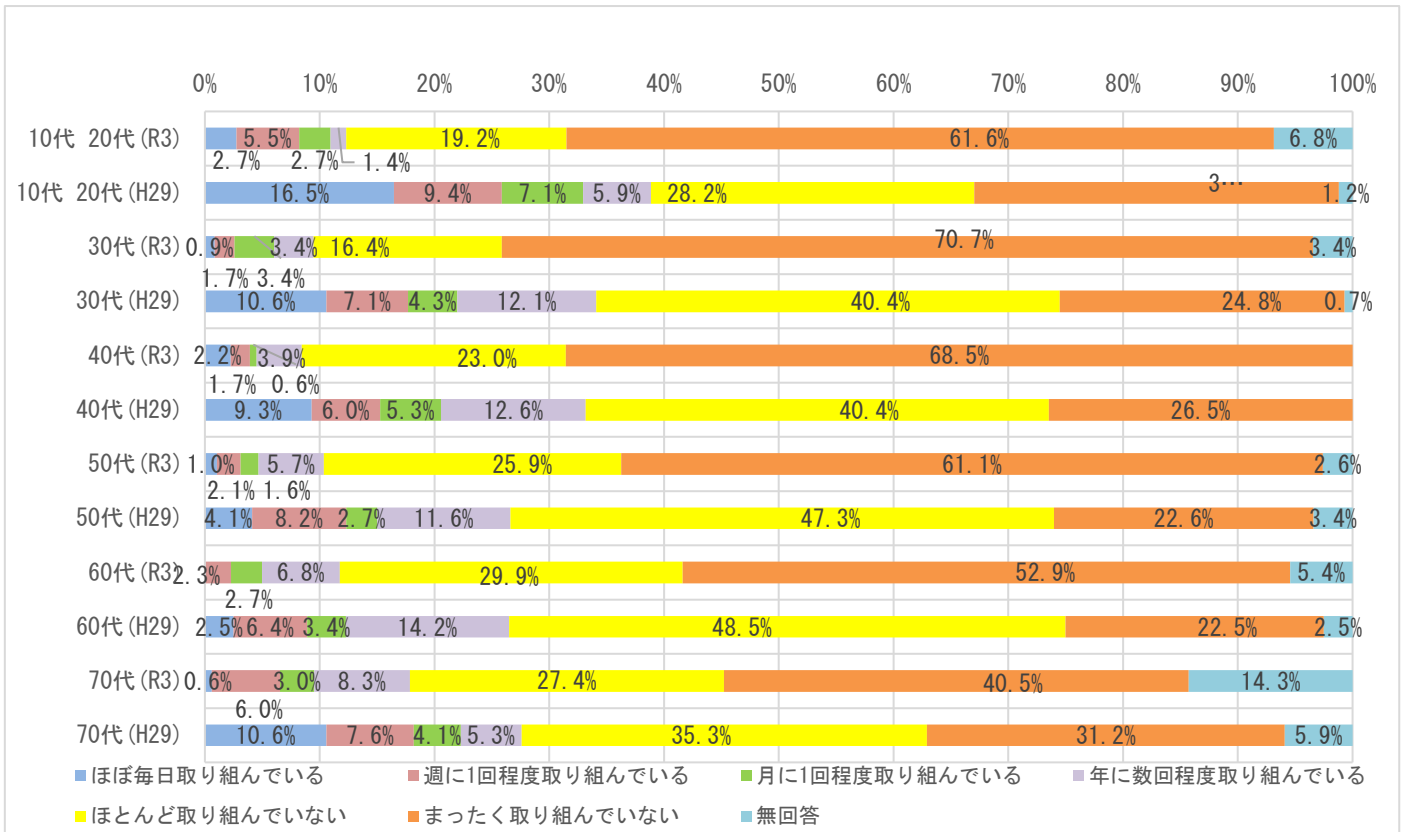
図表 17-1 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか（全体）



図表 17-2 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか（性別）

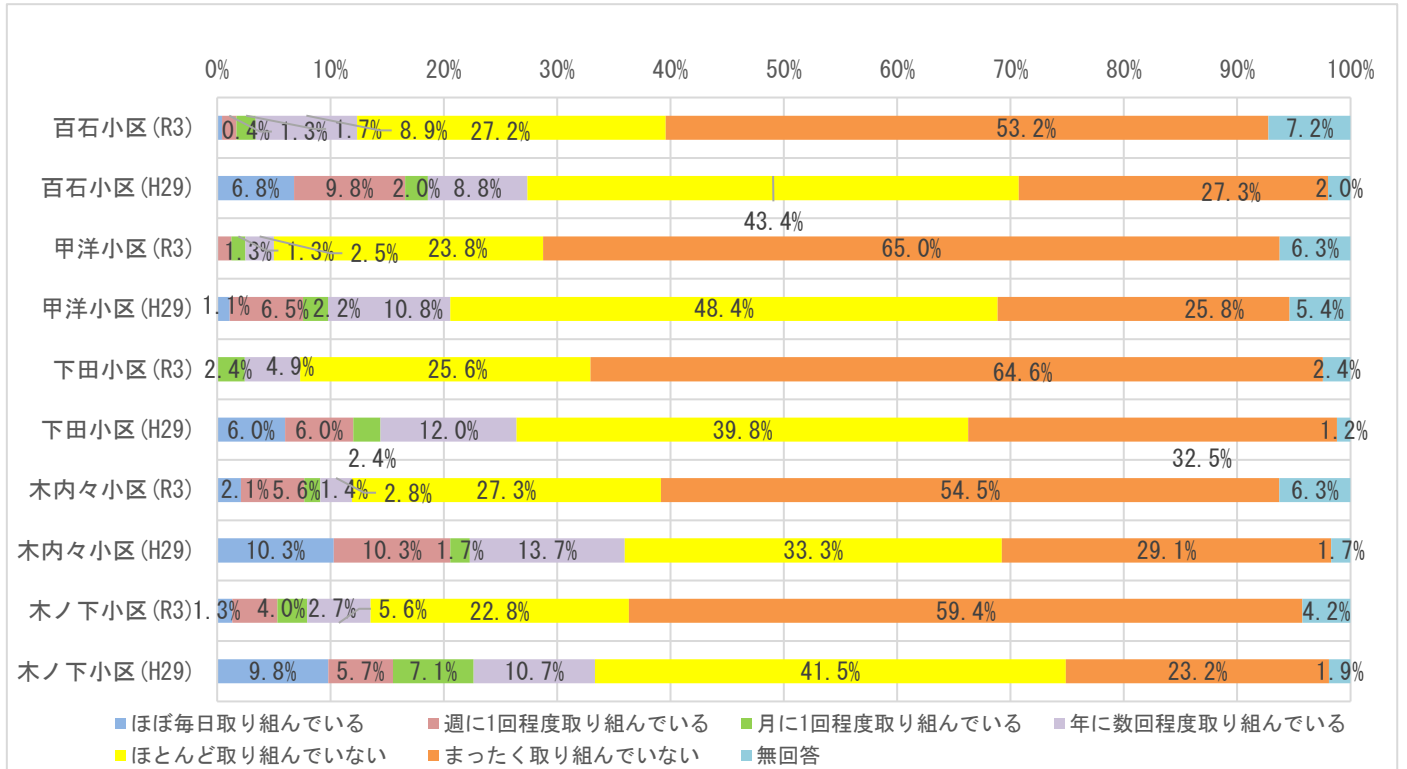


図表 17-3 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 17-4 目的やテーマを持って学習活動（文化活動含む）をしているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

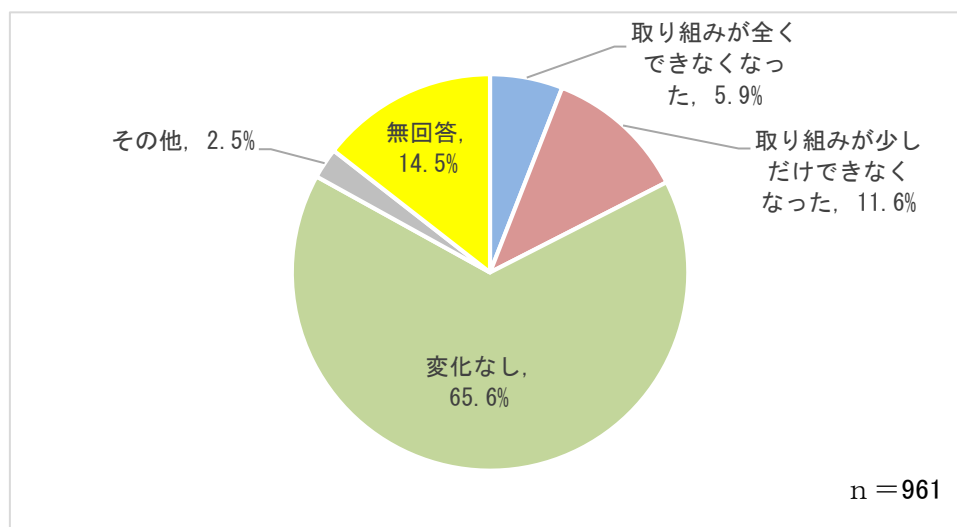
(2) 新型コロナウイルス感染症による学習活動（文化活動含む）の変化

問 27 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたの学習活動（文化活動含む）の取り組みに変化はありましたか。

- 「変化なし」が 65.6%で最も多い。

「取り組みが全くできなくなった」（5.9%）、「取り組みが少しだけできなくなった」（11.6%）、「変化なし」（65.6%）となっています。

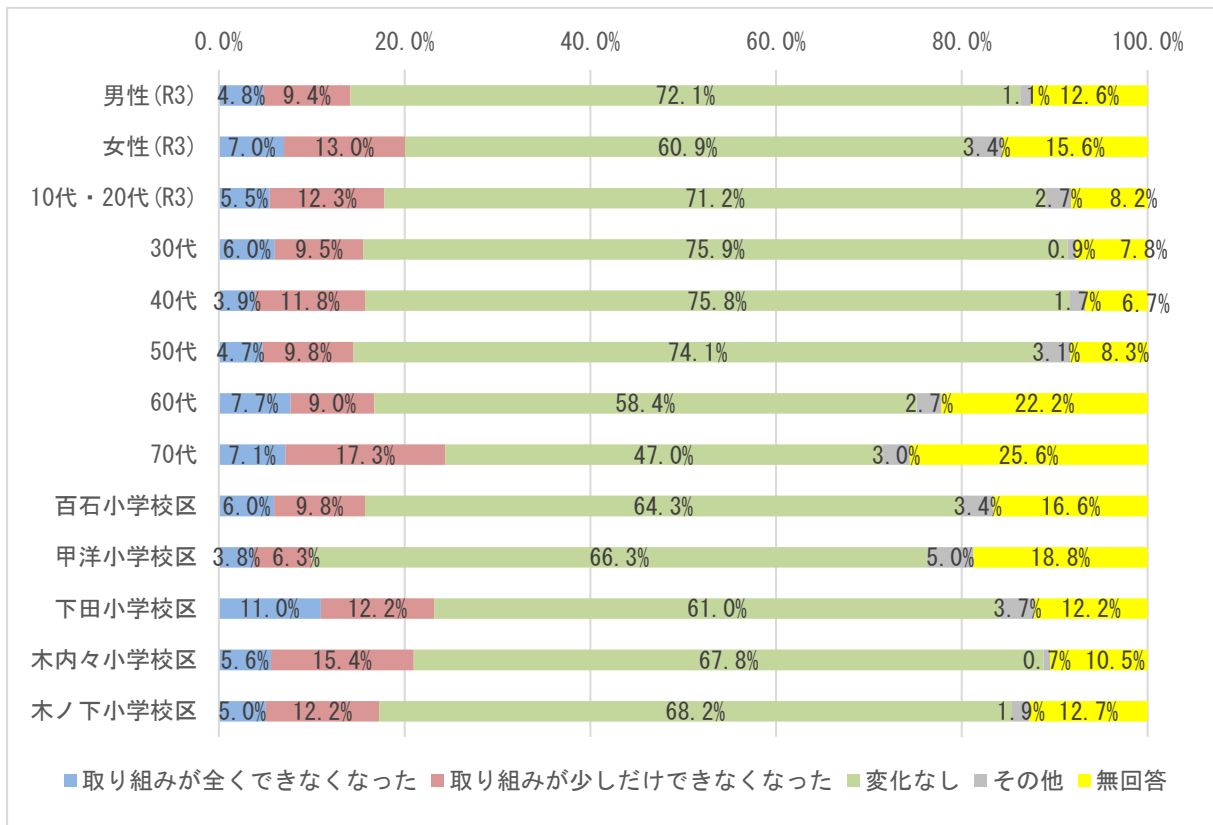
図表 18-1 新型コロナウイルス感染症による学習活動（文化活動含む）の変化
（令和3年度/全体）



図表 18-2 新型コロナウイルス感染症による学習活動（文化活動含む）の変化
…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
女性	60代	木ノ下小学校区	外出がこわい
男性	70代	百石小学校区	学習活動してない
女性	60代	百石小学校区	高齢のため
女性	70代	木ノ下小学校区	特に学習活動はしていませんね
男性	60代	下田小学校区	やってない
女性	50代	百石小学校区	参加したいがコロナでできない
女性	50代	木内々小学校区	ズーム使用により、コミュニケーションが図りにくくなった
女性	20代	百石小学校区	大学はオンライン授業が多い。
女性	70代	木ノ下小学校区	していない

図表 18-3 新型コロナウイルス感染症による学習活動（文化活動含む）の変化
（性別・年齢・居住地区）



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代 20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	438	499	73	116	178	193	221	168	235	80	82	143	377

(3) 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策

問 28 あなたは、学習活動（文化活動含む）がより活発になるために、行政が今後、特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。【2つまで選択可能】



- 「各種講座などの情報提供の充実」が 34.1% で最も多い。

※平成 29 年度も「各種講座などの情報提供の充実」が 45.2% で最も多い。

図表 19-1 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策（全体）※複数回答
n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
指導者や相談体制の充実	18.0%	27.7%
各種講座などの情報提供の充実	34.1%	45.2%
学習・文化活動等の発表機会の充実	7.8%	9.7%
文化イベントの企画・開催	31.2%	28.1%
その他	1.0%	1.9%
特にない	25.6%	22.7%

図表 19-2 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策

…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
女性	30代	木ノ下小学校区	・オンラインで都合のよい時間に参加出来る体制づくり ・高齢者世帯の普及 ・停電等、緊急時の体制づくり
男性	50代	百石小学校区	図書館等は遅くまで開館する
男性	40代	木ノ下小学校区	コンサートを開く
男性	50代	百石小学校区	行政は口を出すな
男性	50代	木ノ下小学校区	行政が過度にかかわるべきでないと思います。
男性	30代	百石小学校区	コロナ対策。イベントをあえて開催しないことも大事。
男性	40代	下田小学校区	それに役立つ本の紹介

図表 19-3 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策 上位3位
（令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区）※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		各種講座などの情報提供の充実 34.1%	文化イベントの企画・開催 31.2%	指導者や相談体制の充実 18.0%
性別	男性	文化イベントの企画・開催 33.6%	各種講座などの情報提供の充実 30.6%	指導者や相談体制の充実 20.5%
	女性	各種講座などの情報提供の充実 38.7%	文化イベントの企画・開催 29.5%	指導者や相談体制の充実 16.2%
年齢	10代・20代	文化イベントの企画・開催 41.1%	各種講座などの情報提供の充実 30.1%	指導者や相談体制の充実 11.0%
	30代	各種講座などの情報提供の充実 40.5%	文化イベントの企画・開催 38.8%	指導者や相談体制の充実 17.2%
	40代	各種講座などの情報提供の充実/ 文化イベントの企画・開催	33.7%	指導者や相談体制の充実 22.5%
	50代	各種講座などの情報提供の充実 37.8%	文化イベントの企画・開催 36.3%	指導者や相談体制の充実 16.1%
	60代	各種講座などの情報提供の充実 32.6%	文化イベントの企画・開催 28.5%	指導者や相談体制の充実 22.6%
	70歳以上	各種講座などの情報提供の充実 31.0%	文化イベントの企画・開催 17.9%	指導者や相談体制の充実 14.3%
居住地区	百石小学校区	文化イベントの企画・開催 36.6%	各種講座などの情報提供の充実 32.3%	指導者や相談体制の充実 19.1%
	甲洋小学校区	各種講座などの情報提供の充実 35.0%	文化イベントの企画・開催 26.3%	指導者や相談体制の充実 17.5%
	下田小学校区	各種講座などの情報提供の充実 35.4%	文化イベントの企画・開催 23.2%	指導者や相談体制の充実 17.1%
	木内々小学校区	各種講座などの情報提供の充実 44.1%	文化イベントの企画・開催 29.4%	指導者や相談体制の充実 18.2%
	木ノ下小学校区	各種講座などの情報提供の充実 32.6%	文化イベントの企画・開催 31.6%	指導者や相談体制の充実 18.0%

図表 19-4 今後特に力を入れるべき学習活動（文化活動含む）の活性化対策 上位3位
 （平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区）※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		各種講座などの情報提供の充実 45.2%	文化イベントの企画・開催 28.1%	指導者や相談体制の充実 27.7%
性別	男性	各種講座などの情報提供の充実 40.2%	文化イベントの企画・開催 32.1%	指導者や相談体制の充実 27.7%
	女性	各種講座などの情報提供の充実 48.6%	指導者や相談体制の充実 27.9%	文化イベントの企画・開催 25.3%
年齢	10代・20代	文化イベントの企画・開催 34.1%	各種講座などの情報提供の充実 31.8%	指導者や相談体制の充実 29.4%
	30代	各種講座などの情報提供の充実 48.9%	文化イベントの企画・開催 36.9%	指導者や相談体制の充実 25.5%
	40代	各種講座などの情報提供の充実 51.7%	指導者や相談体制の充実 27.2%	文化イベントの企画・開催 25.2%
	50代	各種講座などの情報提供の充実 54.8%	文化イベントの企画・開催 34.2%	指導者や相談体制の充実 24.7%
	60代	各種講座などの情報提供の充実 45.6%	指導者や相談体制の充実 31.4%	文化イベントの企画・開催 27.5%
	70歳以上	各種講座などの情報提供の充実 34.7%	指導者や相談体制の充実 27.1%	文化イベントの企画・開催 15.3%
居住地区	百石小学校区	各種講座などの情報提供の充実 44.4%	文化イベントの企画・開催 30.7%	指導者や相談体制の充実 22.9%
	甲洋小学校区	各種講座などの情報提供の充実 37.6%	指導者や相談体制の充実／文化イベントの企画・開催 24.7%	
	下田小学校区	各種講座などの情報提供の充実 43.4%	指導者や相談体制の充実／文化イベントの企画・開催 28.9%	
	木内々小学校区	各種講座などの情報提供の充実 41.9%	指導者や相談体制の充実 36.8%	文化イベントの企画・開催 23.9%
	木ノ下小学校区	各種講座などの情報提供の充実 49.2%	指導者や相談体制の充実 28.7%	文化イベントの企画・開催 28.4%

7 スポーツ活動について

(1) 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか

問 29 あなたは、日常的にスポーツ活動(※)に取り組んでいますか。

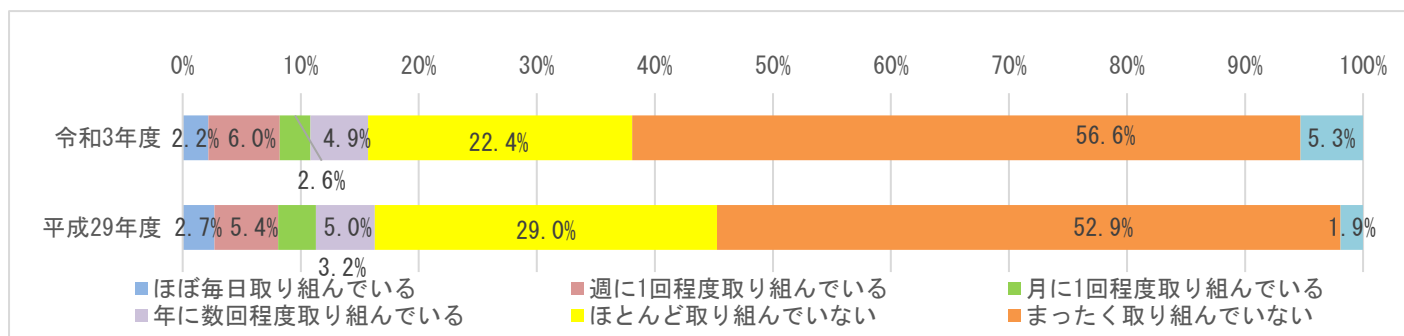
※スポーツ活動とは、野球やゴルフ等、運動の中でルールに基づいた競技となっているものを指します。

● 「まったく取り組んでいない」が56.6%で最も多い。

※平成29年度も「まったく取り組んでいない」が52.9%で最も多い。

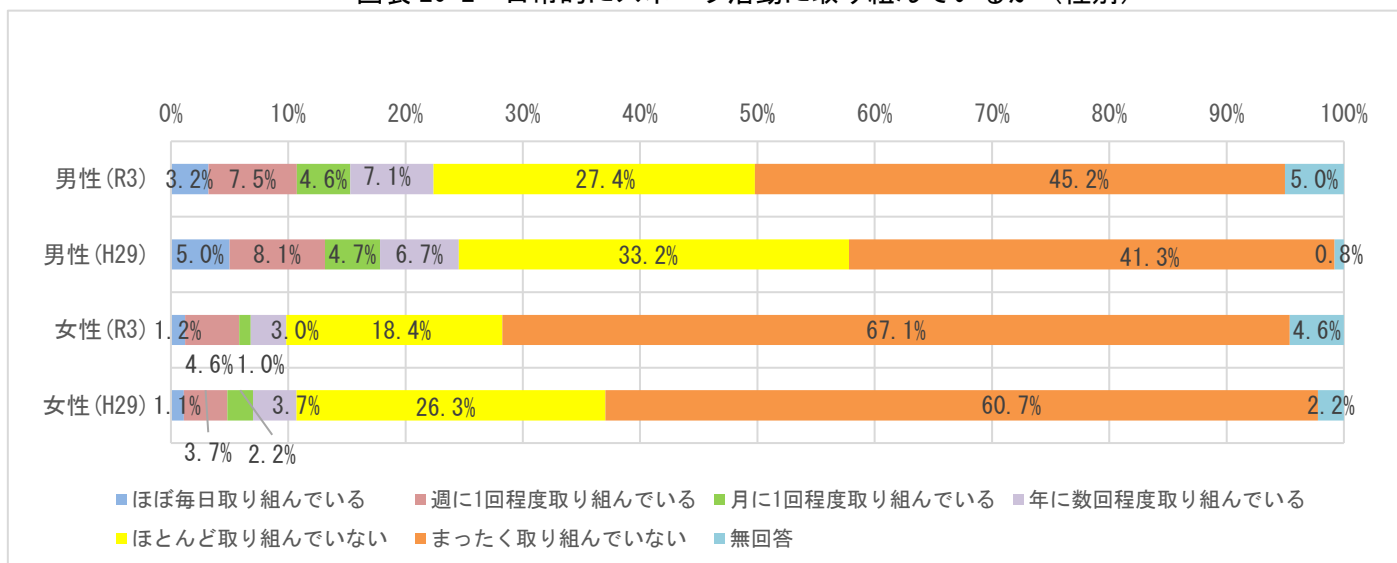
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
ほぼ毎日取り組んでいる	2.2	2.7
週に1回程度取り組んでいる	6.0	5.4
月に1回程度取り組んでいる	2.6	3.2
年に数回程度取り組んでいる	4.9	5.0
ほとんど取り組んでいない	22.4	29.0
まったく取り組んでいない	56.6	52.9

図表 20-1 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか（全体）



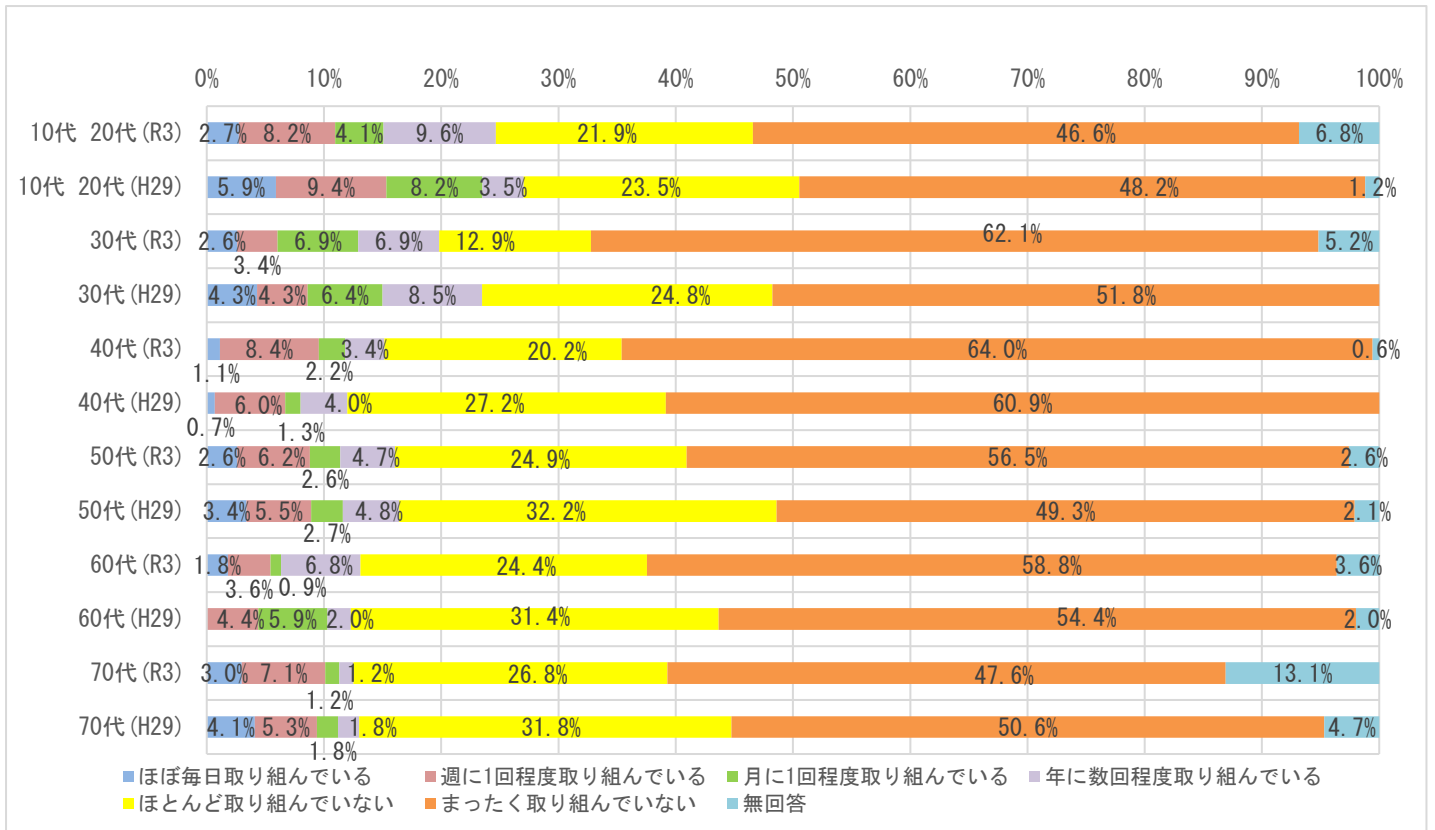
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 20-2 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか（性別）



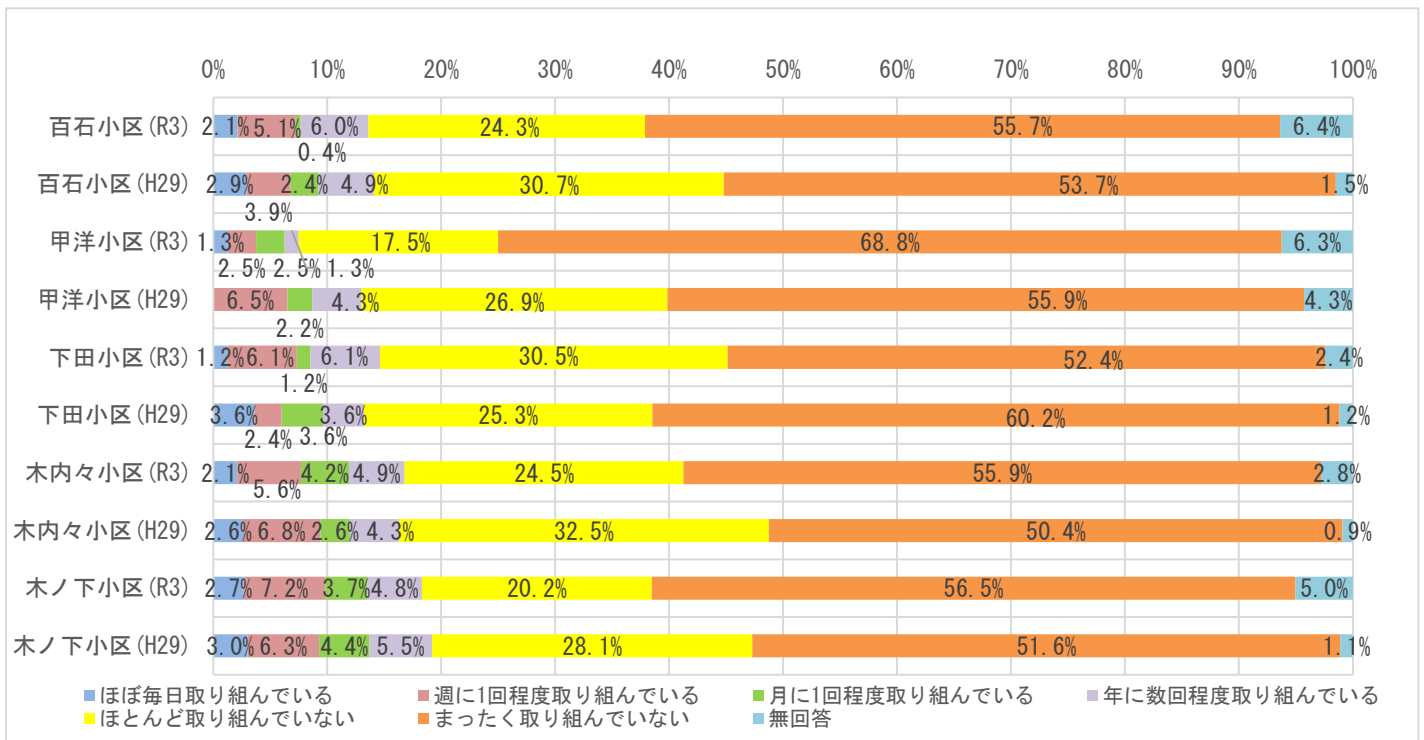
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 20-3 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 20-4 日常的にスポーツ活動に取り組んでいるか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

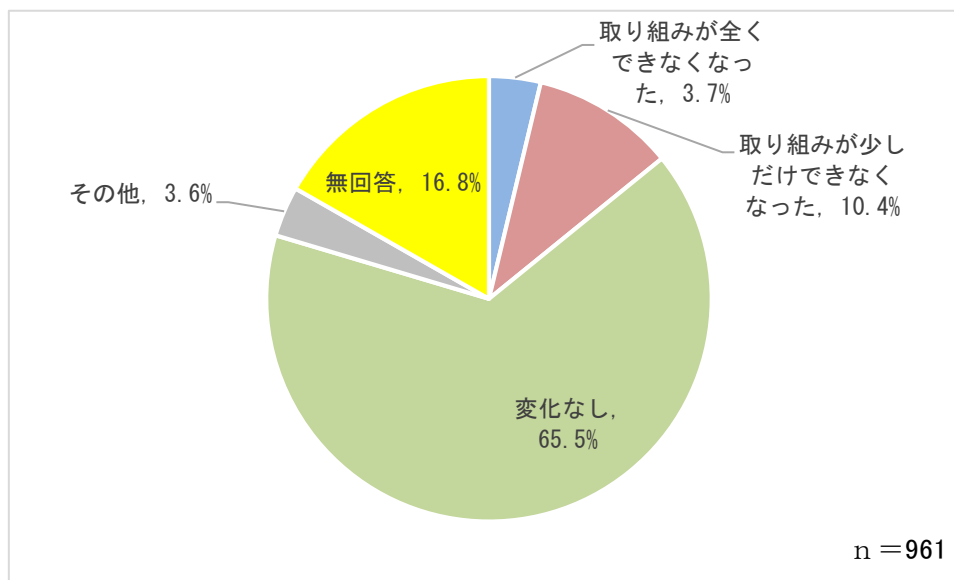
(2) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の変化

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたのスポーツ活動の取り組みに変化はありましたか。

- 「変化なし」が 65.5% で最も多い。

「取り組みが全くできなくなった」(3.7%)、「取り組みが少しだけできなくなった」(10.4%)、「変化なし」(65.5%) となっています。

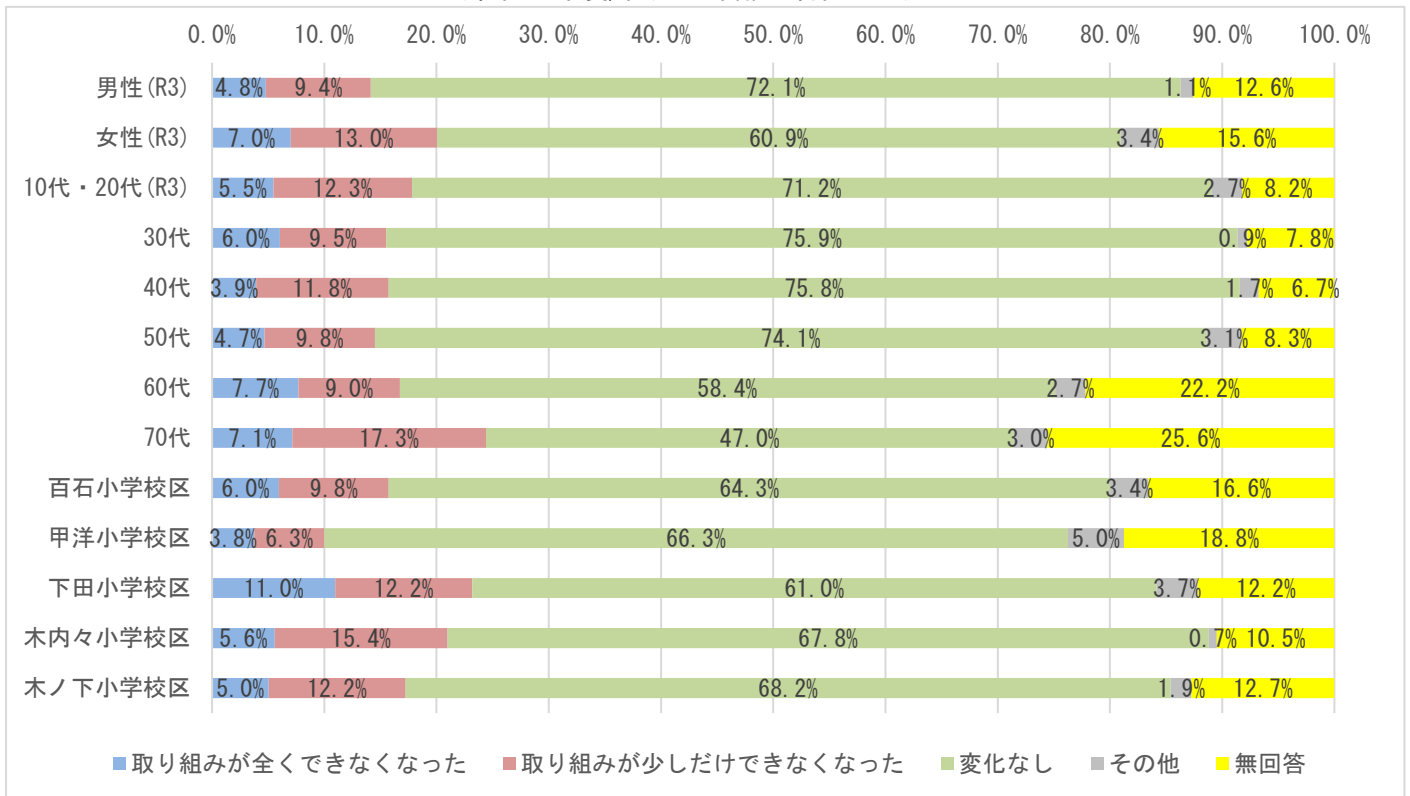
図表 21-1 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の変化 (令和 3 年度/全体)



図表 21-2 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の変化…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
女性	60 代	木ノ下小学校区	興味でジョッキングをしていて年に数回マラソン大会に出ていました。コロナで大会がなくなりました。
女性	60 代	木ノ下小学校区	ラジオ体操の CD を聞いてやっている
男性	70 代	百石小学校区	スポーツをしてない
女性	60 代	百石小学校区	高齢のため
女性	70 代	木ノ下小学校区	スポーツ活動していない
男性	60 代	下田小学校区	やってない
女性	30 代	百石小学校区	以前は毎日行っていた
女性	60 代	木内々小学校区	参加していない
男性	60 代	木ノ下小学校区	参加していない
女性	70 代	木ノ下小学校区	スポーツしていません
女性	30 代	木内々小学校区	宅トレの頻度が増えた
女性	70 代	木ノ下小学校区	していない
女性	60 代	百石小学校区	毎日自分で運動している

図表 21-2 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の変化
(令和3年度/性別・年齢・居住地区)



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	438	499	73	116	178	193	221	168	235	80	82	143	377

(3) 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策

問 31 あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくために、行政が今後、特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。【2つまで選択可能】



- 「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が 36.5%で最も多い。
※平成 29 年度も「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が 46.0%で最も多い。

図表 22-1 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策（全体）※複数回答

n = 961

項目	令和3年度	平成29年度
指導者や相談体制の充実	15.8%	22.2%
各種講座などの情報提供の充実	20.7%	24.7%
スポーツ施設など活動の場の整備充実	36.5%	46.0%
スポーツイベントの企画・開催	25.6%	28.0%
その他	1.9%	1.9%
特にない	22.5%	17.9%

図表 22-2 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策…【その他の記載内容】

性別	年代	居住地区	その他の記載内容
女性	60代	木ノ下小学校区	町民一人ひと芸やひとスポーツ等、身近に感じられる取り組みをして競技種目をしぼるとか
女性	70代	木ノ下小学校区	周りに活動している人がほとんどいない
男性	30代	木内々小学校区	スポーツしたらポイントもらえる等
男性	70代	百石小学校区	施設の利用が簡単であること
男性	40代	百石小学校区	駅伝以外のスポーツイベントの企画開催
男性	50代	百石小学校区	施設を遅くまで開館する。
女性	20代	木ノ下小学校区	企画の周知
女性	40代	木ノ下小学校区	施設は不要、コンパクトにリモートで可能するようにしていただきたい。
男性	30代	百石小学校区	安価で利用できる高性能な機器が充実したジム
男性	40代	木ノ下小学校区	プロ野球チームを呼ぶ
男性	50代	百石小学校区	行政はなにもしなくてよい！
男性	50代	木ノ下小学校区	行政が行うことではないと思います
男性	30代	百石小学校区	スポーツ施設の利用方法の周知

図表 22-3 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策
 (令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		スポーツ施設など活動の場の整備充実 36.5%	スポーツイベントの企画・開催 25.6%	各種講座などの情報提供の充実 20.7%
性別	男性	スポーツ施設など活動の場の整備充実 39.0%	スポーツイベントの企画・開催 30.8%	各種講座などの情報提供の充実 17.4%
	女性	スポーツ施設など活動の場の整備充実 35.1%	各種講座などの情報提供の充実 24.2%	スポーツイベントの企画・開催 21.6%
年齢	10代・20代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 47.9%	スポーツイベントの企画・開催 47.9%	各種講座などの情報提供の充実 12.3%
	30代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 44.8%	スポーツイベントの企画・開催 33.6%	各種講座などの情報提供の充実 24.1%
	40代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 45.5%	スポーツイベントの企画・開催 30.3%	指導者や相談体制の充実／各種講座などの情報提供の充実 16.3%
	50代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 39.4%	各種講座などの情報提供の充実 スポーツイベントの企画・開催 28.0%	
	60代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 29.9%	スポーツイベントの企画・開催 23.5%	指導者や相談体制の充実／各種講座などの情報提供の充実 21.7%
	70歳以上	スポーツ施設など活動の場の整備充実 23.8%	各種講座などの情報提供の充実 17.3%	指導者や相談体制の充実 13.7%
	居住地区	百石小学校区	スポーツ施設など活動の場の整備充実 37.0%	スポーツイベントの企画・開催 28.1%
甲洋小学校区		スポーツ施設など活動の場の整備充実 33.8%	各種講座などの情報提供の充実 26.3%	スポーツイベントの企画・開催 23.8%
下田小学校区		スポーツ施設など活動の場の整備充実 37.8%	スポーツイベントの企画・開催 25.6%	指導者や相談体制の充実 20.7%
木内々小学校区		スポーツ施設など活動の場の整備充実 37.8%	スポーツイベントの企画・開催 29.4%	各種講座などの情報提供の充実 28.7%
木ノ下小学校区		スポーツ施設など活動の場の整備充実 37.1%	スポーツイベントの企画・開催 23.3%	各種講座などの情報提供の充実 19.4%

図表 22-4 今後特に力を入れるべきスポーツ活動の活性化対策 上位3位
 (令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成 29 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		スポーツ施設など活動の場の整備充実 46.0%	スポーツイベントの企画・開催 28.0%	各種講座などの情報提供の充実 24.7%
性別	男性	スポーツ施設など活動の場の整備充実 49.4%	スポーツイベントの企画・開催 30.7%	指導者や相談体制の充実 22.1%
	女性	スポーツ施設など活動の場の整備充実 43.8%	各種講座などの情報提供の充実 29.1%	スポーツイベントの企画・開催 26.3%
年齢	10代・20代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 56.5%	スポーツイベントの企画・開催 32.9%	指導者や相談体制の充実 18.8%
	30代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 60.3%	スポーツイベントの企画・開催 41.8%	各種講座などの情報提供の充実 26.2%
	40代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 49.7%	スポーツイベントの企画・開催 33.1%	指導者や相談体制の充実／各種講座などの情報提供の充実 19.9%
	50代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 54.1%	各種講座などの情報提供の充実 30.1%	スポーツイベントの企画・開催 24.0%
	60代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 38.7%	各種講座などの情報提供の充実 33.3%	指導者や相談体制の充実 27.0%
	70歳以上	スポーツ施設など活動の場の整備充実 27.1%	指導者や相談体制の充実 25.3%	各種講座などの情報提供の充実 20.0%
居住地区	百石小学校区	スポーツ施設など活動の場の整備充実 45.9%	各種講座などの情報提供の充実 28.8%	スポーツイベントの企画・開催 25.9%
	甲洋小学校区	スポーツ施設など活動の場の整備充実 41.9%	スポーツイベントの企画・開催 29.0%	指導者や相談体制の充実 22.6%
	下田小学校区	指導者や相談体制の充実／スポーツ施設など活動の場の整備充実 32.5%		各種講座などの情報提供の充実 28.9%
	木内々小学校区	スポーツ施設など活動の場の整備充実 41.0%	スポーツイベントの企画・開催 34.2%	各種講座などの情報提供の充実 28.2%
	木ノ下小学校区	スポーツ施設など活動の場の整備充実 53.0%	スポーツイベントの企画・開催 28.4%	指導者や相談体制の充実／各種講座などの情報提供の充実 23.0%

8 地域との関わりについて

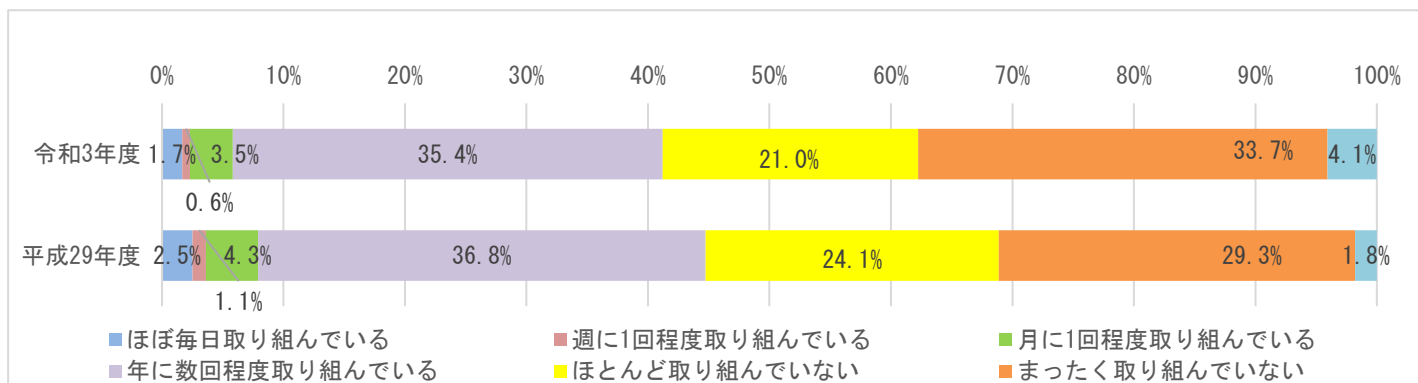
(1) 地域（町内会）活動への参加状況

問 32 この1年間に地域（町内会）活動に参加したことがありますか。

- 「年に数回程度参加している」が35.4%で最も多い。
※平成29年度も「年に数回程度参加している」が36.8%で最も多い。

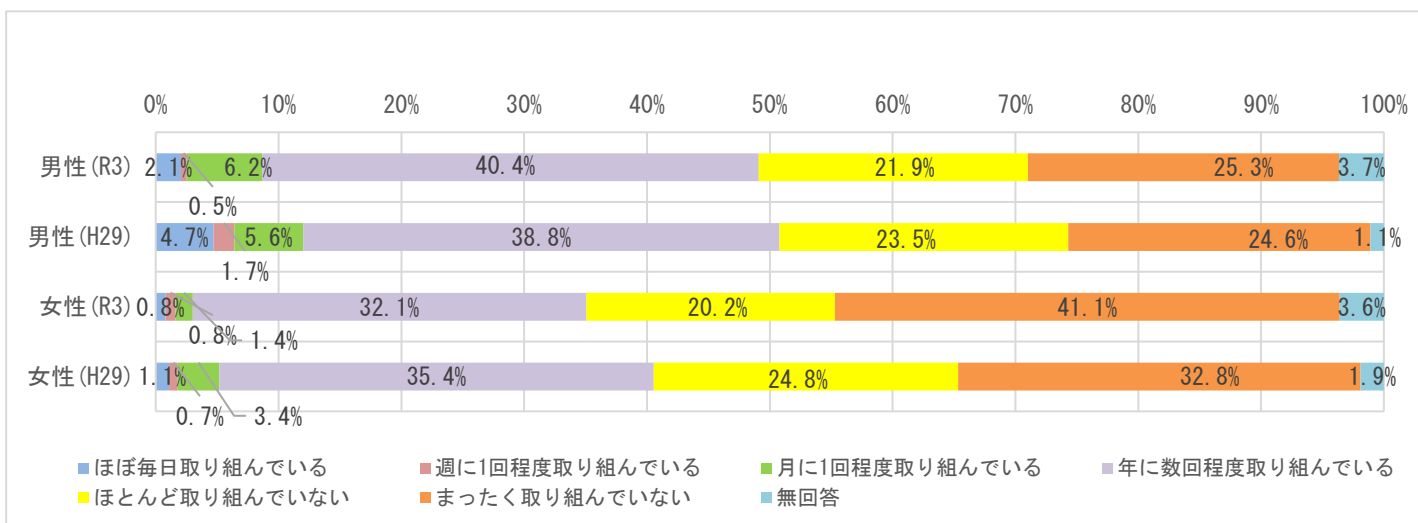
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
ほぼ毎日参加している	1.7	2.5
週に1度参加している	0.6	1.1
月に1回程度参加している	3.5	4.3
年に数回程度参加している	35.4	36.8
ほとんど参加していない	21.0	24.1
まったく参加していない	33.7	29.3

図表 23-1 地域（町内会）活動への参加状況（全体）



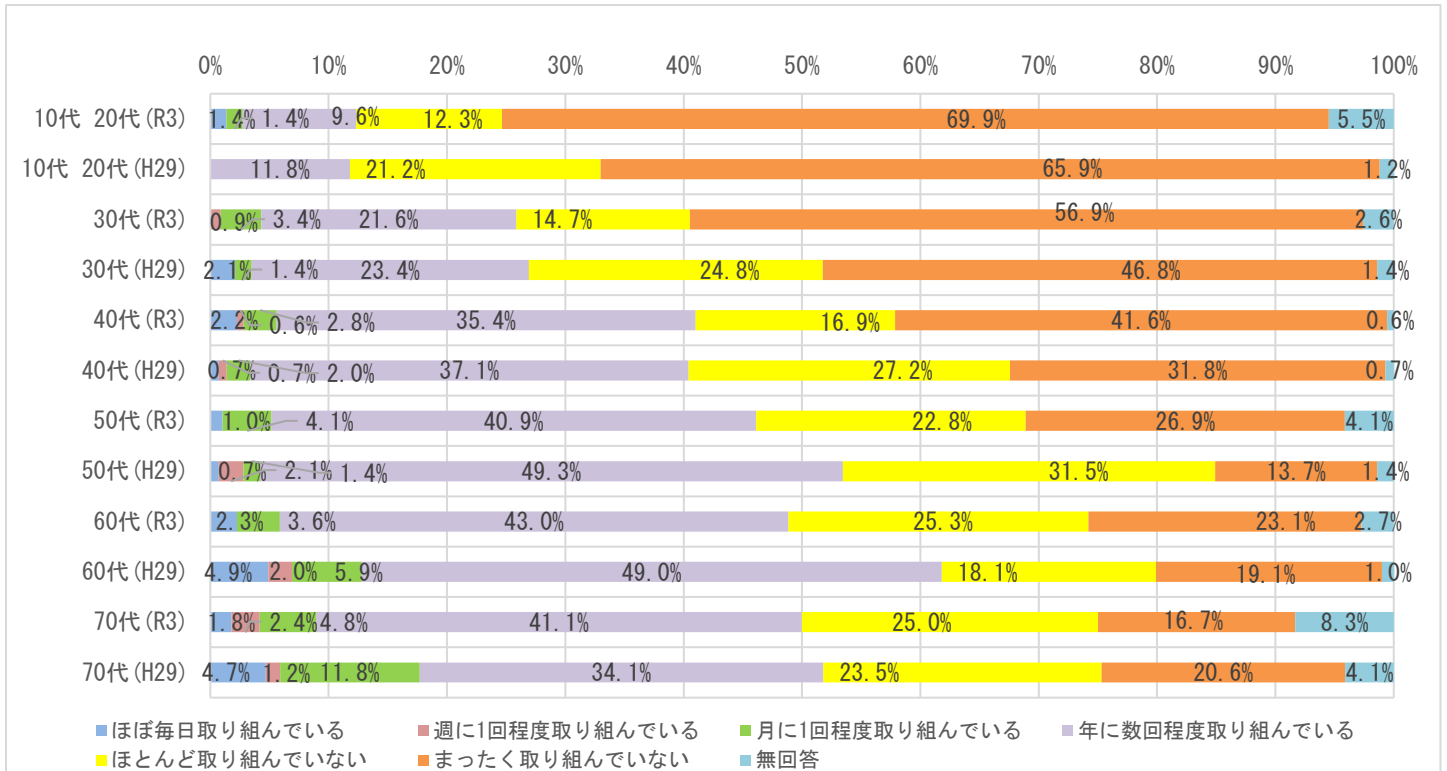
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 23-2 地域（町内会）活動への参加状況（性別）



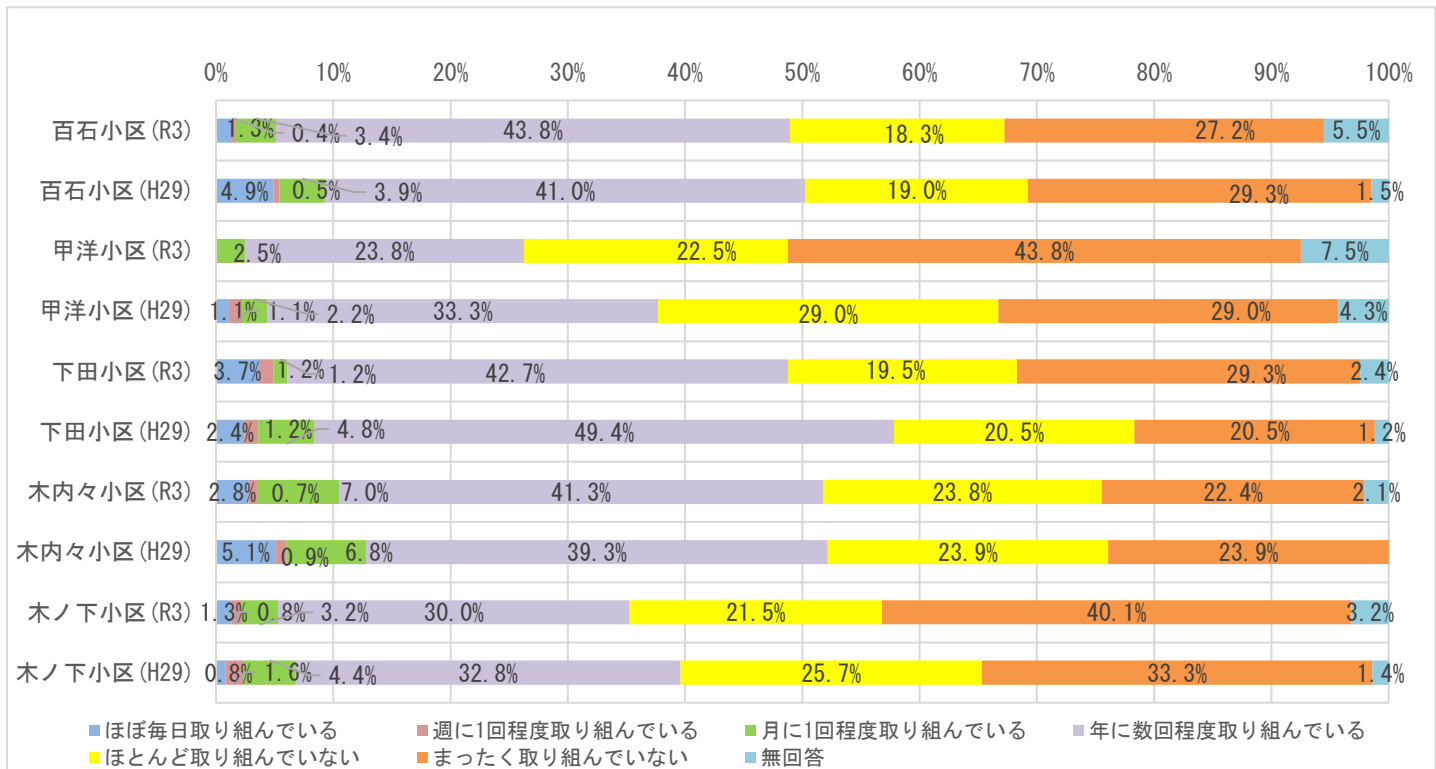
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 23-3 地域（町内会）活動への参加状況（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 23-4 地域（町内会）活動への参加状況（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

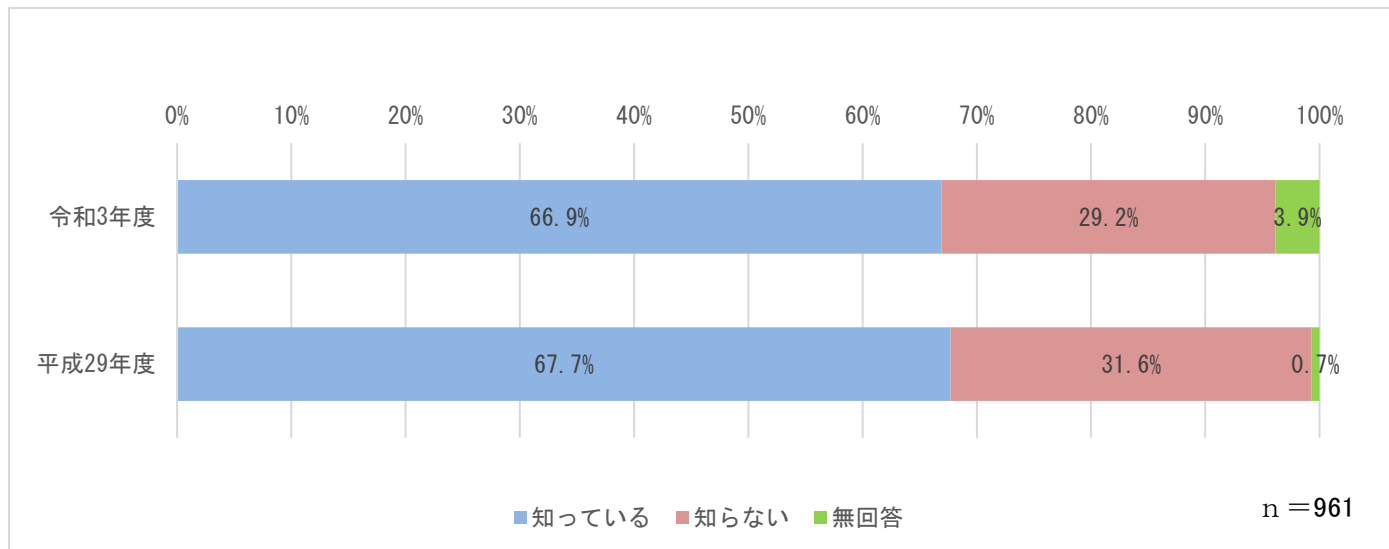
9 消防・防災・防犯・交通安全について

(1) 災害時の避難路・避難場所

問 33 あなたは、災害時における避難路・避難場所（指定緊急避難場所）を知っていますか。

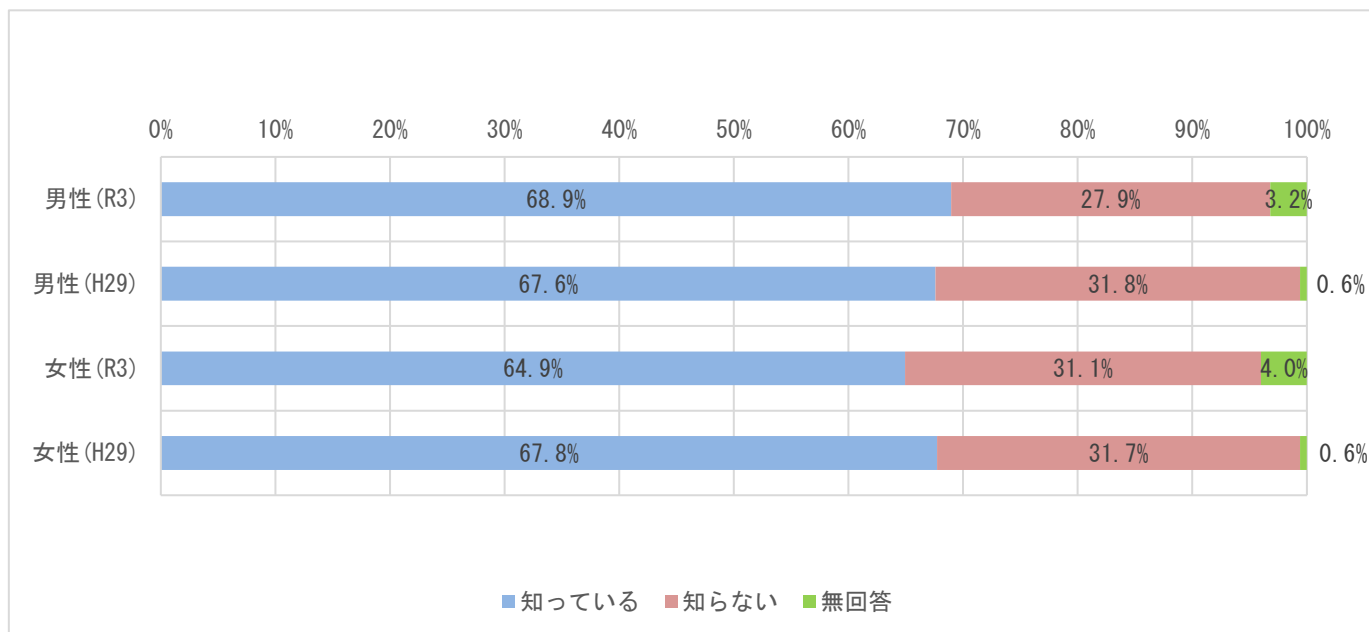
- 「知っている」(66.9%)、「知らない」(29.2%)
※平成 29 年度は「知っている」(67.7%)、「知らない」(31.6%)

図表 24-1 災害時の避難路・避難場所（全体）



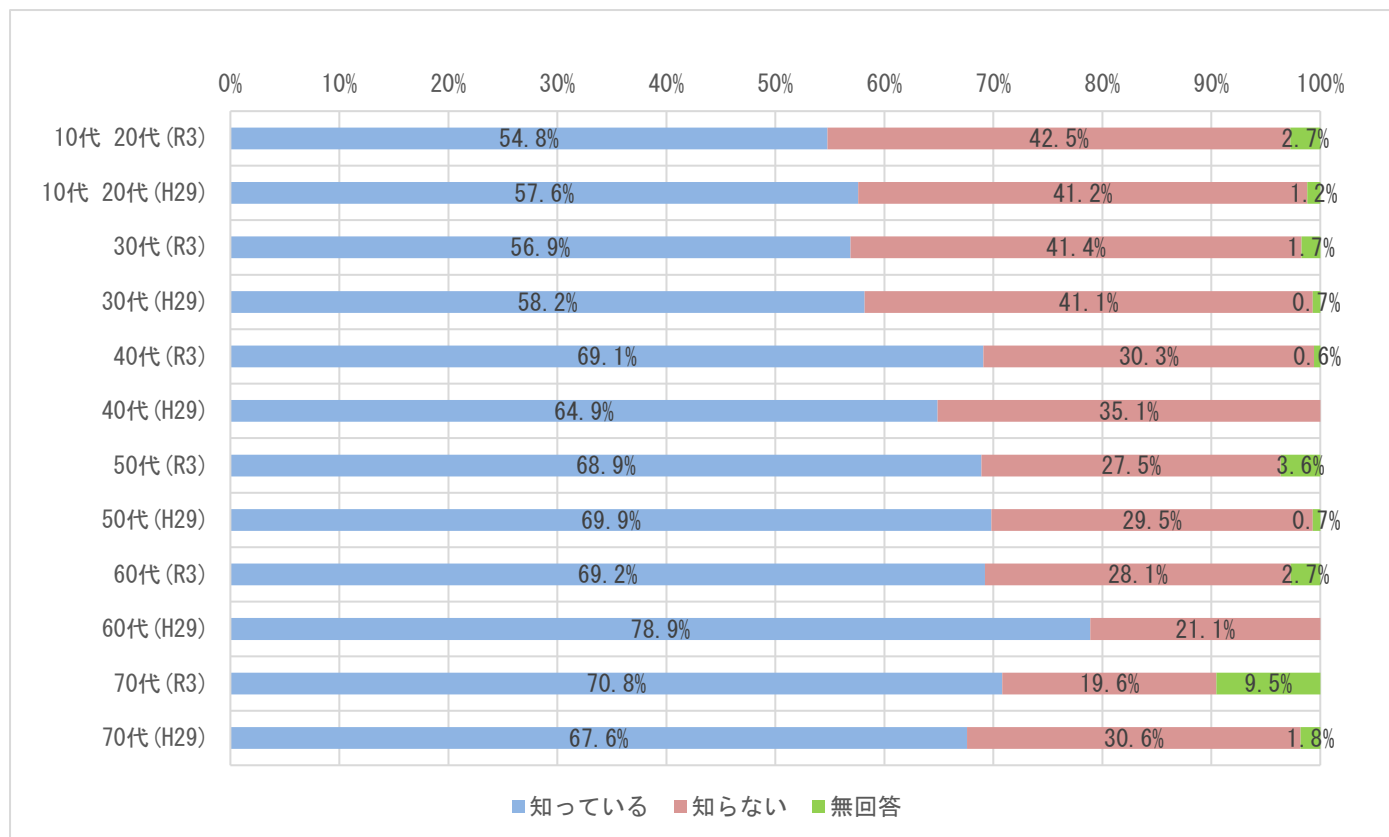
	令和 3 年度	平成 29 年度
n	961	904

図表 24-2 災害時の避難路・避難場所（性別）



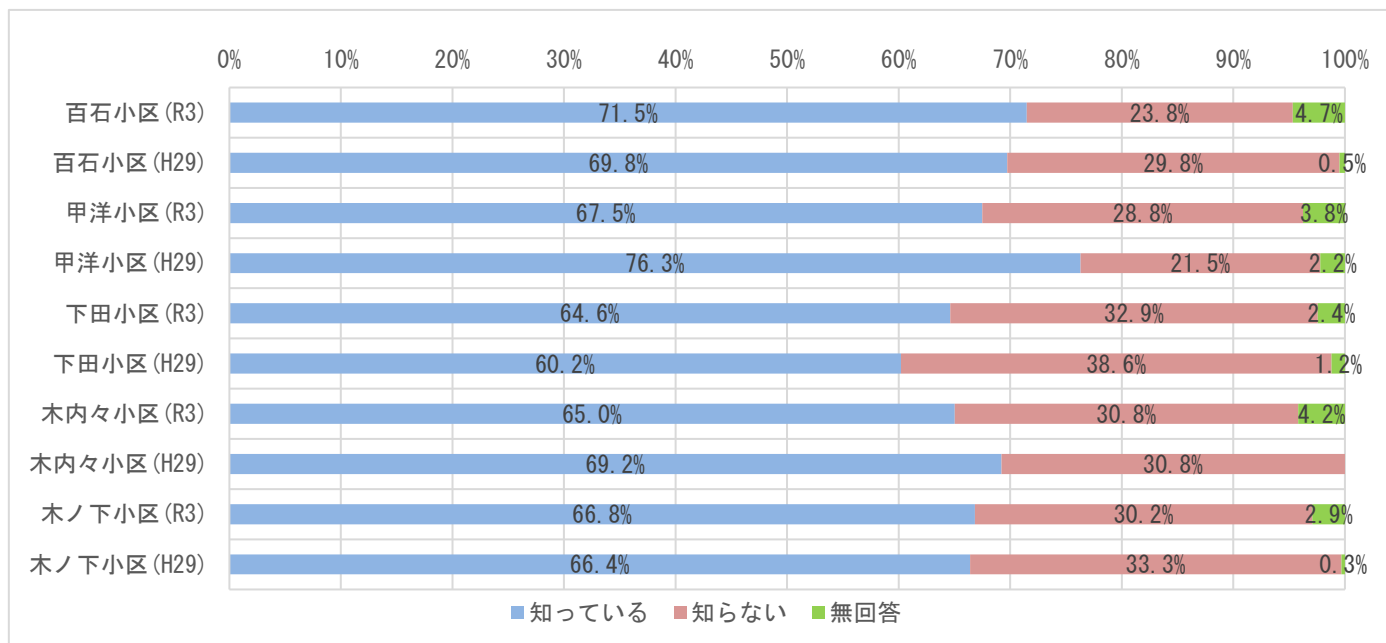
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 24-3 災害時の避難路・避難場所（年齢）



	10代20代 (R3)	10代20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 24-4 災害時の避難路・避難場所（居住地区）

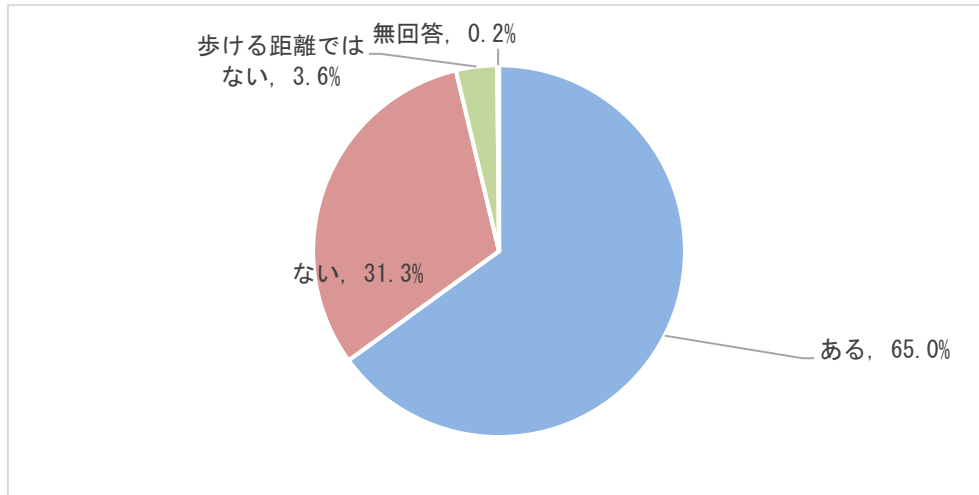


	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

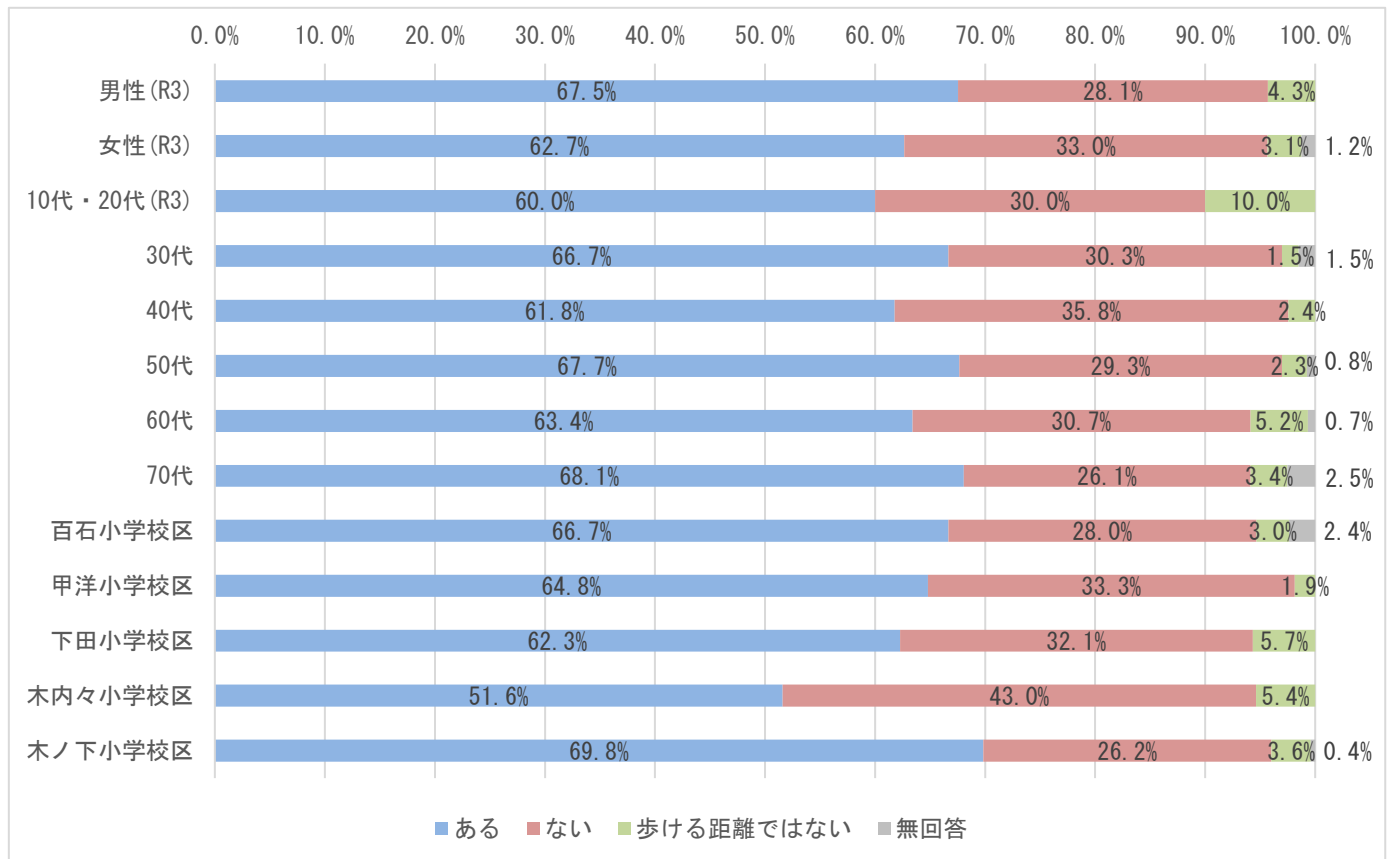
「1. 知っている」を選択した場合、その指定緊急避難場所まで歩いたことがありますか。

● 歩いたことが「ある」は65.0%、「ない」は31.3%、「歩ける距離ではない」は3.6%。

図表 24-5 指定緊急避難場所まで歩いたことがあるか（令和3年度/全体）



図表 24-6 指定緊急避難場所まで歩いたことがあるか（性別・年齢・居住地区）



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代 20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	302	324	40	66	123	133	153	119	168	54	53	93	252

(2) 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策

問 34 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのようなことを特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

- 「老朽化した公共施設や道路・橋などの改修」が1位。

※平成29年度も「老朽化した公共施設や道路・橋などの改修」が1位。

特に「老朽化した公共施設や道路・橋などの改修」(32.5%)、「河川など災害発生危険箇所の整備」(30.6%)、「災害時の情報連絡体制の充実」(25.2%)が高いです。

図表 25-1 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策（全体）※複数回答

項目	令和3年度	平成29年度
消防・救急体制の充実	17.4%	23.5%
消防団の体制の充実	3.6%	7.0%
防火・防災意識の啓発活動の充実	7.3%	7.6%
防災訓練・避難訓練の充実	8.2%	11.5%
地域における自主防災組織の育成	6.8%	10.0%
防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実	13.8%	18.6%
災害時の情報連絡体制の充実	25.2%	30.0%
河川など災害発生危険箇所の整備	30.6%	21.7%
老朽化した公共施設や道路・橋などの改修	32.5%	30.2%
その他	1.6%	1.3%
特にない	8.3%	7.5%

図表 25-2 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
男性	60代	百石小学校区	消防団と自主防との連携
男性	60代	木内々小学校区	各地の避難場所がわからない
女性	70代	木ノ下小学校区	近くにあり助かりますが、呼ばないようにしています。
男性	70代	百石小学校区	他市町村と共同しての河川管理
女性	50代	木ノ下小学校区	三沢基地が攻撃されたときの対処、避難計画、むつ市は原子力施設事故の際の避難計画がある
男性	50代	木ノ下小学校区	防災無線はとてもよい。
女性	30代	木内々小学校区	用水路、ため池の周りで遊ぶ子をよく見かける。さく等、対策必要では？
女性	20代	木ノ下小学校区	町民の食糧確保
男性	40代	百石小学校区	障がい者(車いす)対応の避難場所
男性	40代	下田小学校区	道幅、橋幅がせますぎる
女性	40代	木内々小学校区	正直、現状がよく分からない
男性	50代	木ノ下小学校区	災害派遣時の家族へのサポート
男性	40代	下田小学校区	災害時に役立つ物の整備

図表 25-3 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策 上位3位

(令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.5%	河川など災害発生危険箇所の整備 30.6%	災害時の情報連絡体制の充実 25.2%
性別	男性	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.5%	河川など災害発生危険箇所の整備 30.6%	災害時の情報連絡体制の充実 25.2%
	女性	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.5%	河川など災害発生危険箇所の整備 30.9%	災害時の情報連絡体制の充実 27.3%
年齢	10代・20代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 46.6%	河川など災害発生危険箇所の整備 35.6%	災害時の情報連絡体制の充実 15.1%
	30代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 43.1%	河川など災害発生危険箇所の整備 39.7%	災害時の情報連絡体制の充実 22.4%
	40代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 38.8%	河川など災害発生危険箇所の整備 30.3%	災害時の情報連絡体制の充実 28.7%
	50代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 36.8%	河川など災害発生危険箇所の整備 35.8%	災害時の情報連絡体制の充実 27.5%
	60代	河川など災害発生危険箇所の整備 29.9%	災害時の情報連絡体制の充実 27.1%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 25.8%
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 23.2%	河川など災害発生危険箇所の整備 18.5%	消防・救急体制の充実 17.9%
居住地区	百石小学校区	河川など災害発生危険箇所の整備 40.0%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.8%	災害時の情報連絡体制の充実 25.1%
	甲洋小学校区	災害時の情報連絡体制の充実 31.3%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 28.8%	河川など災害発生危険箇所の整備 25.0%
	下田小学校区	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 35.4%	河川など災害発生危険箇所の整備 29.3%	災害時の情報連絡体制の充実 23.2%
	木内々小学校区	河川など災害発生危険箇所の整備 44.1%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.2%	災害時の情報連絡体制の充実 28.0%
	木ノ下小学校区	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 34.7%	消防・救急体制の充実 24.9%	災害時の情報連絡体制の充実 23.3%

図表 25-4 今後特に力を入れるべき町の消防・防災対策 上位3位

(平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 30.2%	災害時の情報連絡体制の充実 30.0%	消防・救急体制の充実 23.5%
性別	男性	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 29.6%	災害時の情報連絡体制の充実 25.4%	河川など災害発生危険箇所の整備 23.7%
	女性	災害時の情報連絡体制の充実 32.8%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 30.9%	消防・救急体制の充実 24.0%
年齢	10代・20代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 37.6%	災害時の情報連絡体制の充実 25.9%	消防・救急体制の充実 20.0%
	30代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 37.6%	災害時の情報連絡体制の充実 26.2%	消防・救急体制の充実／河川など災害発生危険箇所の整備 24.8%
	40代	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 41.1%	災害時の情報連絡体制の充実／河川など災害発生危険箇所の整備 25.2%	
	50代	災害時の情報連絡体制の充実 38.4%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 31.5%	消防・救急体制の充実 29.5%
	60代	災害時の情報連絡体制の充実 33.3%	河川など災害発生危険箇所の整備 27.5%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 25.0%
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 27.6%	消防・救急体制の充実 24.1%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 16.5%
居住地区	百石小学校区	災害時の情報連絡体制の充実／河川など災害発生危険箇所の整備 30.7%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 29.3%	
	甲洋小学校区	災害時の情報連絡体制の充実 33.3%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.3%	河川など災害発生危険箇所の整備 24.7%
	下田小学校区	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 30.1%	河川など災害発生危険箇所の整備 21.7%	消防・救急体制の充実／災害時の情報連絡体制の充実 20.5%
	木内々小学校区	災害時の情報連絡体制の充実 32.5%	河川など災害発生危険箇所の整備 29.1%	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 24.8%
	木ノ下小学校区	老朽化した公共施設や道路・橋などの改修 32.8%	災害時の情報連絡体制の充実 31.4%	消防・救急体制の充実 31.1%

(2) 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策

問 35 あなたは、防犯・交通安全対策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【2つまで選択可能】

- 「交通安全を確保した道路環境の整備」が 55.4% で第 1 位。

※平成 29 年度も「交通安全を確保した道路環境の整備」が 55.6% で第 1 位。

特に「交通安全を確保した道路環境の整備」(55.4%)、「消費者保護対策の情報提供やサード体制充実」(24.7%)、「防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮」(24.1%)が高いです。

図表 26-1 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策（全体）※複数回答

項目	令和3年度	平成29年度
交通事故防止のための啓発やイベントの開催	12.3%	14.6%
交通安全を確保した道路環境の整備	55.4%	55.6%
防犯意識の高揚のための啓発や犯罪防止への配慮	24.1%	31.9%
消費者保護対策の情報提供やサード体制の充実	24.7%	21.5%
振り込め詐欺などへの注意喚起	17.4%	24.3%
その他	2.4%	2.5%
特になし	6.9%	7.4%
無回答	8.6%	

図表 26-2 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
-	30代	木ノ下小学校区	歩道の点灯をもう少し明るくしてほしい(気比神社のあたりなど)
男性	60代	百石小学校区	特に若い主婦
男性	60代	木ノ下小学校区	自転車のマナー 大人・学生
女性	70代	百石小学校区	暗い道路をなくする。
女性	40代	下田小学校区	街灯のみではなく、住宅地道路への防犯カメラの設置
女性	40代	木ノ下小学校区	歩行者や自転車の方も交通ルールを守る。横断歩道が近くにあるの にない所を横断するのをやめる、自動車の運行の仕方など車両側の ルールはもちろん、歩行者や自転車もルールを守ると、もっと安全に なると思う。
男性	50代	下田小学校区	通学路の歩道の整備
男性	50代	木ノ下小学校区	通学路なのにスピード出し過ぎる車が多く怖いので「ハンプ」の設置を 要望します。
男性	40代	木ノ下小学校区	パトロール強化
女性	50代	木ノ下小学校区	横断歩道・中央線、消えているのが危ない
女性	30代	木内々小学校区	保育所への指導。防犯対策が弱い気がする。
男性	50代	百石小学校区	高齢者への指導
女性	50代	木ノ下小学校区	小・中学校の交通事故防止
男性	20代	木ノ下小学校区	地域の方への意識づけ
女性	70代	木ノ下小学校区	丁寧な除雪をお願いしたい
男性	60代	木ノ下小学校区	冬期路面(わだち・凍結など)の安全確保
男性	40代	木ノ下小学校区	横断歩道を必ず歩くように。特に高齢者
男性	50代	百石小学校区	行政は税金を使わない
男性	30代	百石小学校区	防犯パトロールの充実
男性	40代	下田小学校区	危険にあった時に行動マニュアル整備

図表 26-3 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策 上位3位

(令和3年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和3年度		第1位	第2位	第3位
全体		交通安全を確保した道路環境の整備 55.4%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 24.7%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 24.1%
性別	男性	交通安全を確保した道路環境の整備 55.9%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 26.3%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 23.1%
	女性	交通安全を確保した道路環境の整備 54.9%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 25.7%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 23.2%
年齢	10代・20代	交通安全を確保した道路環境の整備 52.1%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 23.3%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 21.9%
	30代	交通安全を確保した道路環境の整備 60.3%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 25.9%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 21.6%
	40代	交通安全を確保した道路環境の整備 59.6%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 27.5%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 25.8%
	50代	交通安全を確保した道路環境の整備 57.5%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 27.5%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 22.3%
	60代	交通安全を確保した道路環境の整備 55.2%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 27.1%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 26.7%
	70歳以上	交通安全を確保した道路環境の整備 47.6%	振り込め詐欺などへの注意喚起 25.6%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 20.8%
居住地区	百石小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 48.9%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 31.5%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 21.7%
	甲洋小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 52.5%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 振り込め詐欺などへの注意喚起	20.0%
	下田小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 52.4%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.7%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 23.2%
	木内々小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 60.8%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 26.6%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 24.5%
	木ノ下小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 61.0%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 25.2%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 21.8%

図表 26-4 今後特に力を入れるべき防犯・交通安全対策 上位3位
 (令和29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		交通安全を確保した道路環境の整備 55.6%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.9%	振り込め詐欺などへの注意喚起 24.3%
性別	男性	交通安全を確保した道路環境の整備 59.2%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 32.4%	振り込め詐欺などへの注意喚起 23.5%
	女性	交通安全を確保した道路環境の整備 53.4%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.5%	振り込め詐欺などへの注意喚起 25.1%
年齢	10代・20代	交通安全を確保した道路環境の整備 54.1%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 36.5%	振り込め詐欺などへの注意喚起 24.7%
	30代	交通安全を確保した道路環境の整備 68.8%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 26.2%	交通事故防止のための啓発やイベントの開催 23.4%
	40代	交通安全を確保した道路環境の整備 60.3%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.1%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 25.8%
	50代	交通安全を確保した道路環境の整備 60.3%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 34.9%	振り込め詐欺などへの注意喚起 24.7%
	60代	交通安全を確保した道路環境の整備 49.0%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 36.8%	振り込め詐欺などへの注意喚起 26.5%
	70歳以上	交通安全を確保した道路環境の整備 45.9%	振り込め詐欺などへの注意喚起 32.9%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 26.5%
居住地区	百石小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 49.8%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.2%	振り込め詐欺などへの注意喚起 24.4%
	甲洋小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 41.9%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 26.9%	振り込め詐欺などへの注意喚起 25.8%
	下田小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 49.4%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 37.3%	振り込め詐欺などへの注意喚起 27.7%
	木内々小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 56.4%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 33.3%	振り込め詐欺などへの注意喚起 27.4%
	木ノ下小学校区	交通安全を確保した道路環境の整備 64.8%	防犯意識高揚の啓発や犯罪防止への配慮 31.1%	消費者保護対策の情報提供や林 ^① -t体制充実 22.7%

10 購買行動について

(1) 町内小売店を利用しているか

問 36 あなたは、町内小売店（ショッピングモールやショッピングセンター、商店街やコンビニ含む）を利用していますか。

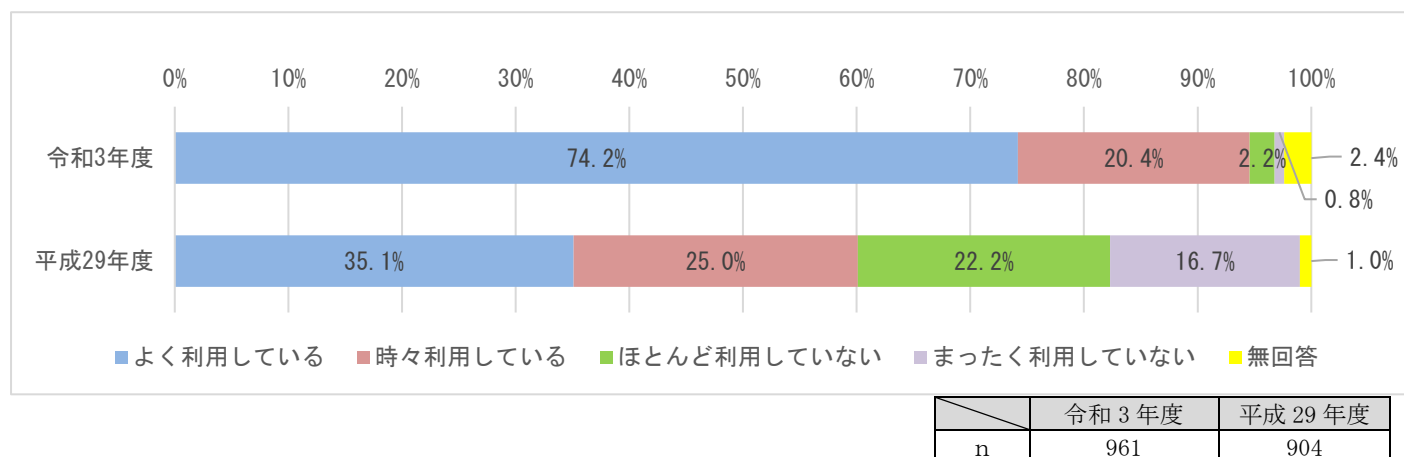
● “利用している” が 94.6%、“利用していない” が 3.0%。

「よく利用している」（74.2%）と「時々利用している」（20.4%）を合わせた“利用している”が 94.6%、一方、「ほとんど利用していない」（2.2%）、と「まったく利用していない」（0.8%）を合わせた“利用していない”が 3.0%となっています。

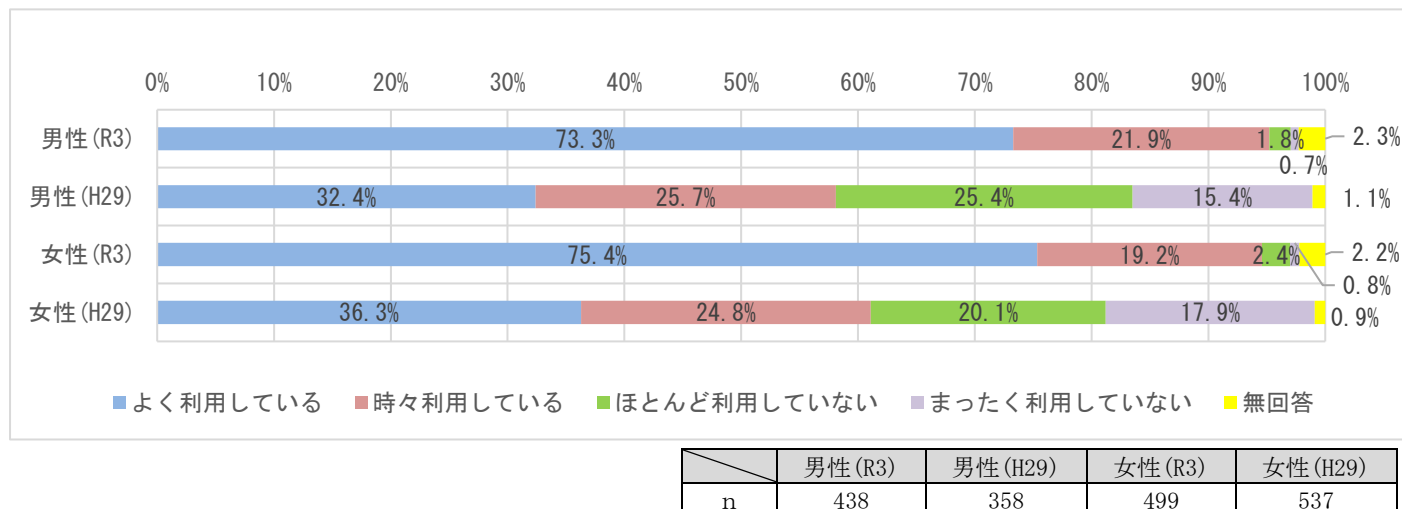
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
よく利用している	74.2	35.1
時々利用している	20.4	25.0
ほとんど利用していない	2.2	22.2
まったく利用していない	0.8	16.7

※平成29年度は「地元の商店街を利用していますか」という設問でしたが、現在の計画の達成指標は「町内の小売店を利用している」の割合になったため、今回のアンケートでは設問内容を変更しております。

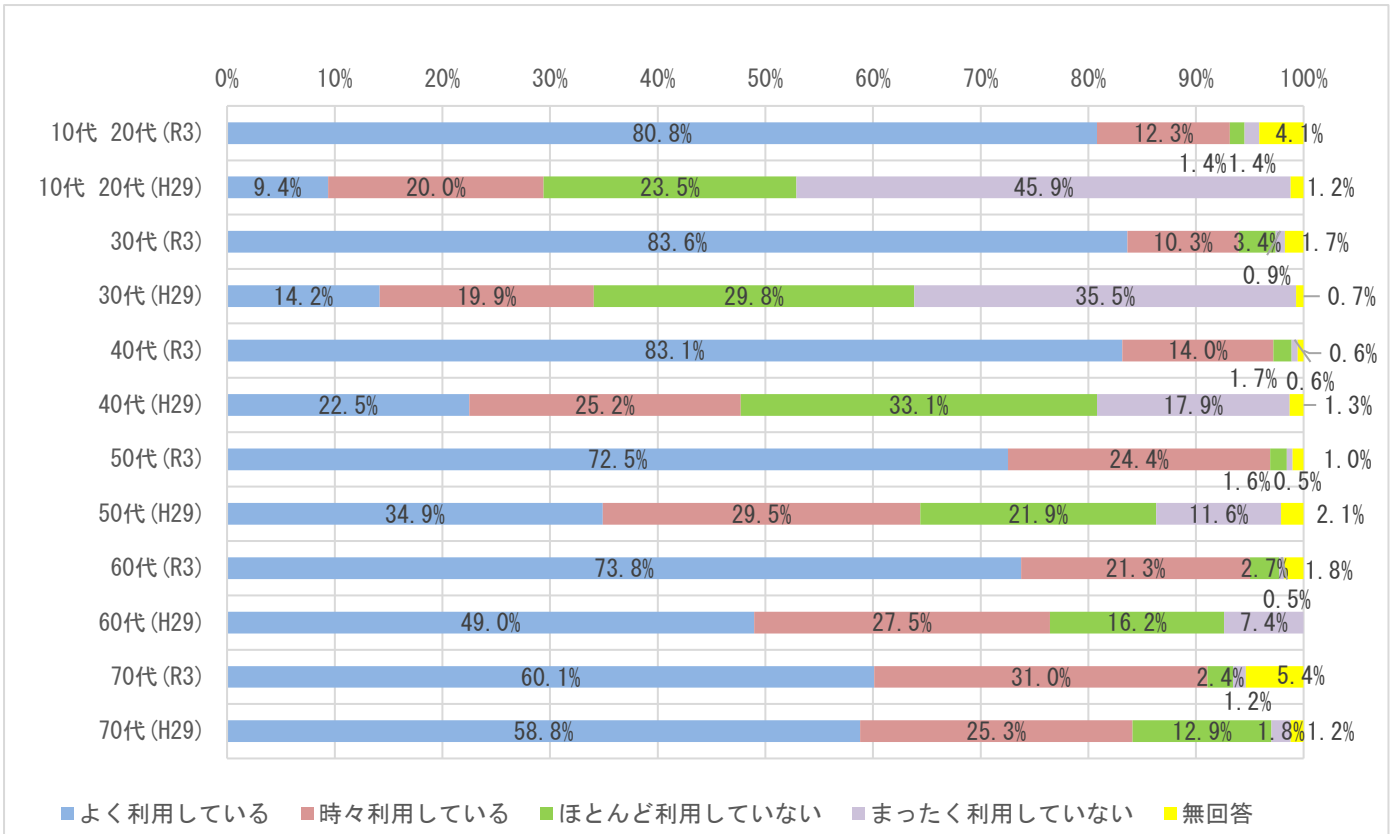
図表 27-1 町内の小売店を利用しているか（全体）



図表 27-2 町内の小売店を利用しているか（性別）

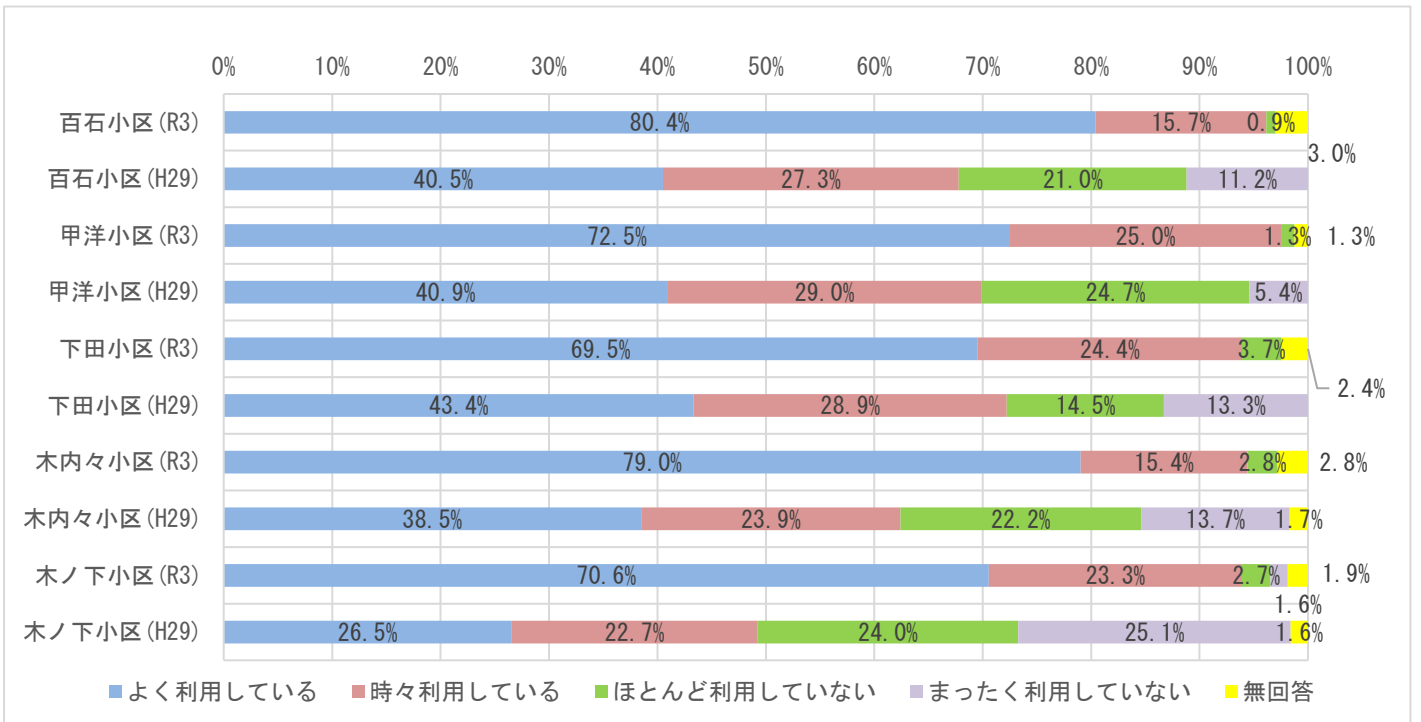


図表 27-3 町内の小売店を利用しているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 27-4 町内の小売店を利用しているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

11 協働のまちづくりについて

(1) 町の計画や取り組みへの関心

問 37 あなたは、町の計画や取り組みについて、関心がありますか。

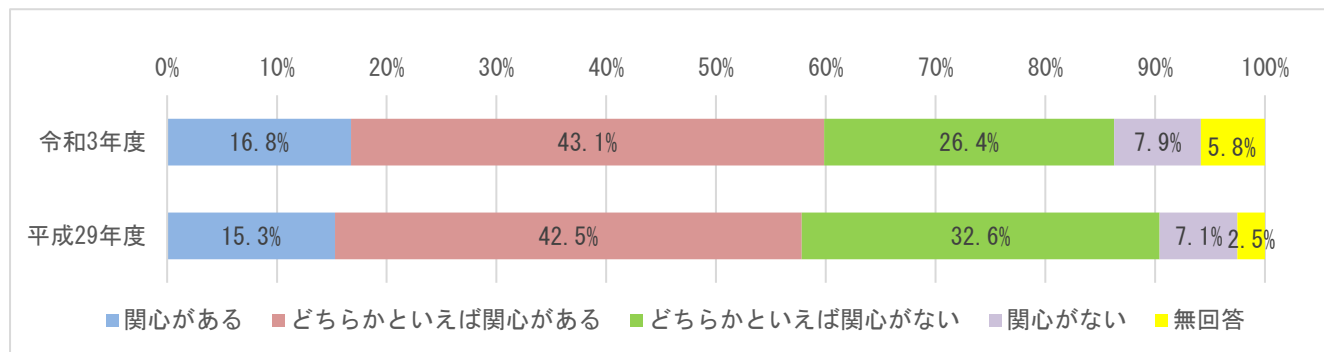
● “関心がある”が59.9%、“関心がない”は34.3%。

※平成29年度は“関心がある”が57.8%、“関心がない”は39.7%。

「関心がある」(16.8%)、「どちらかといえば関心がある」(43.1%)、を合わせた“関心がある”が59.9%、一方、「どちらかといえば関心がない」(26.4%)と「関心がない」(7.9%)を合わせた“関心がない”は34.3%となっています。

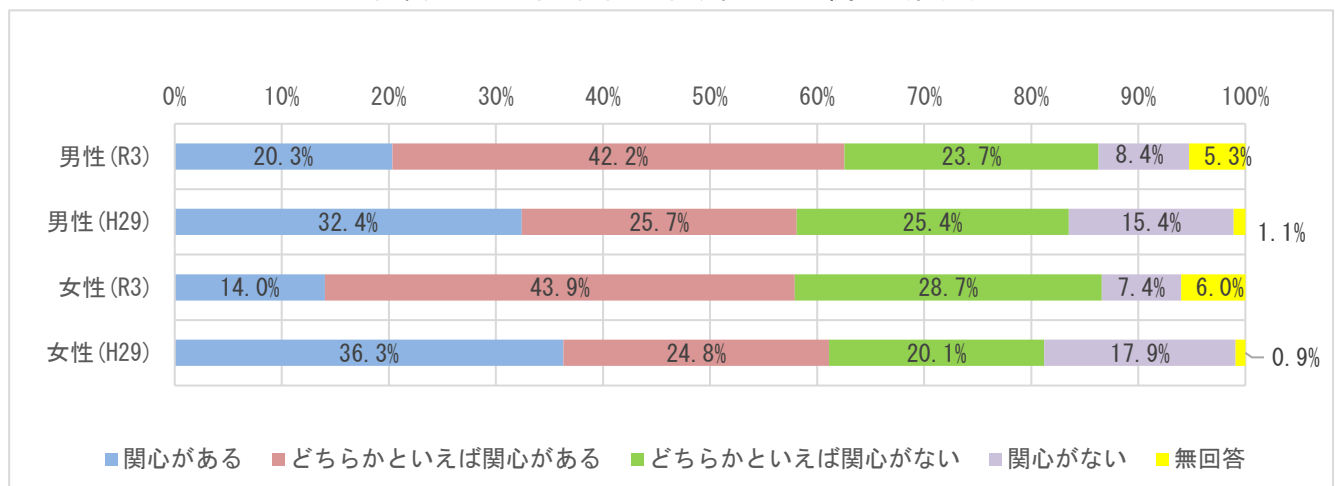
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
関心がある	16.8	15.3
どちらかといえば関心がある	43.1	42.5
どちらかといえば関心がない	26.4	32.6
関心がない	7.9	7.1

図表 28-1 町の計画や取り組みへの関心（全体）



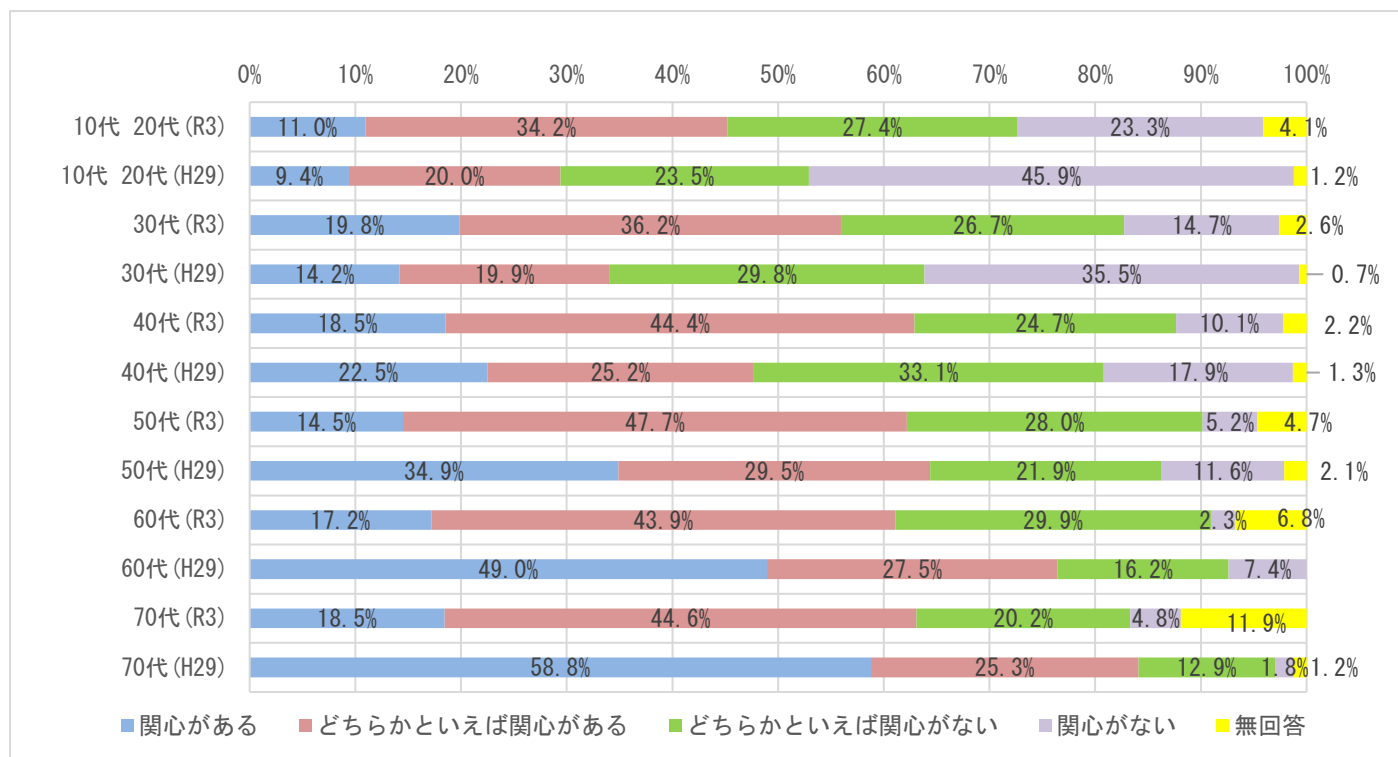
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 28-2 町の計画や取り組みへの関心（性別）



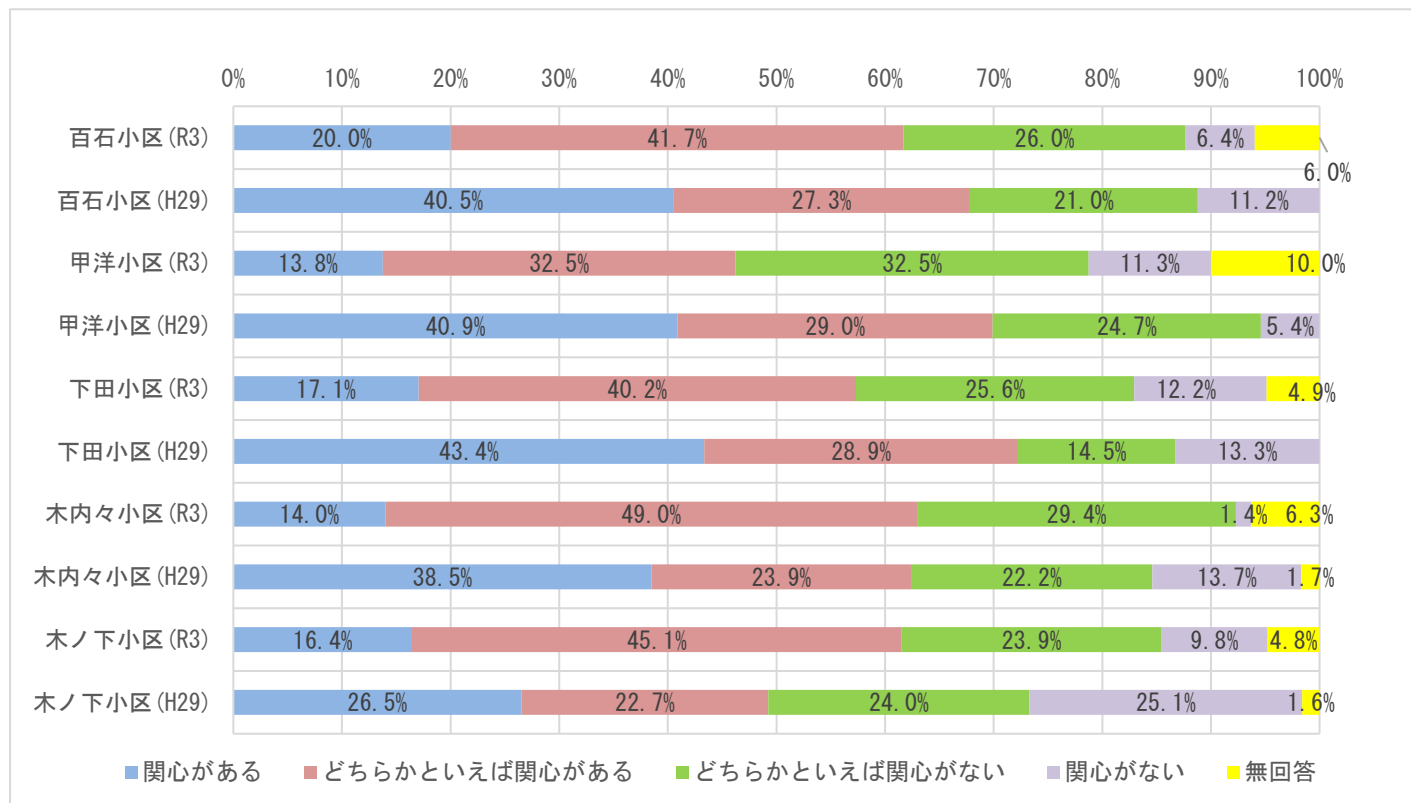
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 28-3 町の計画や取り組みへの関心（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 28-4 町の計画や取り組みへの関心（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(2) まちづくり活動や行政活動への参加状況

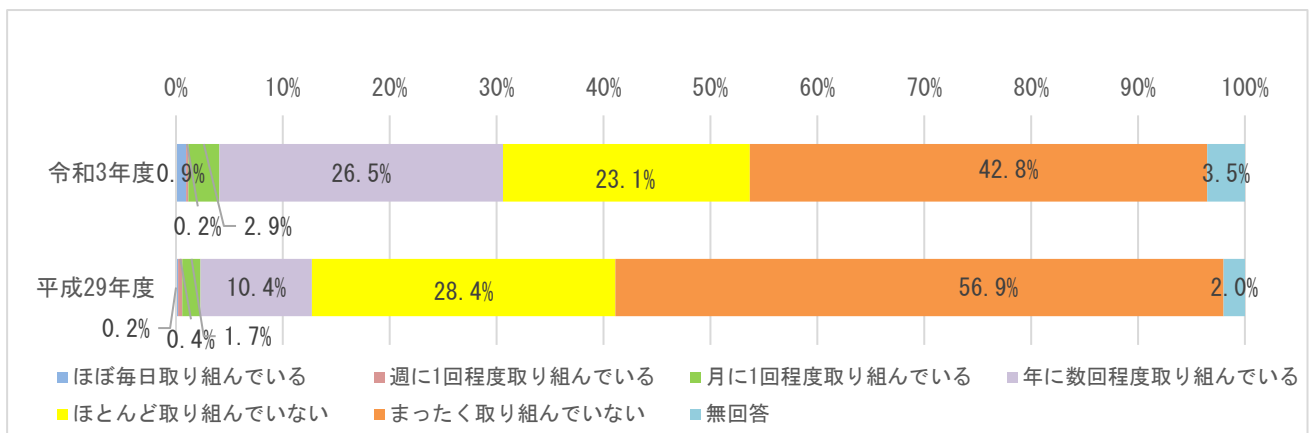
問 38 この1年間、まちづくり活動（ボランティア活動、町内会の活動等）や行政活動（審議会委員等）に参加したことがありますか。

● 「まったく参加していない」が42.8%で最も多い。

※平成29年度は「まったく参加していない」が56.9%で最も多い。

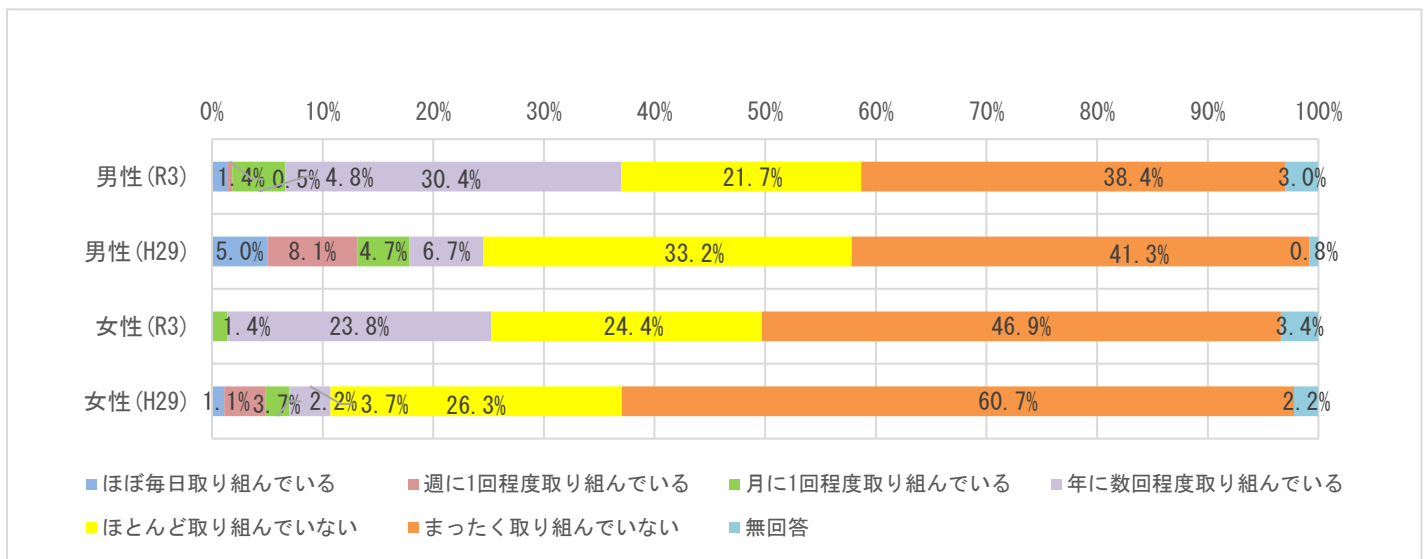
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
ほぼ毎日参加している	0.9	0.2
週に1回程度参加している	0.2	0.4
月に1回程度参加している	2.9	1.7
年に数回程度参加している	26.5	10.4
ほとんど参加していない	23.1	28.4
まったく参加していない	42.8	56.9

図 29-1 まちづくり活動や行政活動への参加状況（全体）



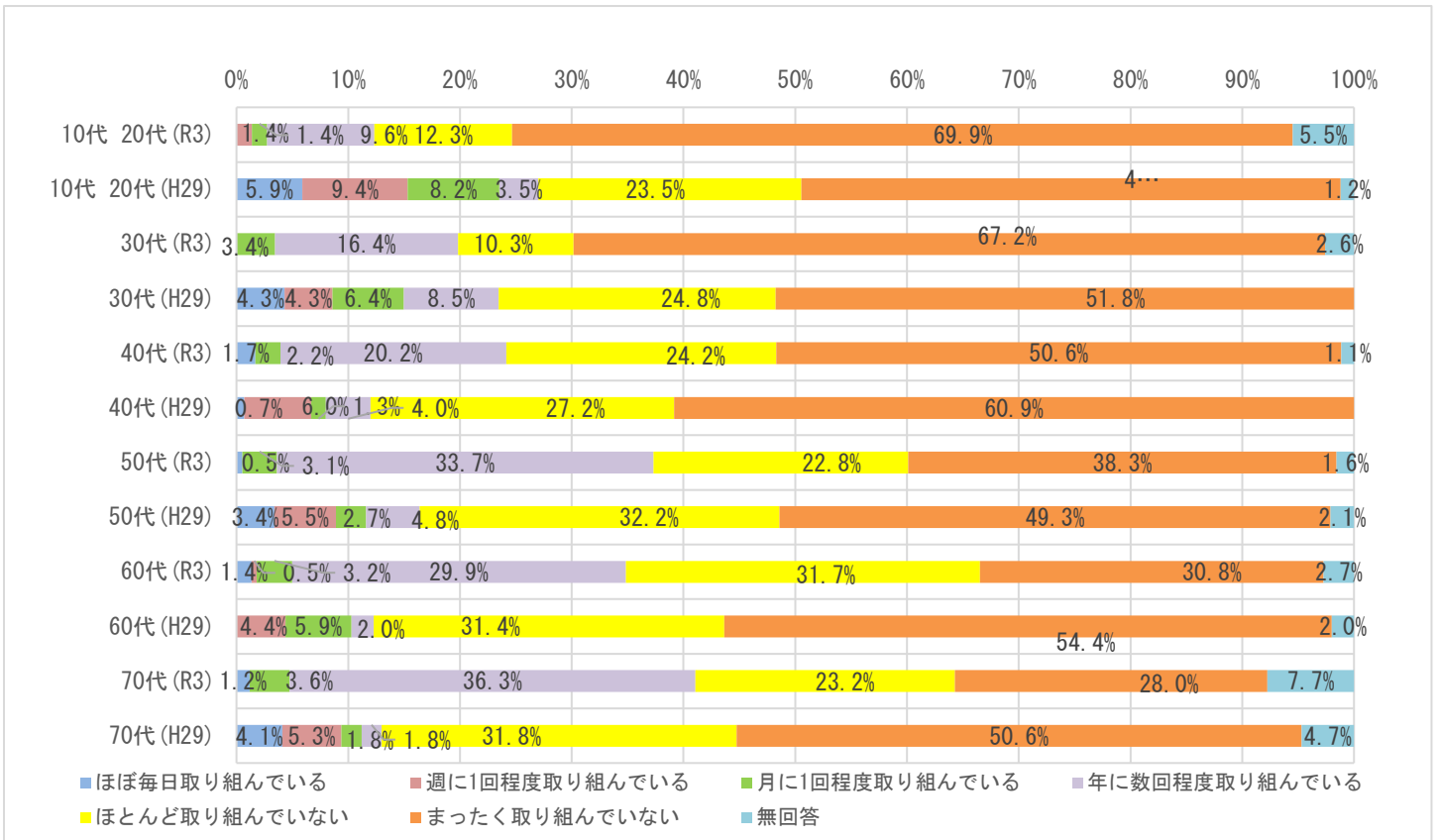
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 29-2 まちづくり活動や行政活動への参加状況（性別）



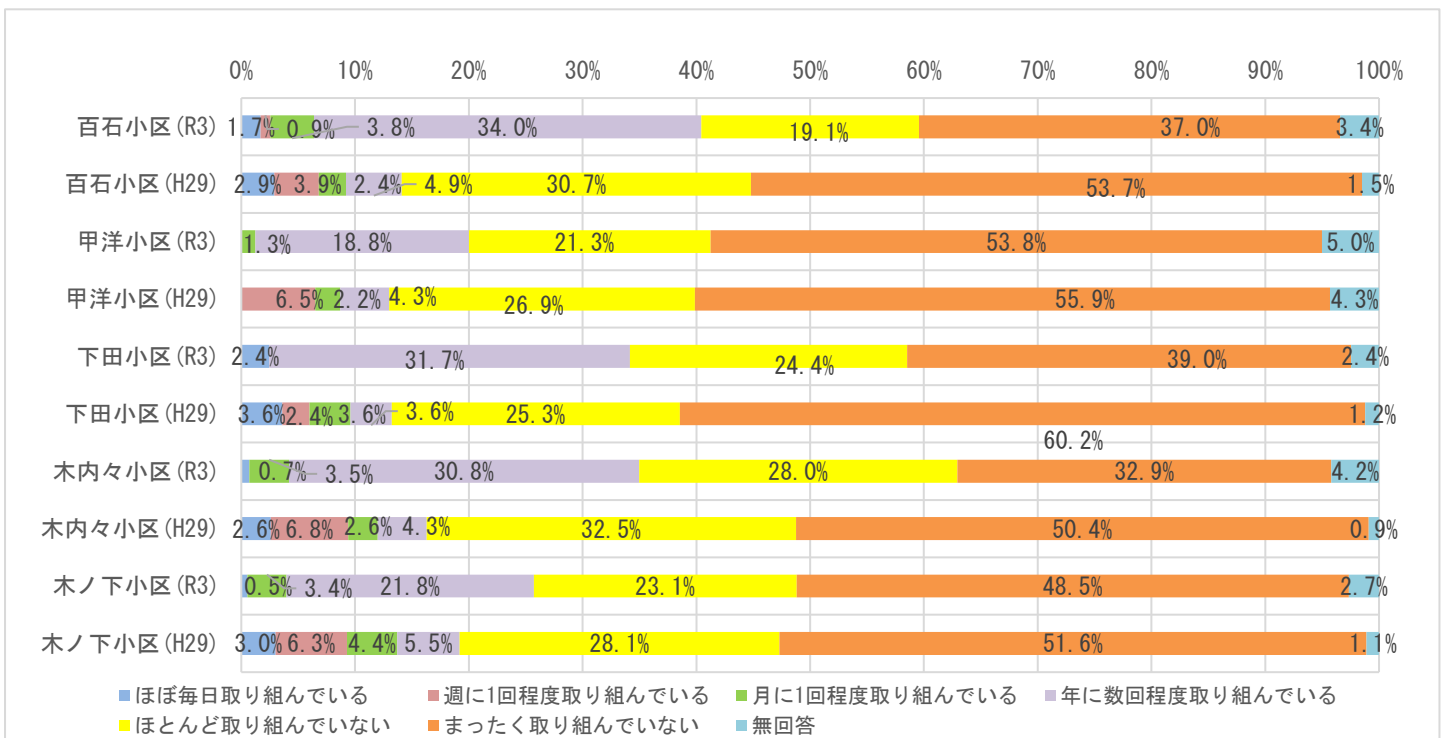
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 29-3 まちづくり活動や行政活動への参加状況（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図 29-4 まちづくり活動や行政活動への参加状況（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(3) 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか

問 39 おいらせ町では、町民と行政による協働のまちづくりが進められていると思いますか。

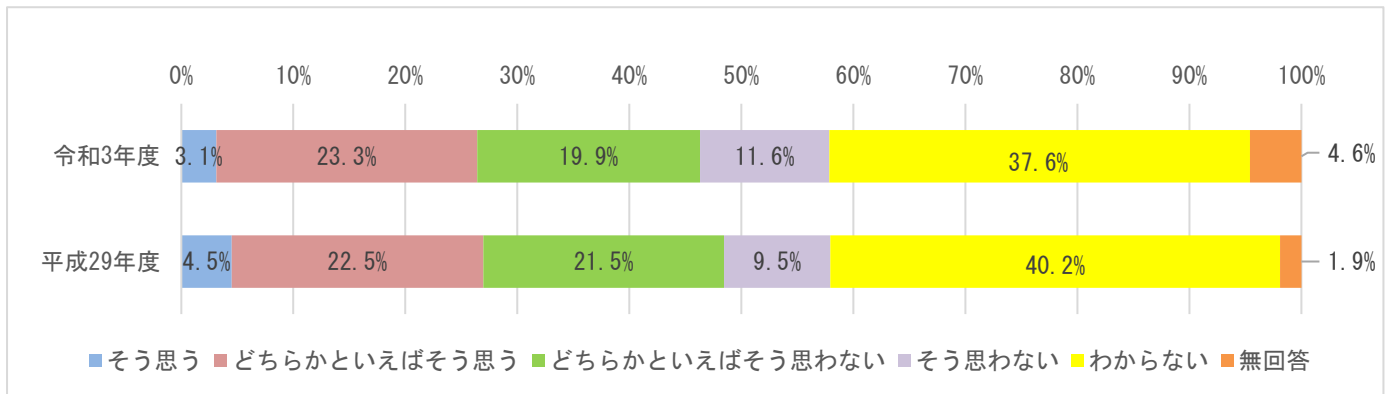
● “そう思う” が 26.4%、“そう思わない” は 31.5%。

※平成 29 年度は “そう思う” が 27.0%、“そう思わない” は 31.0%。

「どちらかといえばそう思う」(23.3%)と「そう思う」(3.1%)を合わせた“そう思う”が26.4%、一方、「どちらかといえばそう思わない」(19.9%)と「そう思わない」(11.6%)を合わせた“そう思わない”は31.5%となっています。

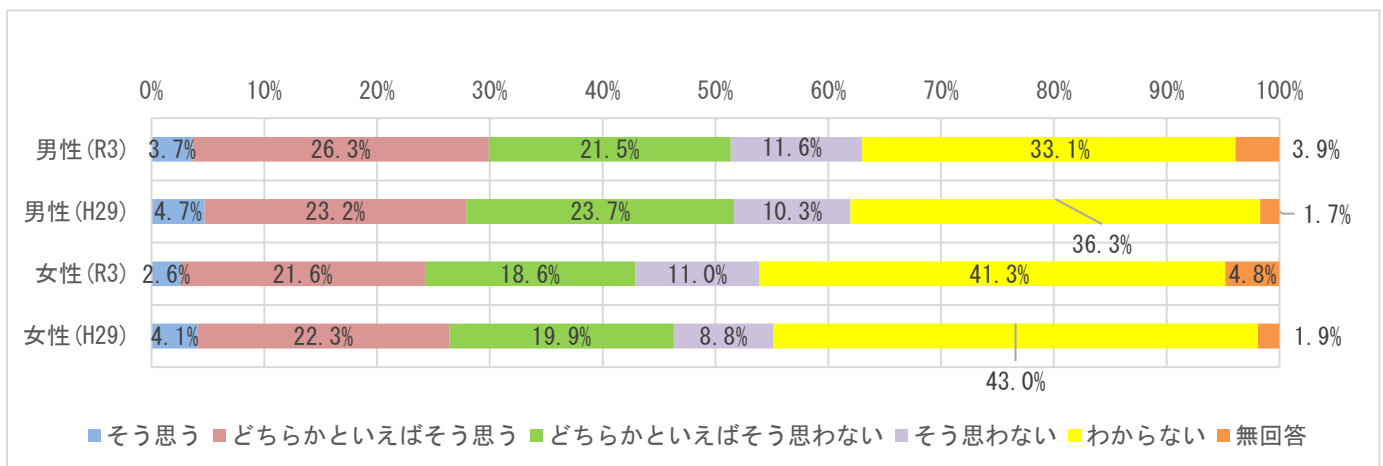
前回調査結果との比較	令和 3 年度 (%)	平成 29 年度 (%)
そう思う	3.1	4.5
どちらかといえばそう思う	23.3	22.5
どちらかといえばそう思わない	19.9	21.5
そう思わない	11.6	9.5
わからない	37.6	40.2

図 30-1 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか（全体）



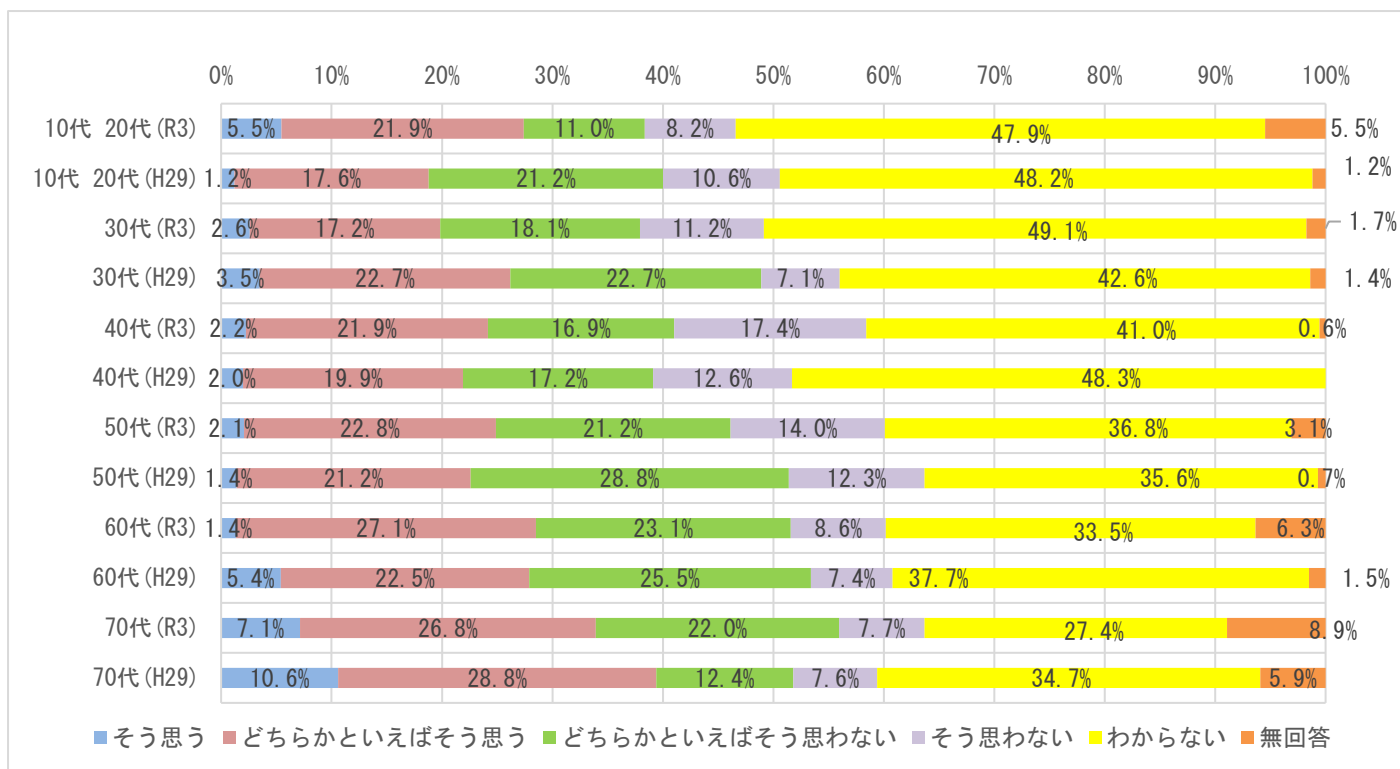
	令和 3 年度	平成 29 年度
n	961	904

図表 30-2 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか（性別）



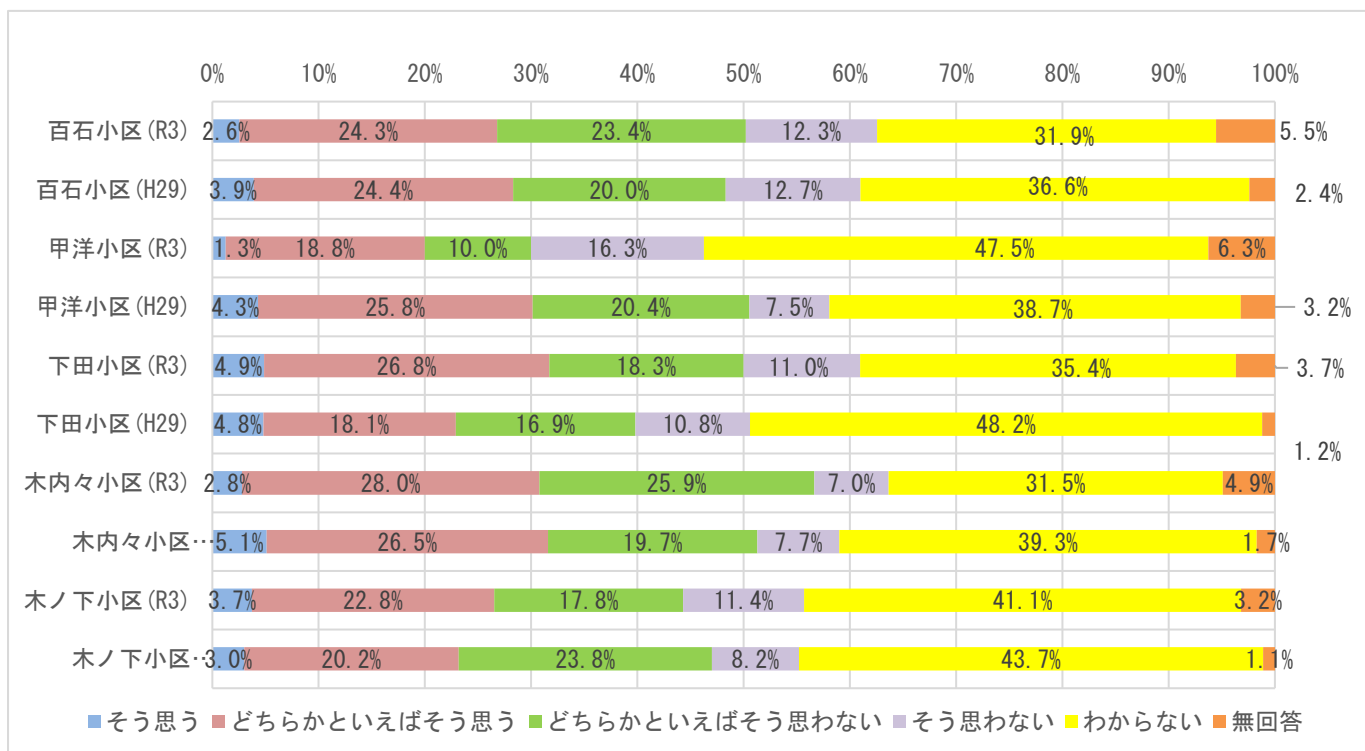
	男性 (R3)	男性 (H29)	女性 (R3)	女性 (H29)
n	438	358	499	537

図表 30-3 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 30-4 町民と行政の協働のまちづくりが進められているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

12 男女共同参画社会について

(1) 男女の地位は平等になっているか

問 40 社会全体において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

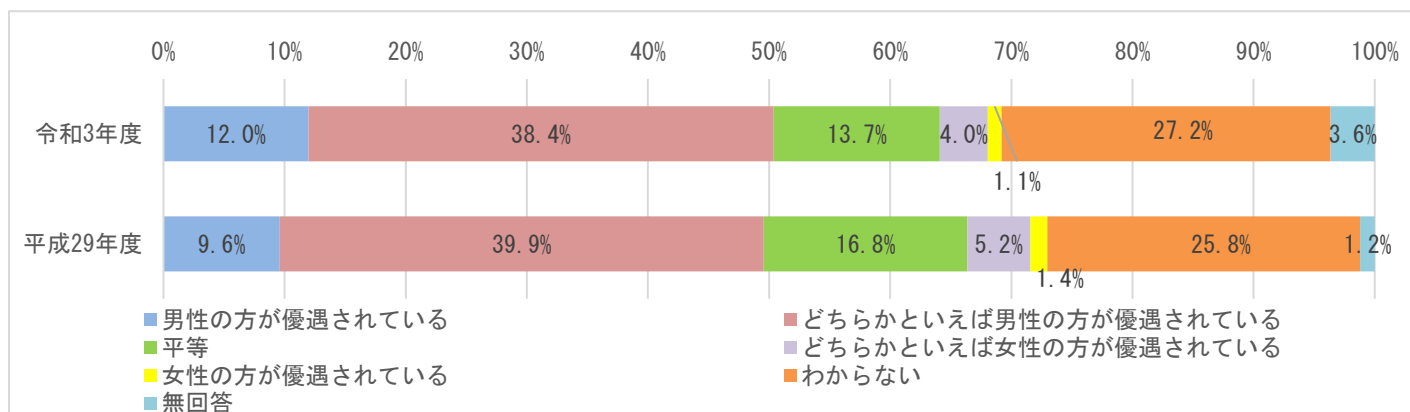
● “男性優遇”が50.4%、“女性優遇”が5.1%、“平等”が13.7%。

※平成29年度は“男性優遇”が49.5%、“女性優遇”が6.6%、“平等”が16.8%。

「男性の方が優遇されている」(12.0%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(38.4%)を合わせた“男性優遇”が50.4%、「平等」(13.7%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(4.0%)、「女性の方が優遇されている」(1.1%)を合わせた“女性優遇”が5.1%となっています。なお、「わからない」は27.2%となっています。

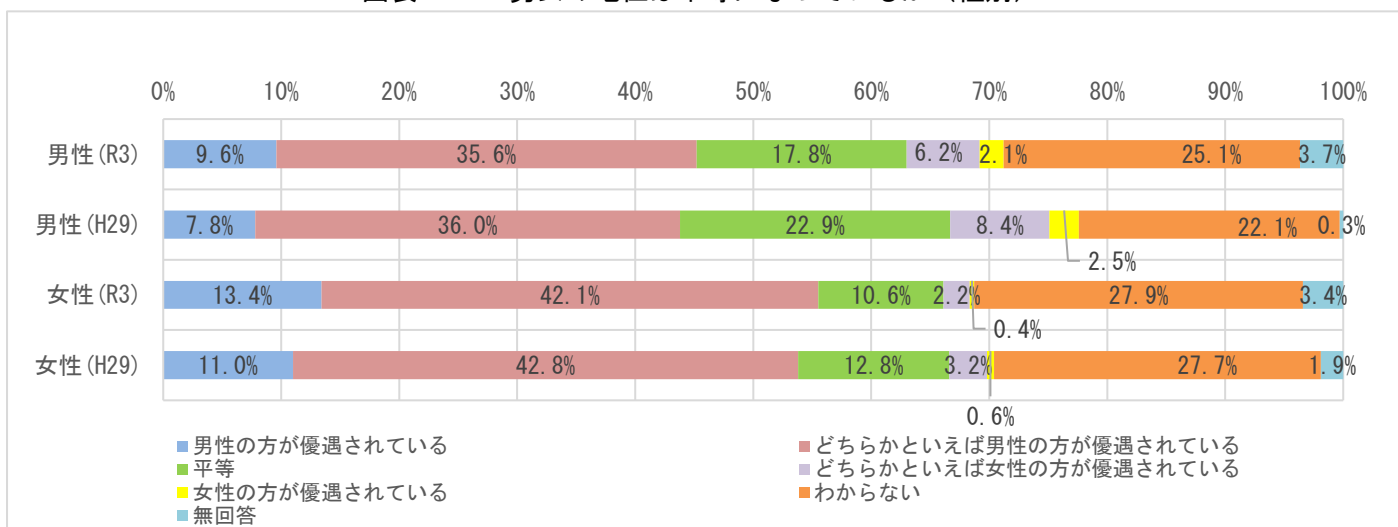
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
平等	13.7	16.8

図表 31-1 男女の地位は平等になっているか（全体）



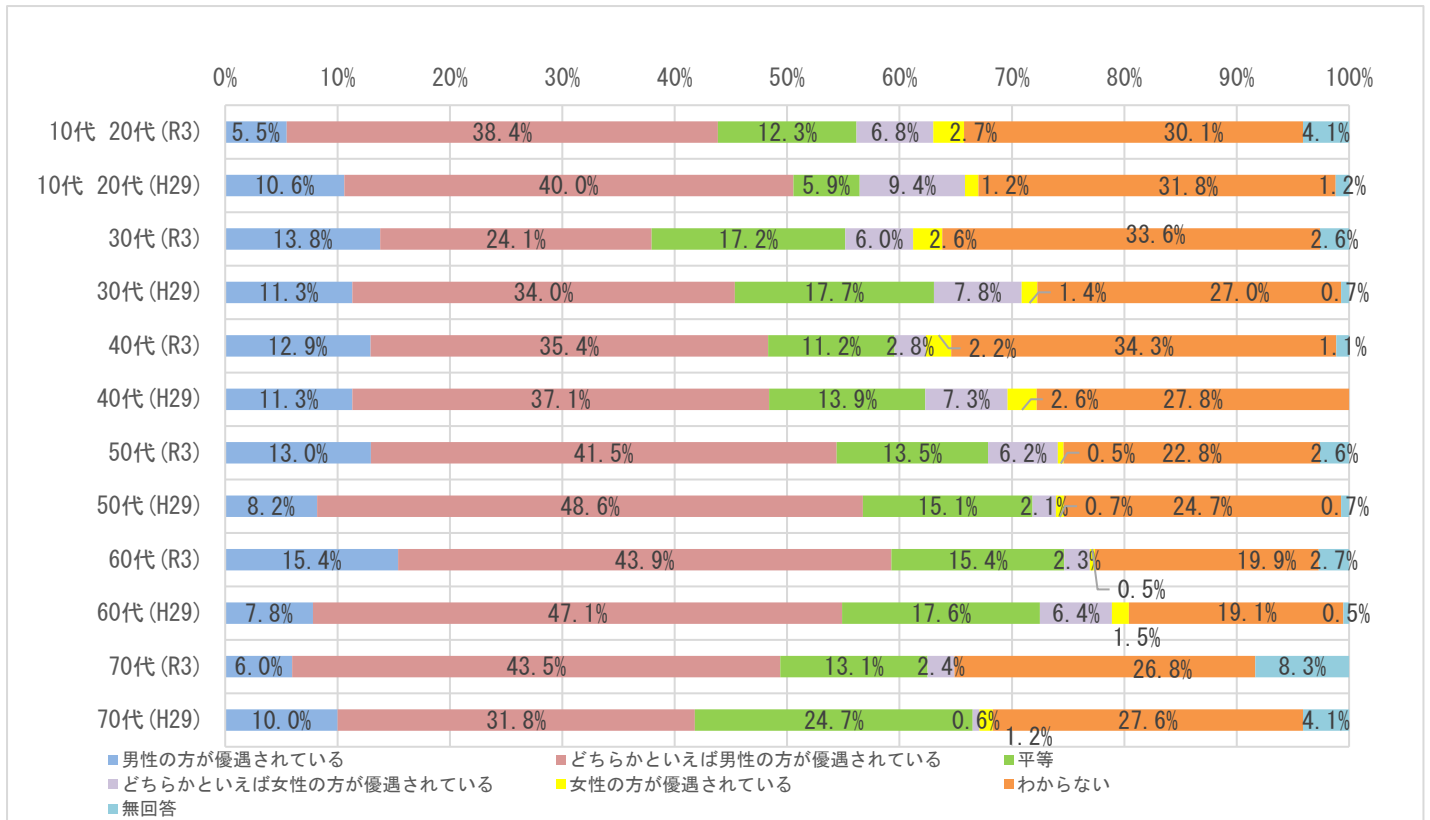
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 31-2 男女の地位は平等になっているか（性別）



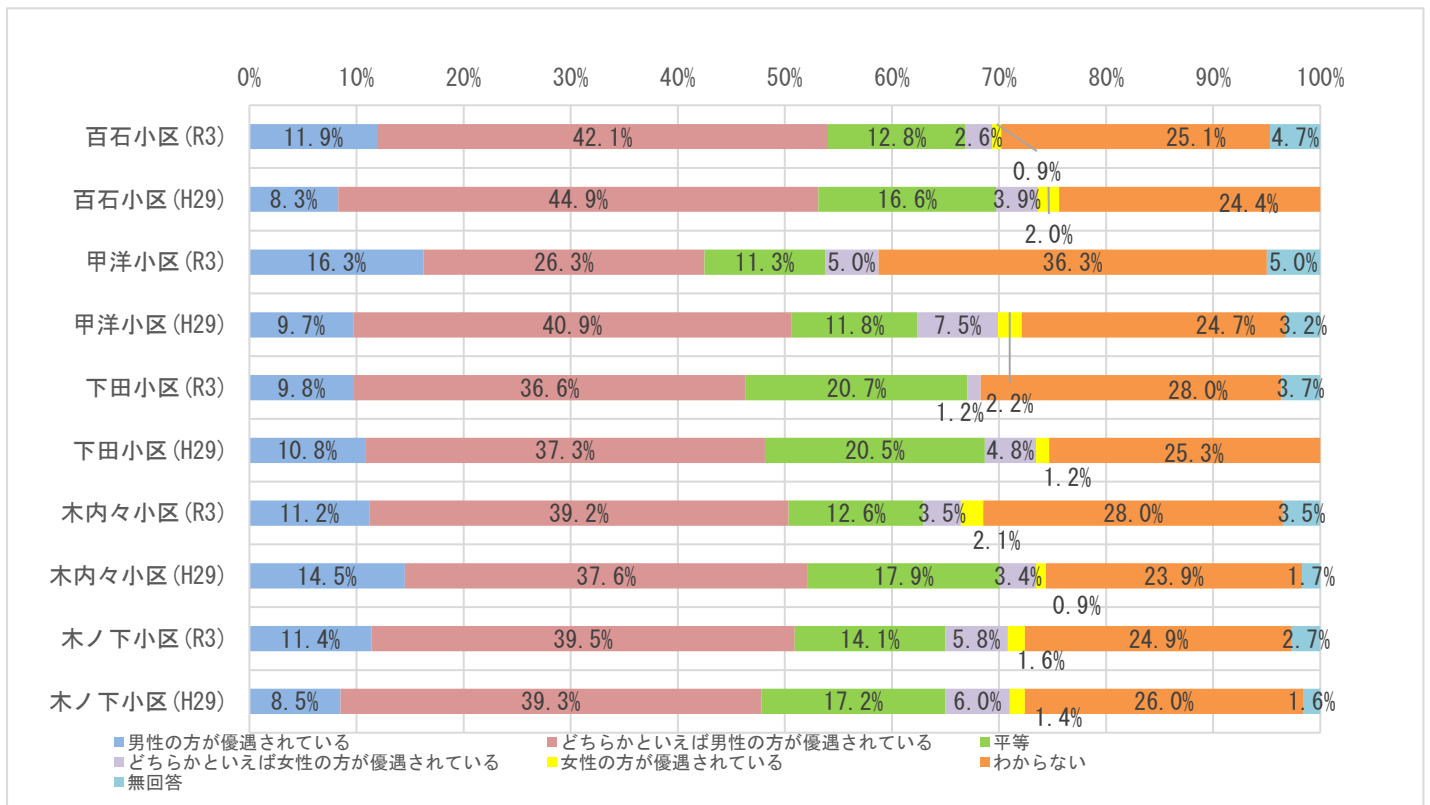
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 31-3 男女の地位は平等になっているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 31-4 男女の地位は平等になっているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(2) DV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉を知っているか

問 41 あなたは、DVという言葉を知っていますか。

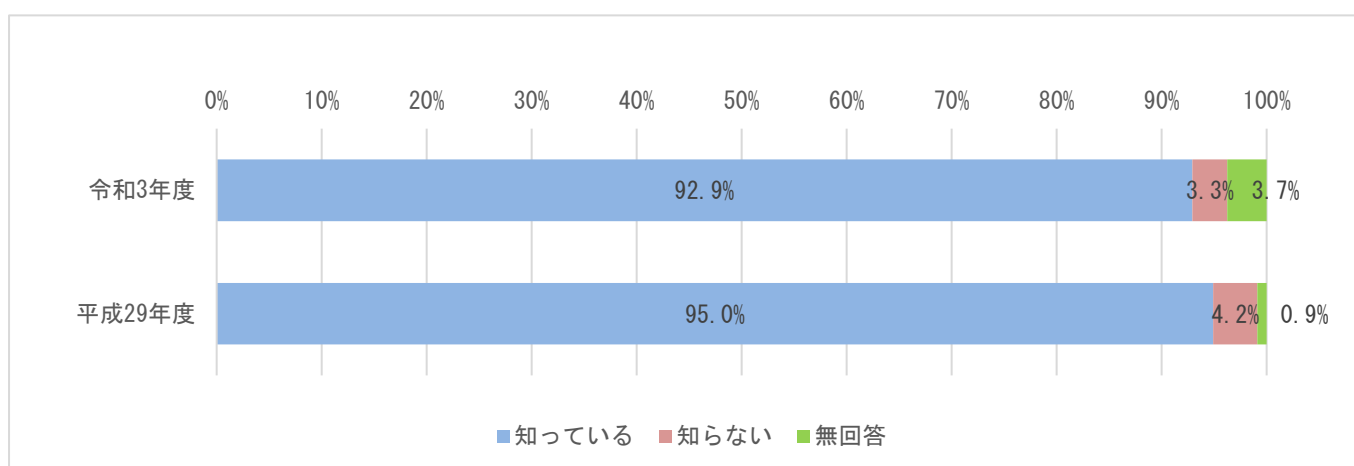
● 「知っている」は92.9%。

※平成29年度は”知っている”が95.0%。

前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
知っている	92.9	95.0
知らない	3.3	4.2

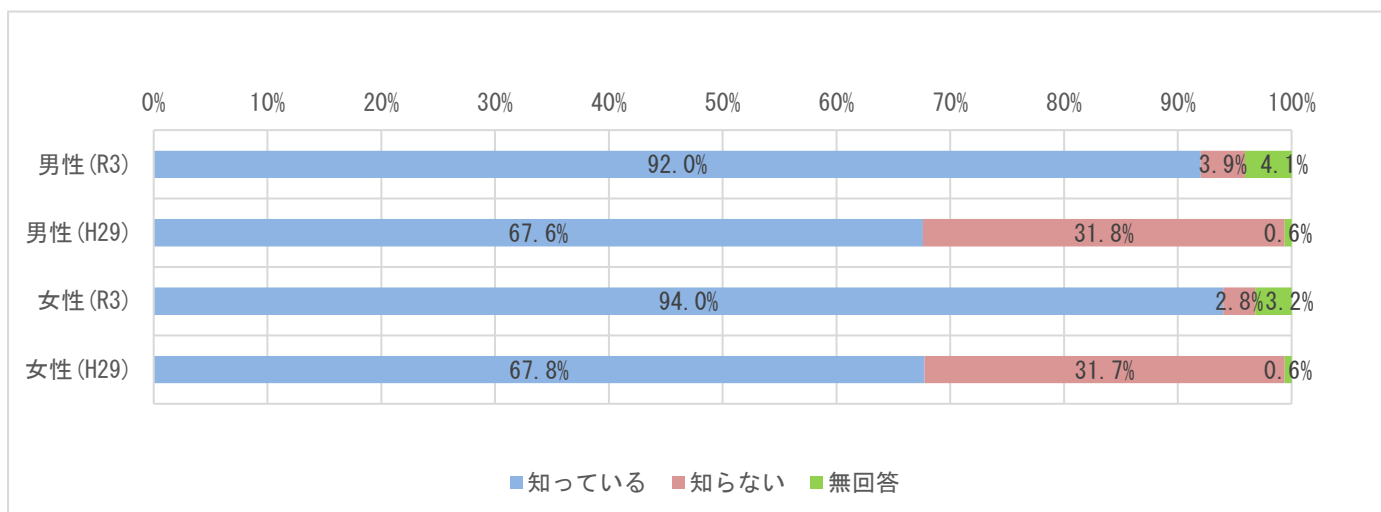
※平成29年度は「よく知っている」(75.6%)、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(19.4%)を合わせて“知っている”(95.0%)としています。

図表 32-1 DVという言葉を知っているか（全体）



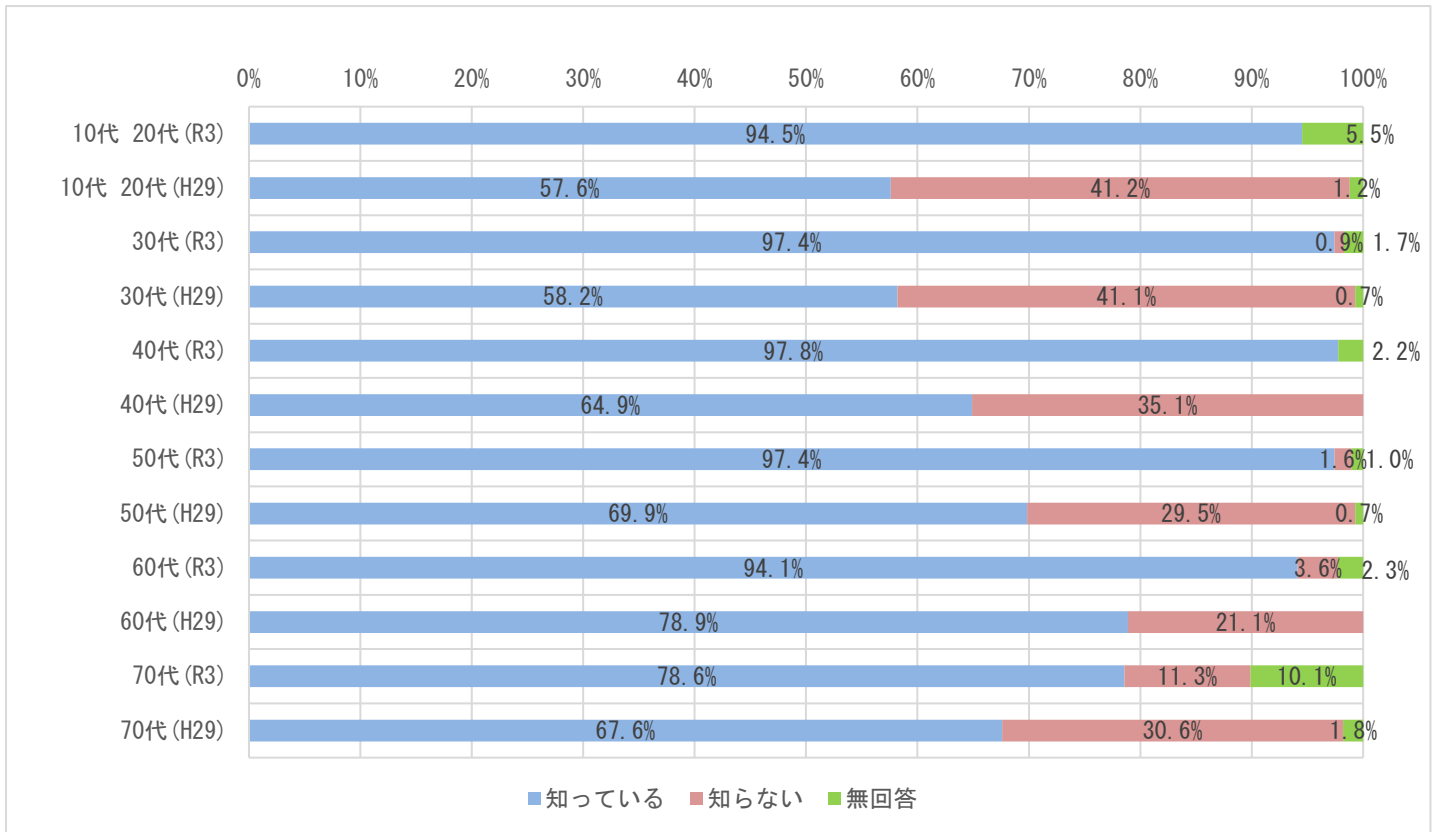
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 32-2 DVという言葉を知っているか（性別）



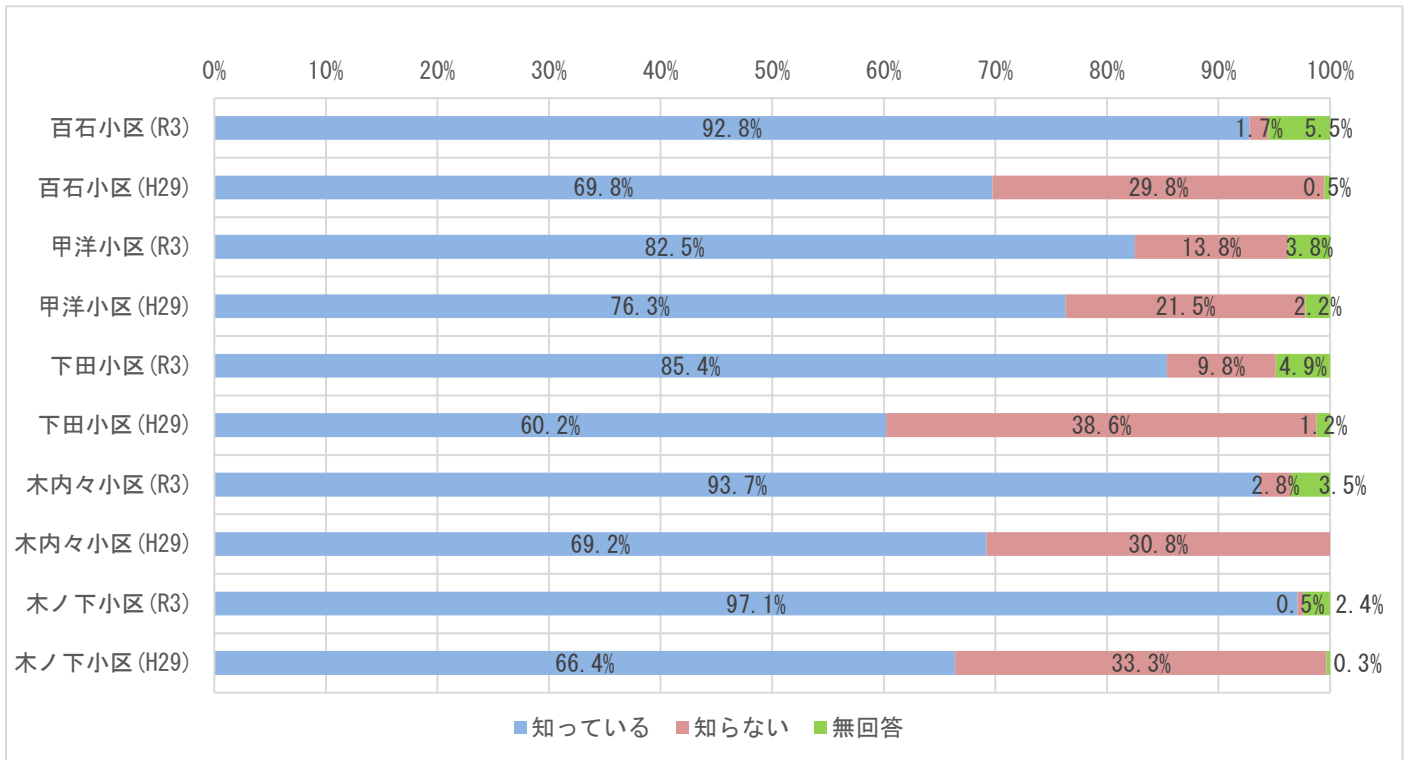
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 32-3 DVという言葉を知っているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 32-4 DVという言葉を知っているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(3) DV相談に関する窓口を知っているか

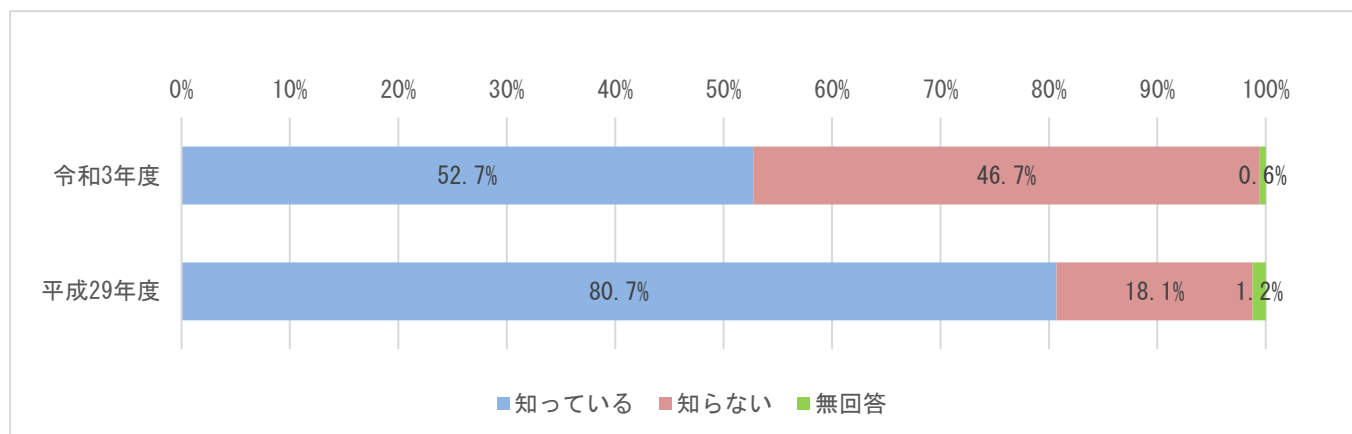
「1. 知っている」を選択した場合、相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)

● DV相談窓口を「知らない」女性は43.3%。

※平成29年度は「知らない」女性は17.7%。

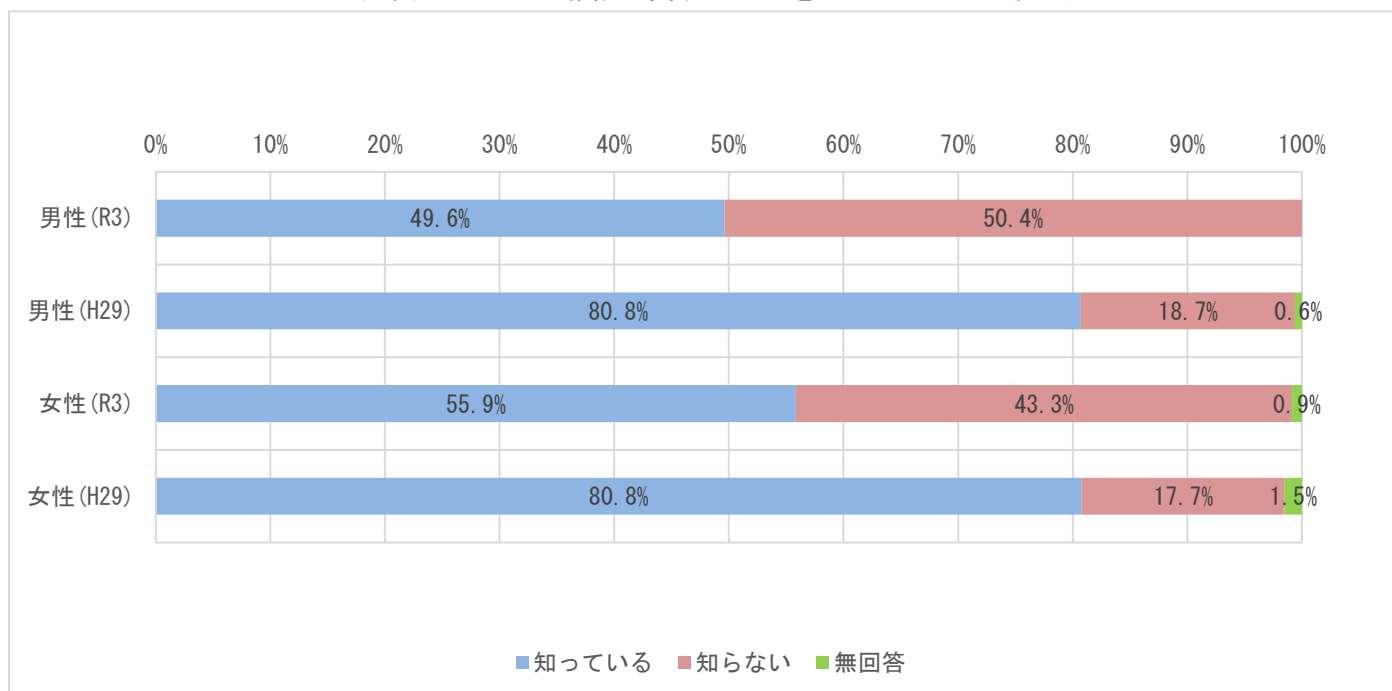
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
DV相談窓口があることを知らない女性	43.3	17.7

図表 33-1 DV相談に関する窓口を知っているか (全体)



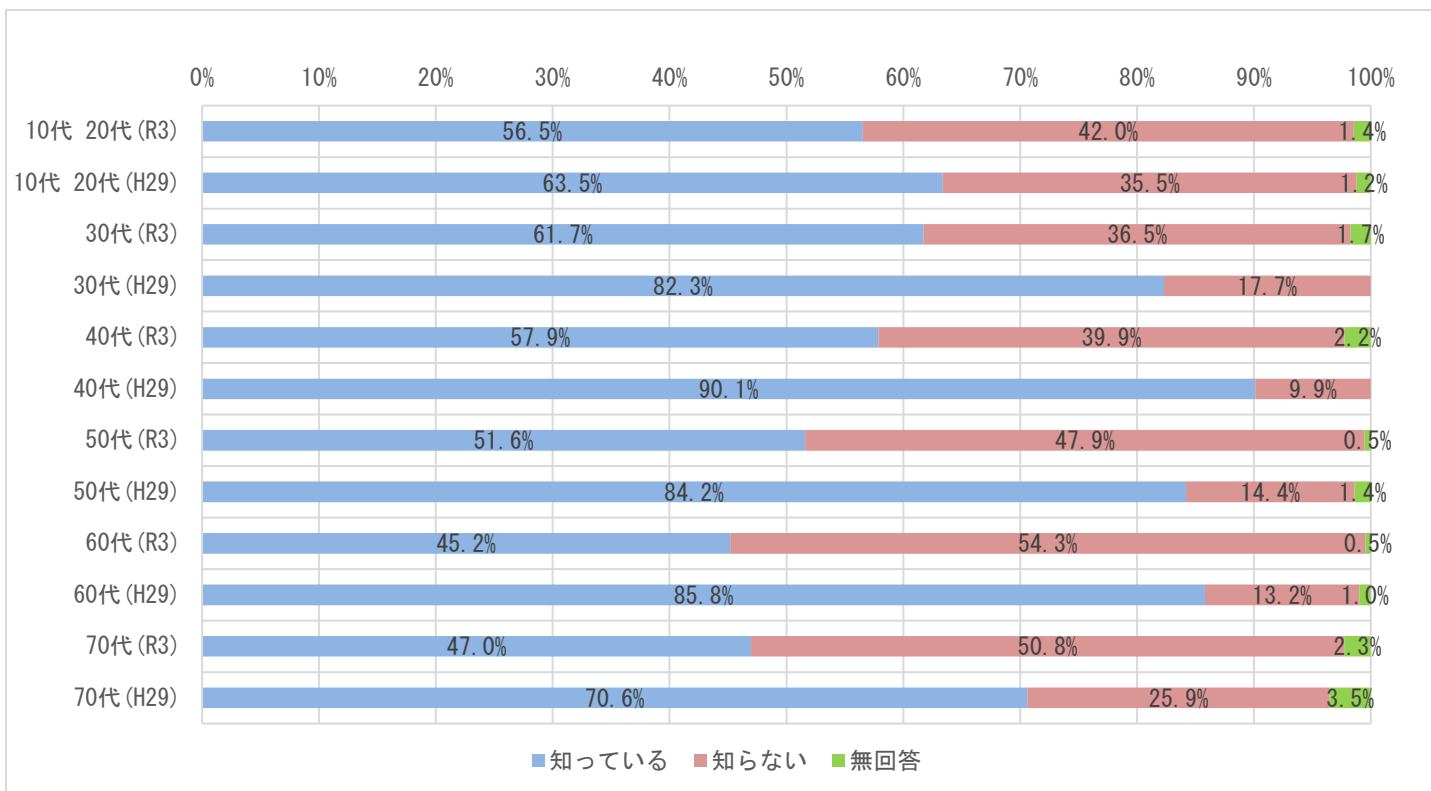
	令和3年度	平成29年度
n	812	904

図表 33-2 DV相談に関する窓口を知っているか (性別)



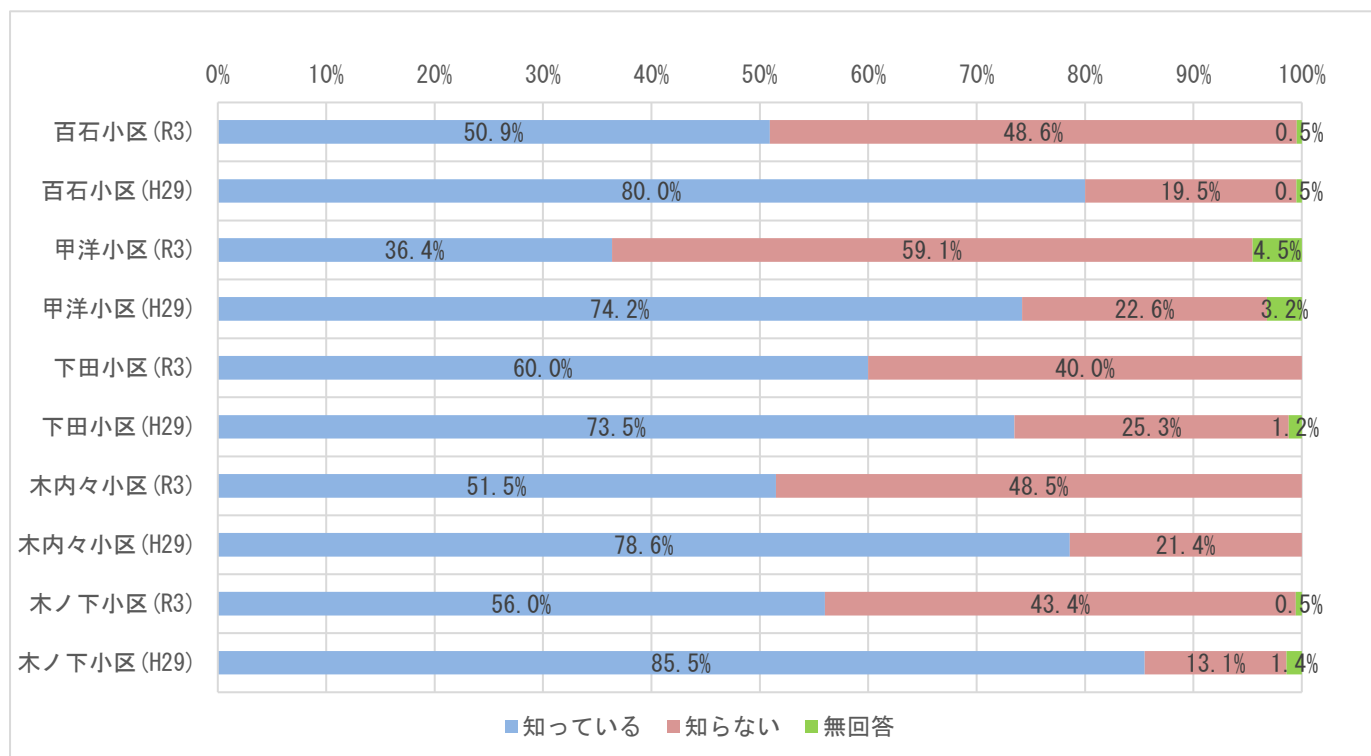
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	403	358	469	537

図表 33-3 DV相談に関する窓口を知っているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	69	85	115	141	178	151	188	146	208	204	132	170

図表 33-4 DV相談に関する窓口を知っているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	218	205	66	93	70	83	134	117	366	366

13 おいらせ町役場について

(1) 町の広報紙を読んでいるか

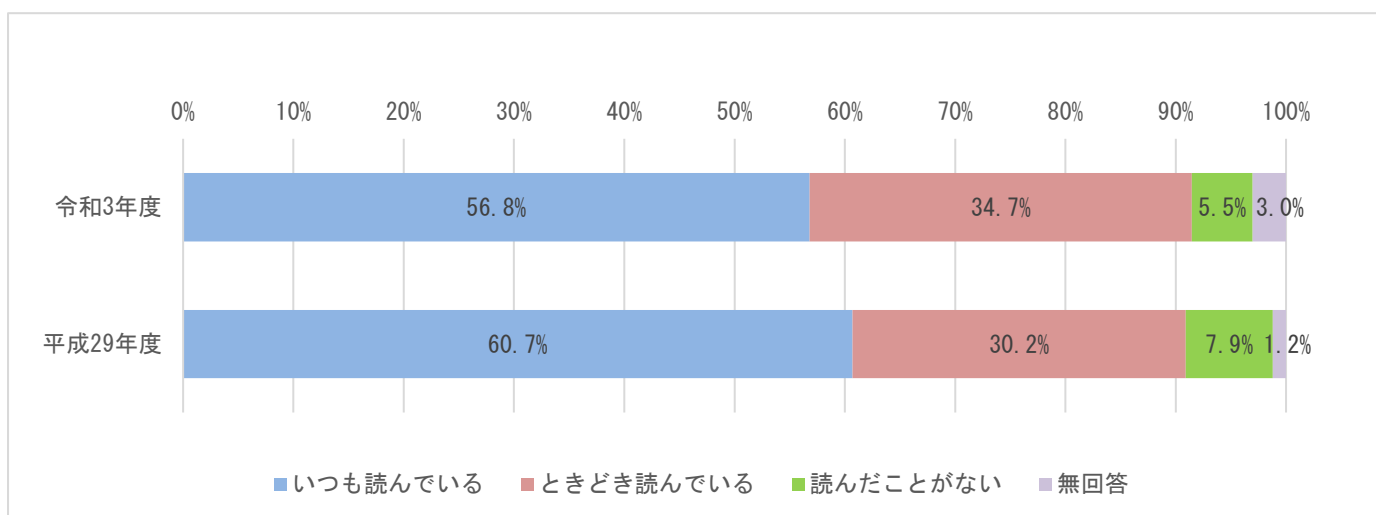
問 42 あなたは、町の広報紙を読んでいますか。

● 「いつも読んでいる」が56.8%で最も多い。

※平成29年度も「いつも読んでいる」が60.7%で最も多い。

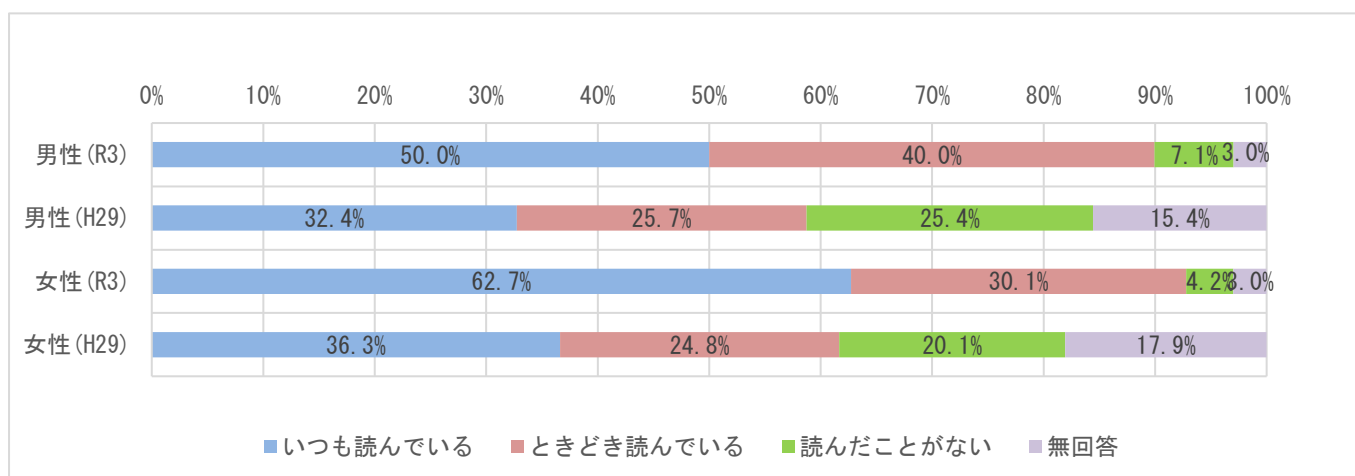
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
いつも読んでいる	56.8	60.7
ときどき読んでいる	34.7	30.2
読んだことがない	5.5	7.9

図表 34-1 町の広報紙を読んでいるか（全体）



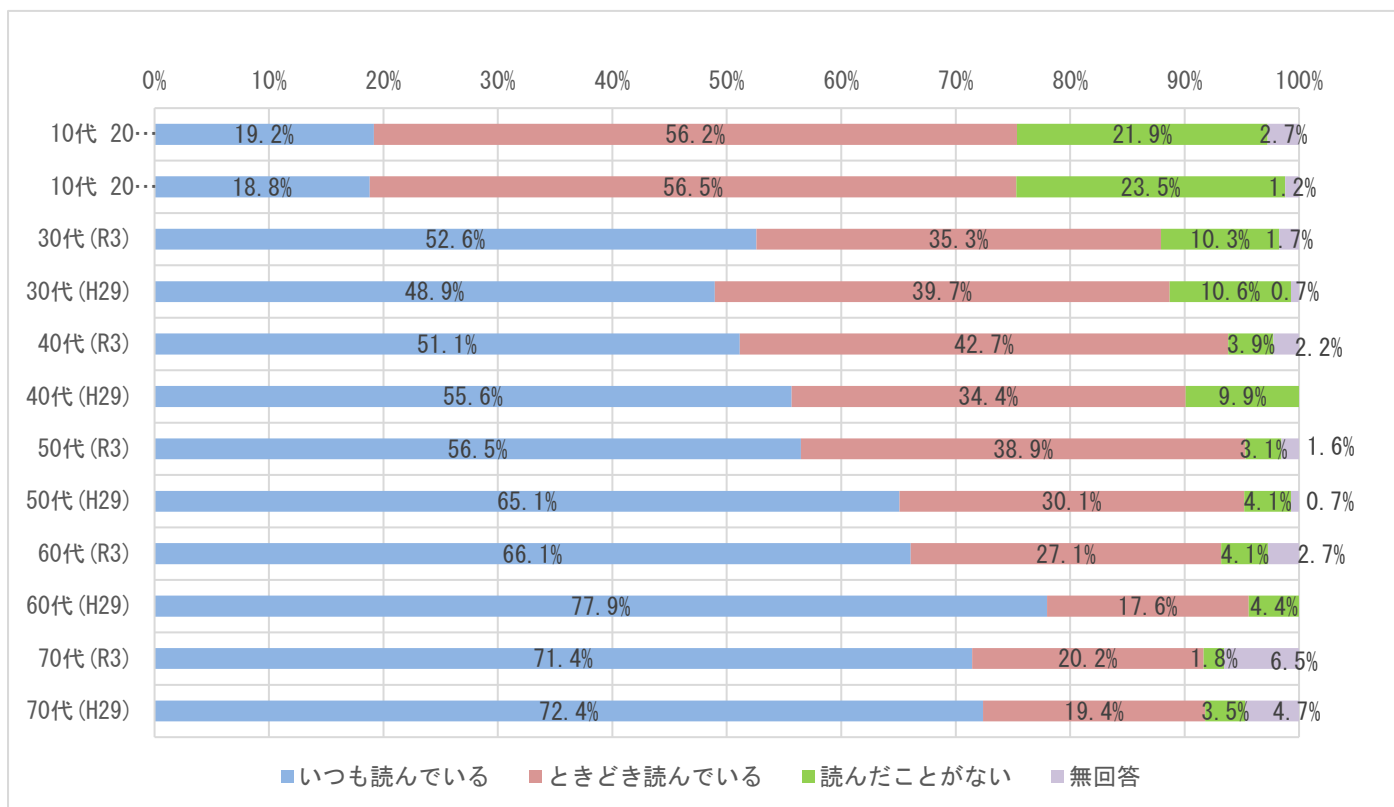
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 34-2 町の広報紙を読んでいるか（性別）



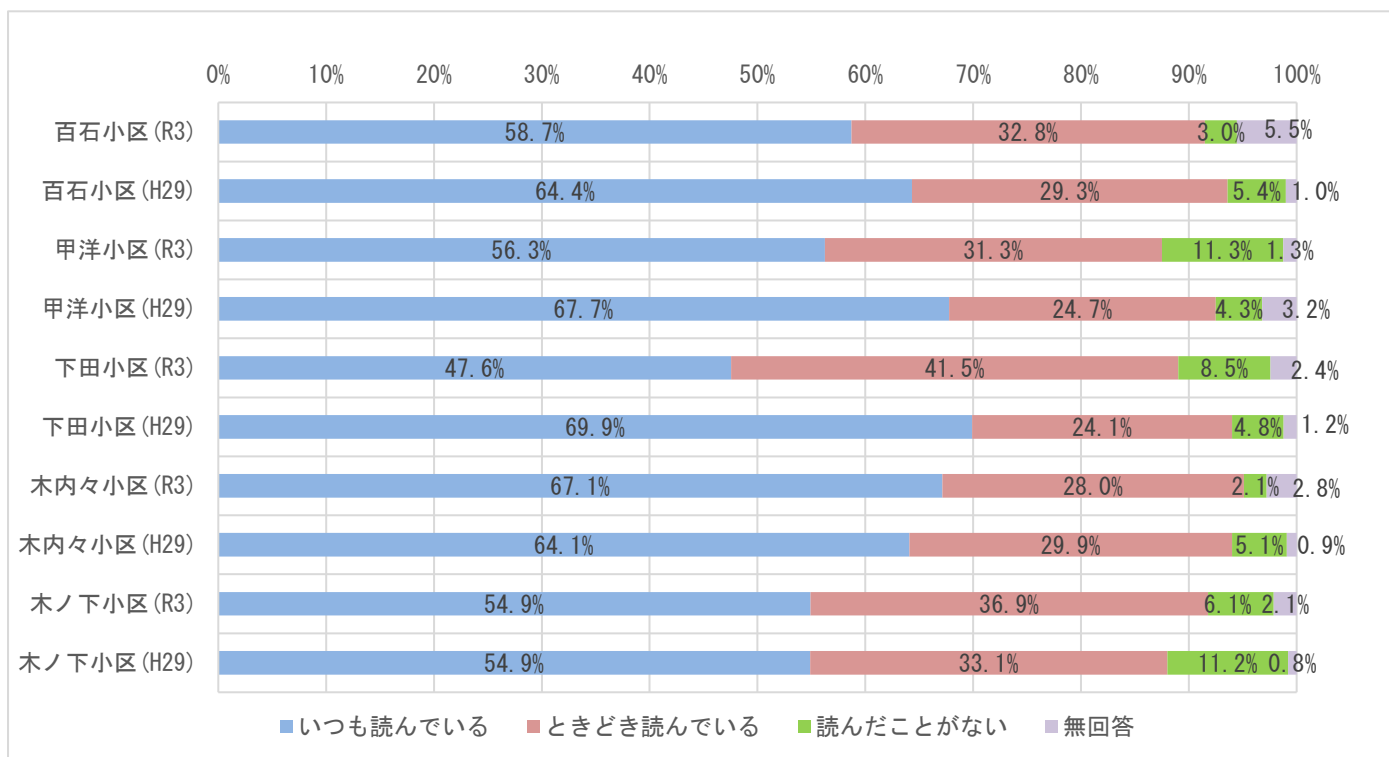
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 34-3 町の広報紙を読んでいるか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 34-4 町の広報紙を読んでいるか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

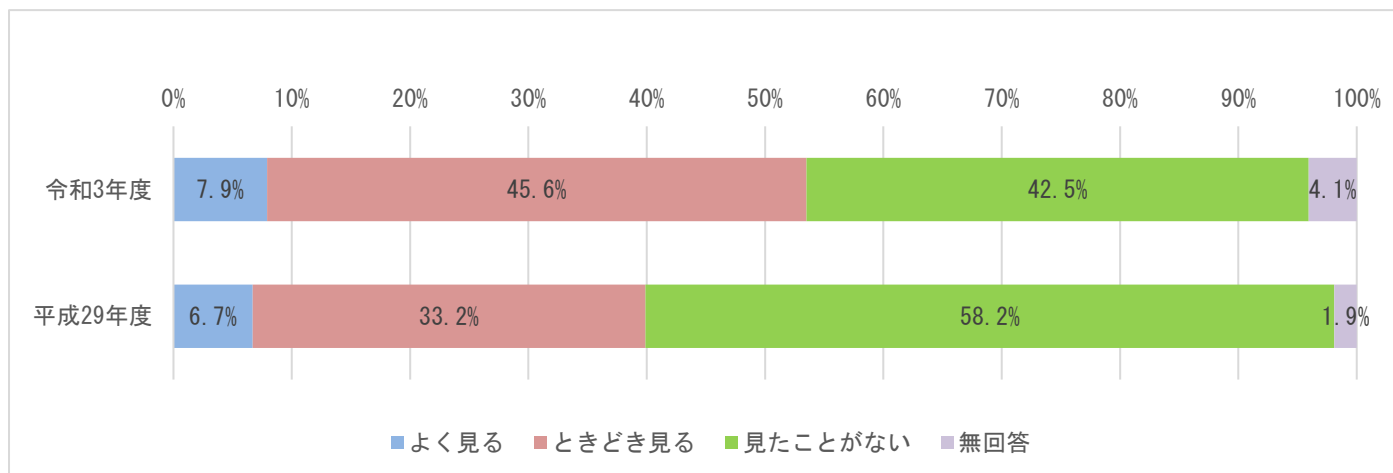
(2) 町のホームページを見ているか

問 43 あなたは、町のホームページを見ていますか。

● 「ときどき見る」が45.6%で最も多い。

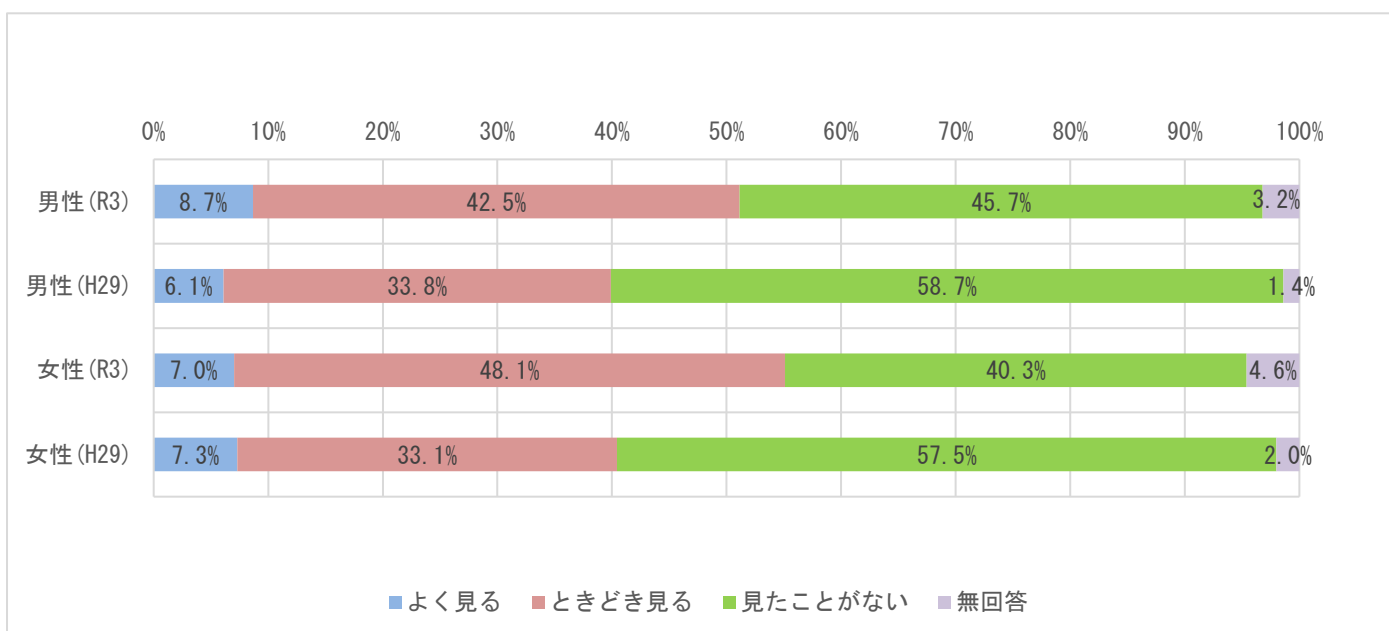
※平成29年度は「見たことがない」が58.2%で最も多い。

図表 35-1 町のホームページを見ているか（全体）



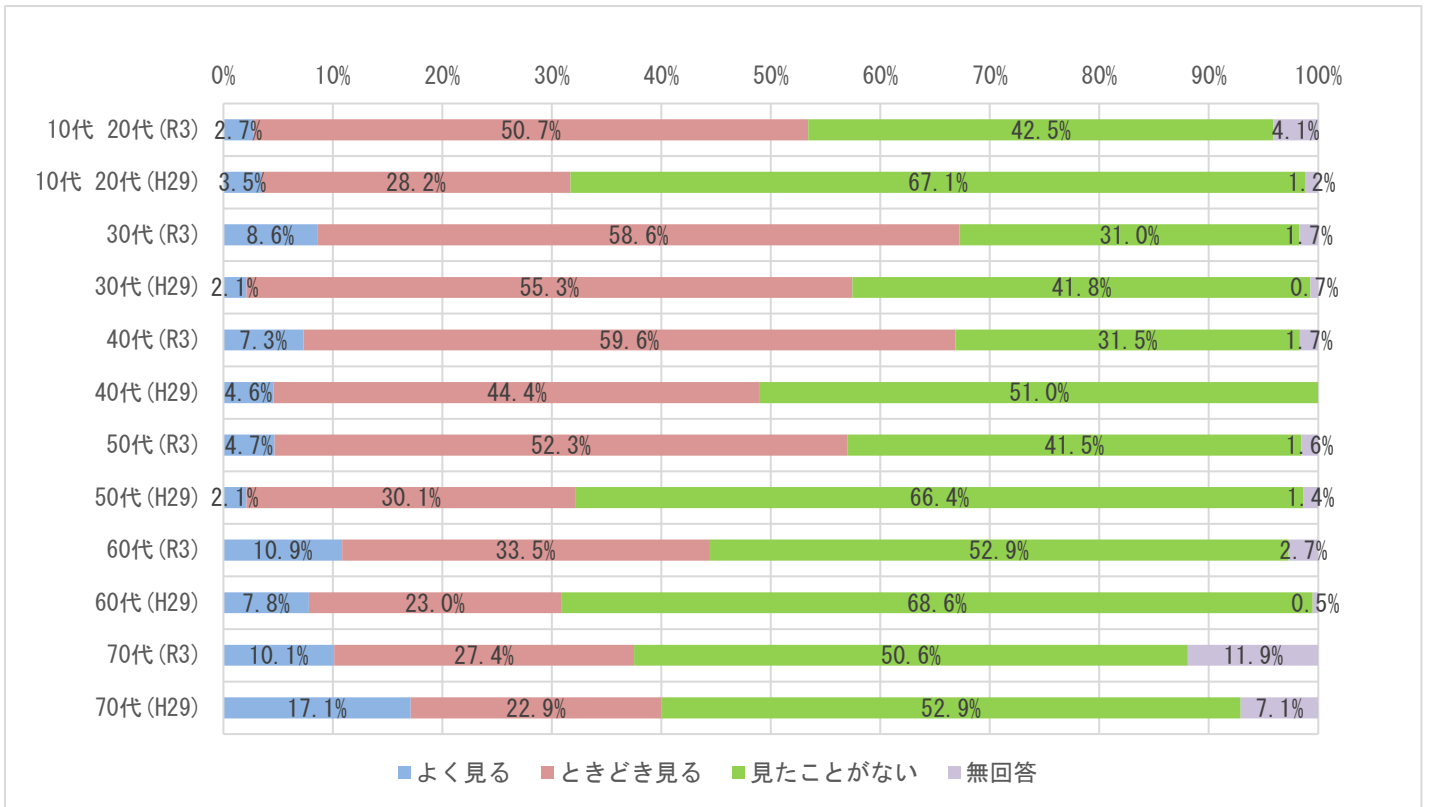
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 35-2 町のホームページを見ているか（性別）



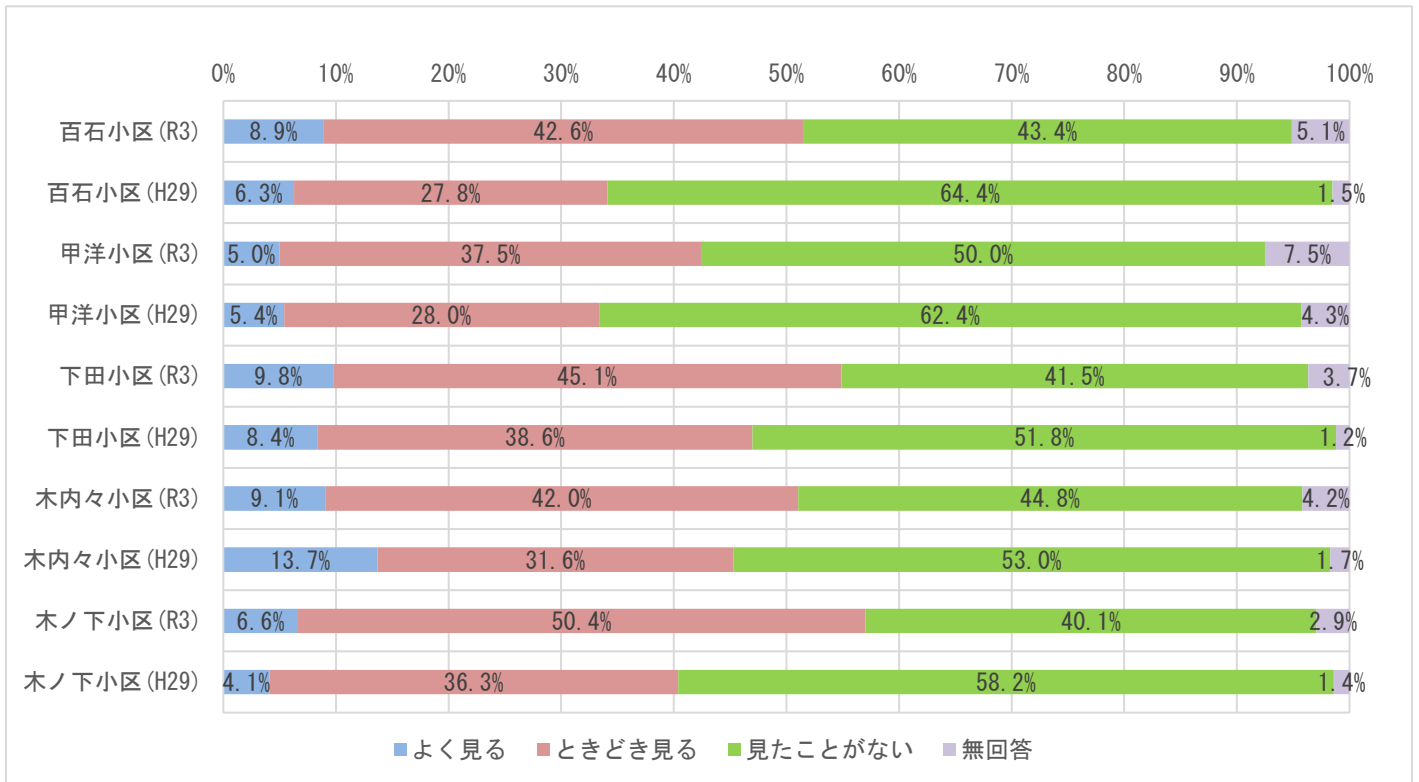
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 35-3 町のホームページを見ているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 35-4 町のホームページを見ているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

(3) 町政情報の取得方法

問 44 あなたは、普段、おいらせ町役場からの（町政）情報をどこから得ていますか。
【いくつでも選択可能】

- 「町広報紙（広報おいらせ）」が 83.2%で最も多い。

図表 36-1 町政情報の取得方法（全体） n = 961

項目	令和3年度
町広報紙（広報おいらせ）	83.2%
町公式ホームページ	27.2%
町公式Facebook	0.7%
町公式Twitter	0.8%
町公式LINE	1.6%
町が発行するチラシやポスター	18.6%
防災無線	37.7%
町役場窓口や町職員	2.5%
その他	0.5%
情報を得られていない	3.7%

図表 36-2 町政情報の取得方法（年齢）

項目	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代
町広報紙（広報おいらせ）	56.2%	81.0%	82.0%	89.6%	86.9%	87.5%
町公式ホームページ	37.0%	39.7%	40.4%	30.1%	16.3%	11.3%
町公式Facebook	2.7%	0.9%	1.1%	0.5%	0.5%	0.0%
町公式Twitter	1.4%	0.0%	2.2%	1.0%	0.0%	0.6%
町公式LINE	0.0%	2.6%	2.2%	1.6%	1.4%	1.2%
町が発行するチラシやポスター	12.3%	11.2%	11.2%	13.5%	23.1%	35.7%
防災無線	19.2%	19.0%	23.0%	43.0%	49.8%	52.4%
町役場窓口や町職員	1.4%	3.4%	2.2%	3.1%	1.4%	3.6%
その他	0.0%	0.9%	0.6%	0.5%	0.5%	0.0%
情報を得られていない	17.8%	7.8%	2.2%	2.1%	2.3%	0.0%

(4) 知りたい町政情報が得られているか

問 45 町役場からの（町政）情報について、知りたい情報が得られていると感じていますか。

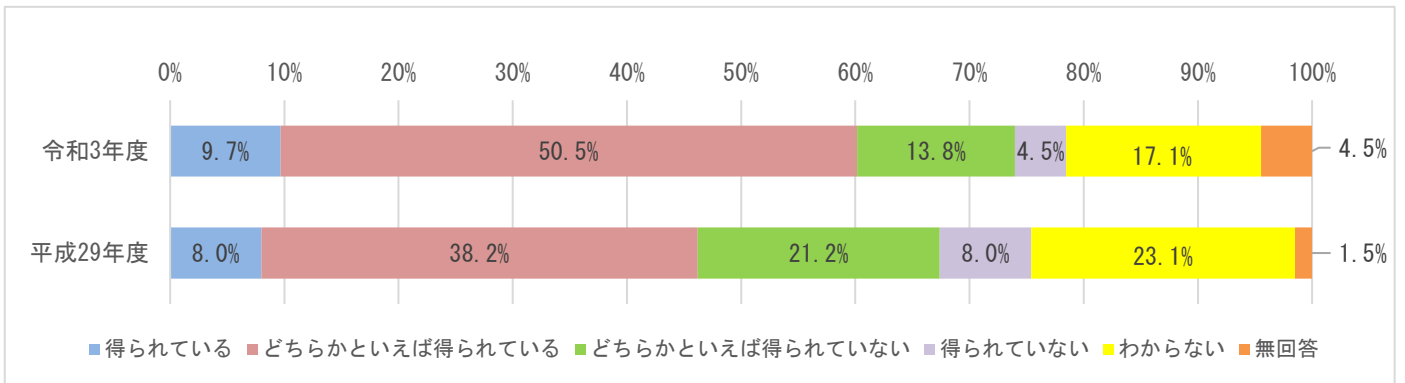
● “感じている”が60.2%、“感じていない”は18.3%。

※平成29年度は“感じている”が46.2%、“感じていない”は29.2%。

「得られている」(9.7%)、「どちらかといえば得られている」(50.5%)を合わせた“感じている”が60.2%、一方、「どちらかといえば得られていない」(13.8%)と「得られていない」(4.5%)を合わせた“感じていない”は18.3%となっています。

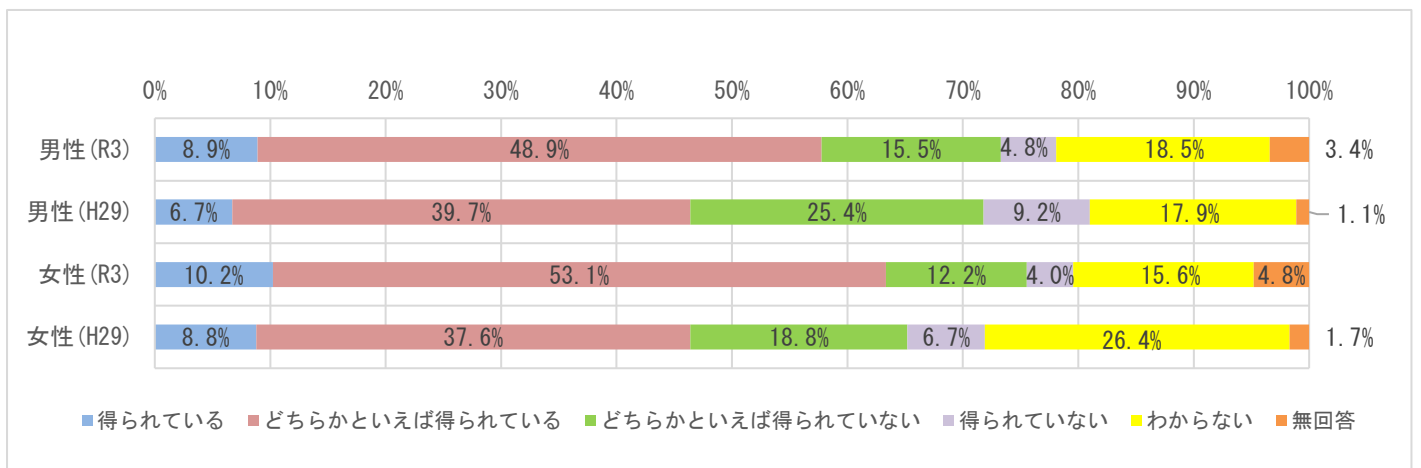
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
得られている	9.7	8.0
どちらかといえば得られている	50.5	38.2
どちらかといえば得られていない	13.8	21.2
得られていない	4.5	8.0
わからない	17.1	23.1

図表 37-1 知りたい町政情報が得られているか（全体）



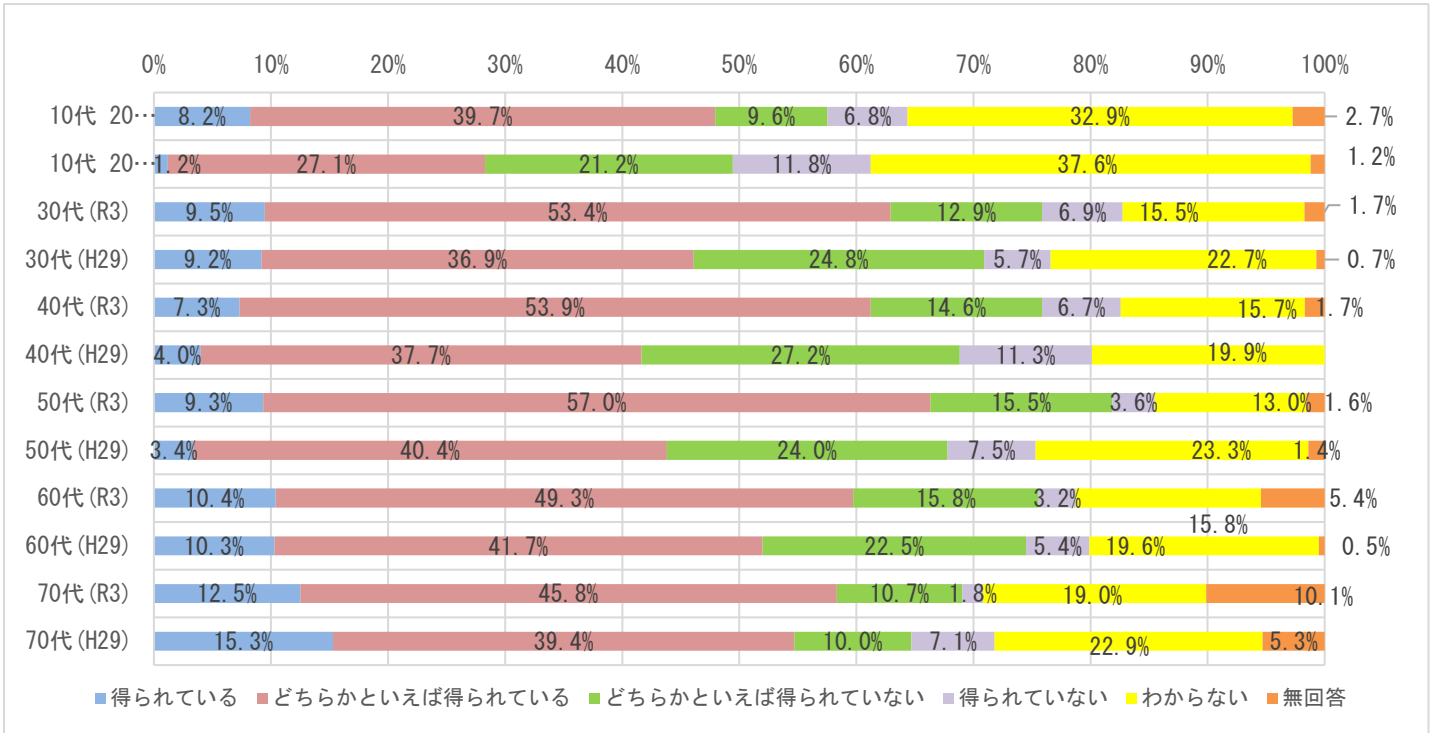
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 37-2 知りたい町政情報が得られているか（性別）



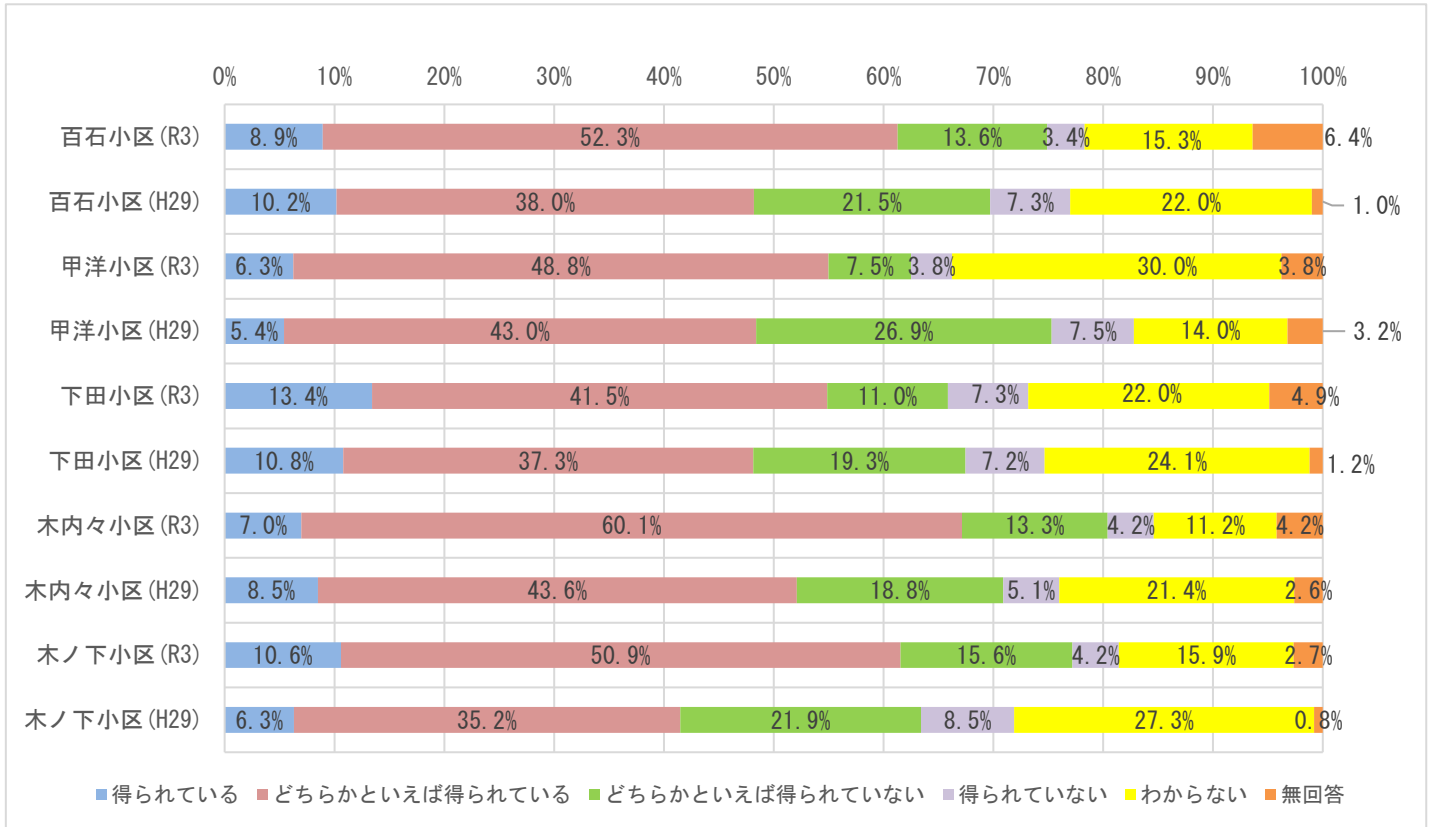
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 37-3 知りたい町政情報が得られているか（年齢）



	10代 20代 (R3)	10代 20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 37-4 知りたい町政情報が得られているか（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

「3. どちらかといえば得られていない」、「4. 得られていない」を選択した場合、どのような情報を得たいですか。(自由記述)

図表 37-5 知りたい町政情報が得られているか (自由記述)

性別	年齢	居住地区	自由記述記載
男性	40代	木内々小学校区	災害時の場所の情報提供
女性	70代	百石小学校区	私が相談したことをちゃんと聞いてくれていなかった。
-	30代	木ノ下小学校	情報は得られているが、もう少し掘り下げて具体的なところまで掲載してほしい。公表上、差し支えなければ。また、ダウンロードできる様式はダウンロードできるよう、種類を増やしてほしい。利用できるサービス事業所の掲載など具体的な期限。
男性	60代	百石小学校区	個人の利益になるようなこと。
女性	50代	百石小学校区	公式ホームページをたまに見ますが、解決できない事が多く窓口をたずねて役場に行っても「たらい回し」にあうことが多い。
-	40代	木内々小学校区	HPがわかりにくい内容なのでSNSまで見る気にならない。
男性	60代	木内々小学校区	パソコンがない。
男性	60代	下田小学校区	あまり関心をもつ事柄がない！
女性	60代	木内々小学校区	この頃の雨の降り方が異常ですが、奥入瀬川流域に住んでいますので、水位の状況を防災無線などで連絡してほしいと思います。
女性	60代	百石小学校区	仕事の仲間から、あれ見た？これ聞いた？の情報が大きいです。
女性	60代	木ノ下小学校区	色々な情報について、細かな記述がないと思う。特に現在はコロナについて、情報が少ないと思う。
女性	70代	木ノ下小学校区	日常の変化に連動して、町はどのように向き合い、対処しているのか、一個人として扱われるという事に力を入れてほしい。
男性	40代	百石小学校区	大小問わず、町内外で活躍している人や企業、おいらせ町で頑張っている人をもっと発展してほしい。
男性	30代	木ノ下小学校区	分かりづらい。
男性	10代	木ノ下小学校区	楽しくない。
男性	30代	木内々小学校区	地域のこと。
男性	50代	下田小学校区	ホームページがわかりにくく、見づらい。
男性	50代	甲洋小学校区	様々な事に対する補助金等の情報
男性	50代	甲洋小学校区	健康や急病等での対応
女性	50代	木ノ下小学校区	分かりづらい。見づらい。もっと見やすく探しやすいべき。
男性	70代	木ノ下小学校区	医療相談
男性	50代	百石小学校区	もっと防災無線でイベント情報・住民参画情報を放送してほしい。
男性	50代	下田小学校区	ホームページの充実
女性	60代	木ノ下小学校区	町のホームページはわかりやすいが、防災メールをおいらせ町独自で発信できないか。たとえば三沢は防災メール等含め情報がわかりやすい。
女性	50代	木内々小学校区	各世代に向けた発信をしてほしい。自分に関係ないと思ってしまうことがないように。

性別	年齢	居住地区	自由記述記載
女性	40代	木ノ下小学校区	リアルタイムな情報がのっていないことが多い。(コロナ関連など)
女性	30代	百石小学校区	地域のイベント、店などの情報
女性	30代	百石小学校区	コロナ関連で、八戸市とくらべると、詳細なことがのっていないので不便等。感染したらどうするのか？のフォローや、どこに連絡するのか？待機期間は何日までか？等、八戸市のHPとくらべると内容がうすいので町としてどのようにしているのかがわからない。不安になる。
男性	60代	木ノ下小学校区	SNS等が更新されていません。
-	20代	百石小学校区	コロナワクチン接種について情報が不十分だった。
女性	60代	木ノ下小学校区	役場に質問の電話をしても回答がない！
女性	30代	木ノ下小学校区	更新が古いのがある。
女性	50代	木ノ下小学校区	貸家には、防災無線が無いため、何の情報も入ってこない。
女性	40代	木ノ下小学校区	コロナ感染を三戸地区とざっくりしないでおいらせ町で伝えてほしい。情報により、より気を付ける事ができる。
男性	50代	百石小学校区	防災無線での広報
男性	20代	木ノ下小学校区	コロナワクチンについての情報を得るのに時間がかかった。
女性	30代	木ノ下小学校区	ホームページが少し見にくく分かりにくい。
男性	50代	木ノ下小学校区	HPが分かりにくい。目的にたどりつきにくい。
男性	30代	百石小学校区	ボランティア活動の募集など、町がどんなことに困っていて、どんな手が欲しいのかわからない。それが知りたい。
女性	70代	木ノ下小学校区	コロナ禍の初期、休校、学童の歩きをみかけたなら声をかけるか学校に連絡してほしいと・・・しかし、何時からいつまで休校なのか保護者や子供に注意・声をかけられることがあるかもと周知されているのかも分からない。
男性	40代	下田小学校区	必要なことを選択で探せるようにしてほしい。ホームページを分かりやすくしてほしい。
女性	50代	下田小学校区	おいらせ町公式ホームページを定期的に更新してほしい。
女性	60代	木ノ下小学校区	良くわかりません。
女性	70代	百石小学校区	例えば、まちづくり活動支援助成金の活動状況等の周知徹底
男性	30代	木ノ下小学校区	ゴミの分別表が分かりづらい。もっと細かく表示してほしい。(例えば家電話やプリンターなど)
男性	50代	木ノ下小学校区	公共行為。地域整備活動の状況など
男性	70代	木内々小学校区	減税対策等、税相談
女性	70代	木ノ下小学校区	防災無線も町全体で取り付けていると思うが何年も点検なし、全然つかえてない。
男性	30代	木内々小学校区	町内イベント
女性	30代	甲洋小学校区	バスの時間
男性	60代	百石小学校区	Facebook 他、アップデートで情報をながしてほしい。
女性	60代	百石小学校区	情報発信のスピード化
男性	20代	-	情報量が少ない
女性	70代	甲洋小学校区	もっと詳しく提供してほしい
男性	70代	木ノ下小学校区	どのようなではなく自宅の防災無線が途切れて情報が得られない

性別	年齢	居住地区	自由記述記載
女性	60代	百石小学校区	税金の使われ方、子育てに手厚く、年金生活者への支援はどうなっているのか？病院は、この先どうなるのかなど・・・
女性	60代	木ノ下小学校区	年金関係・障がい児の学習(例えば自閉症等、先生は症状が分からないから、勉強が遅れる。しょうがないかもしれませんが)
男性	60代	百石小学校区	役場に行こうと全く思わない。
-	-	-	前はお悔みなどあったのに、なくなったのでまたのせてほしいです。
女性	60代	百石小学校区	町内広報紙を読むのみでは、十分ではない。
男性	40代	木ノ下小学校区	ホームページがわかりづらい
男性	40代	木ノ下小学校区	町のホームページを見るメリットを感じたことがないので分からない。
男性	60代	木ノ下小学校区	十和田市や六戸町の広報が参考になると思います。おいらせの広報はインパクトがありません。
女性	50代	下田小学校区	コロナワクチン接種について、もっと早く情報(計画)が欲しい。
女性	60代	百石小学校区	町や職員の人に対応できないこともある。
男性	30代	木ノ下小学校区	楽しい情報
男性	10代	木ノ下小学校区	そもそもどのような情報があるのか分からない
男性	50代	木内々小学校区	町内、近隣市町村イベント情報等
女性	20代	木内々小学校区	面白くない
男性	40代	下田小学校区	その政策によってどう町民に役に立つのか、役に立ったのかの報告・情報。いくら費用がかかり、それ以上の結果が出たのか。

(5) 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ

問 46 おいらせ町役場の窓口は、わかりやすく利用しやすいと思いますか。

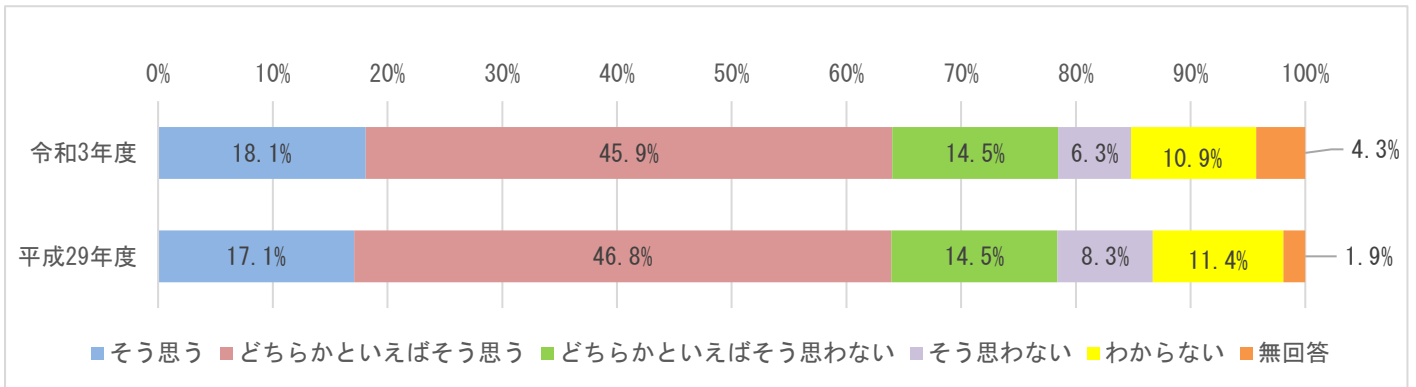
● “そう思う”が64.0%、“そう思わない”は20.8%。

※平成29年度は“そう思う”が63.9%、“そう思わない”は22.8%。

「そう思う」(18.1%)と「どちらかといえばそう思う」(45.9%)を合わせた“そう思う”が64.0%、一方、「どちらかといえばそう思わない」(14.5%)と「そう思わない」(6.3%)を合わせた“そう思わない”は20.8%となっています。

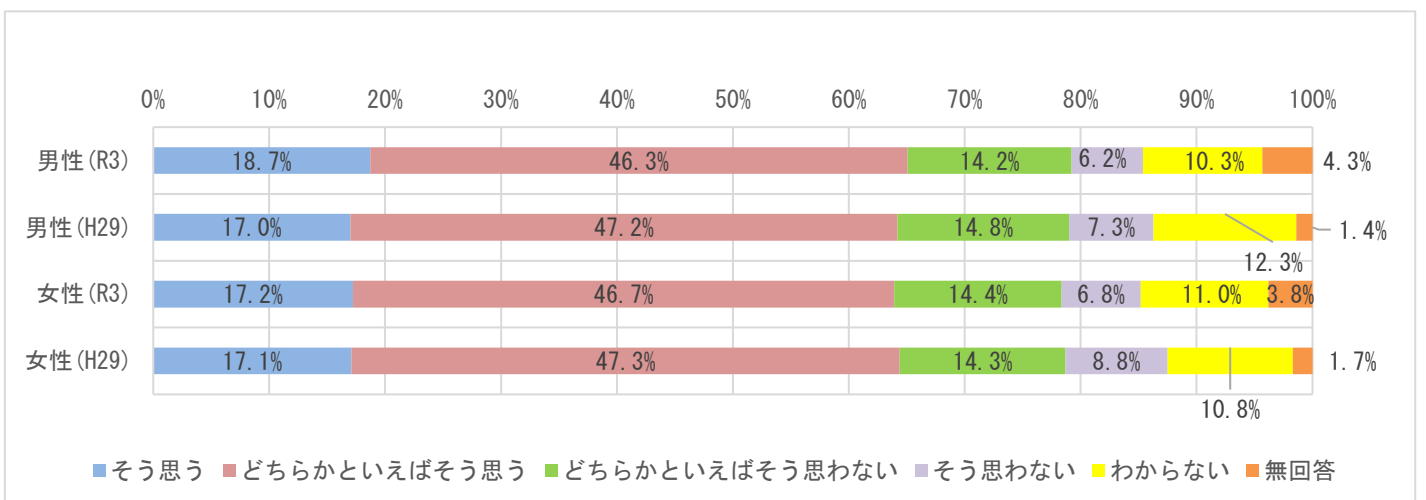
前回調査結果との比較	令和3年度(%)	平成29年度(%)
そう思う	18.1	17.1
どちらかといえばそう思う	45.9	46.8
どちらかといえばそう思わない	14.5	14.5
そう思わない	6.3	8.3
わからない	10.9	11.4
わからない	10.9	11.4

図表 38-1 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ (令和3年度/全体)



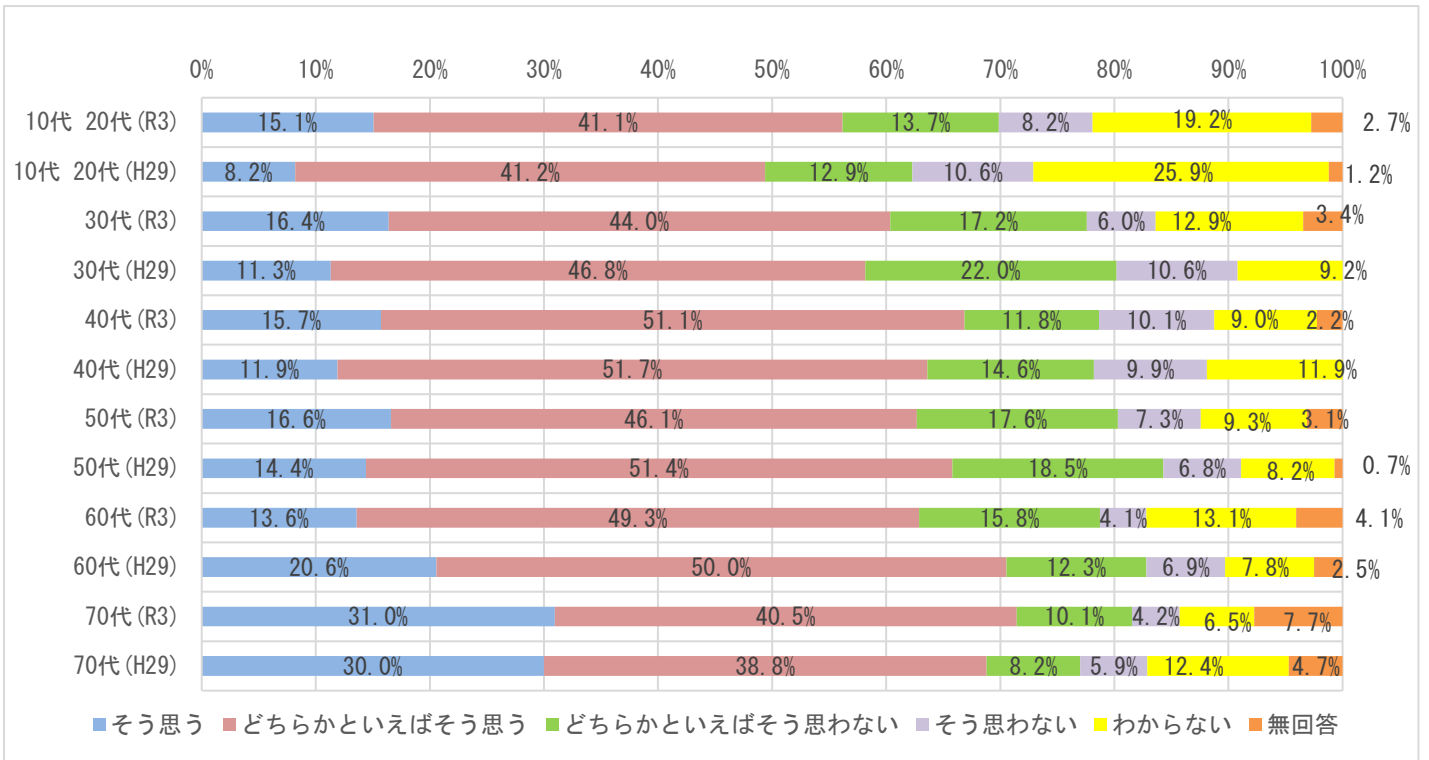
	令和3年度	平成29年度
n	961	904

図表 38-2 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ (性別)



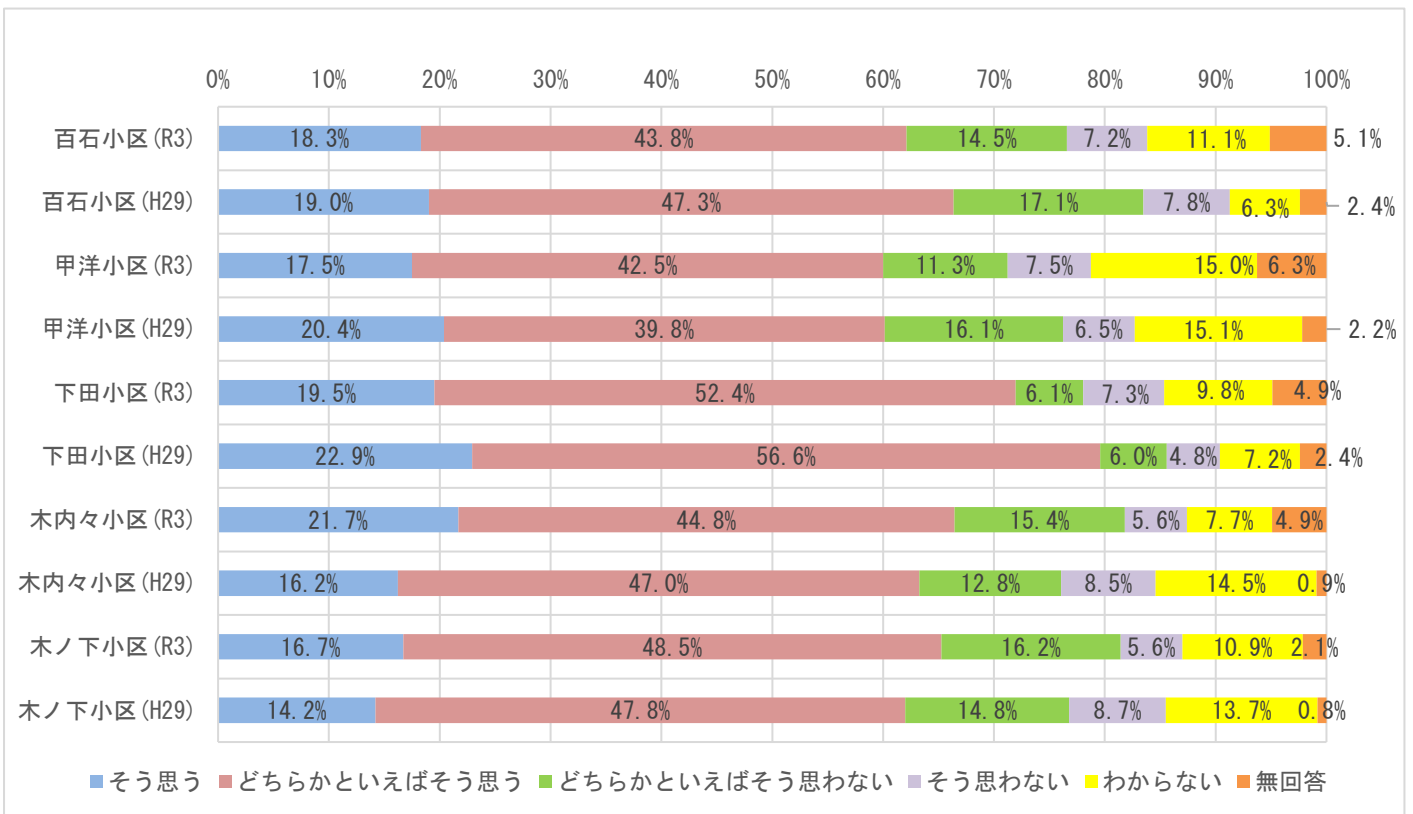
	男性(R3)	男性(H29)	女性(R3)	女性(H29)
n	438	358	499	537

図表 38-3 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ（年齢）



	10代20代 (R3)	10代20代 (H29)	30代 (R3)	30代 (H29)	40代 (R3)	40代 (H29)	50代 (R3)	50代 (H29)	60代 (R3)	60代 (H29)	70代 (R3)	70代 (H29)
n	73	85	116	141	178	151	193	146	221	204	168	170

図表 38-4 役場窓口のわかりやすさ、利用しやすさ（居住地区）



	百石小区 (R3)	百石小区 (H29)	甲洋小区 (R3)	甲洋小区 (H29)	下田小区 (R3)	下田小区 (H29)	木内々小区 (R3)	木内々小区 (H29)	木ノ下小区 (R3)	木ノ下小区 (H29)
n	235	205	80	93	82	83	143	117	377	366

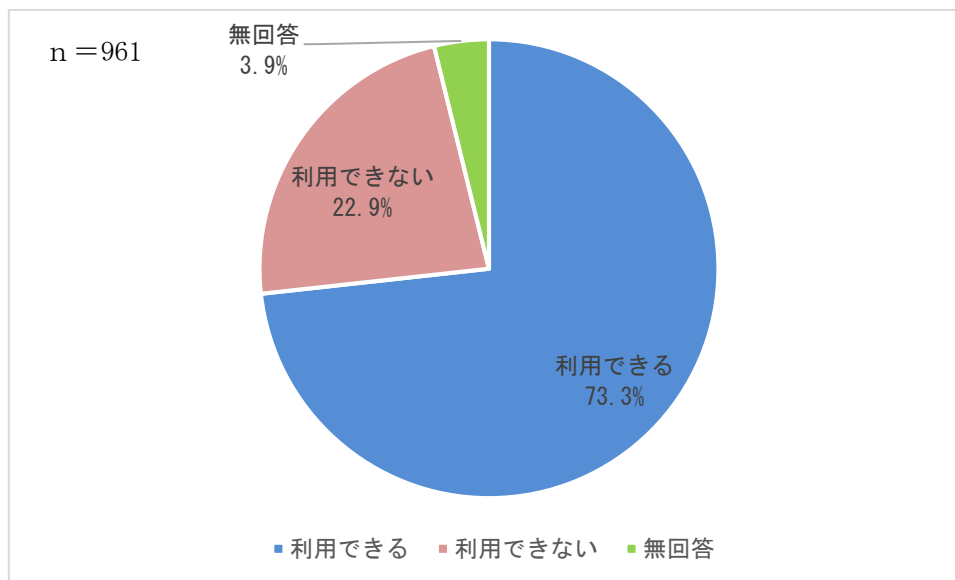
14 デジタル化について

(1) 自宅でインターネットが利用できるか

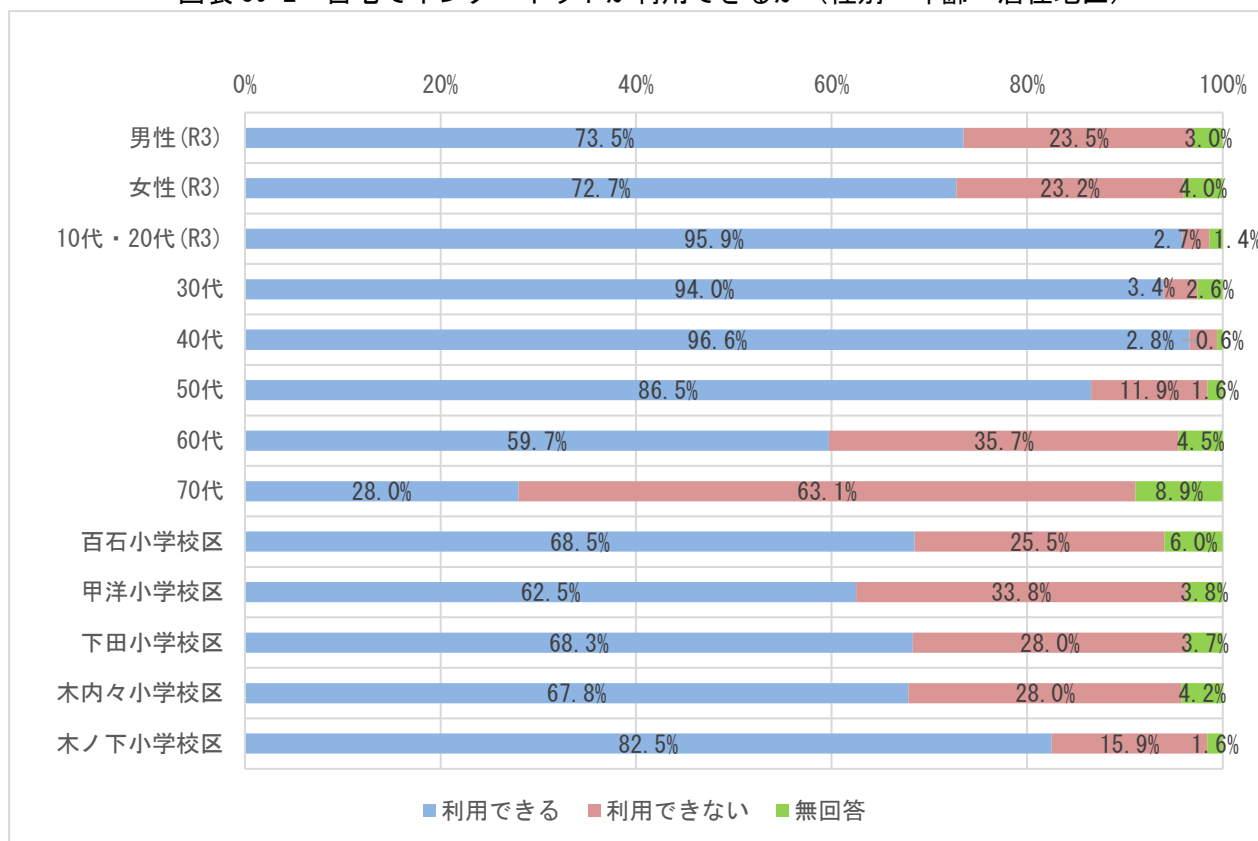
問 47 あなたは、自宅でインターネットが利用できますか。

● 「利用できる」が73.3%、「利用できない」が22.9%。

図表 39-1 自宅でインターネットが利用できるか（令和3年度/全体）



図表 39-2 自宅でインターネットが利用できるか（性別・年齢・居住地区）



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代 20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	438	499	73	116	178	193	221	168	235	80	82	143	377

「1. 利用できる」を選択した場合、インターネットを利用している機器を選んでください。
【いくつでも選択可能】

- 「スマートフォン」が94.2%で最も多い。

図表 39-3 インターネットを利用している機器（令和3年度/全体）

項目	令和3年度
スマートフォン	94.2%
タブレット	35.1%
パソコン	59.8%
その他	2.6%
無回答	4.8%

※その他の記載内容…ゲーム機、ネット付きのテレビ、デジタル家電

図表 39-4 インターネットを利用している機器（令和3年度/年齢）

項目	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代
スマートフォン	97.1%	98.2%	97.7%	95.8%	87.9%	78.7%
タブレット	38.6%	39.4%	47.7%	32.3%	22.7%	19.1%
パソコン	58.6%	60.6%	60.5%	61.1%	57.6%	57.4%
その他	0.0%	3.7%	3.5%	3.6%	0.8%	0.0%
無回答	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

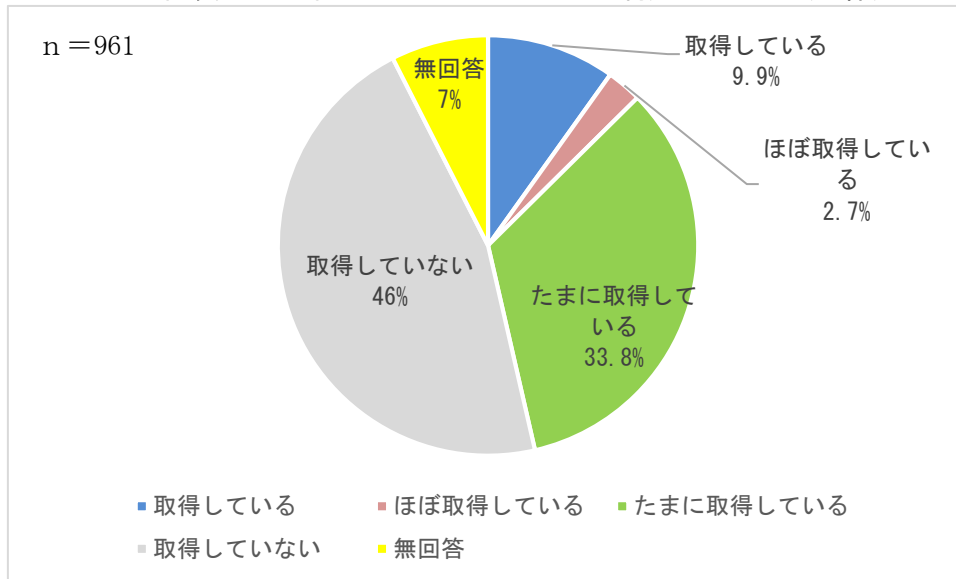
(2) インターネットを利用して町政情報を取得しているか

問 48 あなたは、(スマートフォンやパソコンなど) インターネットを利用して、町からの情報を取得していますか。

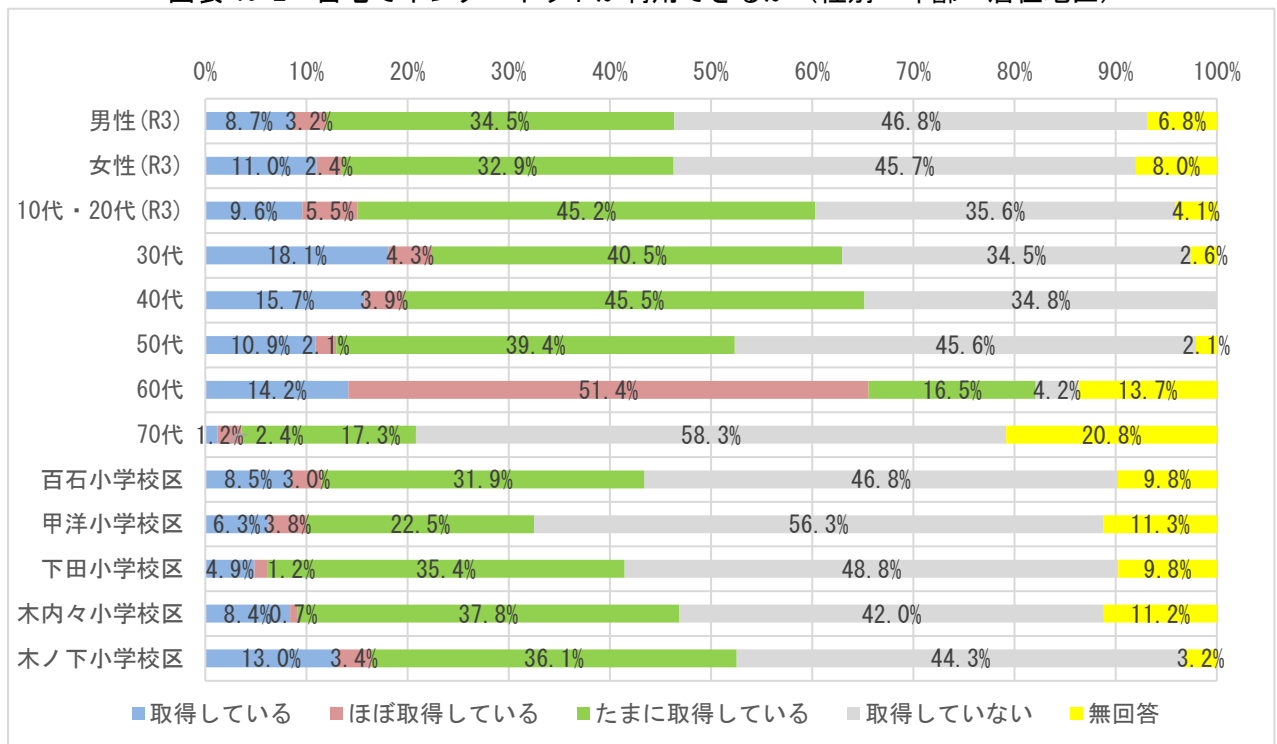
● 「取得していない」が46.0%、「取得している」が9.9%。

「取得している」(9.9%)、「ほぼ取得している」(2.7%)、「たまに取得している」(33.8%)、「取得していない」(46.0%)となっています。

図表 40-1 自宅でインターネットが利用できるか (全体)



図表 40-2 自宅でインターネットが利用できるか (性別・年齢・居住地区)



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	438	499	73	116	178	193	221	168	235	80	82	143	377

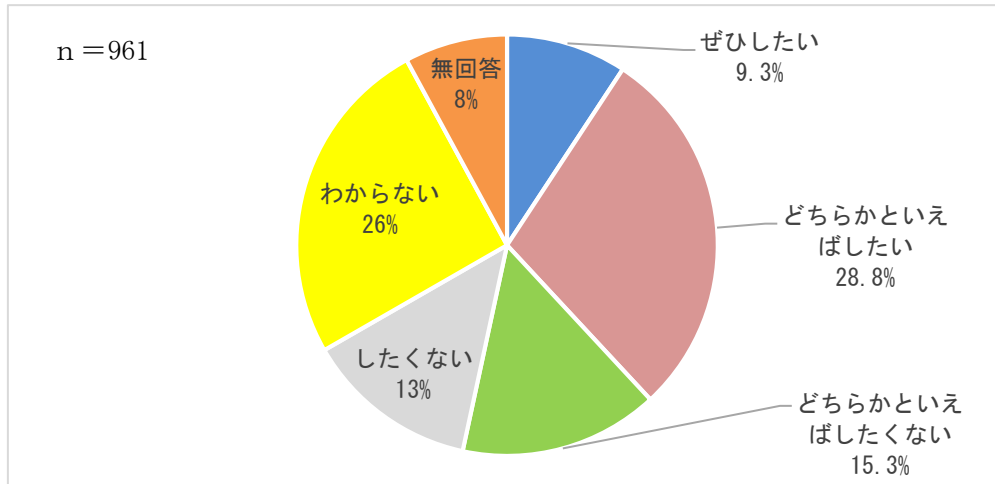
(3) 今後インターネットを利用して町政情報を取得したいか

問 49 今後または、これからも（スマートフォンやパソコンなど）インターネットを利用して、町からの情報の取得やアンケート調査に回答したいですか。

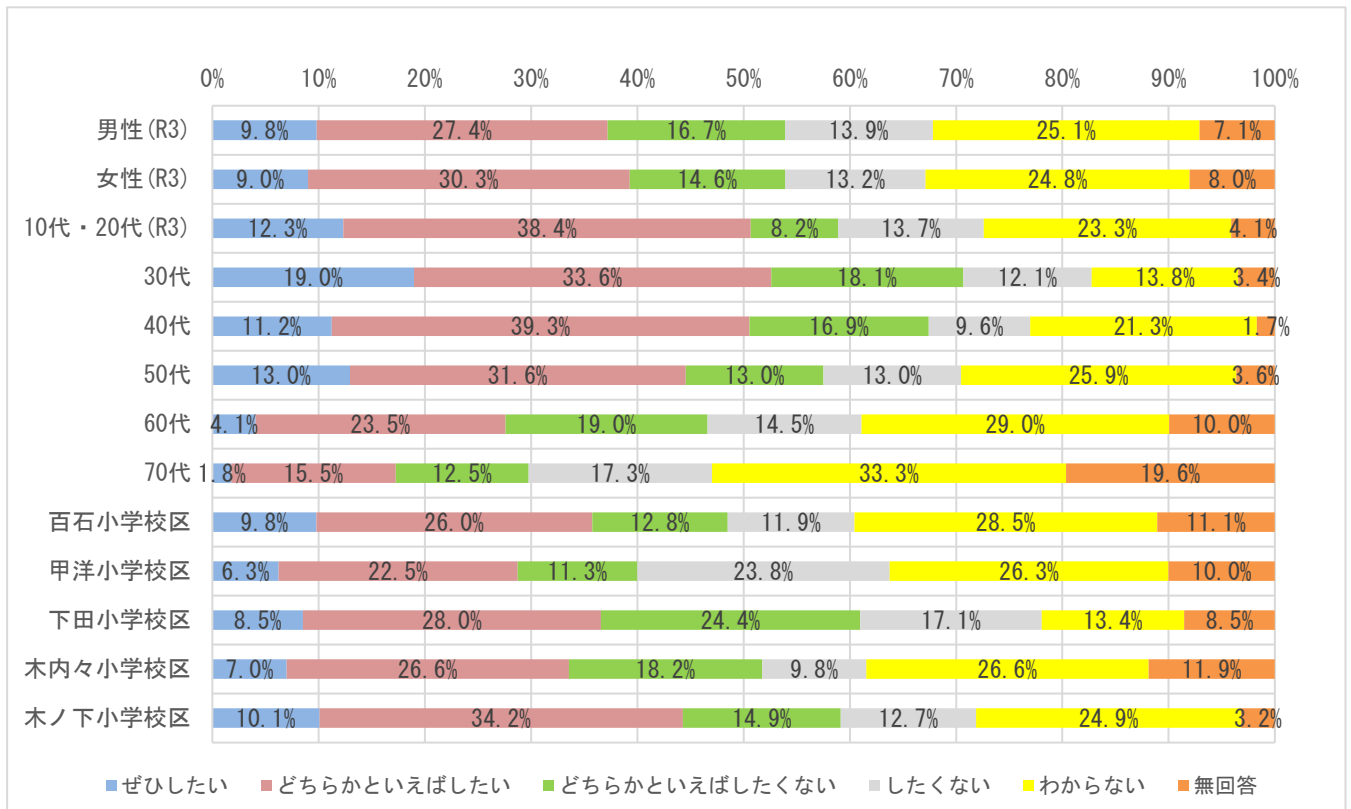
● “ネットで役場とやりとりをしたい”が39.1%、したくない”が28.3%。

「ぜひしたい」(9.3%)と「どちらかといえばしたい」(28.8%)を合わせた“ネットで役場とやりとりをしたい”が39.1%、「どちらかといえばしたくない」(15.3%)、「したくない」(13.0%)を合わせた“したくない”が28.3%となっています。

図表 41-1 インターネットを利用して町政情報を取得したいか（令和3年度/全体）



図表 41-2 インターネットを利用して町政情報を取得したいか（性別・年齢・居住地区）



	男性 (R3)	女性 (R3)	10代 20代 (R3)	30代 (R3)	40代 (R3)	50代 (R3)	60代 (R3)	70代 (R3)	百石小区 (R3)	甲洋小区 (R3)	下田小区 (R3)	木内々小区 (R3)	木ノ下小区 (R3)
n	438	499	73	116	178	193	221	168	235	80	82	143	377

(4) デジタル化に対する町への期待や不安

問 49 インターネットを活用した申請や手続き等のデジタル化が進んでいます。デジタル化について、町に期待すること、不安なことがあれば記入してください。【自由記述】

性別	年齢	居住地区	内容
男性	40代	木内々小学校区	情報流出が絶対ないようにしてほしい。
男性	40代	木内々小学校区	情報漏洩が怖い
男性	60代	百石小学校区	わかりやすく(例文)など、専門用語を少なく、とにかくわかりやすくしてほしい。
女性	40代	木内々小学校区	簡易的な、はい or いいえで答えられるような町民アンケート。イベント後すぐこまめに意見を拾うような仕組み。今回みたいなまとめたアンケートはさほど答えたいと思わない。LINE 活用する等、町政を身近に感じられる取り組みがあればいいのでは。
女性	40代	百石小学校区	デジタル化はすすめてほしい。
女性	60代	木ノ下小学校区	Wi-Fi が利用できる場所を増やすための町からの補助金があれば良いと思う。町の公民館、図書館、役場会議室など Wi-Fi 設備をととのえ、Zoom 会議や学習などに使用できるようにしてほしい。
女性	60代	木内々小学校区	町全体の Wi-Fi 環境を。小・中のタブレット活用を可に。
女性	40代	木内々小学校区	高齢者の方には難しいのでは。
女性	30代	木ノ下小学校区	わかりやすさ。
男性	60代	百石小学校区	期待-利便性が高い行政サービス、不安-個人情報保護・セキュリティの確保
女性	40代	木ノ下小学校区	高齢の方はなかなか操作が難しいことがあるので、近くの集会所や公民館等で出張サービスをしてほしいです。また、小さい子供がいる家庭も外出するのが難しかったりするため。
女性	70代	木ノ下小学校区	近い将来デジタル化が主流となるのは理解出来るが、増々高齢化も進み使用できるか？また全家庭に機器があるのか？という問題への対処は期待と共に不安な部分もある。
女性	60代	木内々小学校区	高齢者などに対しては従来通りやインターネットの手続きなど 2 通りでできるようにお願いします。
-	30代	木ノ下小学校区	・国全体でデジタル化も設置され、マイナンバーカードの取得や保険証への統合など取り組みがすすめられています。町長の取り組みのひとつにもあげられていた気がしますが、マイナンバーカードを使い、コンビニでも住民票など、必要書類を取得できるようにして頂けると非常に助かります。予算はあると思いますが。通学路の街灯をもっと明るくしていただくと安心です。・チャットを使ったオンラインでの相談システムなど。
女性	70代	木内々小学校区	高齢ではパソコンやスマホのやり方もわからないので困る
女性	60代	木内々小学校区	ふだん利用していない(わからない)ので、あまりにもデジタル化が進み過ぎて、ついていけない所があります。
女性	60代	木ノ下小学校区	防災含め、もう少し細かな(具体的)情報がほしい。
女性	30代	木内々小学校区	詐欺だと疑われないような対策。個人情報の入力があると思うので、「町からのだよ」と明確に分かるやり方を考えてほしい。
男性	50代	木ノ下小学校区	何ができ、どのようにすればいいのか、情報を広くPRして欲しい。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	20代	木ノ下小学校区	この様なサーベイもデジタル化できるようになればなお良い。
女性	30代	木内々小学校区	デジタル化は良いと思うが、それについてこれない人を置いていかないで。
男性	50代	百石小学校区	だれでも、使いやすい仕組みにしてほしい。
女性	40代	百石小学校区	町内の集金が年に数回ありますが、ネットで支払ったり、できたりすると集金の苦労がなくなる。又、コロナで対面せずにすむ。
女性	40代	木ノ下小学校区	役場に行かなくても、家で印刷することで正規の書類として他へ提出してもOKになるような仕組みづくりをお願いしたいです。マイナンバーカードもそうですが、作ったところでまだ保険証として使えない、役場に行かないと受け取れないなどでは作ろう、やってみたいと思えないと思うので。(コンビニで受け取れると言うことだったような)
男性	50代	百石小学校区	日常的な手続きのネット対応、24時間対応できる無人の窓口、土日祝日に行政サービスを受けられるようにするためにDXを利用してほしい。
女性	50代	木内々小学校区	わからないことをメールで質問ができ、かつスピーディーな回答を預けたら便利かなと思います。
女性	50代	木内々小学校区	デジタル化しづらい人にもわかりやすく、サポートしてほしい。
女性	40代	木ノ下小学校区	複雑なものにしないでほしい。
女性	50代	百石小学校区	・24時間、年中無休で申請や手続き等をとれるとよい。・時々、公共機関めぐりのクイズやスタンプラリーをしたら？
男性	40代	木ノ下小学校区	税金などや相続など、専門家に相談する前に調べておいたり、相談したりしたいことがあった場合、(個人情報保護した上で)ZOOM等を使って相談できたらうれしい。
女性	30代	百石小学校区	内容について理解が出来るのか、お年をめした方々が大丈夫なのか、コミュニケーションをとってすすめていきたい。前までは窓口に行き、手続きをして職員と話し、顔を覚えてもらい聞きやすかったが、今はほとんどが郵便でなんだかさみしいところもある。
男性	40代	下田小学校区	通信障害が不安
女性	70代	木ノ下小学校区	インターネットは全く活用できないので困っています。
男性	60代	木ノ下小学校区	デジタル化について、もっと進めてほしい。(転入届についてマイナンバーカードが有ればそれだけでいいと前の市を出る時に聞いていたのですが不可能でした。)
女性	20代	木ノ下小学校区	・個人情報の流出の不安 ・誰もが利用しやすい体制整備の期待 ・通信トラブルが起きた場合など、緊急時の対応
女性	50代	木ノ下小学校区	マイナンバーの活用ができるシステムを早急に整えて欲しいです。国が進める事業に出遅れているようです。せっかく作ったマイナンバーの活用のできない事の多さに50代の私が使えるようになるのは、いつごろになるのでしょうか。
女性	40代	木ノ下小学校区	デジタル化が進むと、インターネットを使えない世代が困るので、デジタル化とアナログ方式の両方が必要。しかし、ある一定より若い世代は、ほぼデジタルで対応できるので、簡単に手続きできる方法を作りたい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	60代	木内々小学校区	将来インターネット環境が整えば、勉強して手続きをしてみたいが、無料の勉強会に定期的に参加できればありがたいです。
女性	60代	百石小学校区	初心者向けのインターネット教室など企画してほしい。初心者向けといってもいざ参加すると、結構できる人ばかりが参加しているのではないかと不安。
女性	30代	甲洋小学校区	住民票等がコンビニから発行できるようになればありがたいです。
女性	30代	木ノ下小学校区	高齢者への説明会等は必要だと思う。
女性	40代	木ノ下小学校区	役場へ行かなくても手続きできるものが増えれば、時間の無駄が減るので、良いと思います。
女性	40代	木ノ下小学校区	町内会での広報を毎月班長が配布するのは無駄と考えています。班長が25件以上の広報を配布するのは、高齢者には無理です。そうすると、子育て世代の仕事をしている多忙な人が班長を努めなければならない、負担が大きいです。小さなことから、デジタル化を推進し、少しでも負担を軽減して下さい。町内会をぬけたいと話してくる方が多数いらっしゃり、困惑しています。
女性	50代	木内々小学校区	デジタル化だけじゃなく、対面でも、やはり対応してほしいと思います。
男性	30代	木ノ下小学校区	近隣市町村と差がでないよう(デジタルで、できる、できない)進めてほしい。
男性	50代	百石小学校区	住民票をコンビニでもとれるようになるとありがたいです。
女性	50代	木ノ下小学校区	個人情報の管理がきちんとできるのか不安です。
女性	60代	甲洋小学校区	相手の顔が見えないので人とのコミュニケーションがとれなくなっていくことが心配
男性	40代	百石小学校区	悪用されないための対策を整備できれば申請や手続きする。
男性	60代	百石小学校区	パソコン・スマホが不得意な人の多くは、マニュアルはあるものの、その過程で誤った時の戻り方、訂正の仕方で固まってしまう場合が多いように思う。高齢者にインターネットを浸透させるには、そのあたりを克服できれば(入力時の訂正の仕方、フォロー)高齢者のパソコン、インターネットの操作フォローのバックアップをしてくれるような部署、機関があれば、高齢者のパソコンアレルギーは少なくなると思う。
男性	20代	木ノ下小学校区	デジタル化は反対です。デジタルになることでケータイのハッキング等の被害が増加する。申請関係については、紙で行うことが望ましい。被害が出てからじゃ遅いと思うし、ハッキング等の場合は警察でも操作できない場合がある。
女性	40代	木ノ下小学校区	手続きの方法が分かりにくい。年寄りにもっとわかりやすい言葉で説明すべきである。使える人には専門用語で伝わるが、ほぼ使わない人にとって専門用語や説明では何一つできない。そういう人がまだこの世の中にたくさん存在していることを理解し、改善していくべきである。特に一人暮らしの方や頼る人がいない方のことも考えるべきである。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	70代	百石小学校区	高齢者はネット活用が複雑な為 広報等、文書での手続きをしていただきたい！
女性	70代	下田小学校区	スマートフォンやパソコンが何もなく出来ない。
女性	60代	木ノ下小学校区	期待すること、今までどおりに対面でおしえてほしいです。不安なこと、スマートフォンでの申請のしかたなど勉強しなければと思います。何々おぼえるのが大変ですが！
女性	30代	木ノ下小学校区	イオン周辺やコープ周辺が電波悪いのでLANや5Gを広めてほしい
女性	50代	木ノ下小学校区	スマートフォンは使用しているが、パソコンが出来ないので、よくわかりません。
女性	60代	木内々小学校区	インターネットやデジタル化は年配者には無理がある
女性	30代	甲洋小学校区	住民票や印鑑証明をコンビニでマイナンバーを使って発行できるようにしてほしい。
男性	60代	木ノ下小学校区	使い慣れてないので面倒で不安
男性	60代	木ノ下小学校区	情報漏洩など全く無いようにその分野のエキスパートとしての自覚を持ってほしい。
女性	40代	木ノ下小学校区	高齢者でも気軽にネット活用できるようになってもらいたい。ネット犯罪もこわいです。
男性	30代	百石小学校区	コンビニでの住民票などの取得など
女性	60代	木ノ下小学校区	高齢者にインターネットでの手続きは無理だと思われます。コロナワクチンの予約すらできずに家族と同居している人は良いがそうでない人はやり方すらわからなかった。
女性	40代	下田小学校区	デジタル化はお年寄りにはあまり優しくないシステムの様な・・・
女性	70代	百石小学校区	活用したことがないのでわかりません
女性	70代	木ノ下小学校区	1・まずは操作方法を知る。2・住民が理解していることを前提に進められると不安。3・用語などわからず返事した場合の不安などあるので「化石人間」もとのこさないよう教えてほしい。
男性	40代	下田小学校区	情報漏洩時の対応。明確に責任を取るようになってほしい。謝罪だけで済まそうとする。役場(全国的に)体質と思われている。
男性	50代	木ノ下小学校区	申請などの手続きをオンライン化し、書類を郵送してほしい。
女性	40代	木内々小学校区	便利にはなるだろうが、結局分からないお年寄りには出来ないまま、若い人たちもデジタル関係の人しか利用しなさそう・・・と思ってしまう。でも冬期は確かに便利かも。
女性	60代	木内々小学校区	スマートフォンやパソコンがうまくつかえないので、すべてデジタル化にされてはこまる。
女性	60代	木ノ下小学校区	高齢者は、わからないのでは？
女性	50代	下田小学校区	窓口に行ったとき、わかりやすく、ていねいに教えて欲しい。
女性	50代	甲洋小学校区	デジタル化しても、使いこなす自信が無いので今まで通りでよいと思う。
女性	60代	木内々小学校区	詳細がわからない。
-	40代	百石小学校区	マイナンバーで住民票をとれるようにしてほしい。
女性	60代	木ノ下小学校区	個人情報とかいろいろ難しい問題もあると思うので、あまりデジタル化が進むのもどうかと思います。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	30代	木ノ下小学校区	マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票を取得する。平日に行政に書類を取得することは難しいので、デジタル化で楽にしてほしい。
男性	30代	木ノ下小学校区	デジタル化したことによる個人情報の取り扱いに不安を感じる。
女性	70代	百石小学校区	高齢のため、インターネットができないが若者は今後仕事をするうえでデジタル化が必要だと思うから、行政側で町民に推進してもらいたい。
女性	50代	木内々小学校区	(不安なこと)インターネット化し、うとい人には難しい。方法の手順を分かりやすくしてほしい(絵や写真付き等)
-	60代	木ノ下小学校区	情報がもれること
女性	40代	木ノ下小学校区	個人情報の漏洩
女性	60代	百石小学校区	個人情報の管理はできているのか(漏洩への不安)
女性	40代	木ノ下小学校区	子どものコロナワクチン予約の時、2回目が自動予約にならなくなった事を知らなかった。同じ時間にアクセスして、枠が1つの時、予約できなかったのか分からなくて結局 TEL した。もう少し注意書き等が必要では? 次回予約の月の更新も遅いと思う。
男性	40代	木ノ下小学校区	めんどくさい
男性	60代	木ノ下小学校区	個人情報の確保(保全)
男性	30代	木ノ下小学校区	行政手続きのデジタル化に引き続き期待する。
男性	40代	木ノ下小学校区	個人情報漏洩が不安です。
女性	40代	甲洋小学校区	高齢者にはむずかしい事が多いと思う。その面のサポートを町には期待します。
男性	70代	木内々小学校区	インターネットは使えません。デジタル化が進むと困ります。
男性	40代	木ノ下小学校区	申請、手続きを全てでデジタル化してほしい。
女性	50代	木内々小学校区	デジタル化は、苦手なので不安です。
男性	50代	木ノ下小学校区	Security 対策
男性	60代	百石小学校区	情報の流出可能性
女性	30代	木内々小学校区	・コンビニでのマイナンバーカードを活用した住民票取得を早めに導入してほしい。・若者はデジタル化にスムーズに適應できるが、町村など高齢者が多い地域は普及に時間がかかりそう。・高齢者など変化に抵抗感の強い人をどう介入させていくか。
女性	30代	木ノ下小学校区	マイナンバーカードでコンビニ利用、住民票など
男性	30代	木ノ下小学校区	マイナンバーカードの普及が前提
女性	70代	木ノ下小学校区	なんでもインターネットを使用しているが年よりはわからないと思う。そこの所を考えてほしいと思う。
女性	40代	木ノ下小学校区	高齢化の地域なのでネット環境がない高齢者の方のために誰も置き去りにならない様なシステムを使ってほしい。
男性	30代	下田小学校区	情報漏洩に気を付けてほしい。
男性	50代	木ノ下小学校区	Free Wi-Fi スポットの拡大・充実
男性	60代	木ノ下小学校区	期待はしていない
男性	30代	下田小学校区	インターネット料金の援助
-	-	-	だまされるかと思い不安です。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	20代	百石小学校区	お年寄りが多いおいらせ町民にデジタル化は必要でしょうか？老人を大切にすることが足りない気がしてなりません。
男性	60代	百石小学校区	選挙等のデジタルを進めてほしい。
-	-	-	高齢者に対するデジタル化教育
女性	40代	木ノ下小学校区	データの管理
女性	50代	百石小学校区	ネット環境が悪い所があるので改善してほしい。
男性	40代	下田小学校区	電波障害
男性	30代	木ノ下小学校区	期待-デジタル化によるペーパーレス化は good! 不安-デジタル集計による仕事量の増減・町の負担が大きくなると元も子もない。
女性	50代	百石小学校区	高齢化する程、ITにうとくなり、情報を得る事が出来なくなるのではと不安
男性	40代	木ノ下小学校区	個人情報の管理
女性	60代	木ノ下小学校区	個人情報の漏えい
女性	50代	甲洋小学校区	高齢者には”苦”だと思います。(若い人と同居していなければ)
女性	20代	木ノ下小学校区	個人情報の取り扱い
女性	-	-	セキュリティがきちんとされているか？
女性	60代	百石小学校区	年長者は、デジタル化についていけないところがあるので、使い方の講習会など、わかりやすく取り組めるようにしてほしい。
男性	40代	木ノ下小学校区	個人情報の管理を外部に委託せずに町でしっかり管理してほしい。
男性	70代	百石小学校区	インターネット・デジタル 良く分からない。ネット活用していない。
女性	40代	木ノ下小学校区	不安・個人情報の漏洩
女性	40代	木ノ下小学校区	老人にインターネットや今までスマートフォンを使ってないシルバーは、むずかしいと思います。特に80~90才には(元気な)TELや人と話すことでいっぱいだと思います。
男性	50代	百石小学校区	町役場職員になにも出来るとは思っていないので、あまりガンバってほしくない！
女性	60代	木ノ下小学校区	申請・手続き等を分かりやすく。年寄りでもわかるように。
男性	30代	木ノ下小学校区	住民票等のコンビニでの発行
男性	50代	木ノ下小学校区	インターネットに不慣れなお年寄りのために紙媒体を残すのは放棄であって、デジタル化を防げていると思います。紙の書類や手続きは一切無くしてほしいです。役場ではとっておいた紙も100万回もながめるのでしょうか？
男性	50代	木ノ下小学校区	誰にでもわかりやすい内容にしてほしい。
男性	60代	百石小学校区	時間を掛けてわざわざしようと思わない為
男性	20代	甲洋小学校区	デジタル化と今ある(主流である)対面式の手続きの両立。高齢者等に配慮した体制を継続してほしい。
女性	70代	木ノ下小学校区	町への住民からの申請、手続きについてわからない。コロナワクチン情報などは利用できるが。
女性	60代	木内々小学校区	町への支払いを銀行引き落としにできれば良い。
女性	60代	下田小学校区	出来ましたら、インターネットのデジタル化に対して手続き等の説明の場所を確保してほしいです。
女性	50代	木ノ下小学校区	個人情報漏れに不安

性別	年齢	居住地区	内容
女性	70代	甲洋小学校区	若い人たちはインターネット、デジタル化も大変よろしいかと思うけど、まったく出来ない者の立場も考えてほしいものです。
男性	40代	百石小学校区	情報流出が怖い為マイナンバーカード作る気にならない。
女性	20代	木ノ下小学校区	どんどんデジタル化してほしいですが分かりやすくやってほしい。(お年寄りには難しく無理と言うので…)
女性	60代	百石小学校区	独居老人の方はデジタル化に不安である。
男性	40代	木ノ下小学校区	合理的なしくみ
女性	50代	木ノ下小学校区	情報漏洩
男性	40代	木ノ下小学校区	各種申請や手続きのデジタル化を進め、時間外の住民票取得等が可能になると良い。
男性	30代	百石小学校区	セキュリティの管理がしっかりされているか不明では、個人情報の提供はできない。
男性	60代	木ノ下小学校区	NET環境が整備されつつありますが、常時接続はそれなりにコストがかかります。高齢になれば負担になるかも…
女性	40代	木内々小学校区	ホッとするメールは子供を持つ親にとって大切なタイムリーな情報ありがたいです。・広報紙もパソコンなどで利用できる人が利用すれば、紙の削減になると思います。
女性	40代	木ノ下小学校区	住民票など自宅配送
女性	20代	甲洋小学校区	コロナ関係等
男性	60代	木内々小学校区	デジタル化についていけそうにない。
男性	40代	木ノ下小学校区	納税もデジタル化してほしい。
男性	30代	木ノ下小学校区	提出書類が紙ベースで役場に提出するシステムが多く、役場に足を運ぶ時間が取れない。また、役場が遠いなどの理由から電子版への移行を期待したい。
男性	20代	木内々小学校区	デジタル化にしていく上でわかりやすく、やりやすい体制にしていくのが大変だと思う。
女性	60代	木ノ下小学校区	wi-fiが利用できる場所が増えてほしい
男性	50代	木ノ下小学校区	ケーブルテレビ等
男性	40代	甲洋小学校区	もっと進めていいと思う。平日窓口まで行くのは大変なので、申請や手続き等は紙を使わずスピーディーに。
男性	30代	木ノ下小学校区	マイナンバーを活用したい
男性	10代	木ノ下小学校区	ハッキングによる個人情報の流出
男性	30代	木ノ下小学校区	個人情報の流出
女性	10代	百石小学校区	高齢者や障がい者にはデジタル化が難しいと思う。
女性	30代	木ノ下小学校区	このようなアンケートもデジタル化しては？集計も楽になるかと思う。他にも、アナログな業務を棚卸して、人の手を排除できればより良い町作りに着手する人手が増えるのではないのでしょうか。
女性	30代	木内々小学校区	住んでいる地区がネット環境のエリア外だと言われたので、十分な情報が自宅にいて入手できずにいるので、災害などがあつたときにネットなどからの情報が得にくい。
男性	60代	百石小学校区	全てをデジタル化にするのではなく、選択できるようにした方が良い。年配者のため。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	40代	下田小学校区	マイナンバーは、なんだか嫌な感じがします。(それがないと出来ないとか)ネットもその機械が無ければ出来ないのので負担を感じる。PCにくわしくない人には難しいし分からないと思う。
男性	10代	木ノ下小学校区	分かりにくい
女性	30代	木ノ下小学校区	高齢者への配慮が不十分なので理解が必要かと思います。
男性	20代	百石小学校区	おたすけサポート課のような所が行政サービスとしてあると良いと思います。申請手続き(マイナンバーカード等)
女性	60代	百石小学校区	わかりやすく対応してほしい。
男性	50代	木ノ下小学校区	デジタル化は、重要と思います。しかし、高齢者にはスマートフォン等での手続きはハードルが高いと思うので、手続きのマニュアル等の充実が必要と思います。
女性	70代	百石小学校区	若い方は、ネットで出来ますが、年齢の高い方々はまったくわからない。そこをふまえた方法を考えて下さる事を期待します。
女性	60代	百石小学校区	年齢とともにデジタル化が不安です。年寄りにやさしい方法としては広報とかだと思います。若い世代が同居していれば何かと支援してもらえるとと思いますが、高齢者だけだとネット活用は難しいと思います。
男性	50代	木ノ下小学校区	何でもカード1枚におさまるようにして欲しい。(通院時や免許や銀行・郵便局など)
男性	70代	木内々小学校区	高齢化が進みデジタル化についていけない不安である。
女性	30代	甲洋小学校区	リアルタイムでの情報共有ができることが良い点ですが、インターネットを使いこなせない高齢者の方等へのスムーズな情報共有をどう対処するかという不安があります。耳の遠い方もいらっしゃると思うので、町内放送でも補えない部分もあると思うので、もし町の方でそういう方の把握ができるのなら、必要時にお家に伺ったり、その方の近所の方等に連絡を取って頂いたり等事前に対応を取って頂けたら助かります。その為の地域活動(声かけマップのようなもの)がもしあれば、尚良いと思います。
女性	50代	百石小学校区	Wi-Fi設備の普及は必要だと思います、通信速度が遅すぎます。
男性	20代	木ノ下小学校区	インターネット環境の整備
-	40代	木内々小学校区	医療がデジタル化をリードしていけば、町民のデジタル化が進んでいる実感を得られる。
女性	40代	百石小学校区	5Gがまだきていない
女性	40代	木内々小学校区	インターネット環境がない家庭はどうすれば良いのか、ネット環境の整備について経済的負担や、ネットの使い方など、全ての人が受け入れられるかどうか心配
女性	30代	木内々小学校区	データの安全性が心配。デジタル化はいいと思いますがセキュリティが不安です。情報の管理は信用できるのか……。
女性	60代	甲洋小学校区	デジタル化が進んでも全部についてわからないと思うので、時間をかけて年寄りの人たちにもわかるようにしてほしい。なぜデジタル化が必要なのかを住民にわかるようにしてほしい。
男性	60代	木ノ下小学校区	非常に便利だが、不慣れな人へのフォローが重要
男性	30代	木内々小学校区	特になし。早期にネット申請できるようになってほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	甲洋小学校区	紙での手続き、窓口での手続きがデジタル化してくれると、仕事を休まなくてもよくなる。早くそうなってほしい。
男性	60代	-	利用したくない人にもやさしい町にしてほしい。自由にえらべるようにしてほしい。無理に押し付けないう
男性	60代	下田小学校区	今は、申請など利用する事がないが、窓口とか部署は、こういう時は、どの部署に行けばよいのか明確にしてほしい。(相談する部署があればよい)
女性	50代	甲洋小学校区	やり方がわからない。デジタル環境が整っていない。
女性	50代	百石小学校区	スマートフォンを使いこなせず手続き等ができない事にストレスを感じる。何度聞いても分からない。無料でおしえてくれる所があればいいです。
女性	60代	百石小学校区	情報漏洩だいじょうぶ？安心して使えますか？
女性	70代	百石小学校区	スマートフォンなど上手に使いこなせていないので自分の力だけで対応することが難しいです。
男性	70代	木ノ下小学校区	だれでもネット利用できるように
男性	30代	木内々小学校区	インターネットは、おおいに活用するのはよいことですが、不慣れな方のための窓口や相談できる場を残しておいてほしい。政府にデジタル庁があるように役場にもデジタル課など創設して新しい人材を雇って進めてもよいと思う。
男性	60代	木内々小学校区	町役場のデジタル化は歓迎しますが、役場に行って職員の方と顔を合せて話したり手続きしたりするのも田舎町には良いと思います。
男性	70代	百石小学校区	デジタル化で個人情報の拡散が心配である。
女性	70代	木ノ下小学校区	ITリテラシーの不足に伴い、学ぶ機会と環境の整備を願う。
女性	70代	木内々小学校区	若い方なら出来ると思いますが、高齢者には無理なことが多いと思います。
男性	50代	木ノ下小学校区	個人情報の漏洩防止、保護
男性	40代	百石小学校区	高齢者にも分かりやすい講座や直接指導ができる場所の提供が必要。
女性	70代	百石小学校区	(例)スマホを持ってても使い方が時々分からず、わざわざショップまで行くのも大変な事で、どこかに指導してくれる所があればいいなと思った事はある。
女性	50代	木ノ下小学校区	口座情報やカード情報以外であれば不安はない。
女性	40代	百石小学校区	役所まで遠いため、デジタル化は良いと思う。これから年を取るにつれよりわかりやすく見やすいデジタル化が進むと良い。
女性	60代	百石小学校区	若い世代には便利でとても良いと思うが、高齢になってくると難しいのではないのでしょうか。
男性	10代	木ノ下小学校区	紙媒体の方が、通信料がかからないから
男性	50代	木ノ下小学校区	どんどん進めてほしいが、個人情報の漏洩が不安
男性	60代	木ノ下小学校区	デジタル化は便利だが、格差が広がると思う。
女性	40代	木ノ下小学校区	マイナンバーカードを利用して、コンビニから住民票を取得できるようにしてほしい。一人暮らし平日勤務だと役場へ行く場合、休暇を申請しなければいけない。以前の居住地では対応しており、とても便利だった。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	30代	木内々小学校区	若い世代はいいと思うが、高齢者には向いていないと思う。
男性	50代	下田小学校区	誰でもわかりやすい方法で早く推進してほしい。
男性	50代	甲洋小学校区	個人情報の流失などの不安
女性	10代	木ノ下小学校区	町民アンケートをインターネットで出来るようにしてほしい。(インターネットが使える人など)
女性	50代	木ノ下小学校区	とにかく使いやすく見やすく。
男性	60代	木ノ下小学校区	インターネットの使用料金(月の料金)が高いのでやめたいと思う。
男性	50代	木ノ下小学校区	マイナンバーカードが役に立っていない。転入時に不要と言われた。書類を書かされた。
女性	60代	百石小学校区	高齢者はわかり易くお願いしたい。専門用語が多くなるとわかりづらい。
男性	50代	百石小学校区	手続きがわかりやすいように、利用者目線でテストしてから、デジタル化を進めて欲しい。
女性	50代	百石小学校区	高齢者は、インターネットなどの利用はしない方が多いと思います。デジタル化は、とても便利で良いと思いますが、だれにでも簡単に手続きできるような町になってほしいと思いました。(お年寄りにやさしい町であってほしいです。)
女性	50代	木ノ下小学校区	個人情報の流出
男性	40代	百石小学校区	高齢化社会の中で、高齢者にデジタル化は難しいと思われる。老人夫婦世帯なら、なおさら無理だと思う。
男性	50代	木ノ下小学校区	お年寄りにも分かりやすい仕様にして頂ければよいと思います。
男性	50代	下田小学校区	自宅から各種申請が出来るようになれば良い。
男性	40代	木ノ下小学校区	役場に行かず、Web・オンラインで行える手続きを増やしてほしい。

15 今後のまちづくりについて

(1) これからのまちづくりで重点的に取り組むべきこと

問 50 これからのおいらせ町にとって重要なまちづくりの取り組み（特に重点的に取り組むこと）を選んでください。【5つまで選択可能】

● 重要なまちづくりの課題 トップ3

- 第1位 「医療体制の充実」
- 第2位 「高齢者福祉の推進」
- 第3位 「道路・公共交通の整備」

平成29年度	
第1位	「医療体制の充実」
第2位	「高齢者福祉の推進」
第3位	「子育て支援対策の充実」

項目	令和3年度	平成29年度	前回との比較
医療体制の充実	60.1%	59.8%	増加
子育て支援対策の充実	30.9%	40.3%	減少
高齢者福祉の推進	35.9%	44.0%	減少
障がい者福祉の推進	12.9%	14.4%	減少
消防・防災体制の充実・強化	14.0%	15.3%	減少
交通安全対策の推進	14.0%	13.9%	増加
防犯体制の推進	15.2%	14.5%	増加
自然環境の保全対策の推進	8.2%	7.3%	増加
公園緑地の整備	16.8%	14.3%	増加
省資源・省エネルギー対策の推進	4.8%	5.0%	減少
ごみの減量化の推進	5.9%	5.9%	-
駅周辺の市街地整備	4.9%	6.0%	減少
インターチェンジ周辺の整備	4.4%	5.2%	減少
商店街の整備	11.8%	16.4%	減少
道路・公共交通の整備	34.3%	29.3%	増加
河川・水路の整備	17.4%	10.3%	増加
学校教育の充実	18.2%	20.9%	減少
生涯学習の推進	7.2%	8.5%	減少
スポーツ・レクリエーションの振興	8.7%	12.2%	減少
文化・芸術の振興	4.9%	5.5%	減少
農業・水産業の振興	9.3%	11.6%	減少
商工業の振興	8.8%	10.8%	減少
観光の振興	7.5%	9.2%	減少
コミュニティ活動の推進	4.0%	5.8%	減少
男女共同参画の推進	1.6%	2.2%	減少
都市・国際交流の推進	3.0%	3.9%	減少
行財政改革の推進	5.4%	6.4%	減少
町民と行政の協働による行政運営の推進	5.1%	8.4%	減少
その他	1.8%	5.4%	減少

図表 42-1 これからのまちづくりで重点的に取り組むべきこと…【その他の記載内容】

性別	年齢	居住地区	その他の記載内容
女性	30代	甲洋小学校区	町の就職先の周知を学生達にも行う。より町に根付いた将来を選択肢の1つに入れられるような活動があると良いと思います。
女性	40代	甲洋小学校区	若者の流行りとその活動やイベントができる施設の整備
男性	60代	百石小学校区	百石学区の方にも町営墓地を作ってもらいたい。
男性	50代	木ノ下小学校区	下水道の整備
男性	40代	百石小学校区	病院の整備
男性	60代	百石小学校区	旧下田、百石地区の各集落を残しつつ、各地区から集まれるような官公庁・役場・病院・他を中心とした都市整備
男性	50代	木ノ下小学校区	人口の減少をさせない施策
男性	30代	木ノ下小学校区	レジャー施設建設
男性	40代	木ノ下小学校区	下水の整備
男性	40代	木ノ下小学校区	下水道整備導入
男性	50代	百石小学校区	あまりガンバツテ税金を使ってほしくない！
男性	30代	木ノ下小学校区	水道料金の補助
女性	60代	木ノ下小学校区	北地区に郵便局をお願いしたい。
女性	40代	百石小学校区	高等教育の修学、進学支援
女性	50代	木内々小学校区	冬、こまめに除雪してほしい。凍った時は塩をまいてほしい。

図表 42-2 これからのまちづくりで重点的に取り組むべきこと 上位 3 位
 (令和 3 年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

令和 3 年度		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		医療体制の充実 60.1%	高齢者福祉の推進 35.9%	道路・公共交通の整備 34.3%
性別	男性	医療体制の充実 55.7%	高齢者福祉の推進 33.6%	道路・公共交通の整備 33.3%
	女性	医療体制の充実 59.8%	高齢者福祉の推進 44.0%	子育て支援対策の充実 40.3%
年齢	10代・20代	医療体制の充実 46.6%	道路・公共交通の整備 41.1%	子育て支援対策の充実 38.4%
	30代	子育て支援対策の充実 50.9%	医療体制の充実 46.6%	公園緑地の整備 34.5%
	40代	医療体制の充実 61.8%	子育て支援対策の充実 40.4%	高齢者福祉の推進 32.0%
	50代	医療体制の充実 63.7%	道路・公共交通の整備 41.5%	高齢者福祉の推進 38.3%
	60代	医療体制の充実 68.3%	高齢者福祉の推進 50.7%	道路・公共交通の整備 30.3%
	70歳以上	医療体制の充実 61.3%	高齢者福祉の推進 48.8%	道路・公共交通の整備 31.0%
居住地区	百石小学校区	医療体制の充実 60.0%	高齢者福祉の推進 40.4%	子育て支援対策の充実 30.6%
	甲洋小学校区	医療体制の充実 58.8%	高齢者福祉の推進 38.8%	子育て支援対策の充実 31.3%
	下田小学校区	医療体制の充実 65.9%	高齢者福祉の推進 47.6%	子育て支援対策の充実/ 道路・公共交通の整備 30.5%
	木内々小学校区	医療体制の充実 64.3%	高齢者福祉の推進 37.8%	子育て支援対策の充実 32.9%
	木ノ下小学校区	医療体制の充実 59.4%	子育て支援対策の充実 41.9%	高齢者福祉の推進 32.1%

図表 42-3 これからのまちづくりで重点的に取り組むべきこと 上位3位
 (平成29年度/全体・性別・年齢・居住地区) ※複数回答

平成29年度		第1位	第2位	第3位
全体		医療体制の充実 59.8%	高齢者福祉の推進 44.0%	子育て支援対策の充実 40.3%
性別	男性	医療体制の充実 56.4%	高齢者福祉の推進 43.6%	子育て支援対策の充実 41.1%
	女性	医療体制の充実 62.6%	高齢者福祉の推進 44.5%	子育て支援対策の充実 40.0%
年齢	10代・20代	医療体制の充実 50.6%	子育て支援対策の充実 49.4%	商店街の整備 28.2%
	30代	子育て支援対策の充実 70.9%	医療体制の充実 60.3%	学校教育の充実 40.4%
	40代	医療体制の充実 62.3%	子育て支援対策の充実 48.3%	高齢者福祉の推進 38.4%
	50代	医療体制の充実 65.1%	高齢者福祉の推進 52.1%	道路・公共交通の整備 41.1%
	60代	医療体制の充実 60.8%	高齢者福祉の推進 54.9%	子育て支援対策の充実 27.5%
	70歳以上	医療体制の充実 56.5%	高齢者福祉の推進 55.9%	子育て支援対策の充実 21.8%
居住地区	百石小学校区	医療体制の充実 62.9%	高齢者福祉の推進 46.3%	子育て支援対策の充実 39.5%
	甲洋小学校区	医療体制の充実 57.0%	高齢者福祉の推進 43.0%	子育て支援対策の充実 38.7%
	下田小学校区	医療体制の充実 60.2%	高齢者福祉の推進 43.4%	子育て支援対策の充実 30.1%
	木内々小学校区	医療体制の充実 54.7%	高齢者福祉の推進 46.2%	子育て支援対策の充実 34.2%
	木ノ下小学校区	医療体制の充実 60.7%	子育て支援対策の充実 46.4%	高齢者福祉の推進 43.7%

(2) 町へのご意見・ご提案

問 52 町へのご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

性別	年齢	居住地区	内容
女性	50代	木ノ下小学校区	地域ごとに生活環境に差が大きい
女性	60代	木ノ下小学校区	スクールゾーンの安全対策。町議員の女性議員を増やす。町道路の整備、道路の拡大、拡張(特に北部に人口が密集していて、車が混雑している)
女性	60代	木内々小学校区	お年寄りや子どもや女性に優しい町づくりを。不登校児童生徒が増えている。悩む保護者、苦しむ児童生徒をなくしてほしい。きれいなおいらせ町の町づくりを。
女性	40代	木内々小学校区	子どもたちが国道を通過して通学していますが、歩道にガードレール柵はなく万が一車が衝突してきてしまったらと思うことがあります。ガードレールや柵があれば万が一の時に、少しでも勢いが軽減されるので、あった方が安心だと思います。
男性	60代	百石小学校区	町民アンケートの結果など、町のホームページに載せてほしい。
女性	40代	木ノ下小学校区	木ノ下地区に郵便局を(ATMでも)誘致してほしい。通勤族が多い町内地域なので、全国で利用できるゆうちょ銀行を給料振込にしているため。百石や下田は少し遠いです。
女性	70代	木ノ下小学校区	住宅街の道路整備について、私有地が多いため、舗装されていない道路が多々ある。町道と認められると舗装されると聞くとその手が分からず困っている。町側から地区住民に打診する事はあり得るのでしょうか。各住宅道路でも自家用車の往来が有り、削られてデコボコだったり、土埃りがひどかったりと高齢者には危険な道路になっているのが残念です。又、積雪時には、舗装道路とそうでない道路の除雪にも差があり同じ納税者として不平感は否めない。一日でも早く解決してほしいものです。
-	30代	木ノ下小学校区	・紙媒体だけでなく、デジタル化を契機に、紙以外に気軽に提案できる媒体があれば、気付いた時に投稿できます。・コロナに関する情報がもう少し早いとありがたいです、お忙しいと思いますが。
男性	70代	下田小学校区	青森県の「住み良い町」1位になった事は素晴らしい事だと思います。今後も良い順位をキープできるように行政住民が一体となり取り組んで良ければいいと思います。
男性	60代	木ノ下小学校区	木ノ下小学校への通学時間の一方通行及び進入禁止時間、自転車の通学時の中学生のマナー教育(歩道を走っている・交差点で止まらない)

性別	年齢	居住地区	内容
男性	60代	木ノ下小学校区	・歩道の拡張、車道の道路標示(センターライン、路側帯のペイントが消えたままの道路が多い)を整備してほしいです。・行政として税収入以外の収入手段の取り組み(他の自治体では下水処理場から使える資源を開発し町の収入を向上させているらしい)を検討してほしいです。
女性	10代	木内々小学校区	バスが不便になった。車がないと買い物できる場所がないため高齢者は不便。駅周辺を活性化してほしい。
女性	30代	木内々小学校区	下田公園やサーモンパークがペット禁止で困る。百石側の公園はペット禁止ではない。ルールを守って自然の中でペットも散歩できるようにしてほしい。町民プールを温水にして年中使えるようにならないのか、子供達やお年寄りもたくさん利用できるようにしてほしい。冷たすぎるし、期間が短すぎる。
女性	30代	甲洋小学校区	子供の頃からとても住み良い町で、役場の方もいつも親切丁寧に対応して下さり、安心して生活する事ができています。しかし、学生時代、町内への就職先がよく分からず、一時東京で働きましたが、やはり地元が好きで帰ってきました。もし、町内でしっかり学ぶことができ、勤め先にも困らないなら、とても望ましいと思います。その為の十分な活動や周知が、今の子供達にあれば尚良いと思います。又、おいらせ町で住みやすい公共サービスの充実や福祉制度があると今後も安心です。これから子供をさずかったら安心して育てていけるよう、子育て支援や医療体制、教育体制も更に町民にやさしいものとなっていく事を期待しています。町の体制が良くなると、自然と町民も町作りや町の活動に積極的になっていくものと思います。これからも更に住み良い町となるよう、ご支援よろしくお願ひします。
女性	50代	百石小学校区	若い世代の人達が働くことができる企業誘致などをして、新しい働く場所を増やしてほしいです。私は東京圏に住んでいたのが公共交通があまりに違いすぎて、おどろきました。バスが1時間に1本とかありえない話です。電車も少なすぎます。
-	40代	木内々小学校区	自動車以外での移動手段にとぼしく、自動車以外で駅や学校に通学できれば助かる。それが出来ないのは、おいらせ町にかぎった事ではないが、移動手段の選択肢を考えることは、将来に必ずつながる策だと思う。
女性	50代	木ノ下小学校区	下水道の整備を早くしてほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	30代	木内々小学校区	①歩道の環境を整備してほしい(散歩したいが段差、デコボコ道があると歩きにくい) ②放置されている空き地の草刈りをしてほしい。虫・雑草が増えて困っている。個人の土地ではあるが町から持ち主に働きかけをしてほしい。③町内で夜間医療や救急医療を充実させてほしい。内科・小児科・歯科医だけでなく様々な診療科を増やしてほしい。④災害が多いので避難訓練を町内会とか町で年に1,2回やってもいいと思う。個人に任せるのではなく実際にやることで必要な物、人数が把握できる。
女性	60代	甲洋小学校区	町民アンケートという事で参加してみましたが、今仕事が(農家をはじめ10年)忙しいので町での学習活動とかに参加できなかったのですが、アレンジメントのお花の教室とか、大学の講演会とかぜひ聞きたいと思います。コロナ感染も心配で外へ出ることが少ないけど、みんなでバス遠足(町内の仕事)や、もちつきなどやってほしいし、参加したいです!! 小学校の運動会にも人数制限あって参加できずに孫の走る場所を見ることができなかったのも残念。おじいちゃんおばあちゃんや孫たちみんな楽しく過ごす時間があるといいですね。豪雨により農家はすごい被害をうけました。これからも農業続けていけるように町からの1日も早い支援を要請したいです。
女性	30代	木ノ下小学校区	通学路の歩道の整備をして欲しい。狭くて、所々ボコボコしていて歩きづらい。ガードレールの設置や車道と歩道の境目に縁石を設けるなど何かしらの対策を希望します。
男性	70代	百石小学校区	河川の整備について。奥入瀬川や小河川の北側の草木の除去ならびに土砂の除去をお願いします。短時間降雨により県内各地で被害が発生しております。大雨が降ると眠れません。県のほうに早急に要望してほしいです。災害が起こってからでは県民・町民の命を守れません。よろしくをお願いします。
女性	40代	甲洋小学校区	若い人たちの声を聞いてください。若い人たちが今何をしたいのか。若い人たちの夢、希望が叶う町にして下さい。
女性	50代	甲洋小学校区	高齢者・子ども達が安心して暮らせる、自然豊かで整備がゆきとどいた きれいな町・おいらせ町であるよう、これからも見守り続けてほしいと思います。
男性	60代	下田小学校区	・自分をはじめ高齢化が進み、行政の関心度が段々と薄れてきているような気がします。もっと町民が参加できる企画などを行うことが大事だと思います。
男性	50代	木ノ下小学校区	1.冬期の除雪の回数を増やしてほしい。 2.除雪の仕方が下手すぎる。雪の表面をなぞっている程度にしか除雪していない。除雪後、町の方で点検パトロールをして、不十分な所にやり直しをかける。 3.歩道がななめっているため冬期時転倒してしまう。またうば車を押しにくい。 4.飛行機の音がうるさすぎ。夜遅くまで訓練しないように要望してほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	50代	甲洋小学校区	デジタル化がすすんでいるようですが、やり方がわからないことがあるので教える機会があれば良いかなと思います。スマホやパソコンがない人もいますので近くの公共施設で操作できる場所があれば良いかなと思います。
男性	70代	木ノ下小学校区	私は町北部に居住する者ですが、去年まで町内を回るバスがあったのですが今年からなくなりました。大変不便です。北部線を再開してください。
男性	70代	木ノ下小学校区	①公民館にWi-Fi環境の整備 ②下水道の整備 ③歩道の整備(特に通学路)と除雪
女性	70代	木ノ下小学校区	町の窓口と、相談窓口には対面シールドをお願いです。30分位も相談している人もそうですが、役場では特に早めにコロナ対策をしてほしいです。
女性	60代	木内々小学校区	一人暮らしの母親介護のため、おいらせ町(実家)に夫婦でもどり住んでおります。冬は雪が少なくとても住みやすいと思っておりますが、健康のために運動したいと考えているのにプール利用は夏の3カ月のみととても残念です。60代に入り、いろんな病気にかかるようになり、健康維持のため、ウォーキングを兼ねた施設が欲しいです。健康運動士さんによるウォーキング・ストレッチ・軽い運動の講座があれば良いと思います。(週に1~2回程度)
男性	70代	木ノ下小学校区	北部地域に郵便局があれば便利です(木ノ下小学区)
女性	70代	百石小学校区	百石中学校の南側、洋光台入口の南側に歩道と用水路を作って欲しい。国道が高いので水たまりが土地にできる。10年も前からお願いしていたつもりです。用水路を作らなければアスファルトとかその他何かする時に高さの目安がわからず困っています。通学路でもありません。お願いします。
女性	60代	百石小学校区	高齢者の目線で編った答えになりましたが、私たちの住みやすい町づくりをお願いします。高齢者にとって福祉、税がとても重いです。
女性	70代	木ノ下小学校区	いつも私共全町民のためいろいろとお仕事していただきまして本当にありがとうございます。アンケートは満足のいく回答とは言えませんがよろしく願い致します。
男性	60代	百石小学校区	町外や県外からもどってくる人や、新たに家族をもった人たちが住宅を建てやすいように土地の整備をしてほしい。農業をやめる人たちが増えて農地が雑草地になっている。家を建てたくても建てれない。そういう空き地を利用してほしい。
男性	30代	木内々小学校区	不妊治療ができる病院にする。また治療に専念できる宿泊施設を用意して使ってもら。補助もつける。実現すればもっと、おいらせ町をアピールできる。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	60代	下田小学校区	以前の町民バスが週に何日か、一日5回でもなくあれば助かります。他の市では乗合タクシーが出発時間と到着時間が決まっているところもあります。
女性	70代	木内々小学校区	これからのおいらせ町と言うのであれば若い人の意見が重要と思います。高齢者にとっては安心して生活出来る老人施設とかが大事な事です。
男性	50代	木ノ下小学校区	・運転免許返納者に対する乗り物(バス・タクシー)チケット配布。・ドームなどの施設の充実。冬場の運動不足解消。・町民割等を充実させ、おいらせ町に住んで良かったと思う満足感が得られる施策(温泉施設の建設)・ふるさと納税品の更なる充実(寄付したいと思わせる品の充実)・観光の目玉、名所の発信による観光客の確保
女性	40代	百石小学校区	おいらせ町(特に百石地区側に障がい児用のサービスがほとんどありません。養護学校(八戸・七戸)の場所の関係もあるかと思うのですが、サポートするサービスがあればぜひ利用したいです。
女性	60代	百石小学校区	ホームページの更新が遅い。高齢者の施設はあるが、そこを利用する方々の負担が大きく金銭的に大変苦労されている話をよく耳にする。町だけでは解決できない問題でもあるかもしれないが、誰もいずれお世話になるであろう問題。安心して老いて行く為にも高齢者にとって住み良い、国作り、町作りをお願いしたいものです。現在の方向性で将来が決まるので、1つずつ、1つずつ変化を実感できるといいですね。
男性	50代	百石小学校区	・ウォーキングをしていて思ったのは、歩道の雑草除去がされておらず、歩道を歩きにくいこと。都度、環境整備をして欲しい。(洋光台地区周辺)・国道の雑草除去が遅く、視認性に問題があります。交通安全上の支障をきたしていますので、安全確保をお願いします。・冬の除雪対応が悪い。家の前に雪を置いていくし、町道も車が安全に走れるような除雪がされていない。歩くのにも凍結路は危ないです。
男性	20代	甲洋小学校区	除雪の時、家の入口に山にしていくならないでほしい。除雪機を増やして時間短縮など取り組んでほしい。
男性	70代	百石小学校区	思いつくまま、箇条書きにしたいと思います。1・地震津波対策として海岸部の護岸の充実 2・昨今の異常降水に備えるため、奥入瀬川の防波堤の見直しと河川敷の清掃等。3・1と2のため避難経路の開拓等 4・若年者等の就業促進のため「新工業団地」の構築をする。5・「安心」は「安全」が確保されて得られるものと考えます。生活基盤が充実していれば人は集まってくるものと思います。我がおいらせ町は陸空の交通利便性に優れており、更に、暖冬少雪で春が早く永いのもアピール出来る利点と常々思っています。
女性	60代	木ノ下小学校区	歩くことが楽しくなる歩道整備をすることで健康で長生き医療費の削減等に繋がると思います。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	50代	木ノ下小学校区	豊原(2丁目)地区の北側のT字路辺りの道がせまいのに大きなトラックやトレーラーが多く、感應式信号のラインに停まると邪魔になる。六戸側からくると右折がなかなかできない。木ノ下小学校の辺りも同様。
女性	60代	百石小学校区	明神川の河口をしっかりと整備してからでないと生協の裏、石田温泉病院横まで整備できないのは知っていますが、早く工事が進むことをお願いします。
男性	60代	木ノ下小学校区	1. 公園の整備 北部地区は青葉公園と古間木山集会所に併置している公園の2ヶ所だけである。4町村会地区は人口が集中しており、老人や子供の憩いの場として若葉地区に公園を設置してほしいと思います。2. 働く場所の確保 おいらせ町は農業と漁業が主産業であり、一次産物に体力と価値を付けて二次産物として独自の名産品として、町、農業、民間、企業がタッグを組んで開発すれば、働く場所も出来て、かつ雇用が増えると考えます。
男性	60代	木ノ下小学校区	年間を通して、利用できる運動施設(プール通年利用・体育館・室内運動場、ジム)は災害時の避難場にもなる。
女性	10代	木ノ下小学校区	学校周辺、コンビニエンスストアの周辺に防犯カメラの設置をお願いします。住宅街の街灯をもっと増やしてほしい。バスの運転本数を増やしてほしい。
男性	50代	甲洋小学校区	町の発信やピアール活動をもっとネット・メディア等をどんどん活用してほしい。
男性	60代	百石小学校区	・他の市町村では、自治体のバス料金が100円位の所が多い。・おいらせのバスの利用状況(予約)とかもう少し検討して欲しい。・できれば以前の様なバス交通網の方が良い。
女性	40代	木内々小学校区	今後も、給食費無料を続けて欲しい。
男性	50代	木ノ下小学校区	・道路の管理について、降雪地域で除雪による損傷と思われるが、道路に穴が多いこと。センターラインや横断歩道の白線が消えている交差点が多いです。・交通量の多い道路で夏季に雑草が多く、歩行者や自転車の通行を防げている場所が多いです。・住宅が多い地域は早めに下水道整備をお願いします。浄化槽の管理が適切に行われているのか疑問です。
女性	50代	木ノ下小学校区	他市町村などとも連携いして、災害時等の対策をして欲しいと思います。
男性	30代	木ノ下小学校区	おいらせ町の北地区に郵便局を誘致してください。
女性	60代	木内々小学校区	・私の住んでいる場所は、雨が降ると雨水がたまるのでなんとか整備してほしいです。・子供達の通学路でダンプカーのスピードが目立つので危険だと思います。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	木ノ下小学校区	・高齢者の施設ばかりで、子供を遊ばせる施設が少ない。・商店街に活気がない。
男性	50代	木ノ下小学校区	早く北地区に「郵便局」を誘致してください。
男性	50代	下田小学校区	北部以外の住宅地の充実、旧下田地域の整備
-	-	-	バスのことで1日2回でもよいからバスで買い物したい。
女性	60代	百石小学校区	もう少しイベント、おまつりなどにも力を入れてもらいたいと思います。
男性	60代	木ノ下小学校区	高齢者が増加していく中で、医療にたよらずにスポーツジムがあるとコミュニティも広がるし健康推進にもなるので、ぜひ設備を整えてほしいです。よろしくおねがいします。
男性	30代	木内々小学校区	・子供の検診をAMにしてほしい。・今回のアンケート結果を広報にのせてほしい。他の人の考えが知りたい。QRコードか、連絡先をのせて、他に考えがうかんだら意見してもらおう機会を与えてほしい。
男性	30代	木内々小学校区	物価高騰やガソリン値上げに伴い家庭での支出が増え大変です。ひとり親ということもあり、そういった世帯への支援が特に必要だと思います。
男性	50代	木ノ下小学校区	・〇〇町といった、他府県からも人が多く集まるエリアを作って欲しい。・食事ができる複合施設が欲しい。店舗が多いメジャーな店を増やす。現在県内にない店を誘致して欲しい。・天候に影響されない大型屋内施設(レジャー)が欲しい。ボルダリングや大型すべり台、エアーマットなど子供が遊べるもの。・食事できるところ、遊べるところにサブスク(定額制)を県内独自で制度を作って欲しい。・人口が増える・観光が増える・雇用が増える・道路が整る・注目が増える(SNS等)・県民の意見を取り入れる行政・利便性が良い。
女性	20代	木ノ下小学校区	子供たちの遊び場が必要だと思います。木ノ下小学校の近くに公園はありますが、道路のすぐ近くで危険だなあと感じることもあります。小さい子が安心して遊べる環境の整備を検討していただきたいです。また、町として、子育て支援や高齢者への対応はされているかと思います。その一方で、働く世代への対応はあまりないように感じます。特に、20代の若者が働く、暮らす、楽しむためには不十分です。現在おいらせ町で働いている友人も出掛ける場所がないと嘆いています。町に残った若者への対応も大切だと考えます。安全、安心なまちづくりを今後ともよろしくお願いいたします。よりよい町になることを願っております。
女性	40代	甲洋小学校区	オンライン授業の早期実現 ホットするメールの活用(町の情報発信)

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	下田小学校区	国道45号沿と通学路街灯が少なく暗い。街灯かガードレールくらいの高さの反射材を置くか対策してみてください。歩く人・車・自転車、事故がないよう守る対策を願います。何度か状況を夜出てみてください。河川の対策、川からの氾濫がなく安心して暮らせる街に、いつおきるかわからないので早めに被害が少なくなる対策をすすめて下さい。
女性	40代	木ノ下小学校区	木ノ下小学校の北側から本通りに入る時、カーブミラーがありますが、避難場所の看板で見えなくなっています。整備、お願いします。
男性	50代	木ノ下小学校区	木ノ下中学校の通学路の街灯が歩道側に無く、反対側にあるのは、おかしいと思います。クラブ活動帰りの中学生は暗い歩道を歩いているので、女の子とかは特に怖い思いをしていると思います。早期に確認していただきたいし、早急に歩道側に街灯を取り付けて欲しいです。何かトラブル等が起きる前にお願いします。
男性	50代	百石小学校区	旧百石、下田南部、下田北部の一体化をすすめる。
女性	40代	百石小学校区	カラオケ店、すし店が必要。ポストが減ってきていて、困る。増やしてほしい。
女性	40代	木ノ下小学校区	公園が少ない気がします。子供が歩いて行ける距離にボール遊びなどが自由にできる広さの公園はあるべきと考えています。木ノ下学区は新しい家も多く、子供もたくさんいますが、遊べる公園が青葉公園くらいなのでいつも人が多く、年齢の高い高校生～幼児が同じところでボール遊びをしていて危ないと感じています。また、今後年齢を重ねた時に、どこへ行くにも車が必要だと感じています。病院、金融機関、商業施設が近くにもう少しあればと思います。企業などに声をかけたりしながら、末永く住むことができる町づくりを役場の方に考えていただければ幸いです。
男性	50代	百石小学校区	①子供が住みやすい ②子供を育てるための環境作り ③町内で、十分な収入を得られる職場の3つがポイントになると思います。老人より子供を行政のサービスで守る方が今後の町の継続的な維持につながると思います。
女性	50代	木内々小学校区	このアンケートについてしっかりと結果等を知らせてほしい。(回収率が上がるように。)
男性	60代	木ノ下小学校区	行政、民間の枠を超えた各種の取り組みや事業、イベントについて、若い力を活用した、新しい事に取り組んでほしい。(これまでの行事も大事で守っていく必要が有りますが、新しい事もそしてだれもが参加できる内容がほしいです。)住んでいて楽しい町になるよう、望んでいます。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	木ノ下小学校区	・緑ヶ丘地区の用水路にふたをして欲しい。車のすれ違いや、子供達の通学など、道が狭いことで危険な場面が多い。以前に比べ交通量がとても増えている。・百石地区は、いちよう公園や図書館、スポーツ施設など充実しているが、木ノ下学区内の子供達がすごせる場所も充実させてほしい。・木ノ下地区の子供達が増加しているのに対して学校施設が追いついていない。中学校の体育館も1つで多くの部活で共有しなければならず、校外での練習をできるところが少ない。・近年の夏の暑さは命にかかわることなので、早急にエアコンを学校に入れてほしい。
女性	30代	百石小学校区	活気が少なく、近隣都市への移動に関しては便利だが、町内で用事を済ませようとは考えにくいので、もっと若い世代が興味をもつ町づくりが必要だと思います。子供がいないと社会参加しにくい町だと思います。
女性	30代	百石小学校区	おいらせ町ホームページについて。コロナ関連情報をもっと充実させてほしい。ワクチン接種のことしか掲載されていないので、「コロナ陽性者」になった場合の療養等について等、詳細な情報がほしい。・療養期間や同居家族の自宅待機など、どのような対応を取れば良いのか不明なため、不安である。また、最近の大雨で国土交通省河川カメラ画像を確認するようになりました。奥入瀬川のライブカメラが無いのですが、今後も付ける予定はないですか？今回の大雨でけっこうな水位上昇がありました。通勤で通る橋は事前に情報が分かっただけが安心なので、ライブカメラがあれば大変便利。
女性	50代	百石小学校区	・役場の本庁舎も分庁舎も、行く道がせまかったり、見通しが悪かったり通りにくかったり、もっと年をとった後、車や電動自動車で行きにくそうだなと思っている。この町に転入してきたときも、とても行きにくかった。・建物によって課が分かれていることも、建物の外壁に大きく表示してもいいと思う。
男性	40代	木ノ下小学校区	おいらせ町に住んでいても、町外で働いている人が多いと思う。商工業の推しすすめで、町内で働く環境を増やしてほしい。太陽光発電をすすめて、個人宅でも発電、蓄電すれば災害時も安心なので、助成や業者の紹介があればうれしい。(業者が多く、手を出せない)
男性	40代	甲洋小学校区	第二みちのく有料道路の無料化(国道45号交通量率減のため)
男性	40代	百石小学校区	いちよう公園がシルバーの方々のおかげで芝生がとてもきれいだと思う。ありがとうございます。百石小学校への登校の道が危ないと思う。いきいき館の前と学校前の道路でスピードがでている車やトラックが多くヒヤツとする。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	60代	百石小学校区	最近の大雨により、おいらせ川の増水がみられますが、河川敷の雑草・雑木などの荒れが気になります。洪水など防ぐためにももう少し整備が必要だと思えます。
男性	70代	木ノ下小学校区	外灯周辺の木々の枝等の整備
女性	30代	甲洋小学校区	給食費無料化は今後も続けていただけたらと思っております。子育てのしやすさがおいらせ町の魅力だと思っているので、是非よろしくお願ひします。
男性	20代	百石小学校区	スポーツ施設や遊び場等の娯楽施設を増やしてほしい。
女性	30代	木ノ下小学校区	ひとり親で頼る人がいないときの支援をもっと充実させてほしいと感じる。預け先の案内や町や県で実践しているところをもっとホームページに掲載してほしい。
女性	20代	木内々小学校区	町内会活動を小さい子供がいる家庭は免除などの対策を行って欲しい
女性	50代	木ノ下小学校区	通学路であっても、子供の歩く歩道がない所が多い。ブルーラインがあるところが1ヶ所だけ？その他の所では見たことがない様な。バスも通る道でもありますが、車が子供達のスレスレで通るのを見ていてというより見てもらえない位です。せめて、ブルーラインを。
男性	40代	木ノ下小学校区	街灯が設置されましたが、まだまだ暗く、そこを通る子供達が見かける度、不安になります。もっと明るくしたり、街灯を増やしたり、横断歩道の色を通学路だと分かりやすく目立たせるなどの工夫をしてほしいと思えます。
女性	40代	木ノ下小学校区	車が無ければ不自由な町です。高校もおいらせ町内には進学校が無く、通学も不便です。高齢者になれば、更に通院するための病院が少なく、高度な医療を受けるには他市まで行かなければならず、ガソリンの高騰も追い打ちをかけています。町民全体的に真面目で勤勉な方が多く感じられるのに、高い教育を受けるために県外へ流出してしまい、都市部へ行った大切な人材がそのまま戻らない現状があるように感じます。高齢者にとっても若年増、子育て世代の両方が住み良いICTを利用した、スマートシティ化、デジタルの技術を少しずつ取り入れて安価でコンパクトだけど、大容量の町づくりを是非実現してほしいです。未来への投資を充実してもらいたいです。おいらせ町なら実現できます！
男性	60代	百石小学校区	町立病院の移設移転に伴いインターチェンジ周辺の再整備。住宅と公共機関の融合。洋光台周辺、いちょう公園、体育館周りの再整備人口増加への取り組みと防災、避難場所確保の意味でのあり方検討要。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	木ノ下小学校区	・困り事相談を、木ノ下地区でも気軽に出来るようにしてほしい。夜、暗くて歩きづらい。病院が不便。隣人の芝生が1m以上入ってきて、放置されて困っています。広報等で、自分で植えた樹木や芝生は、自分で管理する等の注意喚起をしてほしい。
女性	20代	下田小学校区	団地に野良猫が多すぎます。
女性	50代	木ノ下小学校区	・子どもの遊び場が少ないので増やしてほしいです。・北部公民館付近に郵便局があれば助かります。
男性	20代	百石小学校区	・子育て・高齢世代の対策は充実してきていますが、働く今後を担う20～30代への何かがあれば人口流出も防ぎ、また、今いるこの世代(自分の周り)はこの町が色々な意味で好きな方が多いです。・旧百石地区も新築が増えてきました。そこに対して、通学路の街灯等の整備は必要と考えます。
女性	60代	甲洋小学校区	住みやすい町上位ランクに位置づけられた事はとても嬉しい事です。最近、住宅も増えてきていますが、片寄りがあるように思えます。甲洋学区の住宅も建築しやすいように農地改革も緩和して欲しいです。手つかずの畑などが多く見られ草・木が繁って大変です。
女性	70代	木ノ下小学校区	町民プールについて、夏でも寒い状態。温水プールにして、1年中利用できるようにしてほしい。施設がもったいないと思います。
女性	60代	木ノ下小学校区	北部に郵便局がなく不便。ATMでもどこかに設置してほしい。燃えるゴミのほとんどがプラゴミです。プラゴミの回収が少ないので燃えるゴミとして出している人が多いと思います。
女性	60代	木ノ下小学校区	家の前の道路の舗装をお願いします。
女性	40代	木ノ下小学校区	・近くに内科がなくて困ります。・家やアパートが建ち過ぎて、緑が少なくなっているのがとても残念です。
男性	50代	木ノ下小学校区	耕作放棄地は、農地転用しやすいように、町から働きかけてほしい。または、町で買い取り(無償譲渡でもよい)し、活用してほしい。
男性	70代	百石小学校区	①河岸に浮遊しているポリ袋・ゴミ等を土木事務所に要望して取り除いてほしい。おいらせ川の景観が非常に悪いです。先ほどの大雨によるものと思います。マイクロ・プラスチック等により、生態系をこわします。②高度医療に対応した若手医師を拡充してほしいです。
男性	30代	木内々小学校区	街灯を増やしてほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	30代	木ノ下小学校区	おいらせ町は住みやすい町だと思います。でも道路については大いに不満があります。とにかく歩道が少ない。県道だから、とか国道だからとかあるのかもしれませんが危ない歩道が多すぎる。歩いたり自転車が好きなのに安心して使える歩道や幅の広い道路がほとんどありません(あっても途切れていたり草が生い茂っています)。健康のための自主的な運動を促すのであれば、とにかく歩道を作ってください。子どもと危険を感じずに歩ける歩道を増やして下さい。あと、公園でゴミをポイ捨てする小中学生が非常に多いです。小さい子どもが拾ったりするので危ないです。学校単位での注意喚起が必要だと思います。
男性	50代	百石小学校区	役場の人員が多いと思う。
男性	60代	木ノ下小学校区	・アスファルト舗装の整備 ・下水道の整備 ・防水排水の整備 引越し当時は、上記整備がすぐ整うと説明されましたが、今では不可能だと思いますので環境のよい町へ移住することを考えざるをえません
女性	30代	甲洋小学校区	おいらせ町が今後も活性化していく為にも、SNSで話題になるようなイベントがあると、おもしろいのではないかと思います。アイデアはおいらせ町住民の若い世代(小～高校生)からアンケートを取るのも良いかと思います。実現するか、しないかは別として、優秀賞などの報酬があればアンケートも集まりやすいと思います。今後も応援しています。頑張ってください。
男性	50代	百石小学校区	おいらバスについて、新システムになって、他の方の予約が入った場合、どれだけ時間がかかるのか読めないため利用していません。休日はバスも少なく何か改善ができないでしょうか。
女性	30代	木ノ下小学校区	おいらせ町に転入してきた時、いくつもの窓口に行かなければならないと不安でいっぱいでしたが、1つの窓口で職員の方々が変わり変わり来ていただいてスムーズに手続きができたことにとっても感動しました。青葉地区周辺の用水路にフェンスがあり安全なのですが、用水路の間を通る道にはガードレールのみで下には何もなくて子供やペットが落ちてしまうくらいの隙間がありとても不安です。それから畑が近く少しでも風がある日は土埃がひどく窓が一切開けられません。子育てに関しては、健診などの場所が遠く、駐車場もせまく小さい子どもを連れて行くので少し環境を整えてほしいです。
男性	50代	木ノ下小学校区	おいらせ町の意見を発信してほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	50代	木ノ下小学校区	おいらせ町は自然環境が豊かなのはわかりますが、山林地及び農地等の空き地から道路へ伸びる草木等で視界が悪い場所や私有車への障害等が特に多いので空き地の地主への指導をお願いします。
女性	60代	木ノ下小学校区	大雪になっても除雪が来なく、除雪が入っても下手で残雪処理に困っている。除雪体制をもっと良くしてほしい。道路の整備をしてほしい。歩道が少なく危険です。病院関係をもっと整えてほしい。百石の方にばかり病院がある。水道代が高い。
男性	50代	甲洋小学校区	水産加工団地からの悪臭が気になります。
女性	40代	下田小学校区	・眼科が出来て欲しい。・カラオケボックスを作って欲しい。など
女性	40代	下田小学校区	下田小学校の学区です。道幅がせまく、町外からの八戸方面、三沢方面の通勤路にも使われているようで、車の運転マナーが悪いです。冬になると除雪が不十分でハンドルをとられ、子供たちに車がぶつからないか心配です。今、住んでいる所は、小さい子ども達が増えました。空き農地が放置されている所があり、草丈は大人の身長くらいです。横には用水路があり、草で見えなくなっています。安全面でも不安です。周辺の家には、ドラム缶があり、早朝から野焼きがはじまり、煙が家の中まではいってきて、持病があるのでとても困っています。
女性	30代	木ノ下小学校区	子育てのしやすいおいらせ町を今後も継続していただきたいです。(要望)役場業務などで北部出張所の業務をもう少し拡充してもらえると助かります。本庁に行かなくても済むようなシステムにしてほしい(特に書類関連の受取など)
女性	70代	百石小学校区	自由の女神は、おいらせ町の宝物、これをいろいろと活用したいと思います。今は「コロナ」で大変な時なので「自由の女神」にマスクの着用する。感染者の多い時には赤マスク。少し落ち着いたら黄色マスクしては、どうでしょう・・・マスクの取り付け取り外しは大変と思いますが。朝の6時のチャイムは鳴らしてほしいと思います。外で仕事などをしている時、時間がわかって助かります。
男性	70代	木ノ下小学校区	道路に穴が何年もそのまま、直してください。
女性	60代	甲洋小学校区	保健協力員の手伝いをしています。年金生活で一人暮らしのため、人の付き合いがあまりありません。買い物と病院へ行くぐらいであまり出かけません。車がないため、おいらバスかタクシーをつかって出かけています。携帯電話しかもっていないため、インターネットやスマホをつかえません。
女性	70代	木ノ下小学校区	1・病院と役場は海拔の高いところに 2・火葬場がほしい 3・おいらせ町の「みどころ」を中央や芸術家等にアピール(もちこみ) 4・新幹線 5・公園や集会所等に「井戸」を 6・除雪のし方に工夫を 7・飛行機の騒音が気になり出した。 8・歩道の拡幅を願いたい(将来に向け) ○住吉から木ノ下小に向かう西側歩道の傾きが強く利用しづらい「おいらバス」の実施ありがとうございます。心強いです。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	20代	木ノ下小学校区	・苫米地地区にあるT字路の交差点の信号について、赤信号が長すぎてとても混む(特に土日夕方)ので、短くしてほしい。・北部地区のカーブミラーについて、カーブミラーからは道路標示の手前しか見えないので向きを直してほしい。それか、交差点付近の家の庭木を切ってもらおうように言って欲しい。何度も事故が起きて危ない。・八戸市のようにコンビニで住民票などの証明書を取得できるようにしてほしい。平日に休みをとれない方も多いと思うので。
女性	60代	木ノ下小学校区	もっとおいらせ町のために取り組んでほしい。ゴミ処理場も遠い所にあり、大変である。おいらせ町にも設置してほしい。商業施設(チェーン店)をどんどん関東から入れて欲しい。おいらせ町を青森県内でも一歩先を行く町として、推進させてほしい。他の市町村がやっていないことをやってもらいたいと思う。
女性	40代	百石小学校区	農業用水の周辺が整備されていない為、子どもの通学路周辺の整備をすすめてほしい。また通学路で交通量が多く、スピードが出やすい坂道には注意の看板を表示するなど、積極的な安全対策をしてほしい。
女性	50代	百石小学校区	バス便が無くなり買い物や病院への通院などに大変不便を感じています。このままですともっと便利な市町への転居も考えたいと思っています。
女性	50代	下田小学校区	給食費の無償化は納得しますが、児童、生徒がいない世帯に対して平等だとは思いません。一般世帯には何のメリットも無いように感じます。今年は、土砂災害が多く箇所に見られましたが、自宅周辺が、いまだに改善されていません。道路整備の舗装工事へ実現してほしいです。
女性	50代	甲洋小学校区	病気などになった時、町外の病院を使わないといけない事が多いので病院が増えるとうれしいです。
女性	70代	木ノ下小学校区	木ノ下地区は私道が多いし下水道の整備が遅れているのは私道の為でしょうか。良く検討してみたいか？ ゴミの問題ですが通りすがりの捨てられるゴミに町内会でも苦労していると思われます。(分別・ゴミ袋の問題)
男性	50代	木ノ下小学校区	青葉地区は現在でも住宅化が進んでいるので下水道の整備を進めて欲しい。畑の肥散布による悪臭が発生するので防止に向け、農家や農協への啓発を行ってほしい。
男性	40代	下田小学校区	小さすぎる学校にも、必要経費は掛かります。合併してバス通学のある程度の規模がないと生徒の競争もありません。競争がなければ学力の向上もありません。浮いた費用を学校設備に転再。学童(児童館)について、町の独自の取り組みとして、保育園と同じ様な時間綱にしてほしい。
女性	40代	木内々小学校区	コロナで大変だとは思いますが、日々のお仕事、町民の為に頑張ってください。皆様お身体御自愛ください。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	30代	百石小学校区	・各種証明書のコンビニ発行の実現はまだ難しいのでしょうか。・年2回の農産物販売会は、とてもいいです。・せっかくの公園、海岸公園などが、もったいなく感じる。少しのリノベーションで、町外からも来てもらえるような、スポットになり得るのではないのかと感じます。
女性	60代	木内々小学校区	ゴミなどを回収してくれる施設があればいいと思います。いつでも、リサイクルやゴミ処理できる場をおいらせ町につくってほしいです。
男性	30代	木内々小学校区	子育て世帯への支援や住宅ローンへの支援の充実。給食費無償化の継続。高校生まで医療費無償化。
女性	30代	百石小学校区	・資源、燃えないゴミの回収日が月2回とかなので、なかなか出せず、回収日を増やすか、自分でだせるリサイクルの場所などがあると助かる。特に缶など。・コロナでしかたないですが、保育園などの支援センターも休止の所が多く、小さい子どもが参加できる場所がない。・雨や雪の日は外で遊ばせることができないので、子どもの遊べる屋内施設がほしい。・何か目玉になるような施設がほしい。県外に行かないといけなような買い物できる場所が増えると嬉しい。
男性	60代	木ノ下小学校区	除雪の充実。防災無線が聞こえづらい
男性	50代	百石小学校区	本町六丁目～下前田地区のT字路の交差点の信号機、時差式にして右折車両を右折させてほしい。毎朝渋滞しています。時差式にしても右折先に交差点が無いので問題ないと思います。警察に相談して提供してほしいです。他のドライバーもそう思っていると思います。なるべく早くお願いします。渋滞緩和の為にもお願いします。
-	40代	百石小学校区	・高校生への医療費を無料にしてほしいです。・道路に穴があいている所が結構あります。道路の修繕をしっかりとしてほしいです。・最大の大雨が続き、下水の流れが悪くなる時があります。大雨になりそうな予報が出ている時など、影響が出る前に処置をしてほしいです。・おいらせ町も、そろそろ人が集まるお祭りなどを再開してもいいのではと思います。学校行事も、以前と同じような状態で開催して良いと思います。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	50代	木ノ下小学校区	・苫米地地区の所にある交差点について、東側から来る車両が渋滞になることが非常に多い為、信号機の青の時間の長さを調整してはどうでしょうか。・町営霊園沿いの道路(両方の車線)は、雨が降った時に水たまりがすごい。事故防止、安全面から考えて改善をお願いしたい。・北部地区の交差点について、渋滞の発生頻度が高い。信号機の時間設定の改善及び車線の増設することで改善できるのではないかと思います。・北地区へ郵便局があったらと思います。
女性	40代	百石小学校区	我が家には主人の車、1台しかありません。そのため病院など必要な移動はタクシーでした。小児科まで往復7000円ほどかかり大変でした。4月からおいらバスが開始されて負担もなくなり、子供達とお買い物などにも利用できて、本当に暮らしやすくなりました。心から感謝しています。ありがとうございます。ずっとお礼の気持ちをお伝えしたかったです。運転手さんも町内のタクシー会社さんで雇用も守られて大変良かったです。中学になると遠くまで特に冬は自転車に乗れないので、その間だけでもスクールバスがあればいいのになあと思います。朝だけでもあればと。料金がかかっても利用したいです。家族全員おいらせ町が大好きです。
女性	40代	木ノ下小学校区	粗大ごみ捨て場が遠すぎ。依頼料も高い。前の居住地は300円位でした。
男性	40代	木ノ下小学校区	海外のサッカーチームを呼ぶ
男性	40代	百石小学校区	学校周辺で道のせまい所が多く、車がすれちがうスペースのない所はスクールゾーンを検討してもらいたい。学校への送迎のぬけ道として他地区から進入してくる車が徐行運転なしで走っているのを多々見かけ危険である。
男性	60代	木ノ下小学校区	高速(車両専用)道路や大型商業施設などをはじめ、常に時代の先進性を取り入れ、現在のおいらせ町があると思います。これからも先進性に優れた取り組みと町政を期待します。
男性	30代	木ノ下小学校区	子供の出産祝金を充実させてはどうでしょうか。
男性	40代	木ノ下小学校区	うちの家の前の道路(未舗装で農道)が、両となりの畑の影響で侵食し道幅がせまくなっているため、なんとかしてほしい。
男性	40代	木ノ下小学校区	通学途中の横断歩道等、暗い場所等があるので、明るい街灯があればいいなと思います。
女性	40代	甲洋小学校区	おいらせ病院の体制を整えてほしいです。現在どのような科があるかわかりませんが、ある程度の科がそろっていて、かかりつけ医となるようにしてほしいです。眼科、耳鼻科、内科、外科、整形外科、脳神経などなど。
男性	20代	百石小学校区	子育て支援にもっと力を入れて欲しい！！
男性	40代	木ノ下小学校区	下水に接続したい。
女性	40代	木内々小学校区	町民プールや図書館をよく利用するので、プールであれば、衛生的な環境を保つ事。図書館であれば本の手入れをして欲しいと思います。安全に気持ちよく利用したいからです。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	50代	木内々小学校区	子供達は町の宝です。子供や育てている親に、経済的な事で協力してあげてほしいです。
女性	20代	木ノ下小学校区	出産、育児で保健こども課にたくさんお世話になりました！ですが、コロナということではなかなか外に出たり、娘を広いところで遊ばせることができなかったのでもう少しでも0歳児から遊ばせる施設的なスペースが欲しいと感じました。週2回などともうけて気軽に栄養士さんなどに相談したりする場ができれば子育てがもっと気楽にできたかな？と思います。あと、毎年なかなか除雪車が来ず…家の前だけでも大変なのに道路までとなるとかなり負担が大きいです。大きい道路だけでなく1本道を奥まで来てほしいです。このことはみなさん思っていることだと思うのでぜひ改善していただきたいです。よろしくお願いします。
男性	70代	木内々小学校区	・遊休・農地の活用 ・下田駅周辺の再開発 ・スーパー銭湯の様な一般向け温泉施設 ・文化ホール等、小規模ながらも充実した設備がある町の「心の余裕」を感じる施設
男性	20代	木ノ下小学校区	ゴミ袋の指定がある理由が不明。指定するのなら袋の価格を下げてほしい。
女性	20代	百石小学校区	ごみの回収についてとても不満があります。ペットボトルや、ビン、カンなどの資源ごみを捨てる時、指定の袋に入れないと回収してくれません。カンやビンはしょっちゅう出るゴミではないので指定のゴミ袋だと大きくてもったいないです。少量の時は指定の袋でなくても、透明な袋であれば良いとしてほしいです。
女性	60代	百石小学校区	新田地区に住む年配の方々等への防災体制が不安です。明神山にいざ逃げるまで時間がかかるし、川2つに囲まれているので危険を伴います。いざ災害がおきた時、とても命が危なく感じています。
男性	70代	木ノ下小学校区	道路の整備所々悪い道路有り。
女性	40代	木ノ下小学校区	積雪がある場合、当日の排雪を希望します。
女性	70代	木ノ下小学校区	この所、飛行機かヘリコプターの音が頻繁に聞こえてうるさい。何か対策をしてほしい。
男性	50代	百石小学校区	学校給食だけにお金を掛けしないで。道路整備に力をいれてほしい。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	40代	木ノ下小学校区	子供が多いのに年中を通して遊べる室内の施設がない。冬も長く雪が続いたり、雨(夏でも)が続いたりすると、どこにも行けないのが子育て家庭にとっては難点だと常々感じます。もう少し子供のいる家庭が親子で遊べる場所があると良いです。
女性	50代	甲洋小学校区	推肥のにおいがすごく、外に洗濯物も干せません。本当にすごいです。なんとかお願いします。もっといろんな、商業施設があるともっと町が活性化すると思います。
女性	20代	百石小学校区	青葉地区に郵便局を誘致するという案が何年も前からありますが、その計画は現在どうなっているのでしょうか？生活に必要な不可欠な施設ですし、郵便局までかなり遠いという不便さがあることで、私自身も要望や不満の声を聞く機会があります。今一度実現に向けて動いていただけないでしょうか。ぜひよろしくお願いします。
女性	60代	木ノ下小学校区	①県外の役所で新しく出来た課があります。名は忘れましたが、“お悔み課”だったと思います。死亡時のあらゆる手続きが1ヶ所で出来るという事です。いくつかの部所をまたぐ事のないのは良い事だと思います。②人口増加、すみやすい町は良い事です。ただ、いつも問題となるのは、ゴミ捨て場です。行政が先頭にたって対策を整えていただきたいです。
男性	50代	木ノ下小学校区	大雪の際の幹線進路の除雪をしっかりとしてほしい。特に「わだち」が深く車の走行が困難な時がここ2~3年多い。
男性	50代	甲洋小学校区	おいらバスの取り組みは良いと思います。消防団についてその地域のみ募集、活動になっているため、他地区からの募集や参加をするべきだと思う。実質消防のそばの地区のみの活動力になっているのでは?? ゴミを間違えて(持っていかないゴミ)出した人が持ち帰らない時はどうなりますか? 町での対処法をおねがいします。
男性	40代	-	道路(車道と歩道)のせまさが気になる
女性	40代	木ノ下小学校区	選挙の際の投票場所を大型商業施設等に設置したら投票率も上がると思います。買い物ついでに投票しやすいので。
女性	40代	甲洋小学校区	交通の便が悪いのですごく困ります。高齢者の方々がバス利用するのも多いのですが、学生も必要としているので、あまりにもバスの便が悪すぎて利用したくても、利用できません。出来たら、駅から出発するバスがあった方がいいと思います。とくに、イオン行き(夕方にイオンに行きたくても行けません。)
女性	20代	百石小学校区	大型商業施設があるから便利に感じますが、一人暮らしのお年寄りが多く孤立している感じがしてかわいそうに見えます。おいらせ町独自で移動ショッピングカーを定期的に出すとかお年寄りに優しい町にしてほしいです。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	60代	百石小学校区	役場の一体化を進めてほしい。
女性	40代	木内々小学校区	各種講座で受講したいものがあったとしても時間と曜日が合わずなかなか受けられない。(子供同伴でもOKだととても助かります)
女性	50代	百石小学校区	町で運営する住宅(家賃の安い)を増やしてほしい。共同墓地を町で運営してほしい。
男性	40代	木ノ下小学校区	木ノ下地区、公園がほとんどありません。八戸市は沢山あって子供たちはいつも公園で遊んでいました。おいらせ町に来て、家でゲームが多くなりました。もっと公園や外で遊べるような場所があればいいなと、いつも感じています。
女性	60代	木内々小学校区	役場あたりとかに食料品コンビニとかあってもいいと思います。
男性	20代	木ノ下小学校区	冬の除雪作業をきれいにやってほしい。下水の整備。
女性	20代	木内々小学校区	林を伐採して土地を広げるより、空き家を改築したり、住宅街の空き地に家などを建てたりした方が防犯・コミュニティ維持・形成に良いと思います。木が伐採されて緑が減っている現在、森林を多く残したままにしてほしいです。
男性	30代	木ノ下小学校区	住民の高齢化について。少子化について。不妊のサポート。配慮。助成金または休職制度など。(高齢者福祉や子育てばかり重視されている印象)国でやっと不妊治療保健適応となったが、まだまだデリケートな問題であり、肩身の狭い思いをしている家庭あり。町として大々的にサポートの方針を示し、職場からの理解を得るきっかけとなれば良いと思う。この件についてのアンケート調査をするのも良いと思う。
女性	20代	木内々小学校区	コンビニが少なく不便。木内々付近の保育園が川に近い事や国道にあることが心配。職場が夫婦ともに遠く、何か災害があったときにすぐ行けない。川から離れた場所、安心して預けることができる場所に建設してほしい。
男性	40代	下田小学校区	錦ヶ丘団地に公園がないのでお願いします。子供の遊ぶ場所がない。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	60代	木ノ下小学校区	大間のまぐろ、横浜の菜の花など、おいらせの〇〇と言える特色のある町づくり・若者が帰ってきて子育てしたくなるような魅力的な町づくり
女性	70代	百石小学校区	公園の木々が大きくなり自由の女神が四方八方から見えていたのが見えなくなり少し残念です。
女性	30代	-	今年入籍しましたが、他の市のように入籍後に受けられるウェディング等に関する助成があればよかったですと思いました。
女性	30代	木ノ下小学校区	妊婦検診の無料券や、検査の無料券など、近隣の市と同じようにしてほしい。
-	30代	木内々小学校区	このご時世、至る所に防犯カメラ等が設置されている中、色々と事情をかかえている人(母子家庭や高齢者など)が入居している町営団地に防犯カメラが設置されていないのは、防犯意識が低いのでは？町営うたっている以上、町の対策も必要だと思う。・町内会活動は、町内会ごとに決められていると思うが、会費の金額等、町で統一できないのか。(バランスをとること)・ゴミの削減、リサイクルの推進など環境政策も分かるが、ゴミの分別など、もっと簡易的にならないのか。住み心地が良すぎる分、あと少しという所が気になってきました。とても住み良い環境づくりいつもありがとうございます。
女性	30代	百石小学校区	保育料の上限がありとても助かっています。今は賃貸に住んでいますが、数年以内においらせ町に家を建てる予定です。(土地があるため)八戸、三沢、十和田へのアクセスも良く、インターも近くとても住みやすい地域だと思います。病院はたくさんあるのですが、小児科が少ないのが弱みかなと。
女性	40代	百石小学校区	冬場の除雪車がなかなか入らなくて困っています！！地区によっては老人が多くなかなか除雪するのが大変です。若い世帯家族で助け合っていますが働き盛りなので伝える時間にも限りがあります。困っている地域が多いと思いますが、なんとかして下さい。

性別	年齢	居住地区	内容
男性	40代	下田小学校区	・近くのドッグランがあると良い。(サーモンパーク内とか) ・下田公園の一部を犬の散歩コースにして欲しい。 ・家の前を補修したら大きい水たまりができるようになった。(雨の時は大きい水たまり、雪の時はツルツルで困っている。その前は水がたまらなかったのに)電話をしたら対応できないといわれた。大変不満です。
女性	70代	木ノ下小学校区	あまり協力ができてなかったように思います。パソコン、インターネット等を使用していないので、新聞、テレビでしかニュースを見ることが出来ないけど町内、外の事業は気にするようにはしています。町の行政に期待しています。
男性	40代	下田小学校区	錦ヶ丘に住んでいますが、街灯の数が圧倒的に不足して夜道が危険です。街灯の複数を検討してほしいです。
女性	40代	木ノ下小学校区	住宅はどんどん増えていますが、住宅ばかりで道路整備が全くされず、危険な道路もどんどん増えている。道路整備特に子供たちが歩きやすい歩道をつくってほしいです。
女性	20代	甲洋小学校区	338号線の通りに家があるんですが、夜中にトラックなどスピードを出して走る車が多く家がゆれることがある。もっと交通安全に力を入れるべき。
男性	50代	木ノ下小学校区	北部出張所で出来る内容を増やしてほしい。月一くらい、土曜日でも役場窓口が対応してくれる日がほしい。
男性	20代	甲洋小学校区	・高齢者や乳幼児に対する体制を充実させることで近隣からの評価を上げることで人口の向上と現在住んでいる住民への還元率を上げる。 ・商店街はシャッター街と化しているので空きスペースの見栄えを何とかしてほしい。 ・場所によるが、あまりにも街灯が少ない所が多いため、小・中・高校生の自転車通学路の街灯を増やしてほしい。 ・自主的に情報を発信していかないと若年層は行政の活動には興味を持たないので情報の発信力を上げて欲しい。
女性	70代	木内々小学校区	木ノ下から45号線まで歩道をつくってほしい。道路の歩くときに人は右を歩かないで左を歩いている人がいるので車で通る時にびっくりする時がときどきある。
女性	60代	木内々小学校区	東風の時、悪臭がする、何年経っても変わらない。市川工業団地からです。対応してほしい。
女性	60代	下田小学校区	おいらせ町の医療体制の強化 おいらせの町民が気軽に病院受診出来るように町立病院に内科、外科医師の強化と整骨院とか眼科も受診も出来るようにお願いしたいと思います。これからは高齢者が気軽においらせ町の病院を利用し、他地区の病院を利用しなくても良いようにしてほしいです。
女性	50代	木ノ下小学校区	病院が通える距離に無い為、見直しをして(郵便局)いただきたい

性別	年齢	居住地区	内容
男性	70代	百石小学校区	東児童公園の草刈りについて、今年は一回実施しております。草刈りをする前は草丈が1メートル以上もあり、保育所や幼稚園が遊びに来ます。草に足を取られて転んだり危ないと思います。色々事情があると思いますが、もう少し早めに草刈りをしていただけたらと感じます。
女性	70代	甲洋小学校区	一川目地区に住んでいます。デマンドバスも便利でいいかと思いますが、今までみたいに大型バスでなく中型？小型バスでも一日1~2回通してもらえないのでしょうか？
女性	30代	百石小学校区	町役場の方々がいつも親切に対応してくださっています。引っ越ししてきて何度も何度もお世話になっていますが、いつも丁寧に教えて下さり、ありがとうございます。また引っ越す時にお世話になると思うのですが、よろしく願います。
女性	60代	百石小学校区	ジェット機等の音がすごく怖い時がある。どうにかならないでしょうか。豚舎の臭いで窓を開けられない。
男性	40代	百石小学校区	いちよう公園のローラースケート場について、「スケート場」とし、インラインスケートやスケートボード(スケボー)なども使用できるようにしてほしい。ホームページも記載してほしい。オリンピックを機にスケボー人気が高まっているので、スケボーができる公共の場があれば町の活性化につながると思う。
女性	40代	木ノ下小学校区	住んでいる地域はとても犬を飼っている方が多く自分も飼っています。散歩の時など歩道もせまくて小学生も通学時キケンな所もあります。特に冬の時期歩く所ありません。整備されるといいと思います。犬の話にもどりますが、公園を使用するにあたって犬の制限をやめてほしいです。いちよう公園は犬OKですが下田公園は入れません。ちゃんとマナーを守って散歩させている方がたくさんいます。マナーを守らないのは大人のタバコとかゴミ捨ての方がよっぽど多く見受けられます。犬が散歩できるように整備すれば他の地域の方々もたくさん訪れて活気あるおいらせ町になるはずですよ。よろしく願います。

性別	年齢	居住地区	内容
女性	50代	木ノ下小学校区	・北部に郵便局があればいいと思います。・通学路が雨の時、水がたまり歩けなくなります。・雪の時、ひどい轍になる前に除雪していただくと助かります。
女性	20代	木ノ下小学校区	冬の除雪をしっかりと行ってもらいたい。アンケートに答えることで自分は町のことが知らないなと思いました。知ろうという気持ちになりました！
女性	70代	木ノ下小学校区	高齢者の一人暮らしで心細いですが、おいらバスと民生委員さんとケースワーカーさんが優しいのでとても助かっています。
女性	30代	木内々小学校区	河川の氾濫が怖い。木崎の通学路が狭い。バスや大きなトラックが通るので怖い。子どもを歩かせるのに不安。
女性	60代	木ノ下小学校区	北部地区(公民館の近くに)郵便局の誘致を願いたい
女性	60代	百石小学校区	町内住民が安心して受診できる様な質の高い病院を作っていただきたいです。
男性	40代	木ノ下小学校区	夜の歩道が暗く子の通学に不安。横断歩道がない。
女性	60代	木ノ下小学校区	大雨が降った時の道路の水はけの悪さ。大雪が降った時 家から道路にでる時なかなかでれなくて、除雪車が来るまででれませんでした。今は体が動けるけど、だんだん年をとり一人だと雪かきもできなくなったらと思うと心配です。車に乗れなくなったらスーパーに行くのも大変だし年金だけだとタクシーも大変だし、この頃考えるようになりました。
男性	30代	百石小学校区	大型商業施設以外の地元の商店や、商店街のイベントの企画等、希望しています。医療体制の充実を希望するが、予算等の制約も解消できるため。町の医院や三沢・八戸・十和田等近隣の大型病院に関する情報をまとめて提供いただくと、とても助かると感じています。おいらせ町の大きな畑が広がる眺めにはいつも驚きます。農業に興味があるため、就農情報の提供が充実するとうれしいです。(パンフレット等)
男性	40代	木ノ下小学校区	コロナワクチンの副作用や重症(死亡)者が発生していることを正しく伝えてほしい。実際にテレビの報道では重症や死亡者の内容を公表しています。また、ワクチンを接種している人のほうが陽性の割合が多い件も伝えて欲しい。幼稚園児や小学生等に対するマスクの弊害についても検討して、マスクの着用を止めて欲しい。(マスクをしてもしなくてもコロナに感染します)

性別	年齢	居住地区	内容
男性	60代	百石小学校区	選挙の期日前投票場を大型商業施設に開設してほしい。投票率向上にもつながると思います。防災無線の個別受信機が聞こえない時が多い。
女性	40代	百石小学校区	リアルタイムでの危険な情報(河川、竜巻、火災、大雨など)の発信や広報に出てくる色々な催し物の申し込みなどインターネットで何とか出来るようにしてほしいです。広報の情報インフォメーションはどれも申し込みが電話で・・・町が入力フォームなど支援してネット上で申し込み出来るようであれば色々な人が申し込みして参加すると思う。
女性	60代	木ノ下小学校区	北部にも町営住宅を。
女性	40代	木ノ下小学校区	町民バスが使いにくくなったような気がします。緑ヶ丘の用水路をふさいでほしいと10年以上前からお願いしています。通学路として小学生、中高生が通ります。細い道ですが交通量もあります。児童、生徒を守るためにどうかお願いします。
女性	60代	百石小学校区	水路の整備がまったくないように思います。
男性	70代	木ノ下小学校区	健康診断後、生活習慣改善アドバイスは健康推待管理に大変役立っています。私の住まい近くには、東北自然歩道があります。歩道の実態は悪路で草・木が生い茂り歩ける状態ではありません。せつかく良いコースがあってもウォーキングなどできません。早急に東北自然歩道の整備をお願い致します。
女性	60代	木ノ下小学校区	冬期、旧下田(主に三沢市より)の住宅街の除雪をもう少し良くしていただきたいです。
男性	60代	百石小学校区	今、コロナワクチンの予約がされているが電話が通じてない状況で、インターネットでの予約にもなっているが、夫婦同時の予約がしづらい、同時日にしたいが一電話で一人の予約だけになる、その対策をするべき(二人同時予約)同時日、同時刻の予約が出来ないのであるか？
女性	70代	甲洋小学校区	おいらバスのことだけ料金少し安くしてもらいたいです。500円の所を300円としてくれるといいですけど。よろしくお願いします。
男性	40代	下田小学校区	①防災井戸を各地に作る(名水と言われるならなお良い。)又、生きた本物の水は、健康にも良く、町民が日常に利用出来れば。水道費、医療費減につながり最小の投資でそれ以上の利益が町民にもたらされます。②耕作放棄地を使った自然栽培の推進(特にかってに育つ果樹等に植える)(町民の健康・防災・おいらせブランドにつながる)今、肥料・燃料・食品の高騰・災害により、食料難が来ています。これらが手に入らないと出来ない農法では危険です。

